建築と社会

ARCHITECTURE AND SOCIETY● VOL.52

社団法人　日本建築協会
昭和46年 7月25日発行　第52輯第 7号
毎月 1回25日発行
昭和24年 3月19日第 3種郵便物認可

特集
都市と港湾

1971
昭和46年

7

1 港湾機能と都市構造
2 港湾計画からみた大阪湾
3 港湾都市の建設技術
4 市民生活と港湾
5 あすの大阪湾を考える
　—望ましい海面利用のあり方を探る—
6 都市と港湾トピックス
　—大阪港・神戸港—



"鉄をつくり 未来をつくる"住友金属



同じ建て坪なら　倍ぐらいには使えます

事務所・工場・倉庫など、中型構造物の建築をご計画中なら、ぜひ、住友のプレハブ骨組《スミフレームV》をご利用ください。中柱が不要で、間口、屋内スペースが広くとれ、同じ建て坪なら、まず、倍ぐらいに活用でき、合理的です。強靱で耐久性に富み、建築も簡単。 360種以上の標準設計を用意しています。

住友のプレハブ骨組

スミフレームV

住友金属

住友金属工業株式会社

大阪 ── 大阪市東区北浜5の15(新住友ビル) 電(203)2201
東京 ── 東京都千代田区丸の内1の8(新住友ビル) 電(211)0111
営業所 ── 福岡・広島・岡山・高松・名古屋・富山・静岡・新潟・仙台・札幌



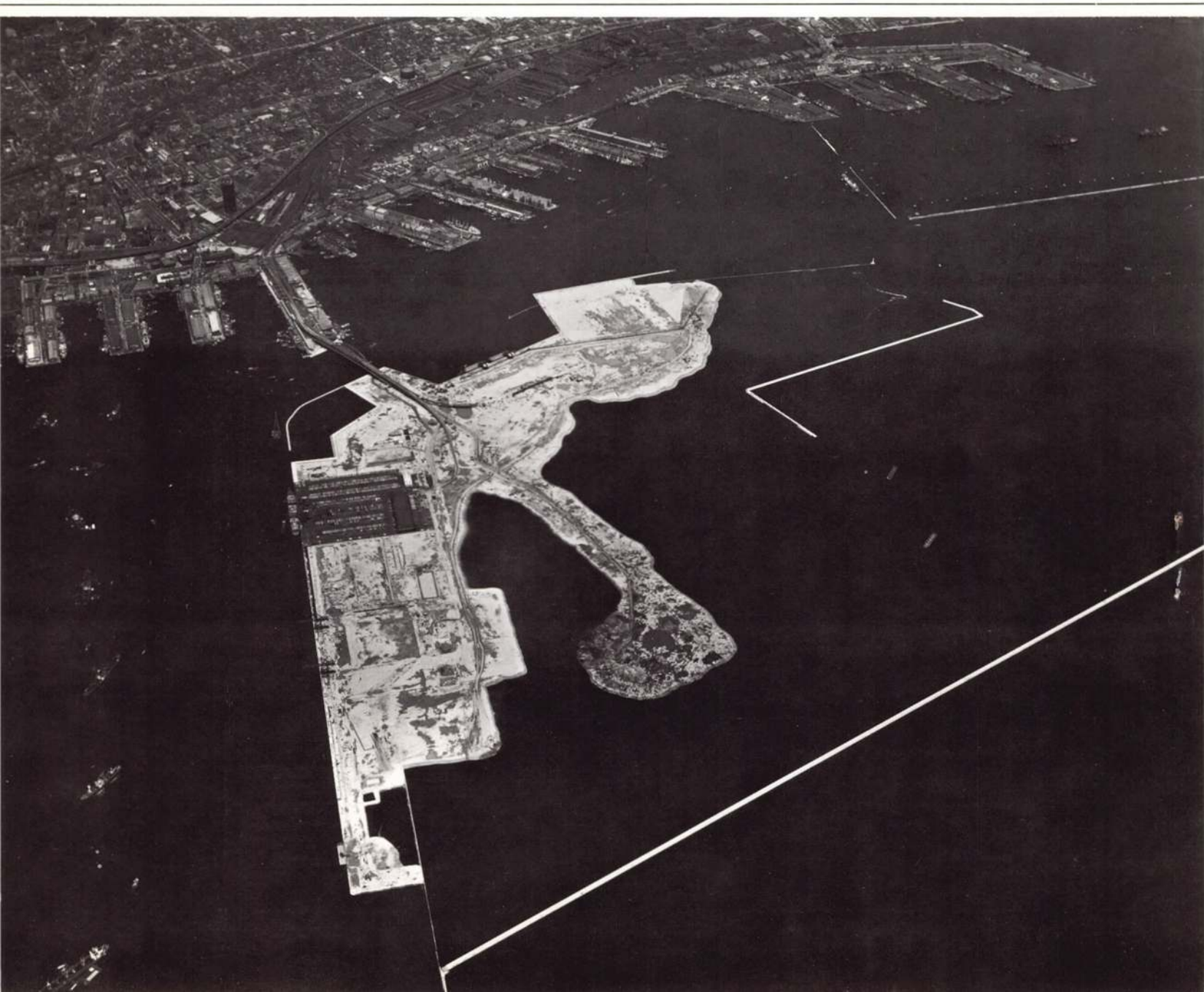
ポートアイランドから　神戸大橋、ポートターミナル、貿易センタービルを望む（1970．2．12 撮影）

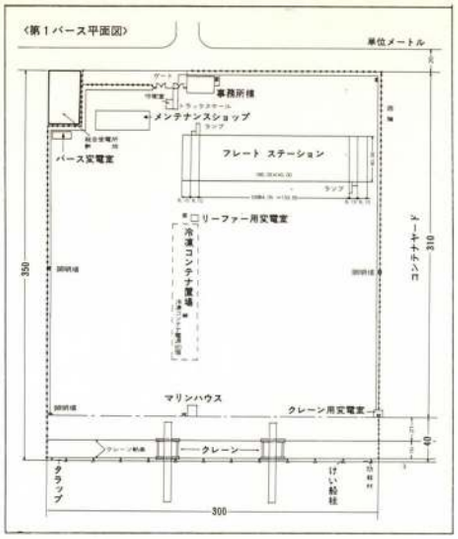
ポートアイランドは、港湾貨物の急増と海上コンテナー輸送の進展に対処するため、昭和41年から建設中の 436万m²の人工島である。一般外貿埠頭のほか、本格的なコンテナーターミナルが建設される。これら埠頭用地の背後には、広い港湾機能用地を設け、ここにトラックターミナル、荷さばき場、倉庫のほか港湾従事者、船員のための福利厚生施設が建設される。
またポートアイランドは、単なる港湾施設だけではなく、高層住宅、ショッピングセンター、学校、会社、公園なども建設され、都市と港とが有機的に結びついた、海に浮かぶ港湾都市の実現をめざしている。

計画内容
期　間　昭和４１年－５０年
事業費　1,114億円　国直轄事業　267億円・阪神外貿埠頭公団事業　383億円・神戸市事業 464億円
面　積　4,364,000 m²
　埠頭施設用地　1,313,000m²・港湾機能用地　1,100,000m²・都市再開発用地　1,119,000m²
　道路及び護岸　832,000m²
埠頭施設用地
　コンテナーバース９、水深－12m　延長 2,600m
　一般ライナーバース２１、水深－12m　延長 4,200m
港湾機能用地
　埠頭用地の背後に設け、倉庫、野積場等保管施設、厚生施設、港湾関連企業の用地、トラックヤードとして利用する。
都市再開発用地
　ビジネス街、商業用地、港湾海運従業員の居住地、学校、公園および市街地開発用地として確保する。
護岸その他
　防波堤延長　1,400m（６防1,050m、１防350m）、護岸延長　3,040m、物揚場延長　1,910m、船だまり　200,000m²等が設けられる。

神戸港ポートアイランド

1971. 5. 26 撮影

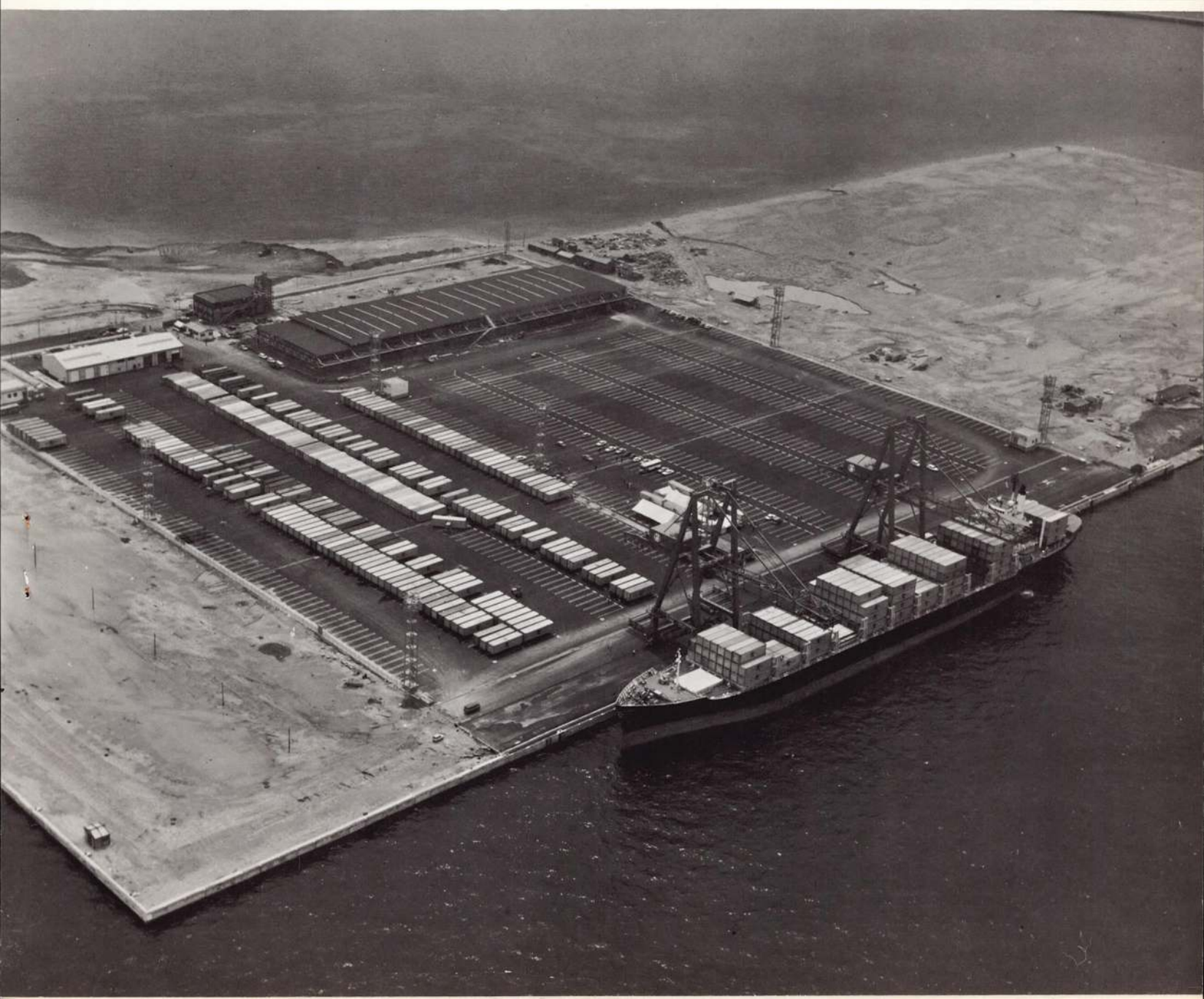




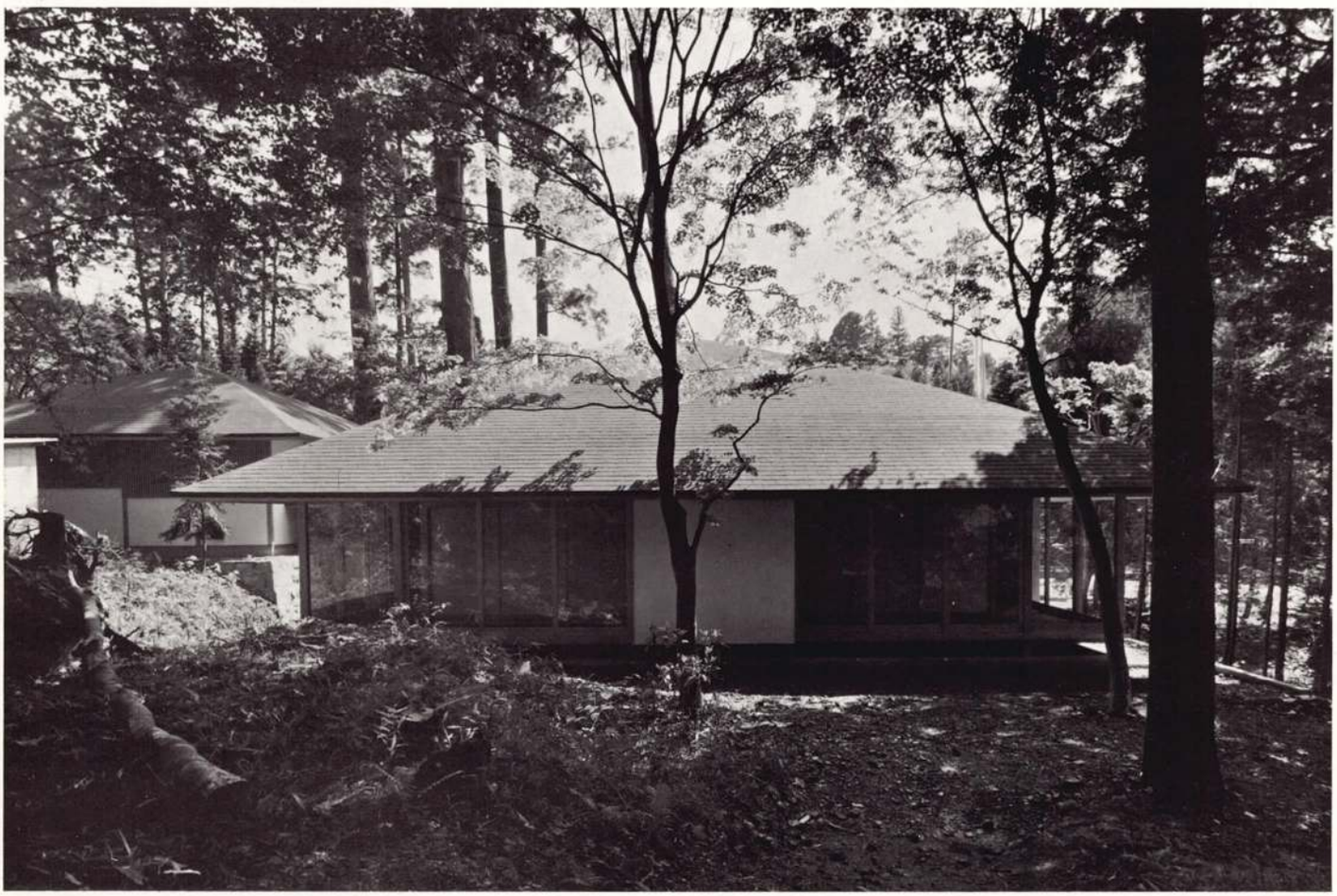
コンテナ埠頭第1バース

1970. 7. 10 撮影

フレートステーション・メンテナンスショップ・事務所棟・マリンハウス・変電室 施工 鹿島建設



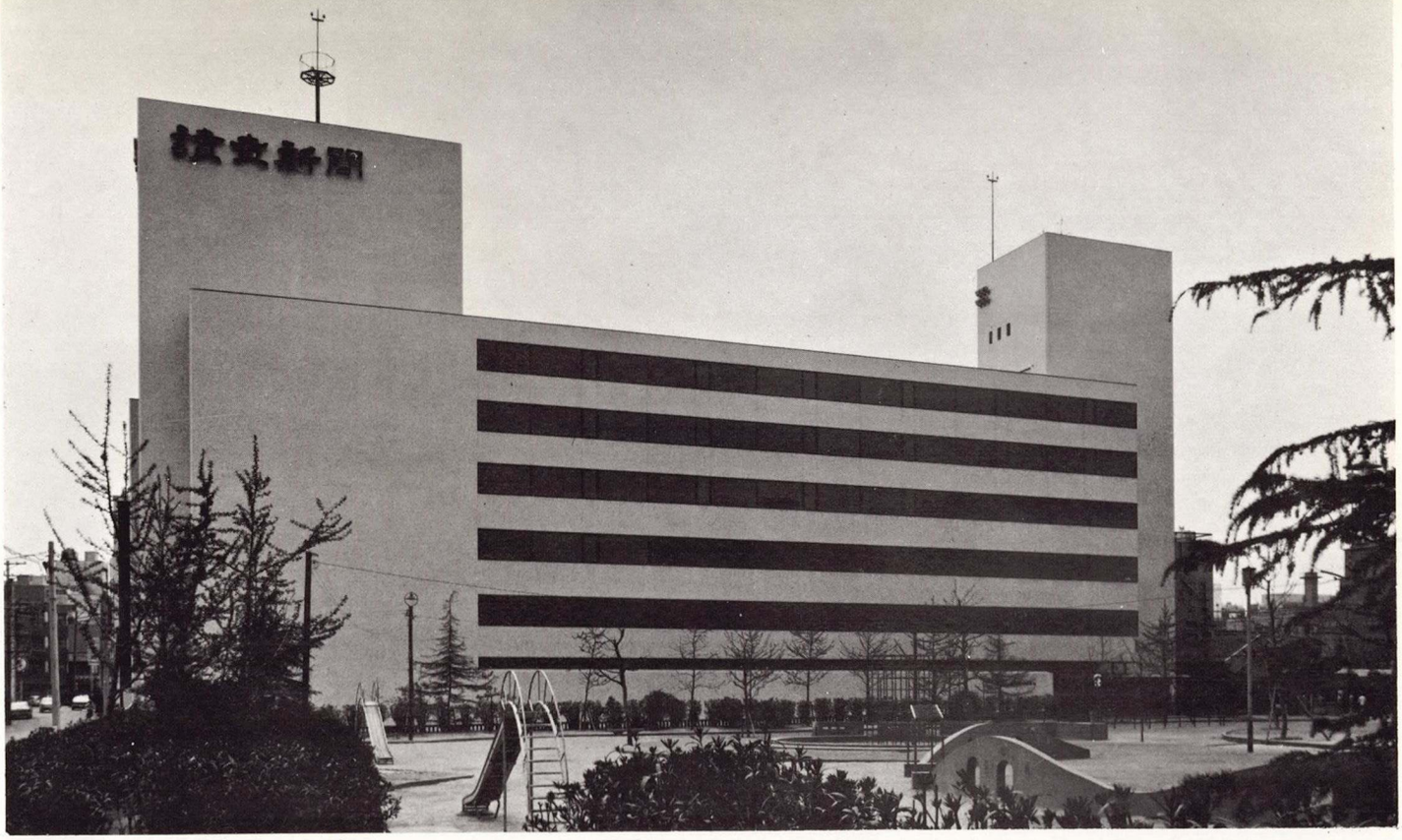


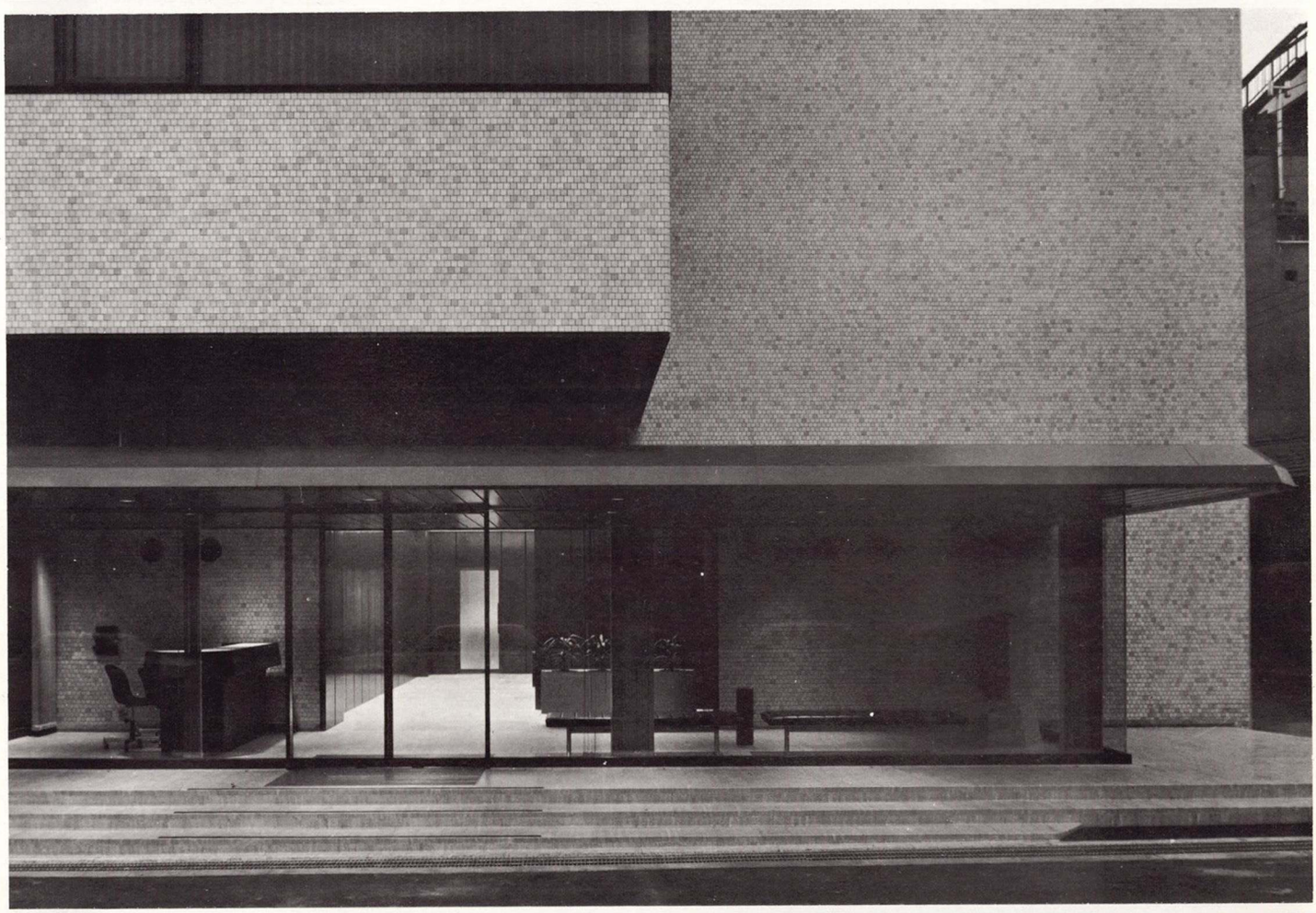


比叡山延暦寺横川中堂(復元)

設計施工　大成建設

所在地　大津市坂本本町字横川4225
建築面積　846.78m²
延面積　530.64m²
構造規模　S造耐火被覆、オールプレハブ式化粧
工期　昭和45年3月～昭和46年3月
(写真下・庫裡＝附属棟休憩所・木造)





読売新聞社大阪本社新館

施工　大成建設

設計監理	㈱日建設計
所在地	大阪市北区野崎町36
建築面積	2,569.67m²
延面積	28,200.27m²
構造規模	SRC造、B6、6F、P3 イコス工法
工期	昭和44年6月～昭和46年4月



設　計	㈱翼建築設計事務所
所在地	堺市上野芝町２丁１０３９
建築面積	1,617.098m²
延面積	3,652.102m²
構造規模	RC造、一部S造、３F、P１
工　期	昭和45年７月～昭和46年３月

堺市農業協同組合農業会館

施工　間組





設　計	㈱日　建　設　計
所在地	大阪市北区梅田町５２９
建築面積	1,713.440m²
延面積	18,237.659m²
構造規模	ＳＲＣ造、Ｂ３、９Ｆ、Ｐ３
工　期	昭和44年６月～昭和46年３月

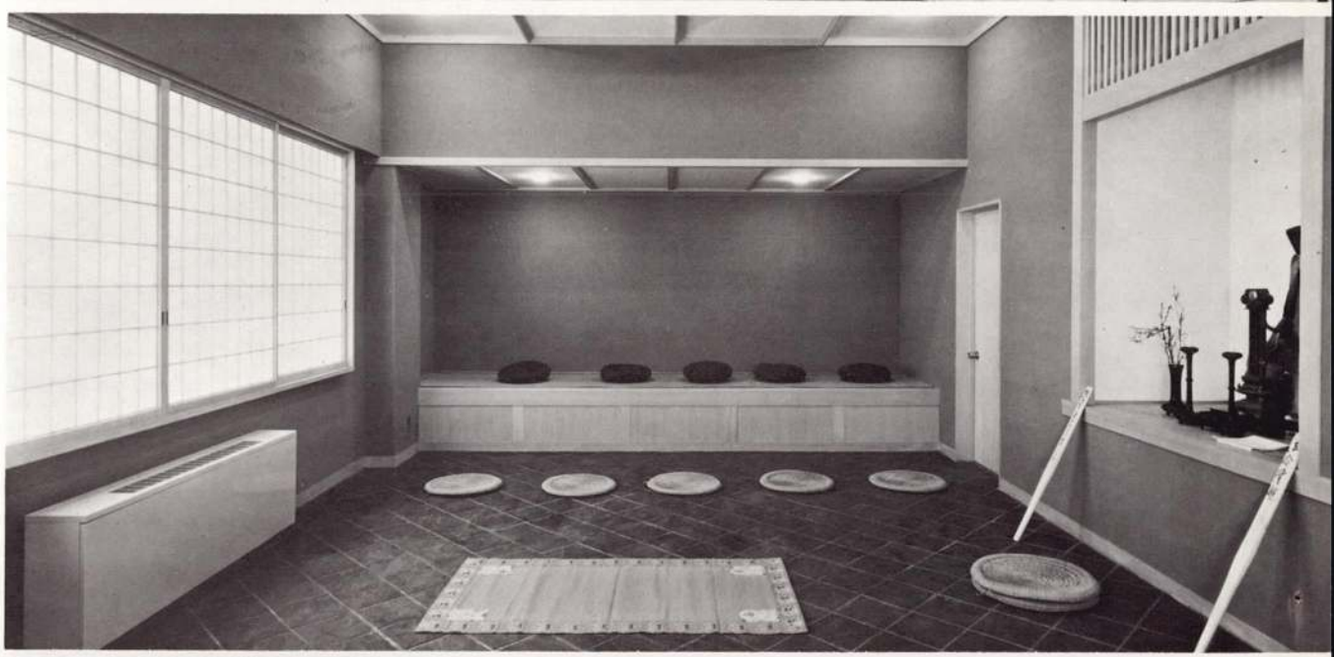
大弘ビル

施工　間組



青少年文化研修道場







施工　松村組

設　計
㈱足田設計事務所

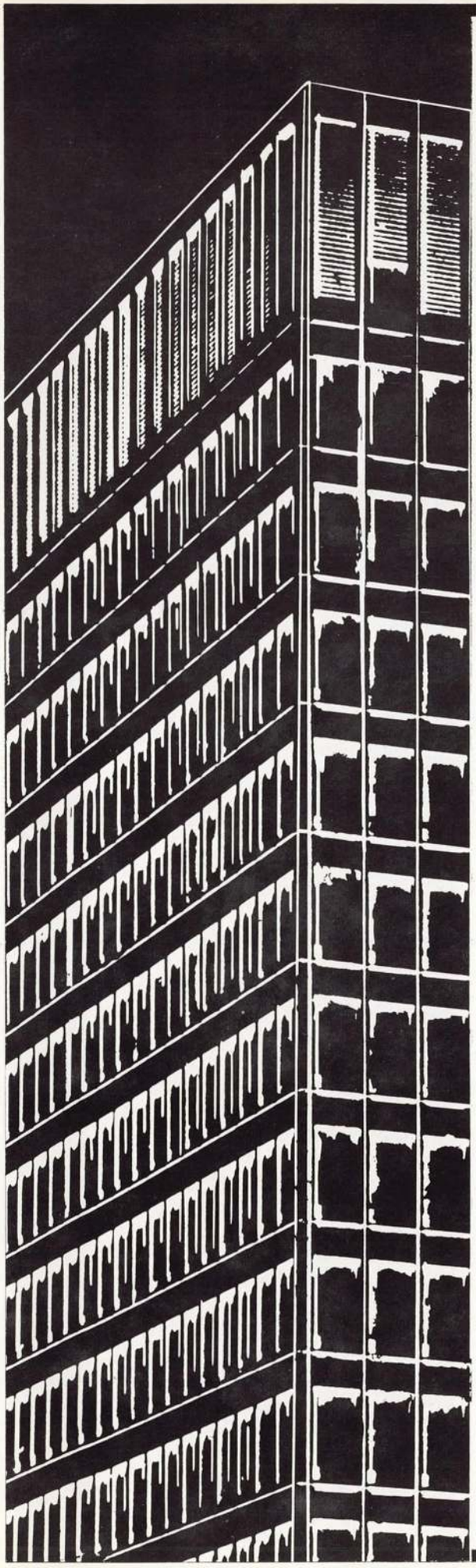
所在地
守治市五ヶ庄三番割
（黄檗山万福寺塔頭
緑樹院内）

建築面積
1,240m²

延面積
5,017m²

構造規模
ＲＣ造、Ｂ１、４Ｆ

工　期
自昭和45年６月
至昭和46年３月



成果多きカーテンウォール一〇年



住友商事ビル



大阪銀行本店

■カーテンウォールの主な納入実績

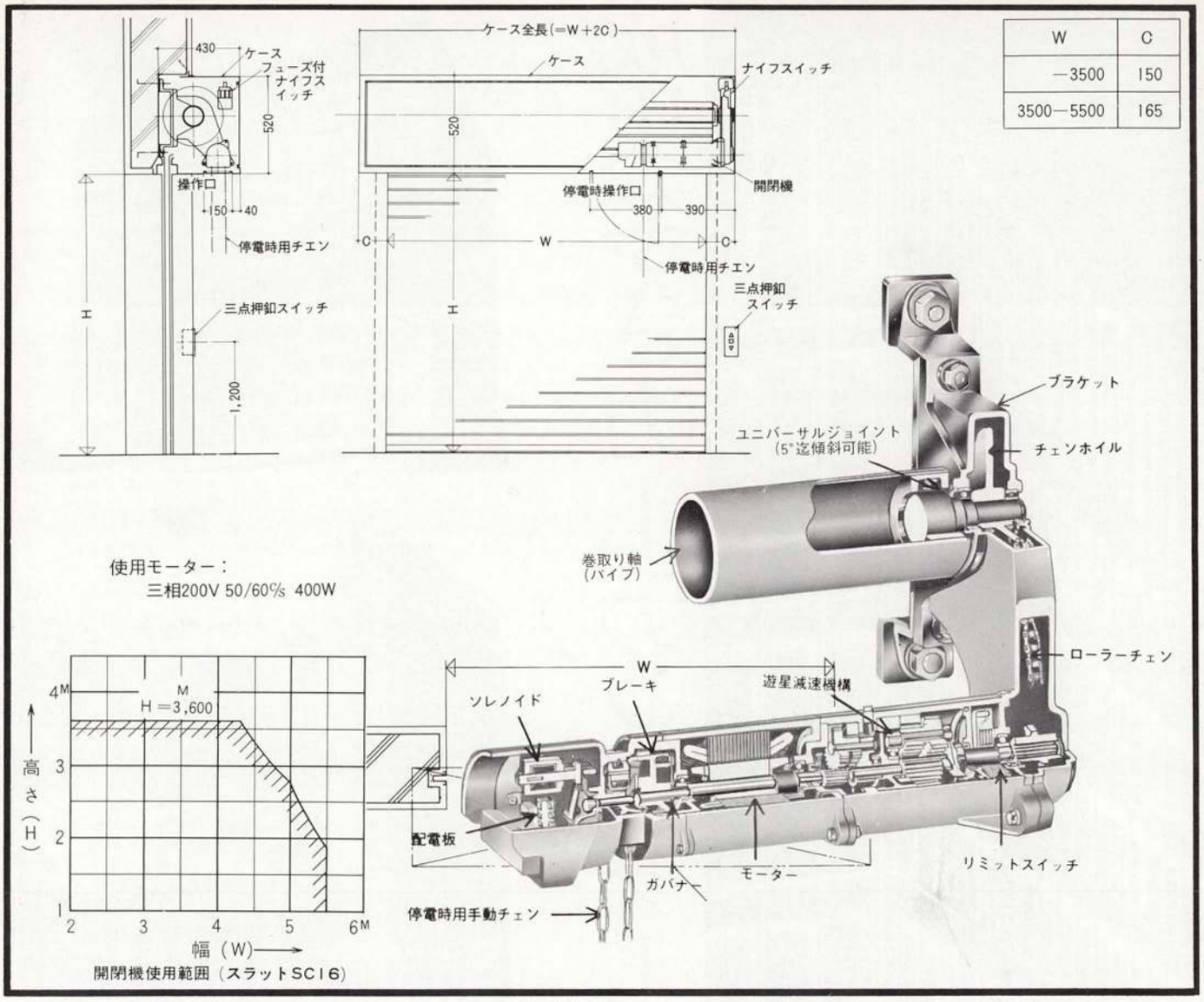
イケマンビル	（昭和38年）
大阪証券会館	（昭和40年）
京都産業会館	（昭和40年）
大松ビル	（昭和41年）
麻布ビル	（昭和42年）
大阪駅前市街地ビル	（昭和45年）
住友商事ビル	（昭和45年）
竹平加入電報電話局	（昭和45年）
大阪銀行本店	（昭和45年）
尼崎信用金庫	（昭和46年）

※住友商事ビル、大阪銀行本店のアチーブメントを本社技術部までご請求ください。

ダイケンサッシ株式会社

本社　堺市松屋町1－6
〒590　TEL（0722）38－1141（大代表）
東京支社　東京都千代田区岩本町1－11－2（三泉ビル）
〒101　TEL（03）861－9421（大代表）
大阪支社　大阪市東区南本町5－14（南本町ビル）
〒541　TEL（06）252－1881（大代表）

日本のシャッター界をリードする画期的新製品!!



W	C
—3500	150
3500—5500	165

使用モーター：
三相200V 50/60% 400W

開閉機使用範囲（スラットSC16）

L型 電動開閉機

出願中　特許　リミットスイッチ　ガバナー機構　手動機構　実用新案　巻取り軸との連結機構　およびL型機構　チエン収納箱

L型電動開閉機は、日本シャッター技術研究所において、長年にわたり、国立大学精密機械工学部諸教授の指導をあおぎつつ、当社技術陣が総力をあげて研究開発し、遂に従来の開閉機の概念を破って完成した画期的な新製品です。

この開閉機には独創に満ちた新機構が数多く取り入れられており(特許3件、実用新案2件を出願中)、減速機、モーター、ブレーキ機構、停電時用手動装置はもとより、リミットスイッチ、配電板に至るまで、すべてを一つの円筒内にコンパクトに納めてあります。

従って、建築設計上の納りが非常に簡単で、しかも、取付やその後の保守点検等も楽にできるよう考案されております。

これらの点から見て、従来の製品に比べ総ゆる点に秀れており、シャッター開閉機の決定版といえるでしょう。

●特長●

1. 開閉機を設ける場所の心配がいりません。
2. 凸部のない真直なシャッターケース。
3. 袖壁は不用です。
4. 減速機構はすべて完全密閉式です。
5. 小型で耐久力に富む減速機構。
6. 給油の必要がありません。
7. エンドレス強力ローラーチエンの内造。
8. リミット・スイッチを完全に内造。
9. 手動操作をひとつにしました。
10. ヒューズ装置の取付けが可能。
11. 一斉・両面・遠隔操作いづれも可能です。

株式会社 日本シャッター製作所

本　　社　大阪市東淀川区田川通6丁目38番地　電話㈹（301）3656
枚方工場　枚方市大字招提　大阪府中小企業団地内　電話(0720)(57)4535～6
東京工場　川崎市新丸子東3丁目1159番地　電話㈹中原（41）6325
名古屋工場　名古屋市中川区北江町2丁目12番地　電話㈹（361）7441
九州工場　福岡市粕屋町仲原釜屋2727番地　電話㈹（65）6131

営業所　仙台・東部・城西・横浜
静岡・北陸・神戸・岡山
高松・広島・北九州・大分
宮崎・鹿児島

◀「21世紀関西グループ」による＜21世紀の日本未来像＞講演会—第1回

共催　日本建築協会・大阪府建築士会
日本建築学会近畿支部

総理府が昭和43年に明治百年記念として「21世紀の日本—国土と国民生活の未来像の設計」論文を募集いたしましたが，これが入賞作が去る4月に発表されました。入選作3編，特別賞6編の内，関西よりの唯一の入賞作「21世紀にむかう国土と 都市の将来像」21世紀関西 グループ（代表責任者西山夘三氏）についての講演会を下記により開催いたします。関心を惹く多くの問題についての講演ですから何とぞ多数お誘い合せの上ご来聴下さい。

尚，本講演会は今後数回に亘って開催し，論文の内容についての講演を行います。何とぞご期待下さい。

日　時　7月13日（火）13.30→16.30
会　場　朝日生命ホール（電話 06-202-1371）
大阪市東区高麗橋5丁目50（御堂筋西側）
講　演
「21世紀の展望」　京都大学教授　工博　西山　夘三氏
「自然管理計画」　地域計画建築研究所　所長　三輪　泰司氏
定　員　450名
申　込　7月10日までに電話にて事業課へ願います。
（231—9640）但し定員に達し次第締切ります。
●当日，資料ご希望の方に「21世紀にむかう国土と都市の将来像」梗概を1部50円にてお頒けいたします。

◀大石寺正本堂建立工事の見学と富士五湖めぐり

創価学会の総本山大石寺正本堂建立工事は順調に進捗し，本年10月12日を以てコンクリート打を終り軀体完成式が挙行されます。雄大な富士山を背景に近代建築の技術を結集して，豪壮な大殿堂が造形されつつあるこの機会に見学会を催し，かたがた富士五湖めぐりを楽しみたいと思います。

ついてはこの工事を担当されている共同企業体作業所のご厚意とご歓待をうけて催すことになりました。奮ってご参加下さいますよう，お申込を待ちます。

日　時　8月6日（金）・7日（土）1泊2日（集合→6日10.55）
集合場所　新幹線「静岡駅」南口前・目標会旗
定　員　20名
会　費　7,000円（昼食・宿泊代その他雑費，ただし ホテル でいただきます）
申　込　往復はがきに限ります。はがきは1枚に1名限りとし，氏名・勤務先名および所在地・役職名・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を記入の上7月21日（水）までに事業課へ。ただし定員を 超過 したときは，抽せんにて 決定し，7月30日（金）までにご通知いたします。

行　程

〈第1日〉8月6日（金）
- 自由行動……新幹線往復共運賃は各自負担のこと
- 8.15 新幹線新大阪発こだま 114号→10.49 静岡着（運賃 2,660円）
- 11.00 出迎えのマイクロバスに乗車出発→富士宮市上条，大石寺作業所へ〔電話（05442）8—1293（代）〕
- 12.15→14.30 大石寺企業体工事事務所で昼食後，工事の見学
- 14.30 出発→白糸の滝→本栖湖→精進湖→風穴→
- 17.00 河口湖ホテル着・宿泊〔電話（05557）2—1313（代）〕
- 18.00→20.00 会食

〈第2日〉8月7日（土）
- 9.00→10.00 河口湖　湖上遊覧
- 10.00 出発→天上山富士見台→富士急ハイランド（昼食）→山中湖→
- 14.30 三島着・解散
- 14.57 新幹線三島発こだま 147号→18.00 新大阪着（運賃 3,110円）

工事概要
名　称　正本堂建立工事
建立地　静岡県富士宮市上条　日蓮正宗総本山大石寺内
施　主　正本堂建設委員会
設計者　㈱連合設計社　代表　横山　公男
構造担当　青木　繁研究室
設備担当　㈱桜井設備研究所
監理者　㈱連合設計社
施工者　正本堂建立共同企業体
大成建設㈱　㈱大林組　鹿島建設㈱
清水建設㈱　㈱竹中工務店　戸田建設㈱
工　期　昭和43年10月12日→昭和47年10月12日
面　積　敷地面積　137,120㎡
建築面積　39,368㎡
延床面積　35,155㎡
最高部　妙　壇　79,200m
構　造　RC造・SRC造

特色概要
民衆立の戒壇として近代建築の粋を集める大石寺正本堂は，大別して法庭，円融閣，思逸堂，妙壇の4ブロックに分れる。法庭は建物の前庭に，円融閣は信徒の待機する門に，思逸堂は信徒の整列する所に当り，妙壇はご本尊を安置する須弥壇を備えた信徒の拝礼する本堂である。

◀大阪市教育青年センターの見学会

日　時　8月13日（金）15.00（集合）→16.30（解散）
集合場所　東区法円坂町　近畿電々ビル東館，真向い同センター前・目標会旗（ただし市バス馬場町下車，NHKの南角車道を横断して東へ徒歩7分）
定　員　50名
申　込　往復はがきに限ります。はがきは1枚に1名限りとし，氏名・勤務先名および所在地・役職名・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を記入の上7月31日（土）までに事業課へ。ただし定員を超過したときは抽せんにて決定し，ご通知いたします。

建物の概要
所在地　大阪市東区法円坂町6—16
施　主　大阪市
設計・監理　大阪市建築局・㈱大阪建築事務所
施　工　㈱浅沼組
敷地面積　6,611.57㎡
建築面積　1.475.43㎡
延床面積　9,229.63㎡
外　壁　PC版ミュールコート吹付・マーブルクリート吹付
工　期　昭和45年3月24日→昭和46年5月15日
A棟　教育センター部分
SRC造　地下1階・地上7階・塔屋2階　延 6,335.78㎡
軒高 26.67m　最高部 36.12m
B棟　青年センター部分
RC造　地上5階　延 2,373.68㎡
軒高 19.59m　最高部 25.95m
渡廊下
S造　107.83㎡

◀流通機構の未来をひらく 大阪紙文具流通センターの見学会

共催　日本建築協会・大阪府建築士会
日本建築学会近畿支部

日　程　時　8月20日（金）13.00（集合）→17.00（解散・難波）
集合場所　大阪，北区，中之島，中央公会堂西裏・目標会旗
大阪観光バス1台
定　　員　60名（本会割当　25名）
申　　込　往復はがきに限ります。はがきは1枚に1名限りとし，氏名・勤務先名および所在地・役職名・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を記入の上8月5日（木）までに事業課へ。ただし定員を超過したときは抽せんにて決定し，ご通知いたします。

建築概要
所在地　東大阪市長田文紙町1－1
建築主　協同組合大阪紙文具流通センター
設計監理　㈱安井建築設計事務所
㈱小河建築設計事務所
㈱中島建築事務所
施　　工　野村建設工業㈱　㈱奥村組　前田建設工業㈱
㈱森田組　㈱竹中工務店　日産建設㈱
敷地面積　50,120㎡
建物総面積　72,526m（共同施設　6,476㎡／組合員施設　66,050㎡）
構　　造　SRC造・RC造
工　　期　昭和45年9月10日→昭和46年3月31日

◀第8回「よろず相談住宅展」開催

住宅のよろず相談所を中心としたこの展覧会も今回で第8回を数え，下記のとおり開催することになりました。

会　　期　昭和46年7月15日（木）～20日（火）……6日間
会　　場　阪神百貨店8階催場
主　　催　社団法人　日本建築協会
後　　援　大阪府・大阪市・住宅金融公庫・日本住宅公団
内　　容　イ）住宅に関するよろず相談所
ロ）プレハブおよび分譲住宅会社の相談コーナー
ハ）新建材および設備の展示コーナー
ニ）住宅に関する資料の展示コーナー
ホ）モデル・ルーム
ヘ）あなたにもできる住まいの小修繕（実演）

会場内容の説明
住宅よろず相談所
第1部　住宅建築の設計，監理，施工，建設費，構造，材料，建築法規，宅地造成
増築，改築，模様替，防災，保全，補修，設備，住まいの工夫等の技術的相談
（日本建築協会住宅委員会委員全員が之に当る。）
第2部　府，市，公庫，公団，公社など公企業による住宅融資，賃貸，分譲及び宅地分譲の広報案内
（各官公庁の協力を得て担当者1～2名宛期間中派遣を受け，広報案内する。）
第3部　住宅に関する民事事件，司法手続，税金，住宅ローンなどに関する相談
（弁護士会，司法書士会，税理士会，税務官庁，銀行などの協力を得て期間中専門家の派遣を受ける。）

◀通常総会決議報告

昭和46年6月25日近畿建築会館において開催されました通常総会で，下記の議案がそれぞれ原案のとおり承認決議されましたので，ここに会告申しあげます。

1. 昭和45年度事業報告承認の件（別掲）
1. 昭和45年度決算報告承認の件（別掲）
1. 昭和46年度収支予算承認の件（5月号掲載）

以上

社団法人　日本建築協会　　会長　塚本猛次

◀作品作風欄掲載作品公募

このたび「建築と社会」編集委員会では，作品作風欄掲載作品を公募することになりました。皆様の積極的なご協力をお願いいたします。

募集要項

1. 趣　旨
日本建築協会誌「建築と社会」では，毎号「作品作風欄」において，すぐれた作品を紹介してまいりましたが，これらの作品の他にも，編集委員の目にふれない作品が数多く残されているものと思われます。
編集委員会では，作品作風欄掲載作品を協会々員のみならず，広く一般の建築家・技術者からも提案していただき，活動の領域をさらに拡げたいと考えております。
皆様の積極的なご協力により，建築を通じて広く社会に貢献しようとする本協会の活動が，より一層充実するものと期待しております。

2. 対象作品
原則として最近6カ月間に竣工した作品。

3. 掲　載
提出された資料を作品作風小委員会にかけて，掲載作品を選定します。なお選定もれの作品は本誌スケッチブック欄に掲載することがあります。

4. 提出資料
a）写真（モノクローム）キャビネ版数枚。
参考資料としてカラー写真を加えられてもかまいません。
b）基本設計図
c）建物概要　建築地・面積・各階主用途・構造・階数・設計者
施工者・工期他
d）設計意図　200字～400字程度

5. 提出期限　毎月15日（掲載月の前々月）

6. 提 出 先　大阪市東区北浜3－37
日本建築協会「建築と社会」編集部

◀ 昭和45年度事業報告書

自 昭和45年4月1日　至 昭和46年3月31日

1. 総　　会

(イ) **通常総会**

6月25日　於会館集会室　出席者　22名

議事(1)昭和44年度事業報告承認の件
(2)昭和44年度収支決算承認の件
(3)昭和45年度収支予算承認の件
(4)細則一部改訂（会費値上げ）承認の件

(ロ) **通常総会**

2月25日　於会館集会室　出席者　15名

(1)名誉会長推挙の件
(2)監事（1名）選挙の件
(3)本部所属評議員69名選挙の件
(4)補選本部所属評議員2名選挙の件
(5)役員重任承認の件

2. 評　議　員　会

(イ) **定時評議員会**

6月25日　於会館集会室
出席者　委任状共　72名

議事(1)昭和44年度事業報告承認の件
(2)昭和44年度収支決算承認の件
(3)理事1名補選の件

(ロ) **定時評議員会にかえて書面表決**

11月18日付をもって昭和46年度評議員選出数決定について文書によりお諮りした。

(ハ) **定時評議員会**

3月29日　於会館集会室
出席者　委任状共　85名

議事(1)評議員会議長及び副議長互選の件
(2)会長補選の件
(3)副会長2名選任の件
(4)理事21名選任の件
(5)役員重任承認の件
(6)名誉会長推挙の件
(7)昭和46年度収支予算承認の件

(ニ) **技術部門評議員会2回**

3. 理　　事　　会

(1)定例理事会　10回
(2)編集理事会　1回
(3)総務会計合同理事会　1回
(4)会計理事会　2回

4. 常　設　委　員　会

	委員会	幹事会 分科会	小委員会 打合会
(1)事業委員会	11回		40回
		座談会	2回
(建築3団体事業委員長打合会)			8回
(2)編集委員会	12回		37回
		座談会	1回
(3)教育委員会	2回		8回
(4)住宅委員会	8回		19回
(5)出版委員会	1回		9回
(6)法規委員会	3回		
3会合同法規委員会			7回
3会合同法規委員長会議			1回
(7)建材委員会	9回		

5. 特　別　委　員　会

	委員会	幹事会 分科会	小委員会 打合会
(1)表彰候補者推薦委員会	3回		
(2)建築データシート編集委員会	7回		10回
(3)お祭り広場等設置に関する検討委員会	2回		

6. 説　　明　　会

第1回実務に直結した建築工事別説明会

「住宅のユニットシステムについて」

1月27日　於大阪科学技術センター　180名

第2回実務に直結した建築工事別説明会

「住宅の電気・ガス熱源によるセントラルヒーテングについて」

3月5日　於大阪科学技術センター　168名

7. 講　　習　　会

やさしい建築の知識講習会

5月14日・15日
於大阪科学技術センター　192名

第21回建築工事実務講習会

自 6月15日　至 6月20日（6日間）
於大阪科学技術センター　158名

第22回建築工事実務講習会

自 6月27日　至 7月3日（6日間除日曜）
於大阪科学技術センター　196名

鉄骨構造設計講習会

8月20日　於大阪科学技術センター　346名
10月8日　於福岡市民会館ホール　251名
10月9日　於大分朝日生命ホール　149名

8. 関西都市・住宅会議

テーマ「地価の安定策を探る」

（建築8団体共催）

10月20日　於朝日生命ホール　200名

9. 若い会員の集い

「万博を終って」の座談会

ゲスト　西部　明郎氏
小北　博一氏
根津耕一郎氏

11月28日
於千里中央地区センタービル　25名

「都市と公園と人間」座談会

ゲスト　宮崎　研一氏

1月28日　於会館集会室　31名

10. コ　ン　ク　ー　ル

第16回工高生デザインコンクール

設計課題　「セカンドハウス」
募　　集　9月21日締切り
応募数　20校　133点
審査会　10月19日
入選作　10点（内最優秀作1点）

表彰式　11月14日

11. 会誌「建築と社会」

4月号＝設計のシステム化
5月号＝グッドデザイン運動
6月号＝高層建築問題
7月号＝欧米における契約
8月号＝建築家の課題と責任
9月号＝工事計画
10月号＝ディベロッパー
11月号＝第17回青年技術者
12月号＝山陽・山陰からの報告
1月号＝住宅—60年代の総括と70年代の展望
2月号＝都市エネルギと無公害化ビル
3月号＝建築基準法

12. 出　　版

建築データシート（創立50周年記念事業）
建築データシート編集委員会編
「建築と社会」附録として会員無料配布
91シート刊行（累計 587シート含改訂シート26）

鉄骨のデザイン
鉄骨のデザイン編集委員会編
1,000部（増刷）
B5版（187㎜×257㎜）特別上質紙 400頁
定価　2,500円　会員特価　2,200円

13. 見　学　会

京王プラザホテル建設工事の見学と新宿御苑の拝観
4月18日　24名

マンションおよびモデル住宅見学会
（八戸の里高層住宅，南茨木高層住宅，住まいのギャラリー（西宮北口）
（住宅委員会）
4月21日　23名

日本中央競馬会栗東トレーニングセンターと日本シルバークール滋賀工場見学会
5月16日　17名

山陽新幹線神戸トンネル布引工区と神戸港ポートアイランドその他見学会
6月13日　35名

本山アーバンライフ新築工事見学会
7月3日　31名

読売新聞大阪本社別館新築工事見学会
7月29日　27名

キリンビール京都工場見学会
8月8日　32名

サントリーウィスキー山崎工場見学会
9月5日　34名

関西電力喜撰山（揚水）発電所の見学と平等院の拝観
9月12日　15名

立川ブラインド工場と西明寺，多賀神社，彦根城見学会
9月26日　15名

N氏邸並びにO氏邸新築工事見学会
10月9日　25名

純木家具の大丸木工（株）寝屋川工場見学会
10月16日　31名

妙喜庵並びに水無瀬神宮の茶室見学会
10月24日　29名

大阪城公園と重文奥田，吉村両家住宅見学会
10月31日　30名

光悦寺の茶室見学会
11月7日　39名

朝日放送本社と大阪タワー見学会
11月13日　21名

修学院離宮拝観
11月13日　13名
11月20日　12名

信楽の近江化学陶器（株）のタイル工場その他見学会
11月28日　30名

PC工場とプレハブ集合住宅建築工事見学会
12月5日　61名

神戸三宮市街地改造事業の内第3地区1丁目東ビル「さんプラザ」新築工事見学会
12月12日　30名

大阪銀行本店新築工事見学会
（本会，大阪府建築士会，日本建築学会近畿支部と共催）
1月14日　175名

中津リバーサイド分譲住宅見学会
（本会，大阪府建築士会，日本建築学会近畿支部と共催）
1月20日　73名

ニチモ甲子園第6コーポラス新築工事見学会
2月5日　25名

ナショナルの住宅設備機器工場とショウルーム見学会
2月19日　38名

清酒白雪の新社屋と四季醸造工場の見学会
2月26日　49名

泉北高速鉄道と泉北ニュータウンの開発情況見学会
3月6日　55名

近畿大学創立45年記念事業として完成した新建築見学会
3月10日　45名

サントリー本社ビル新築工事見学会
3月19日　90名

14. 午餐会・懇親会

建築6団体会長・支部長懇談昼食会
4月8日　於日本板硝子本社　21名

役員・委員の見学と懇親会
京都清水焼団地・オリエンタルホテル見学後同ホテルにおいて懇親パーティー
4月11日　91名

台湾建築技師訪日団歓迎懇親会
4月17日　於ホテルプラザ　73名

建築6団体会長・支部長懇談昼食会
7月15日　於大阪ガスビル食堂　18名

台湾省建築技師公会訪日団歓迎午餐会
8月27日　於大阪ガスビル食堂　66名

建築8団体会長会
11月25日　於東京朝日新聞アラスカ　7名

会員忘年懇親会

12月17日　於太閤園　450名
建築6団体新年交礼会
1月4日　於大阪コクサイホテル 509名
創立記念日の集い
「記念講話・映画と祝賀パーティー」
3月30日　於大阪コクサイホテル 70名
3会役員春季懇親会
（本会，大阪府建築士会，日本建築家協会関西支部）
3月31日
於大阪商工会議所ニューコクサイ 32名

15. 展　覧　会

第7回よろず相談住宅展覧会
自 7月9日 至 7月14日（6日間）
於阪神百貨店8階催場
入場人員 約50,000人 相談件数 約1,500件
新しい建築写真展示窓
展示写真（2カ月毎に取替え）
(1)千里高層アパート
(2)大阪駅前市街地改造第1ビル
(3)船場センタービル
(4)千里中央地区地域冷暖房設備
(5)愛隣総合センタービル
(6)大阪大学吹田キャンパス

16. 意　見　書　提　出

建築基準法政令第1次案（集団規定）についての意見書を10月19日付で建設省建築指導課長及び市街地建築課長宛提出した

17. そ　の　他

(イ)他団体との共同活動
建築国際連絡協議会
日本万国博推進運動大阪連絡協議会
建築関係団体連絡協議会
建築業務基準委員会
(ロ)会館借入金の償還
日本建築学会に50万円のほか抽せんによって50万円償還
(ハ)会計監査
5月11日・12日の両日昭和監査法人公認会計士富島一夫氏によって昭和44年度の会計監査を受く

18. 本会が入会している団体

大阪商工会議所
関西経済連合会
大阪市街地再開発促進協議会
大阪住宅建設促進協議会
建築行政協会大阪市支部
日本コンクリート会議
建築関係団体連絡会
建築業務基準委員会
東区納税協会
建築国際連絡協議会
大阪府社会保険協会

19. 第2回　日本建築祭

（本会，日本建築学会，日本建築家協会，日本建築士会連合会，全日本建築士会，全国建築士事務所協会連合会，全国建設業協会，建築業協会共催）
7月23日・24日（2日間）
1. 大　会
7月23日　於日本万国博覧会お祭り広場
参加者　約4,000名
2. 懇親会
7月23日　於太閤園
参加者　約700名
3. 公開記念講演会
7月24日　於朝日生命ホール
聴講者　約500名
4. 記念出版
日本万国博建築写真集
（架構・空間・人間）
出版部数 30,000部
内 日本文説明のもの 27,000部
英文説明のもの 3,000部

20. 後援または協賛した会

第5回マイホームショウ
主催 住宅新聞社
自 4月14日 至 4月18日
於中央公会堂
「山留工事の安全に関する研究」発表講習会
主催 建築業協会
7月10日　於大阪府青少年会館
建築士のための設備基礎教室
主催 大阪府建築士会
自 10月23日 至 12月23日（延27日）
於日本経済新聞大阪本社新館
映画と新建材説明会
主催 日本建築材料協会
11月26日　於千代田生命ビル
建築基準法改正説明会
主催 大阪市
2月5日　於西成区役所
2月10日　於中央公会堂
新建築基準法による建築材料展
主催 日本建築材料協会
自 3月6日 至 3月12日
於大阪マーチャンダイズ・マートビル

21. 会　員　動　態

	年間入会	年間退会	年度末現在
正会員	694	547	5,757
団体会員	25	30	660
	(30口)	(44口)	(1,649口)
准会員	532	526	895

◀ 昭和45年度決算報告

一般勘定

貸借対照表

昭和46年3月31日現在

単位円

借方 科目	借方 金額	貸方 科目	貸方 金額
現金	197,998	基本金	609,560
普通預金	902,638	什器償却準備金	139,322
郵便振替	2,632	未払金	9,882,808
有価証券	20,000	前受金	987,500
会館勘定	440,000	仮受金	149,437
未収入金	2,829,685		
仮払金	38,206		
前払費用	2,083,735		
什器	789,390		
在庫図書	879,400		
前期繰越金	1,668,766		
収支勘定	1,916,177		
合計	11,768,627	合計	11,768,627

財産目録

昭和46年3月31日現在

単位円

資産之部		負債之部	
固定資産	789,390		
什器			
流動資産	7,394,294	基金勘定	748,882
普通預金	902,638	基本金	609,560
有価証券	20,000	什器償却準備金	139,322
郵便振替	2,632	流動負債	11,019,745
現金	197,998	前受金	987,500
会館勘定	440,000	仮受金	149,437
仮払金	38,206	未払金	9,882,808
未収入金	2,829,685		
前払費用	2,083,735		
在庫図書	879,400		
前期繰越金	1,668,766		
収支勘定	1,916,177		
合計	11,768,627		11,768,627

近畿建築会館特別勘定

貸借対照表

昭和46年3月31日現在

単位円

借方	勘定科目	貸方
	建築会館基金	6,639,116
16,933,740	建物	
	建物償却準備金	7,229,134
148,620	電話設備費	
1,399,835	什器	
	什器償却準備金	459,293
9,902	現金	
126,880	有価証券	
	一般会計勘定	440,000
	借入金	2,530,000
	未払償還金	520,000
	未払利息	127,500
	前期繰越金	724,716
50,782	収支勘定	
18,669,759	合計	18,669,759

収支内訳表

収入

昭和46年3月31日現在

単位円

費目	決算額	予算額	増△減
第二一般会計繰入金	2,600,000	2,600,000	0
貸室料	450,000	300,000	150,000
雑収入	19,860	120,000	△ 100,140
計	3,069,860	3,020,000	49,860

支出

費目	決算額	予算額	増△減
借入金利子	177,500	182,000	△ 4,500
電気料	164,929	135,000	29,929
瓦斯代	222,406	156,000	66,406
水道代	14,203	24,000	△ 9,797
借地料	724,228	725,000	△ 772
火災保険料	10,400	16,000	△ 5,600
公課	170,420	169,000	1,420
修理費	37,675	150,000	△ 112,325
給与	600,080	512,000	88,080
雑費	235,220	240,000	△ 4,780
建物償却金	587,000	587,000	0
什器償却金	176,581	90,000	86,581
計	3,120,642	2,986,000	134,642

差引不足金 50,782
前期繰越剰余金 724,716
差引 673,934……次期繰越剰余金

一　般　勘　定

収　支　内　訳　表

昭和46年3月31日現在

単位円

収入の部

科目	費目	決算額	予算額	増△減
会費収入	正会費	14,629,345	14,700,000	△ 70,655
	団体会費	8,173,794	7,800,000	373,794
	地方会費	796,550	840,000	△ 43,450
	准会費	1,260,650	1,260,000	650
	小計	24,860,339	24,600,000	260,339
事業収入	雑誌収入	15,210,440	17,000,000	△ 1,789,560
	講演講習会収入	2,788,760	3,340,000	△ 551,240
	集会収入	2,414,250	1,925,000	489,250
	約款売上収入	2,265,980	1,500,000	765,980
	図書出版収入	1,814,510	11,575,000	△ 9,760,490
	住宅相談所収入	4,947,660	3,800,000	1,147,660
	会員名簿収入	5,860,350	5,350,000	510,350
	データシート収入	30,616,596	31,900,000	△ 1,283,404
	雑	1,444,424	1,070,000	374,424
	小計	67,362,970	77,460,000	△ 10,097,030
雑収入		126,919	50,000	76,919
	収入合計	92,350,228	102,110,000	△ 9,759,772

支出の部

科目	費目	決算額	予算額	増△減
事業費	雑誌費	21,331,494	20,000,000	1,331,494
	講演講習会費	2,328,978	2,820,000	△ 491,022
	集会費	2,626,003	2,200,000	426,003
	図書出版費	1,232,102	9,400,000	△ 8,167,898
	調査費	130,290	200,000	△ 69,710
	住宅相談所費	4,184,143	3,600,000	584,143
	会員名簿発行費	5,666,185	5,000,000	666,185
	データシート出版費	30,528,664	31,492,000	△ 963,336
	雑	3,664,225	3,140,000	524,225
	小計	71,692,084	77,852,000	△ 6,159,916
会議費	総会評議員会費	315,481	200,000	115,481
	理事会費	71,498	80,000	△ 8,502
	部会費	0	50,000	△ 50,000
	常設委員会費	351,602	420,000	△ 68,398
	特別委員会費	53,324	50,000	3,324
	小計	791,905	800,000	△ 8,095
支部費	支部交付金	683,913	560,000	123,913
	支部補助金	60,000	120,000	△ 60,000
	小計	743,913	680,000	63,913
事務費	電話料	518,671	420,000	98,671
	通信費	24,649	30,000	△ 5,351
	旅費交通費	465,350	480,000	△ 14,650
	集金費	1,359,122	1,170,000	189,122
	印刷物費	277,850	240,000	37,850
	文房具費	186,658	240,000	△ 53,342
	雑費	232,297	180,000	52,297
	小計	3,064,597	2,760,000	304,597
給与	給料	10,168,640	10,235,000	△ 66,360
	超勤手当	108,505	200,000	△ 91,495
	賞与	3,609,000	3,609,000	0
	小計	13,886,145	14,044,000	△ 157,855
厚生費	健康保険料	341,218	360,000	△ 18,782
	厚生年金保険料	299,263	222,000	77,263
	失業保険料	83,404	84,000	△ 596
	労災保険料	28,238	30,000	△ 1,762
	職員福利費	137,150	180,000	△ 42,850
	小計	889,273	876,000	13,273
賦課金		67,900	60,000	7,900
会館勘定繰入金		2,600,000	2,600,000	0
退職手当積立金		481,700	800,000	△ 318,300
償却金	什器償却金	48,888	50,000	△ 1,112
予備費		0	1,180,000	△ 1,180,000
	支出合計	94,266,405	101,702,000	△ 7,435,595

差引不足金　1,916,177
前期繰越不足金　1,668,766
計　3,584,943……次期繰越不足金

暑中お見舞申し上げます

昭和46年盛夏　（50音順）

阿部貞市

株式会社　建材社　大阪支店　常務取締役 大阪支店長
大阪市北区中之島2丁目22　新朝日ビル
電話06(203)3721

浅野真澄

株式会社　浅野建築設計事務所　代表取締役
大阪市天王寺区城南寺町9の27
電話06(768)0201代・(761)7870
自宅・大阪市住吉区南住吉町2丁目103番地　電話06(691)2449

伊藤權治郎

株式会社　伊藤組　取締役社長
彦根市安清東町95番地　電話07492(2)3141代
自宅・彦根市本町2丁目1番9号　電話07492(2)0025

青盛繁男

青盛建材株式会社　取締役社長
広島市鉄砲町5番16号　電話0822(21)2281
自宅・広島市翠町1507の10　電話0822(51)6730

淺海正雄

淺海電気株式会社　取締役社長
大阪市北区老松町1丁目22　電話06(362)8701～8

伊藤三郎

大栄電気株式会社大阪支店　常務取締役大阪支店長
大阪市西区京町堀2の35　電話06(443)0631代
自宅・豊中市北桜塚3－8－7　電話068(54)7747

青柳不折

株式会社　岡本組　取締役社長
大阪市西成区玉出本通4丁目1番地　電話06(651)7775代
自宅・大阪市西成区玉出本通5丁目87　電話06(661)3370

東秀保

株式会社　東建築設計事務所　代表取締役
大阪市北区天神橋筋3の68　三海ビル
電話06(358)5598・3497
自宅・寝屋川市成田東町15の25　電話0720(31)3986

伊東正也

株式会社　伊東建築設計事務所　代表取締役
大阪市浪速区幸町通2丁目6番地　清光ビル
電話06(562)4343代・4344
自宅・西宮市松生町129番地の2　電話0798(22)3598

赤崎尚信

赤崎建築事務所　所長
大阪市西区立売堀北通1の90　第三富士ビル
電話　06(541)7625代
自宅・西宮市田代町9－4－503　電話0798(67)7129

網野栄

株式会社　研文社　代表取締役
大阪市北区堂山町66　電話06(361)2091代

伊藤高

株式会社　秦伊藤建築設計事務所　代表取締役
山形市七日町4丁目14－20
電話02362(31)3223・3224・3225

秋月正兵

有限会社　秋月建築事務所　代表取締役
和歌山市北坂の上町3　電話0734(31)0286
自宅・和歌山市北坂の上町3　電話0734(31)0286

荒木芳邦

株式会社　荒木造園設計事務所　代表取締役
池田市鉢塚2丁目8番21号　電話0727(61)8874代
自宅・池田市鉢塚2丁目9番8号　電話0727(61)8874代

井崎梁次

株式会社　井崎工務店　代表取締役
和歌山市北河岸4丁目1番地　電話0734(24)5195
自宅・和歌山市玉藻丁2丁目5番地
電話0734(22)0382

浅井貞治

株式会社　双星社竹腰建築事務所　代表取締役
大阪市北区堂島中2丁目37　電話　06(341)6671
自宅・芦屋市東山町213　ローズハイツ芦屋406号
電話0797(31)2339

伊藤喜三郎

株式会社伊藤喜三郎建築研究所　取締役社長
東京都中央区銀座7丁目9番17号　銀座ヤマトビル10階
電話03(571)6166～9
自宅・東京都品川区東五反田3の16の55　電話03(441)5437

井関章

フジタ工業株式会社　常務取締役広島支店長
広島市国泰寺町2の3の23　電話0822(41)4131代

淺沼猪之吉

株式会社　浅沼組　取締役社長
大阪市天王寺区東高津町8番地の1　電話06(762)0251代
自宅・奈良市学園南1丁目7番15号　電話0742(45)0681

伊藤鑛一

株式会社　伊藤建築設計事務所　代表取締役
名古屋市中区錦3丁目3－6　電話052(951)1110
自宅・芦屋市山手町69　電話0797(22)2163

井手正雄

社団法人　日本建築協会京都支部　支部長
京都市中京区押小路通柳馬場東入橋町645
電話075(211)2857
自宅・京都市中京区麩屋町通二条南入　電話075(231)1492

暑中お見舞申し上げます

昭和46年盛夏

（50音順）

井原　巖

井原築炉工業株式会社　取締役社長
大阪市大淀区天神橋筋9の8の1　電話06（372）3321
自宅・芦屋市東芦屋町5の1　電話0797（22）0270

井上　滉

株式会社大阪建築事務所　支所次長
大阪市西区京町堀2－75　電話06（441）9351
自宅・大阪市西成区松原通2－35　電話06（651）9901

井上浄夫

株式会社　井上浄夫商店　代表取締役
大阪市西区江戸堀1の101　電話 06（441）8531
自宅・西宮市甲子園三番町9の5　電話0789（41）4661

井上正一

名古屋建築設計事務所　所長
名古屋市中村区椿町4の28 国鉄会館内　電話052（571）1271 代
052（551）2025直通
自宅・名古屋市千種区下方町4の30　電話052（711）9400

井上久雄

株式会社 井上久雄建築設計事務所　代表取締役所長
大阪市西区京町堀1－38　千島ビル
電話06（443）7338代

井上福藏

株式会社　井　上　組　代表取締役
大阪市都島区網島町6番25号
電話06（351）0530・（352）4031～4
自宅・東大阪市東石切町6丁目4番4号　電話0729（81）2526

井上達明

井上達明建築事務所　所長
大阪市西淀川区竹島町3の24　電話06（473）1069
06（471）4871
自宅・大阪市西淀川区竹島町3の31　電話06（471）4871

飯田精次郎

共同設計株式会社　取締役社長
大阪市北区富田町9　電話 06（364）5836
自宅・豊中市本町2丁目2－24　電話068（52）5775

五十嵐　昇

（資）三共建築設計事務所　所長
名古屋市中区下前津町126　電話052（321）9591代
自宅・愛知県東海市名和町　名和住宅5－203
電話0560（63）1068

生島道春

日積工務株式会社　代表取締役
大阪市南区大宝寺町東之丁20番地　宇野ビル
電話06（251）3195

生田重政

日本建設株式会社　取締役社長
大阪市東区安土町4丁目5番地　電話06（261）7591～6
自宅・芦屋市朝日ケ丘町258番地の2　電話0797（23）0657

池田　昭

株式会社 池田宮彦設計事務所　代表取締役
大阪市南区瓦屋町三番丁68 オートセンタービル2階
電話06（761）0360
自宅・堺市東上野芝町2丁321　電話0722（52）7753

石井　郡

東洋基礎工業株式会社大阪営業所 取締役営業所長
大阪市西区京町堀1丁目156 中谷ビル　電話06（441）6678～9
自宅・大阪府豊中市新千里北町3丁目1番地
新千里北町第三団地C40の204　電話068（72）3050

石川寛三
石川　宏

石川建築事務所
大阪市天王寺区茶臼山111　電話06（779）9491～2
自宅・兵庫県宝塚市切畑長尾山2の317　電話0727（59）2663

磯道秀夫

太平建設株式会社　代表取締役
愛媛県松山市味酒町2丁目13番地17
電話0899（21）2023

泉治郎一

株式会社　熊谷組大阪支店 専務取締役大阪支店長
大阪市西区西道頓堀通2丁目1番地　電話06（538）1841

泉沢哲史

株式会社　泉沢建築設計事務所　代表取締役
大阪市東区瓦町5－42 新瓦町ビル
電話06（231）2064～5
自宅・豊中市東豊中4－2－14　電話068（55）5865

一宮能和

日泉化学工業株式会社　専務取締役
大阪市西区土佐堀通1丁目27番地
タケウチビル5階　電話06（443）2261代
自宅・神戸市灘区篠原南町2丁目3番24号　電話078（87）3479

市川繁雄

日本管工業株式会社　取締役社長
京都市南区西九条豊田町20　電話075（681）5101～5
自宅・京都市左京区下鴨芝本町37　電話075（781）0289

暑中お見舞申し上げます

昭和４６年盛夏

（50音順）

稲葉　重郎

建財設計工務株式会社　取締役社長
大阪市北区芝田町９７　電話06(372)5097
自宅・八尾市山本町南５－13　電話0729(22)3587

岩崎　弘

株式会社教育施設研究所大阪事務所　取締役所長
大阪市西区立売堀北通２の27　電話 06(531)0913
大信ビル２階３階　06(541)7301
自宅・奈良市法蓮立花町１０４６　電話0742(22)2283

牛場　栄一郎

株式会社　牛場建築設計事務所　代表取締役
大阪市西成区南吉田町３５番地　電話06(661)4847
自宅・大阪市西成区南吉田町３５番地　電話06(661)3636

指宿　真智雄

株式会社　建築デザイン1級建築士事務所　代表取締役
大阪市東区南本町4-47イトウビル　電話06(252)4905代
自宅・京都市左京区八瀬野瀬町54　電話075(781)6573

岩崎　善雄

恒和化学工業株式会社　取締役社長
大阪府豊中市豊南町南６丁目３番１３号
自宅・東京都大田区山王2の30-10　電話03(772)2651

内田　成之

須賀工業株式会社

今西　茂雄

株式会社　今西建築デザインルーム　代表取締役
大阪市西区北堀江通２丁目47番地　電話06(541)3051～2
自宅・大阪市西区北堀江通2丁目47番地　電話06(541)３０５４

岩下　久哉

鹿島建設株式会社大阪支店　次長兼技師長
大阪市東区瓦町５－71　瓦町ビル
電話06(203)3381代

浦野　三男

株式会社　浦野設計事務所　取締役社長
名古屋市西区山田町上小田井字中浦1254の５
電話 052（502）1991代
自宅・名古屋市西区山田町上小田井字中浦1254の５
電話 052 (502) 4501

今西　壽雄

株式会社　今西組　取締役社長
大阪市天王寺区上本町７丁目２番地の１　上六ビル
電話 06(772)1251
自宅・大阪府高石市羽衣2丁目4番1号　電話0722(61)1179

岩本　義心

野村建設工業株式会社　取締役社長
大阪市東区高麗橋２丁目９番地　電話06(202) 4791
自宅・大阪府八尾市山本町4丁目5番7号 電話0729(22)2908

浦辺　鎮太郎

株式会社 浦辺建築事務所　代表取締役
大阪市北区梅田八番地 新阪急ビル　電話06(341)1727
自宅・兵庫県西宮市甲東園１丁目７の８
電話0798(51)0389

今元　康彦

近畿電気工事株式会社　取締役副社長
大阪市北区南扇町11番地　電話 06(312)1281
自宅・豊中市北桜塚4丁目5番5号　電話068 (52) 5887

上田　良治

U．A　建築事務所　代表取締役
大阪市東区谷町5丁目30 新野村ビル　電話06(768)2941～2
自宅・寝屋川市本町１７の１８　電話0720(21)0320

江川　好巳

株式会社　山下寿郎設計事務所大阪支社　支社長
大阪市東区北浜５丁目11番地　電話06(231)4217・7321
自宅・芦屋市山手町16　電話0797 (22) 9269

岩崎甚太郎

社団法人　日本建築協会　参与
大阪市東区北浜３丁目37　電話06(231)9648代
自宅・兵庫県川西市花屋敷１丁目32の11
電話0727(59)9317

上蓑　義一

共立建設株式会社　大阪支店　取締役支店長
大阪市東区谷町５丁目30番地　電話06(761)0112
自宅・池田市天神１丁目６－３　平安マンション31号
電話0727(61)1455

榎　栄

東峰美術建築研究所
大阪府大東市赤井１丁目325の６　電話0720(72)1850
自宅・大阪府大東市赤井１丁目325の６　電話0720(72)1850

岩崎　徹

株式会社　岩崎建築設計事務所　代表取締役
本　社・奈良市法蓮立花町１０４６　電話0742(22)２２８４
奈良事務所・奈良市大森町農協会館4階　電話0742(23)1231代
自　宅・奈良市学園町北１丁目　電話0742(45)１５１３

上村　一

株式会社　一級建築士事務所京都建築事務所　代表取締役
京都市中京区三条柳馬場東入中之町10　電話075(211)0562
075(231)5681
自宅・西宮市五月ヶ丘３番５号　電話0798(34)4333

小川卯一郎

日本電設工業株式会社大阪営業部　取締役大阪営業部長
大阪市大淀区豊崎西通１丁目20番９号
電話06(372)3531代

暑中お見舞申し上げます

昭和46年盛夏

（50音順）

小　川　　正

株式会社　竹中工務店　常務取締役
大阪市東区本町4の27　電話06(252)1201

小　川　　実

社団法人　大阪建築設計協会　会　長
大阪建築設計監理事業協同組合　代表理事
大阪市西区土佐堀通5丁目58　ヤマタマビル
電話06(448)3329・4110
自宅・大阪市港区市岡1丁目1番26号　電話06(573)5831～5

小河吉之助

株式会社　小河建築設計事務所　代表取締役所長
大阪市南区瓦屋町4番丁8　電話06(763)2301代
自宅・寝屋川市東香里園町12丁目22－37
電話0720(54)0690

尾亀清四郎

株式会社　三晃空調　会長
大阪市北区富田町16　電話06(363)1371
自宅・枚方市岡山手町15の4　電話0720(41)3427

大井弘治郎

株式会社　大井建築設計事務所　代表取締役
大阪市西区京町堀1丁目76　福岡ビル
電話06(444)4521～2
自宅・箕面市百楽荘4丁目4－11　電話0727(21)4113

大澤幸平

大幸建設株式会社　取締役社長
大阪市西区西長堀北通1丁目5番地　電話06(538)0881代
自宅・豊中市玉井町1丁目8番18号　電話068(52)3237

大下繁樹

日成建設株式会社　取締役社長
広島市東白島町17の4　電話0822(28)0281

大下順三郎

平和建設株式会社　代表取締役社長
大阪市城東区関目町1丁目40番地　電話06(939)4741～5代
自宅・大阪市旭区新森小路中3の93　電話06(952)1240

大旗正二

協同組合広島県設計技術センター　代表理事
広島市横川新町7番3号　電話0822(91)7245

大林芳郎

株式会社　大林組　取締役社長
大阪市東区京橋3丁目75番地　電話06(941)0861
自宅・神戸市東灘区御影町御影字上の山1682の1
電話078(85)2501

大森久司

近畿電気工事株式会社　取締役社長
大阪市北区南扇町11番地　電話06(312)1281
自宅・奈良市今辻子町12　電話0742(22)2390

大山昭典

セメダイン株式会社大阪支店　支店長
大阪市南区大宝寺町東之丁41　電話06(251)3555
自宅・大阪市住吉区長居町東7丁目26
電話06(691)9002

岡田金次郎

株式会社久米建築事務所大阪事務所　取締役所長
大阪市北区堂島中1－23　堂島中町ビル
電話06(344)2096

岡橋作太郎

株式会社　日建設計　取締役副社長
大阪市東区横堀2丁目38番地　電話06(203)2361
自宅・芦屋市打出春日町156－1　電話0797(22)4500

岡本行善

株式会社　昭和設計事務所　取締役社長
大阪市西区西長堀北通1丁目8番地　四ツ橋ビル
電話06(532)0415
自宅・芦屋市朝日ケ丘町103番地　電話0797(31)3201

岡本一郎

株式会社　岡本建築事務所　所長
大阪市天王寺区東高津町12　電話06(768)2021
自宅・柏原市国分本町3丁目5－2　電話0729(78)6490

岡本全男

筧組建設株式会社　代表取締役社長
大阪市天王寺区東高津町14－5　電話06(768)1515～7
電話06(762)1753～4
自宅・大阪市西成区玉出本通1-37　電話06(661)3317

岡本美男

株式会社巴商会　常務取締役大阪支店長
大阪市北区堂島上2－38　電話06(344)1441大代
自宅・宝塚市南口1－4－18　電話0797(86)2909

奥野晴弘

株式会社　和光建築設計事務所　代表取締役
大阪市浪速区新川3丁目630　電話06(633)0141

折井隆博

松井建設株式会社大阪支店　支店長
大阪市北区堂島北町20　電話06(344)4135

海上靜一

株式会社　海上靜一建築事務所　代表取締役
大阪市東区博労町2丁目41番地　中博ビル4F
電話06(271)1149・(261)4428～9
自宅・大阪府堺市日置荘西町13番地2　電話0722(85)2120

暑中お見舞申し上げます

昭和46年盛夏　（50音順）

鍛治　延男

株式会社桂建築設計事務所　代表取締役
大阪市北区樋之上町3番地　電話06(364)0446
大阪市東住吉区矢田矢田部町中通1-5 長居東4-14
電話06(692)0865

川崎　軍一

近畿電気工事株式会社　広島支社　取締役支社長
広島市稲荷町4番1号　住友生命広島ビル
電話0822(62)1471
広島市守品御幸2丁目2番2号　電話0822（51）7535

柄谷吉太郎

株式会社　柄谷工務店　取締役社長
尼崎市玄番南之町4番地　電話06(411)1451
自宅・西宮市甲子園浦風町9の14　電話0798(41)0700

梶本秀尾

八千代電設工業株式会社　取締役社長
大阪市東区森之宮東之町392　電話06(941)6531代
自宅・堺市大美野107の4　電話0722(37)?548

川崎敬三

株式会社近畿建設　代表取締役
大阪市西区靱本町4丁目103番地　電話06(532)0081～5

神﨑吾明

株式会社神崎組　取締役社長
姫路市北条口86の3　電話0792(23)2021代
自宅・姫路市北条口62　電話0792（23）0210

嘉納伝三

三宝電機株式会社　取締役社長
大阪市北区絹笠町50　電話06(364)1471
自宅・芦屋市岩園町25番22号　電話0797(22)2191

川谷　勇

川谷建築設計事務所　自営
京都市左京区一乗寺清水町15　電話075(781)1148代
自宅・京都市左京区一乗寺清水町15　電話075(781)1148代

木下國男

株式会社内外写真　取締役社長
大阪市北区堂島北町16番地　電話06(345)9055代
自宅・豊中市北桜塚3丁目9番15号　電話068(53)0892

金光五郎

万年スレート株式会社　代表取締役
大阪市西成区千本通7丁目11番地 電話06(661)8181代

川延誠治郎

神鋼建材工業株式会社　取締役社長
尼崎市西向島町77番地　電話06(411)―1301代

木村謹次

株式会社木村工務所　取締役社長
大阪市南区南炭屋町38　電話06(271)5678
自宅・大阪市東住吉区平野元町7の14
電話06(791)0834

亀井晃治

一級建築士事務所
株式会社　A·R·I建築事務所　代表取締役社長
大阪市南区谷町8丁目8の2　久寿野木ビル
電話06(768)1405代
自宅・奈良市六条緑町1537　電話0742(45)2995

川中正道

三協アルミニウム工業株式会社大阪支店　取締役大阪支店長
大阪市西区靱1丁目123番地　近畿富山会館ビル
電話 06(443)9601～7
自宅・豊中市上野7丁目64－5　電話068(53)5915

清田文永

株式会社 梓建築事務所 代表取締役社長
東京都千代田区永田町2丁目14番2号
山王グランドビル5階　電話03(580)4411代

川口喜代枝

株式会社　篠田川口建築事務所　代表取締役
名古屋市東区富士塚町3丁目2番地　電話052(962)7581代
自宅・名古屋市千種区稲舟通2丁目7番地　電話052(751)2613

河井覚弘
前川敬蔵

株式会社河井前川建築事務所
本社・大阪市北区牛丸町65　小林商事ビル2階
電話06(372)8404代
分室・奈良市登美ヶ丘4丁目　電話0742(45)4378

工藤建夫
工藤哲夫

工藤雅三建築事務所
大阪市此花区四貫島大通2丁目12　電話06(461)0043
06(461)4198
自宅・大阪市此花区四貫島大通2丁目12　電話06(461)9293

川上慶次郎

株式会社鴻池組福岡支店　支店長
福岡市大名1丁目14番45号　電話092(75)7237
自宅・福岡市高宮1丁目13の12　電話092(53)9510

辛木貞夫

東海興業株式会社（大阪駐在）常任顧問
大阪市北区梅田町27 サンケイビル　電話 06(343)0451
自宅・芦屋市宮川町1の20　電話0797(22)0328

熊澤六朗

平和建設株式会社　常務取締役
大阪市城東区関目町1丁目40番地　電話06(939)4741代
自宅・吹田市内本町3丁目23番8号　電話06(381)0451

暑中お見舞申し上げます

昭和４６年盛夏

（50音順）

栗林　一勇

松尾建設株式会社 福岡支店　支店長
福岡市薬院露切町１１番地の２　電話092(52)6761
自宅・福岡市谷１丁目７番２０号　電話092(74)8378

栗林　一馬

栗林建築士事務所
和歌山市和歌浦鶴立嶋５２７　電話0734(44)3623

栗山　和三

株式会社 シエル石油大阪発売所　部長
大阪市東淀川区西中島町２―76　電話06(303)7131

桑田　正造

桑田硝子株式会社　取締役社長
神戸市生田区中野通３の５　電話078(732)6811代
自宅・神戸市長田区五位ノ池町３の３
電話078(62)3807

小泉　善重

株式会社　栄和設計事務所　取締役社長
大阪市福島区堂島浜通４丁目14　電話06(452)1651～3
自宅・大阪府羽曳野市高鷲７丁目３番11号　電話0729(55)4416

小坂　忠勝

株式会社　安井建築設計事務所名古屋事務所　常務取締役
名古屋市中区錦３の24の17　日生ビル　電話052(961)1861
自宅・名古屋市瑞穂区岳見町４の20の２　電話052(831)4459

小崎　修

株式会社　ミラノ工務店　取締役会長
京都市中京区夷川通河原町東入鉾田町310
電話075(231)0177
自宅・京都市左京区下鴨北園町63番地　電話075(781)0676

小島　勝己

有限会社 小島勝己建築事務所　所長
大阪市西区江戸堀北通２丁目23番地　日邦ビル
電話06(443)9127・0535
自宅・西宮市五月ケ丘６番３５号　電話0798(33)5120

小杉　茂治

シャープ株式会社　機器営業本部　企画部長
大阪市阿倍野区長池町22番22号　電話 06(621)1221
自宅・大阪府羽曳野市野々上5丁目6の7　電話0729(54)4488

小中村　繁次郎

富士建設機工株式会社　代表取締役
京都市南区東九条河西町27番地
電話075(691)0791～2・8224

小西　岬

株式会社　田中小西建築事務所　取締役社長
大阪市西区阿波座南通２の60　電話 06(532)4051代
自宅・大阪市東住吉区平野西脇町373の4　電話 06(701)0297

小林　清

株式会社 新　住　宅　社　代表取締役
大阪市北区常安町１７番地　電話06(444)4677
自宅・大阪市阿倍野区北畠3丁目1番7号　電話06(651)1594

小林　三甫朗

小林住宅産業株式会社　代表取締役社長
大阪市東区南久宝寺町５－18　電話06 (251)8371
自宅・箕面市栗生間谷2219　電話0727(29)2521

小林　清一郎

大同鋼板株式会社　取締役社長
尼崎市杭瀬字午新田２２番地　電話06(488)1181

小林　得志

株式会社　小林得志建築事務所　代表取締役
大阪市北区堂島北町２０番地　電話 06 (341) 5658～9
自宅・西宮市丸橋町６の１６　電話 0798 (66) 2394

小松　英二

東海興業株式会社　専務取締役
大阪市北区梅田町27　サンケイビル　電話06(343)0451
自宅・芦屋市東山町２１３番地　ローズハイツアシヤ
電話0797(31)0996

小向　正雄

株式会社 小向商会　代表取締役社長
和歌山市小松原通３の１　電話0734(24)6141
自宅・和歌山市大泉寺丁６　電話0734(22)7771

高武主計

コータケ建築設計事務所　所長
大阪市西区江戸堀５丁目155　新山越ビル２階
電話06(448) 2408
自宅・大阪市西区北堀江御池通り４の20　電話 06 (531) 2812

河内義就

有限会社　河内義就設計事務所　代表取締役
広島市上幟町２番３７号　電話0822(28)2271

鴻池藤一

株式会社　鴻池組　取締役社長
大阪市東区北久宝寺町４丁目27番地　電話 06(252)3100大代
自宅・京都市北区平野鳥居前町８６　電話075(461)1526

暑中お見舞申し上げます

昭和46年盛夏

（50音順）

雑賀孝夫

株式会社 雑賀建築設計事務所 代表取締役
和歌山市西汀丁1番地 電話0734(31)1371代
自宅・和歌山市小松原通5丁目1番地 電話0734(23)5888

斎藤博

株式会社 三晃空調 取締役社長
大阪市北区富田町16 電話06(363)1371
自宅・箕面市百楽3－4－2 電話0727(21)2341

品川二三男

株式会社 品川建築事務所 代表取締役所長
福井市順化1丁目1番19号 電話0776(22)6683
自宅・福井市田原2丁目28番5号 電話0776(23)3552

代表取締役 佐久間逸治
専務取締役 佐久間寛治

株式会社 佐久間逸治建築設計事務所
大阪市阿倍野区松崎町3丁目14の18 電話06(623)0691
自宅・大阪市阿倍野区共立通2丁目1番3号
電話06(651)4754

坂内幾男

坂内建築設計事務所 所長
大阪市西淀川区野里東3－13 電話06(472)0631

篠原忠治

飛島建設株式会社 大阪支店 常務取締役支店長
大阪市東区島町2丁目28番地の1
電話06(942)2481代
自宅・芦屋市平田北町21－1 芦屋第1ロイヤルマンション602号
電話0797(31)5404

佐藤音松

株式会社 今西組 取締役会長
大阪市天王寺区上本町7丁目2番地の1 上六ビル内
電話06(772)1251
自宅・芦屋市六麓荘町97番地 電話0797(22)2226

阪口重一

阪口建設株式会社 取締役社長
大阪市東区京橋3の68 北浜ビル2号館
電話06(941)8441～5

篠原太郎

株式会社なにわ建築設計事務所 代表取締役
大阪市西区南堀江通2の48 電話06(531)4428
自宅・箕面市箕面5－7－6 電話0727(21)3561

佐藤四郎

株式会社 大佛 取締役社長
京都市東山区今熊野大佛池田町9の9
電話075(541)3344代
自宅・京都市東山区今熊野池田町8の4
電話075(561)3725

笹川基

株式会社 笹川組 取締役社長
滋賀県大津市打出浜13番15号 電話0775(23)2314代
自宅・滋賀県大津市西ノ庄5番4号 電話0775(24)5145

渋谷幸雄

渋谷金属産業株式会社 取締役社長
大阪市南区鍛冶屋町52 電話06(211)7333
自宅・八尾市二俣2520の7 電話0729(22)8644

代表取締役所長 佐藤武夫
代表取締役社長 佐藤次夫

株式会社 佐藤武夫設計事務所
東京都港区南青山5丁目12番4号 電話03(409)2711代
自宅・東京都港区南青山3－8－38 青山マンション
電話03(408)6350
自宅・東京都世田谷区赤提1－16－13
電話03(420)5810

四方靖郎

四方設計工務株式会社1級建築士事務所
京都市伏見区深草関屋敷町32 電話075(641)6324
自宅・京都市伏見区深草芳永町666の28 電話075(641)3080

島田勢喜

西松建設株式会社 大阪建築支店 取締役支店長
大阪市東区釣鐘町2丁目...番地 電話06(942)1131代
自宅・豊中市永楽荘2－6－28 電話068(53)5379

佐野正一

株式会社 安井建築設計事務所 代表取締役社長
大阪市東区島町2丁目7番地 電話06(943)1371代
自宅・西宮市雲井町4の9 電話0798(22)1569

志賀信男

志賀設計株式会社 代表取締役
福岡市鳥飼5丁目20番11号 電話092(82)5631～4
自宅・福岡市田島友泉亭942の21 電話092(87)6110

清水章裕

須賀工業株式会社 福岡支店 支店長
福岡市千代栄町6の2 電話092(65)4731
自宅・福岡市高取2丁目5の16 電話092(82)1451

佐野春吉

森井電業株式会社 大阪支店 専務取締役
大阪市北区常安町16番地 電話06(443)8381～6
自宅・大阪市北区常安町16番地 電話06(443)8381～6

代表取締役 塩路惣吉
代表取締役 塩路寅雄

株式会社塩路建築事務所
大阪市南区塩町通り3の14 芦池ビル
電話06(251)3231
06(271)2495

庄野勝

不動建設株式会社 取締役社長
大阪市東区平野町5丁目30番地 電話06(201)1121代

暑中お見舞申し上げます　昭和46年盛夏　（50音順）

白井　周二
清水建設株式会社　代表取締役副社長（大阪駐在）
大阪市西区土佐堀通2丁目2番地
清水建設株式会社　大阪支店　電話06(443)5431大代表

瀬戸本典治
三建設備工業株式会社大阪支店　取締役支店長
大阪市都島区都島本通4丁目10番30号　電話 06(922)6251代
自宅・宝塚市御殿山2丁目19の1　電話0797(86)1437

田丸善則
株式会社 かねわ工務店　代表取締役
京都市中京区車屋町通丸太町下ル
電話075(241)2231
自宅・京都市中京区車屋町通竹屋町上ル
電話075(231)1033

白石登喜男
株式会社　藤木工務店
大阪市東区両替町1丁目13番地　電話06(942)1461
自宅・大阪市住吉区墨江中1の68　電話06(671)3792

錢高輝之
株式会社　錢高組　取締役社長
大阪市西区阿波座上通3丁目2番地　電話06(531)6431大代
自宅・大阪府高石市東羽衣1丁目7番55号
電話0722(61)0990

田中幸三郎
田中建設株式会社　取締役社長
大阪市天王寺区北河堀町54　電話06(771)2391代
自宅・大阪市阿倍野区阪南町5-9-24　電話06(622)0494

城口庸平
株式会社　大阪城口研究所　取締役社長
大阪市北区高垣町1番地　電話 06(372)7151代
自宅・神戸市灘区本山町岡本字中島214－6
電話078(43)1863

仙田四郎
関西煖房工業株式会社　取締役社長
大阪市住吉区万代東6の3　電話06(672)1281大代

田中政二
大島應用化学工業株式会社　取締役社長
東大阪市新庄114番地　電話06(782)4171代
06(782)6734
自宅・大阪市城東区野江東ノ町4の99　電話06(931)3506

須賀　孝
須賀工業株式会社　取締役社長
大阪市西区土佐堀通1丁目14

副島榮八
株式会社高村電機製作所　取締役社長
本社・大阪市北区河内町2丁目28番地
電話06(358)6351代～5
工場・大阪府八尾市佐堂町3丁目3番12号
電話　0729(99)0151代

田渕誠也
株式会社　田渕建築設計事務所　代表取締役
和歌山市下町19番地　電話0734(31)0261～2
自宅・和歌山市下町19番地　電話0734(31)0261～2

菅谷知巳
大阪電気暖房株式会社　取締役社長
大阪市西区江戸堀1丁目60番地
電話06(441)8231大代
自宅・名古屋市千種区山門町1－59
電話052(751)0559

田口信夫
株式会社　恵美須建設　代表取締役
京都市左京区浄土寺馬場町151
電話075(761)1151代
自宅・京都市左京区鹿ケ谷法然院町7
電話075(771)3543

高須洪一郎
株式会社　朝日工業社　取締役社長
大阪市東淀川区加島町357番地　電話 06(302)2271
自宅・西宮市甲子園町3番8号　電話0798(41)0494

杉村正三郎
阪急電気工事株式会社　取締役社長
大阪市東淀川区十三西之町3丁目34番地
電話06(302)0231

田賀　勉
株式会社 田賀建築設計事務所　取締役社長
大阪市西区北堀江通5丁目55番地　原田ビル
電話06(531)7193代
自宅・神戸市東灘区魚崎南町1丁目2番　魚崎コーポ2－1117号

高杉善久
株式会社 大成鉄工所　代表取締役
枚方市大字出口383番地　電話0720(31)7001代～8

隅田正美
第一工業株式会社　大阪支店　取締役支店長
大阪市北区富田町30番地　電話06(364)6661

社長 **田谷清三郎**
副社長 **宇田長未**
清光商事株式会社
大阪市西区西道頓堀通3丁目4番地　電話06(541)1661代

高橋浅一
五洋建設株式会社　大阪支店　常締取締役支店長
大阪市北区梅田町47（新阪神ビル4F）
電話06(345)0631

暑中お見舞申し上げます

昭和４６年盛夏　（50音順）

高　橋　慶　夫
株式会社　大阪建築事務所　取締役社長
大阪市西区京町堀２の75　電話06(441)9351
自宅・大阪市東淀川区相川中通2丁目2の4　電話06(328)0935

樽　田　光　男
島藤建設工業株式会社　支店長
大阪市北区茶屋町31番地2　電話06(372)6001代～4

千　原　弘　治
日本化成株式会社大阪営業所　開発部長
大阪市北区末広町17　ニュー大成ビル6F　電話06(312)6694代
自宅・堺市鳳北町６の３２４　電話0722(62)5834

高　木　茂　雄
高木建築デザインスタジオ　所長
大阪市南区心斎橋筋１丁目１の２　心一ビル
電話06(252)8355・8356
自宅・堺市南陵町３丁１２１の１　電話0722(41)0248

橘　春　重
橘　建　築　事　務　所　所長
大阪府東大阪市御厨１６　電話06(781)0937
自宅・奈良県生駒郡生駒町新旭ケ丘11番34号
電話07437(３)2401

塚　本　猛　次
株式会社　日　建　設　計　取締役社長
大阪市東区横堀２丁目３８番地　電話06(203)2361
自宅・宝塚市清荒神２丁目６の２７
電話0797(87)1940

竹　腰　健　造
株式会社　双星社竹腰建築事務所　代表取締役
大阪市北区堂島中２丁目37番　電話06(341)6671代
自宅・西宮市松園町７番２２号　電話0798(34)2650

橘　泰　治
共栄パーライト販売株式会社　取締役社長
大阪市東区森之宮西の町594番地　電話06(941)9243代
電話06(941)9243～7
自宅・堺市若松台２丁目26の３　電話0722(91)2267

辻　本　豊
辻本豊設計事務所　所長
和歌山市東長町中の丁12－３　電話0734(24)6346
自宅・和歌山市東長町中の丁12－3　電話0734(24)6347

竹　原　永一郎
株式会社伊東建築設計事務所　取締役
大阪市浪速区幸町２丁目６番地　清光ビル
電話06(562)4343代
自宅・豊中市蛍池西町1丁目1－4　電話068(55)0230

丹　司　徳　藏
アサヒ衛陶株式会社　取締役社長
大阪市住吉区上住吉町１　電話06(673)6001
自宅・大阪市住吉区粉浜東之町４丁目30番地

恒　成　一　訓
合名会社　つねなりすたじお　代表社員
大阪市東区北浜３の４０　電話06(231)0141・7781
自宅・豊中市玉井町２－８－20　電話068(41)2659

谷　口　尚　武
株式会社　大　林　組　専務取締役
大阪市東区京橋３丁目75番地　電話06(941)0861

知　見　義　夫
株式会社　斎藤省三商店大阪店　取締役支店長
大阪市西区土佐堀通１丁目１番地　大同ビル６階
電話06(443)3361代

津　村　芳　仁
オリエンタルメタル製造株式会社　取締役社長
尼崎市昭和南通り３丁目26番地（松本ビル）
電話06(412)5131
自宅・埼玉県大宮市高鼻町３丁目58
電話0486(41)0204

玉　置　巖
玉置建築設計事務所
大阪市浪速区西圓手町1009番地
電話06(562)1513．3355．3726
大阪市浪速区西圓手町1009番地
電話06(562)1513．3355．3726

地　頭　政　人
小俣シャッター工業株式会社大阪支店　取締役支店長
大阪市北区若松町30番地　電話06(364)4825・9004・9016

鉄　川　與八郎
株式会社鉄川工務店　代表取締役
本社・長崎市扇町１２－７　電話0958(44)0171
支店・福岡市平尾本町14番地の１　山本ビル
電話092(52)6631
自宅・長崎市樺島町７７　電話0958(22)2401

玉　置　彦　一
大阪建築設計監理事業協同組合　専務理事
大阪市西区土佐堀通５丁目５８　ヤマタマビル
電話06(448)3329・4110
自宅・大阪市港区市岡１丁目１番２６号
電話06(573)5831～5

千　原　大　五　郎
株式会社大阪建築事務所　常務取締役
東京都港区赤坂1の1の14　溜池東急ビル　電話03(583)8169代
自宅・神奈川県藤沢市鵠沼松ケ岡１の15の25　電話0466(23)3124

寺　嶋　末　男
日米パーテイション株式会社　常務取締役営業部長
大阪市西区本田２番町38　辰巳ビル
電話06(581)1131代

暑中お見舞申し上げます

昭和46年盛夏

（50音順）

寺田 徳重

大成建設株式会社 取締役
大阪市東区本町4丁目27 電話06(262)1131
自宅・大阪府箕面市桜井2丁目4－39
電話0727(21)4641

内藤 正克

株式会社 内藤建築設計事務所 代表取締役所長
兵庫県小野市上本町240の4小野ビル 電話07946(2)4757代
自宅・兵庫県小野市久保木町1063 電話07946(2)4668

中田 亮吉

株式会社 日本総合建築事務所 取締役社長
東京都渋谷区神南1の12の16 電話03(463)5020代

東畑 謙三

株式会社 東畑建築事務所 代表取締役社長
大阪市東区伏見町5丁目19 電話 06(202)0391
自宅・神戸市東灘区住吉町縄手下1680 電話 078 (85) 5043

中井 惣一郎

株式会社 中井總組 代表取締役社長
尼崎市常光寺元町1－3 電話06(481)5461代

中村 豊

株式会社 日邦建築企画設計 代表取締役
大阪市北区梅ヶ枝町114 関西ビル 電話06(362)1767・9637
自宅・京都市下京区七条通東堀川西入八百屋町12
電話075(371)2755

時山龍太郎

時山設計事務所 所長
大阪市北区曽根崎上2丁目21番地 美都ビル 電話06(361)6248
自宅・大阪市東淀川区三国本町2の127 電話06(393)9557

中川 匠

中川匠建築設計事務所 所長
大阪市北区浪花町38 新興ビル 電話 06(371)3651
自宅・宝塚市米谷石田18 電話0797(86)2391

理事長 **中村 文夫**
所長 **坂 静雄**

財団法人 日本建築総合試験所
本 所・大阪府吹田市藤白台5の125 電話068 (72) 0391
大淀分室・大阪市大淀区長柄西通2の35 電話 06(351)7217

富塚 卓三

東電設計株式会社 専務取締役
東京都千代田区内幸町2－1－1 飯野ビル内
電話03(501)2161代
自宅・東京都品川区上大崎2－6－22 電話03(441)1694

中川真佐吉

アポロ印刷株式会社 代表取締役社長
大阪市東区北新町2丁目7 電話06(942)2951～5
自宅・東大阪市森河内本通3丁目17 電話06(781)7995

永井賢城

株式会社 久米建築事務所 取締役社長
東京都港区西麻布1丁目13番11号 電話03(403)0251大代
自宅・藤沢市鵠沼海岸2丁目8の26 電話0466(36)7706

代表取締役 **富吉正治**
代表取締役 **白川一博**

株式会社 富吉白川建築事務所
大阪市西区南堀江通1－30 電話06(531)5450
自宅・奈良県北葛城郡河合村星和台1丁目6－12
自宅・池田市五月丘3丁目2番59－202

中川道夫

日研工業株式会社 代表取締役
大阪市北区大工町50 電話06(352)3035代
自宅・高槻市日吉台2番丁11－3 電話0726(82)5923

永田鼎三

大阪電気暖房株式会社 相談役
大阪市西区江戸堀1の60 電話 06(441)8231
自宅・豊中市上野6丁目27 電話068 (55) 3710

友田俊夫

友田工業株式会社 代表取締役
大阪市都島区都島中通3丁目3番6号 電話06(921)0331
自宅・大阪府北河内郡交野町私部2851
電話0720(91)5085

中澤誠一郎

株式会社 中澤建築事務所 代表取締役
大阪市北区富田町38 高橋ビル北5号館
電話06(363)3881
自宅・守口市滝井元町3の27 電話06(991)1848

長井誕

理研鋼機株式会社大阪支店 支店長
大阪市東区南久宝寺町4丁目7番地 三興ビル
電話06(245)0221代
自宅・宝塚市雲雀丘3丁目13－15 電話0727(59)8910

内藤一真

株式会社 竹内建築事務所 代表取締役
大阪市南区長堀橋筋2丁目35の1 日亜ビル 電話06(211)2706
自宅・大阪市阿倍野区王子町4丁目1番8の303号
電話06(623)7385

中原茂

株式会社 中原茂建築事務所 代表取締役
大阪市西区靱本町3丁目90番地 岡崎橋ビル
電話06(445)0039

成田辰美

日刊建設通信関西支社 常務取締役 支社長
大阪市西区京町堀1の68 電話06(444)4451
自宅・吹田市青山台C1－107 電話068(72)0995

暑中お見舞申し上げます

昭和46年盛夏

（50音順）

西嶋徳太郎

株式会社　大阪建築事務所　専務取締役
大阪市西区京町堀2の75　電話 06(441)9351
自宅・大阪府箕面市桜ヶ丘3の11の35　電話0727(21)2432

浜口幹三郎

株式会社　淺沼組　専務取締役
大阪市天王寺区東高津町8の1　電話 06(762)0251
自宅・奈良市南登美ヶ丘3336の7　電話0742(44)3237

樋口茂

株式会社　樋口鐵工所　取締役社長
大阪府大東市太子田3丁目3番69
電話0720(71)1781代
自宅・大阪府大東市諸福2丁目2番9号
電話0720(72)3306

根津耕一郎

株式会社根津建築事務所　代表取締役
大阪市東区安土町2－15　佐々木ビル5階
電話06(262)0595
自宅・宝塚市川面6丁目19番10号　電話0797(86)7862

原精一

甲南建設工業株式会社　代表取締役
大阪市東淀川区十三西之町4丁目3番地5　電話06(302)1551代
自宅・西宮市名次町12番9号　電話0798(22)1504

彦谷邦一

株式会社　彦谷建築設計事務所　代表取締役
大阪市東区高麗橋2－39　柳湖堂ビル2F
電話06(231)2810・7634

野崎謙三

株式会社　山下寿郎設計事務所　取締役社長
東京都中央区八丁堀2－7－1　大石ビル
電話03(552)8311代
自宅・東京都文京区本駒込1-10-10　電話03(941)8747

原田重信

原田セメント化工株式会社　取締役社長
大阪市此花区朝日橋通2丁目13番地　電話06(462)1212代
自宅・尼崎市塚口町3丁目41　電話06(421)4518

平田作太郎

株式会社平田タイル　代表取締役社長
大阪市西区阿波座中通1の5　電話06(532)1234
自宅・京都市下京区綾小路大宮東　電話075(801)1806

萩正勝

株式会社萩建築設計事務所　代表取締役
東京都目黒区青葉台2－20－14　電話03(719)1734代
自宅・東京都目黒区平町1－16－6　電話03(723)1074

原田守蔵

原田今商事株式会社　代表取締役
大阪市西区西長堀南通3の8　電話06(541)7455直通・代
第2鶴崎ビル
自宅・大阪市天王寺区生玉寺町6番地の2　電話06(771)9792
夕陽ケ丘パンション

平川浩行

大阪化構材工業株式会社　代表取締役
大阪府八尾市弓削266の1　電話0729(49)4501代
自宅・大阪府八尾市大字服部川1224番地の3
電話0729(41)8829

橋本正二

鹿島建設株式会社大阪支店　取締役支店長
大阪市東区瓦町5－71　電話06(203)3381大代

林唯夫

株式会社昭和設計事務所　代表取締役
大阪市西区西長堀北通1丁目8番地 四ツ橋ビル
電話06(532)0415
自宅・吹田市青山台3丁目41－11　電話068(72)3608

廣野悦二

日亜金属興業株式会社　取締役社長
大阪市北区木幡町82番地　電話06(364)2771
自宅・芦屋市岩園町14番21号　電話0797(22)9101

橋本久清

吉野石膏株式会社　大阪支店　取締役大阪支店長
大阪市北区堂島浜通1－25　新大ビル
電話06(344)6691

伴秀雄

株式会社西原衛生工業所大阪店　取締役会長
大阪市大淀区中津南通4丁目11番地　電話06(458)3531

広谷嘉秋

合資会社　中建築設計事務所　代表社員
名古屋市中区西瓦町19　電話052(262)4411
自宅・名古屋市千種区月ヶ丘2丁目2の83　電話052(711)8010

長谷川幸雄

株式会社桜井建築設備研究所大阪事務所　取締役所長
大阪市西区靭本町1－50　第2富士ビル
電話06(443)7891
自宅・京都府乙訓郡向日町鶏冠井荒内35－26
電話075(922)6379

日名命雄

建築コンサルタント事務所関西　所長
大阪市東区安土町2の12　トヤマビル
電話06(271)4103
自宅・豊中市旭ケ丘9番64の1　電話068(56)0200

福田博臣

西日本建設業保証株式会社　取締役社長
大阪市東区上町5番地　電話06(762)5701

暑中お見舞申し上げます

昭和46年盛夏

（50音順）

福田朝生

株式会社双星社竹腰建築事務所 代表取締役
大阪市北区堂島中2丁目37番 電話06(341)6671代
自宅・西宮市甲子園砂田町2番8号 電話0798(48)0989

福中定三郎

社団法人 日本建築協会 常務理事
大阪市東区北浜3の37 電話 06(231)9648
自宅・枚方市香里園町26の68 電話0720(31)0549

福永薫

株式会社 福永建築設計事務所 代表取締役
大阪市南区順慶町通4の61 電話 06(251)3102・5189
自宅・大阪市南区順慶町通4の61 電話 06(251)3102・5189

福西清左衛門

株式会社福西工務店 社長
堺市浜寺石津町西4丁185－3 電話0722(41)1465
自宅・堺市浜寺石津町西4丁185-3 電話0722(41)2918

福頼圭藏

株式会社 新興建材工業所 代表取締役社長
大阪市西区南堀江通6の39 電話06(541)5757代
自宅・大阪市住吉区住吉町242の22 電話06(673)5120

福岡庄一郎

日本スタッコ株式会社 取締役社長
滋賀県甲賀郡石部町大字石部238番地
電話0748(77)3155代
自宅・京都市北区出雲路光ケ本町108～75
電話075(231)4987

船橋明

高砂熱学工業株式会社 大阪支店 取締役大阪支店長
大阪市北区梅田8 新阪急ビル 電話06(345)4521

藤井章

株式会社 藤井工業所 取締役社長
大津市本宮2の2の9 電話0775(23)0119代
自宅・京都市左京区松ケ崎泉川町23
電話075(781)5333

藤木鐵三

株式会社 藤木工務店 取締役社長
大阪市東区両替町1の13 電話06(942)1461代

藤田邦昭

株式会社 都市問題・経営研究所 代表取締役所長
大阪市北区太融寺町98の5 阪急東ビル
電話06(312)3918・5089

藤田隆志

広島県建築設計事務所協会 会長
広島市横川新町7番3号 電話0822(91)7245

藤村清一

株式会社 日新建築設計事務所 代表取締役
大阪市北区壺屋町1丁目66番地 電話06(352)6161
自宅・奈良市中山町937番地の37 電話0742(44)0201

藤本庄之助

株式会社 工盛社 代表取締役
大阪市城東区西鴫野6丁目43 電話06(961)4460
06(962)1288

藤原昇

株式会社藤原設計測量事務所 代表取締役社長
門真市末広町258の4 電話06(908)6041代
自宅・奈良市菖原町1106－51 電話0742(44)1505

古屋才兵衛

日新工業株式会社大阪支店 取締役支店長
大阪市東淀川区瑞光通4丁目30番地の2
電話06(329)7737代
自宅・和歌山市西小二里1丁目3番地 電話0734(44)5037

星廣文

平和建設株式会社 常務取締役
大阪市城東区関目町1の40 電話06(939)4741～5代
自宅・門真市城垣町12の16 電話0720(81)0667

星野健児

日生不動産株式会社 代表取締役社長
大阪市東区本町4丁目1 電話06(262)2841代

堀啓一

有限会社堀啓一建築設計事務所 取締役社長
山口県萩市大字川島338番地 電話08382(2)1547
自宅・山口県萩市大字川島338番地 電話08382(2)4674

堀元也

神戸材料株式会社 取締役社長
兵庫県土木用コンクリートブロック協会 会長
神戸市葺合区熊内町2丁目88 電話078(23)1421～3
自宅・神戸市長田区花山町1丁目79 電話078(69)8350

本沢平八郎

日東建設株式会社 大阪支店 取締役支店長
大阪市北区末広町12番地(新末広ビル)
電話06(351)0623
自宅・東大阪市友井418 電話06(724)4244

本庄弘樹

株式会社 三晃空調 専務取締役
東京都千代田区神田小川町2－1 電話03(292)7756
大阪市北区富田町16 電話06(363)1371
自宅・東京都杉並区久我山3丁目35－15
電話03(333)8843
自宅・箕面市桜ケ丘3丁目6－11 電話0727(21)2655

暑中お見舞申し上げます

昭和46年盛夏

（50音順）

代表取締役会長 **本田 史郎**
代表取締役社長 **鈴木 利定**
本田工業株式会社
大阪市北区芝田町65 電話06(372)0371代

松村 雄二
株式会社 松村組 代表取締役社長
大阪市北区空心町1の70 電話06(353)1131

水野喜一郎
水野建設株式会社 取締役社長
本社・京都市下京区西七条市部町77番地 電話075(312)0431代
自宅・京都市北区小山上花ノ木町45番地 電話075(491)4296

前野 慶太郎
株式会社 あめりか屋 取締役社長
大阪市北区常安町17番地 電話06(444)1501代
自宅・芦屋市翠ケ丘町4番18号 電話0797(22)2005

松本六郎
松本金物株式会社 取締役社長
大阪市天王寺区上綿屋町6 電話06(779)1581大代

南 長吉
斎久工業株式会社 大阪支店 代表取締役支店長
大阪市北区常安町11番地 電話06(443)5041

前原 明治
株式会社 前原設計事務所 取締役社長
岡山市富田町2丁目7－4 電話0862(24)1400
自宅・岡山市富田町2丁目7－4 電話0862(23)5340

丸山 信
株式会社 丸山建築事務所 代表取締役
東京都港区北青山3丁目5番25号 電話03(401)2287・6703
自宅・東京都港区南青山3の11の1 電話03(401)3328

宮飼克二
社団法人 日本建築協会兵庫支部 支部長
神戸市生田区下山手通5丁目23 兵庫建設会館内
電話078(35)2800
自宅・明石市人丸町2の47 電話078(911)2298

松岡晃一郎
アイエム換気工業株式会社 代表取締役
大阪市浪速区芦原町1183 電話06(561)3901～3
自宅・堺市車之町東1丁2番9号 電話0722(38)2582

三上富三
株式会社 汎美建築設計事務所 代表取締役
京都市中京区御池通堺町西入御所八幡町225
電話075(231)4638・6472
自宅・京都市中京区御池通堺町西御所八幡町225
電話075(231)4638・6472

宮後 健
株式会社 宮後建築事務所 代表取締役
大阪市天王寺区上汐町6の35 電話06(772)0165代

松田昌平
松田順吉
株式会社 松田設計事務所 代表取締役
福岡市綱場町2番1号 明治屋ビル 電話092(27)7441
自宅・福岡市今泉1丁目16番5号 電話092(74)2497

三宅 晋
株式会社 入江三宅設計事務所 代表取締役
東京都港区芝西久保桜川町28
電話03(501)0286代
自宅・東京都世田谷区上祖師谷3－18－16
電話03(300)6830

村石秋吉
浪速合板株式会社 代表取締役
大阪市浪速区幸町3丁目2番地の1 電話06(561)2201代
自宅・芦屋市岩園町10番16の401号
電話0797(31)2643

松丸哲也
豊國建設株式会社 代表取締役社長
大阪市北区天満橋筋4－30 電話06(353)1001代
自宅・西宮市甲子園口北町20－21 電話0798(67)2787

三好幸男
第一建設工業株式会社 取締役社長
大阪市東区今橋1～2 電話06(203)2931

村川一雄
株式会社 パンデックス・ジャパン 代表取締役
本社・東京都中央区八丁堀2の27の10
東京建物東八重洲ビル 電話03(552)6954
関西営業所・大阪市北区伊勢町19の2
高橋ビル北2号館 電話06(312)5765

松村雄吉
株式会社 松村組 代表取締役会長
大阪市北区空心町1の70 電話06(353)1131

三輪泰司
株式会社 地域計画・建築研究所 代表取締役所長
京都市左京区下鴨上川原町69
（市電植物園前 富士ビル内） 電話075(711)2161
自宅・京都市伏見区桃山与五郎町1の4
電話075(601)3962

村田鞆二
明研化学工業株式会社 代表取締役
明石市藤江中谷町888番地 電話078(913)3456代
自宅・神戸市垂水区塩屋町西の田164
電話078(751)4186

暑中お見舞申し上げます

昭和46年盛夏　（50音順）

村田　隆次
安藤建設株式会社　大阪支店　取締役大阪支店長
大阪市西区江戸堀北通1丁目7番地
電話06(443)5561代
自宅・西宮市殿山町13番24号　電話0798(33)1861

安田　誠一
安田株式会社　会長
（旧社名　安田レール株式会社）
大阪市南区末吉橋通1丁目17　電話06(251)7091代
自宅・尼崎市南塚口町2丁目40−19　電話06(429)1555

山下　密男
合同特許建材工業株式会社　代表取締役
大阪市東住吉区駒川町3の54　電話06(702)7814 代
自宅・大阪市東住吉区田辺東之町3の193　電話06(621)9086

村本　豊嗣
村本建設株式会社　代表取締役社長
奈良県北葛城郡広陵町大字安部547番地 電話0745(52)6021

藪本芳一
藪本建築士事務所
和歌山市東長町10丁目13　電話0734(22)9930
自宅・和歌山市東長町10丁目13　電話0734(22)9930

山田新治郎
株式会社　山田建築事務所　代表取締役
大阪市北区万才町43 浪速ビル　電話06(312)0937代
自宅・摂津市千里丘5丁目9番21号　電話06(388)0119

室谷山水
室谷商事株式会社　取締役社長
神戸市生田区北長狭通4丁目1 英和ビル　電話078(33)0881
自宅・神戸市生田区山本通4丁目108の37　電話078(22)5050

山内栄一
近庄化学株式会社　代表取締役
京都市中京区四条大宮西入る壬生川角
電話075(821)2111

山田恒治
株式会社山田工務店　取締役社長
神戸市葺合区八雲通1丁目4番地　電話078(22)1013
自宅・神戸市兵庫区山田町上谷上字古々山29
電話078(581)2055

盛道雄
株式会社盛工務店　代表取締役
大阪市北区南森町47番地　電話06(364)1581代
自宅・宝塚市清荒神4丁目14−18
電話0797(86)2431

山尾勇
内外アスベスト株式会社大阪支店　取締役支店長
大阪市都島区善源寺2−3−14　電話06(922)1371代

山中茂一
栄興建築株式会社　取締役社長
大阪市大淀区中津浜通2−66電話06(671)5056代
自宅・大阪市東住吉区西鷹合丁3丁目21号
電話06(691)8771

八十島健二
株式会社　竹中工務店　常務取締役
大阪市東区本町4丁目27　電話 06(252)1201
自宅・西宮市甲子園2番町5の30　電話0798(41)0598

山口吾郎
不二建設株式会社　取締役社長
大阪市西区阿波座上通4丁目8番地　電話 06(541)5534代
自宅・宝塚市雲雀丘1丁目13番25号　電話 0727(59)2018

常務取締関西駐在
山田豊
常務取締役支店長
高木政夫
大日本土木株式会社　大阪支店

矢橋亮吉
株式会社矢橋大理石商店　大阪支店　代表取締役
大阪市東区高麗橋2丁目　野村ビル5階
電話06(202)4905

山口由美
神東塗料株式会社　取締役社長
尼崎市南塚口町6丁目10番73号　電話 06(429)6261
自宅・大阪府箕面市百楽荘3丁目4番18号
電話0727(22)2522

山本憲三
株式会社ヤマト電気商会　専務取締役
本社・大阪市北区西堀川町15　電話06(364)3056代

大和正信
株式会社　大和建築事務所　取締役社長
大阪市西区京町堀2丁目173　電話06(441)0741代
自宅・大阪市東住吉区平野野堂町367
電話 06 (709) 3928

山崎敏明
辰巳興業株式会社　取締役社長
神戸市生田区栄町通2丁目21番地　電話078(32)0655代
自宅・西宮市五月ケ丘5の7　電話0798(26)2763

山本進一郎
日鐵エコン株式会社 大阪支店　取締役支店長
大阪市東区平野町5丁目40番地　電話06(203)5371
自宅・吹田市垂水町1丁目5番28号 豊津マンション内

暑中お見舞申し上げます

昭和４６年盛夏

（50音順）

山本　成良

株式会社 香陽建築設計事務所　代表取締役
大阪市北区絹笠町13番地 絹笠ビル　電話06(363)1705

山本　徳三

株式会社 山本工務店　代表取締役
大阪市東住吉区田辺西之町２の81の３
電話06(628)7871～4代
自宅・大阪市東住吉区山坂町１丁目10番地
電話06(622)1871

山本　博三

朝陽電気株式会社　代表取締役
大阪市北区中之島3の3 朝日ビル内　電話06(448)1361
自宅・吹田市藤白台4丁目23番8号　電話068(72)9087

山本　良勝

佐藤工業株式会社大阪支店　常務取締役大阪支店長
大阪市東区北浜１－２５　電話06(203)7221

山本　禎彌

山本窯業化工株式会社　代表取締役
大阪府摂津市別府３６５　電話06(381)９１３１
自宅・大阪府吹田市南409の7　電話06(381)５１７１

湯浅　武夫

湯浅建築設計事務所　所長
大阪市東区南久太郎町３－32　マルイビル６階
電話06(245)0701
自宅・堺市浅香山町３丁１０　電話0722(32)8714

吉嶺　一徳

吉嶺汽罐工業株式会社　取締役社長
大阪市東区安土町４丁目10番地 ホースビル
電話06(271)8731
自宅・神戸市東灘区本山町岡本字梅ノ谷５番地の２
電話078(41)7774

吉村　幾蔵

株式会社 間組大阪支店　常務取締役支店長
大阪市東区横堀２丁目７０　電話06(203)2821
自宅・東京都北区西ケ丘１の２の13番地
電話03(900)0601

取締役会長 **吉田　信武**
取締役社長 **佐治　誠次**

株式会社 吉田建築事務所
大阪市西区北堀江上通３の22　電話06(538)2991代
自宅・吉田、大東市住道１丁目７－５
電話0720(72)0406
自宅・佐治、枚方市香里丘9丁目公団住宅D－30－205
電話0720(54)3283

吉田　廣助

株式会社ナニワ商会　代表取締役
大阪市天王寺区烏ケ辻町61　電話06(771)９１２５代
自宅・大阪市天王寺区烏ケ辻町60　電話06(771)９１２８

若林　繁吉

二葉屋装備工業株式会社　社長
大阪市大淀区本庄川崎町２丁目６番地
電話06(371)3321～３・3630
自宅・京都市東山区清水２丁目232番地　電話075(561)6283

鷲尾　健三

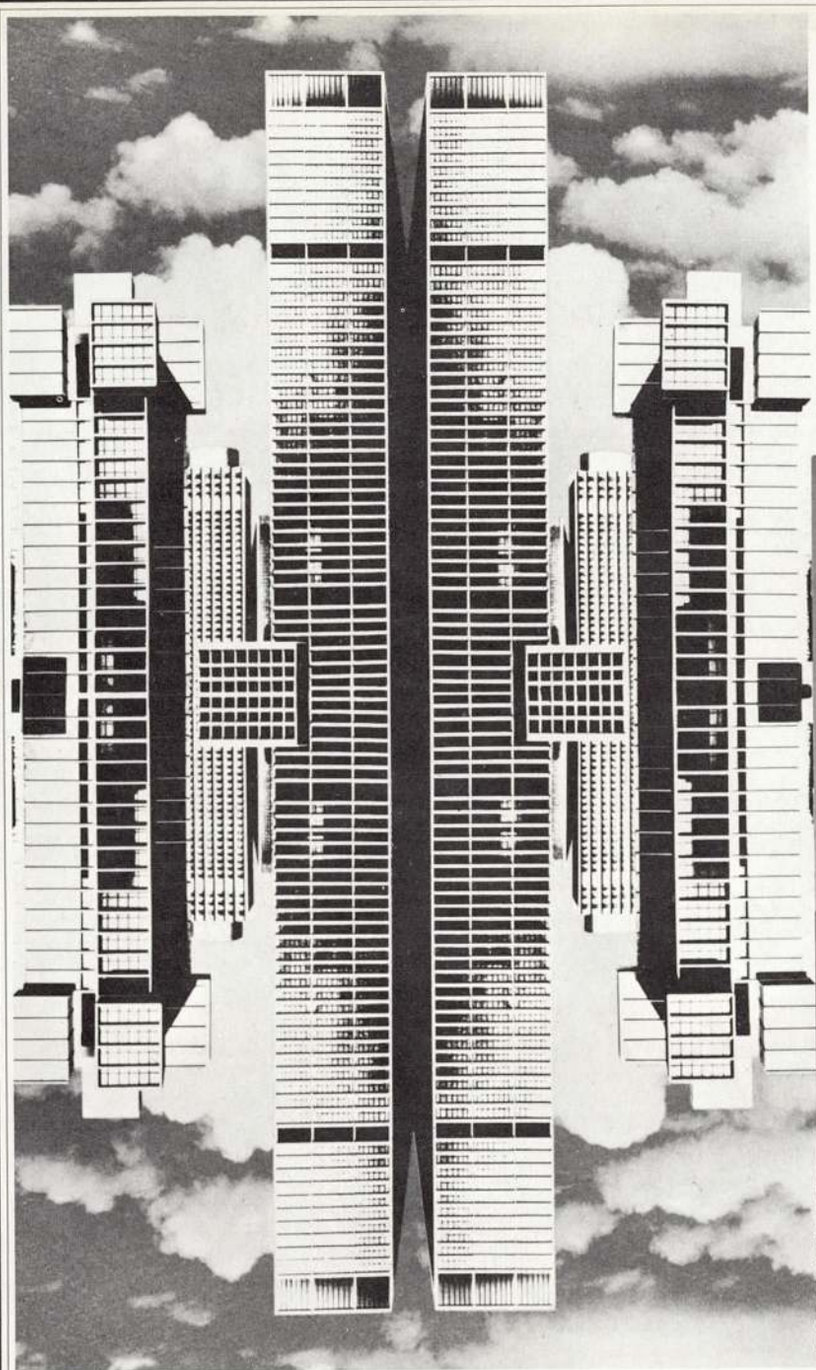
明石工業高等専門学校長
明石市魚住町西岡６７９　電話07894(６)0375～９

和田　滋

株式会社バンデックス・ジャパン関西営業所　取締役所長
大阪市北区伊勢町19－２　高橋ビル北２号館
電話06(312)5765

和田　眞一

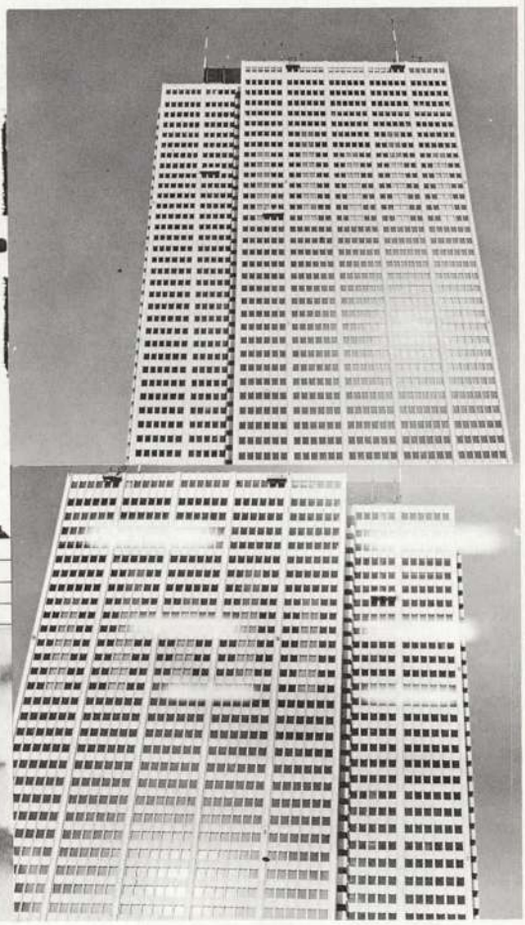
株式会社東　和　組　代表取締役
大阪市北区梅ケ枝町１７５　電話06(363)4051
自宅・芦屋市公光町３番８　電話0797(22)3282



都市を 自然を 演出する

新製品●熱線反射ガラス
スーパーサンゴールド®

写真・上■青空にそびえ立つKビルを直接見る．
下■スーパーサンゴールドの窓の反射でKビルを見る——青空もKビルも直接見たのと同じ色調で見える．反射像はガラスの色を帯びない．



スーパーサンゴールドは，表面の反射効果を強めた新しいガラスです．それは都市の，あるいは自然の景観を，そのまま美しく反映（リフレクト）することで，建築の外装に画期的な表現力を与える——いわば，演出するガラスです．

スーパーサンゴールドは，可視光線を27％も反射する性能をもっています．したがって日中，外部から見た場合，内部はほとんど見通せず，ガラス面には見る位置と角度によって，空，建築物，道路，樹木，そして太陽が映って見えます．しかもガラスの色を帯びることなく，被写体そのままの色調で映るのです．

〔なお，室内から外を透視した場合には，ガラスの色（ブロンズ系）を帯びます〕

スーパーサンゴールドのメリット

1．より積極的な反射効果・正確な鏡面効果
2．ゆがみのない反射像の連続が可能
3．熱線遮断効果はサンゴールド以上
4．板の厚さに関係なく色調が統一できる

厚さ■6，8，10，12mm

旭硝子

本　　社■東京都千代田区丸の内2−1−2（千代田ビル）
〒100 販売開発課TEL（03）218−5379
大阪支店■大阪市北区堂島船大工町53（毎日大阪会館）
〒530 TEL（06）346−1121



倉敷レイヨン中央研究所

●特許建築用内装・外装化粧材
砂粒状陶磁器の吹付

セラスキン

●建造物の内外部に!!
粉状陶磁器の吹付

セラコート

●粗粒状陶磁器の吹付

セラカット

セラスキンとは陶磁器の皮（CERAMIC SKIN）と云う意味で砂粒状の有色陶磁器と結合剤とを混合、液状としたもので、これをスプレー（コンプレッサー使用）ガンにて建造物の内・外、壁面、天井etc に吹付け、防水性と装飾を目的とする建材です。

特　徴

●色　彩	高熱焼成（1250℃－1350℃）にて発色した陶磁器を主材料にして顔料、色素を使用しない為雨風、太陽光線による色彩の変化は起りません。
●防水性	通気性、防水皮膜を形成します。
●耐薬品性	弱酸、弱アルカリに対しては変化を起しません。
●耐寒性	－20℃に4時間冷凍しても亀裂その他の異常は認めません。
●下　地	コンクリート打放し、モルタル、ベニヤ板、和壁、ブロック、スレート、テックス類etc. 鉄類の場合は錆止塗料を塗って下さい。

山本窯業化工株式会社

本社・工場／大阪府摂津市別府３６５　☎(06) 381－9131－5
東京営業所／東京都千代田区麹町３－６（藤井第２ビル）　☎(03) 265－8888－9
名古屋営業所／名古屋市中区栄３－２３－１４（山市ビル）　☎(052)262－6774－5
福岡営業所／福岡市博多駅前４－３－１４（菅原ビル）　☎(092) 43－６９４０
広島営業所／広島市中広町２－２０－９（みのるビル）　☎(0822)91－６２００
仙台出張所／仙台市上杉２－４－４６（森林会館ビル）　☎(0222)22－１２９９

法令コーナー

47

日本建築協会法規委員会

質疑などの投稿をお待ちしております。

建設業法の改正について

建設業法の一部を改正する法律が、昭和46年4月1日に公布となり、昭和47年4月1日から施行されることになった。建設業の経営の近代化、施工の合理化を図り、建設業の建全な発展を図るため、建設大臣が、中央建設業審議会に、昭和40年に、建設業法の改正を諮問してから、足かけ7年を経過して、ようやく陽の目をみたのである。以下、主要改正点について略述する。

主要改正点

〔Ⅰ〕許可制度の採用

建設工業の適正な施工を確保し、発注者の保護を図るためには、まず業者の資質の向上を図る必要がある。このために、現行の軽易かつ画一的な登録制度を許可制度に改め、施工能力、資力、信用のある業者に対してのみ営業を認めることとした。

(1) 許可の種類

(イ) 建設大臣の許可または都道府県知事の許可

2以上の都道府県の区域内に営業所（本店または支店もしくは政令で定めるこれに準ずるものをいう。）を設けて営業をしようとする場合にあっては建設大臣の、一の都道府県の区域内にのみ営業所を設けて営業をしようとする場合にあっては、当該営業所の所在地を管轄する都道府県知事の許可を受けねばならない。

(ロ) 28業種の業種別許可

次の28業種の区分ごとに許可を受けねばならない。

土木一式工事、建築一式工事、大工工事、左官工事、とび・土工・コンクリート工事、石工事、屋根工事、電気工事、管工事、タイル・れんが・ブロック工事、鋼構造物工事、鉄筋工事、ほ装工事、しゅんせつ工事、板金工事、ガラス工事、塗装工事、防水工事、内装仕上工事、機械器具設置工事、熱絶縁工事、電気通信工事、造園工事、さく井工事、建具工同、水道施工事、消防設設工事、清掃施設工事

(ハ) 特定建設業の許可または一般建設業の許可

発注者から直接請け負う一件の建設工事につき、その工事の全部または一部を、下請代金の額（その工事の係る下請契約が2以上あるときは、下請代金の額の総額）が政令で定める金額（1,000万円の予定）以上となる下請契約を締結して施工しようとするものは、特定建設業の許可を、それ以外のものは、政令で定める軽徴な建設工事のみを請け負うものを除き、一般建設業の許可を受けなければならない。

(2) 許可の例外措置

政令で定める軽徴な建設工事（建築一式工事にあっては 300万円未満の工事、または延面積が 150m²未満の木造住宅工事、その他の建設工事にあっては 100万円未満の工事の予定）のみを請け負うことを営業とするものは、許可を受けることを要しない。

(3) 許可の期間

許可の有効期間は、3年間である。

(4) 許可の基準

許可に際しては、経営経験、技術者の有無、財産的基礎等を審査し、特定建設業の許可に当っては、技術者、財産的基礎等の面において要件を厳格にしている。

(5) 経過措置

改正法の施行は、公布の日（昭和46年4月1日）から1年後とし、施行の日（昭和47年4月1日）現在において現行法による登録をうけている建設業者は、改正法の施行後2年間は、現行法の登録制度により営業ができることとなっている。

〔II〕請負契約関係の適正化

請負契約関係の適正化を図るため、建設工事の請負契約の締結に際しては、従来の建設業法においても、一定の重要事項は書面によって明らかにすべきものと定められていたが、改正法は従来の経験等はかんがみて、次のように整備した。

(1) 請負契約の内容

発注者は、工事内容、工期、天災不可抗力による損害の負担、物価の変動に伴う請負代金の変更等契約上の重要事項については、工事入札前または契約の締結前にその具体的内容を明らかにしなければならない。

(2) 不当に低い請負代金の禁止等

発注者は、自己の取引上の地位を不当に利用して、通常必要と認められる原価に満たない請負代金を定め、また、契約締結後、請負人に使用資材等を指定して購入させてはならない。

〔III〕下請負人の保護

建設工事の下請施工の実情にかんがみ、下請業者の保護を図るため、〔II〕において述べた事項のほか、次の規定が設けられた。

(1) 下請代金の支払

注文者から出来高払または竣工払を受けたときは、当該支払に相応する下請代金を1月以内に下請負人に支払わなければならない。

(2) 検査および引渡し

下請負人から工事完成の通知を受けたときは、20日以内に検査を行ない、完成を確認したときは、直ちに、引渡しを受けなければならない。

特定建設業者は、(1)、(2)の義務に加えて、さらに、次の義務を負うこととなる。

(3) 特定建設業者の下請代金の支払期日等

特定建設業者は、工事完成の確認後、下請負人から目的物の引渡しの申出があったときは、50日以内に下請代金を支払わなければならないものとし、この期間内に支払わなかった特定建設業者は、一定の遅延利息を支払わなければならない。

(4) 下請負人に対する特定建設業者の指導等

発注者から直接建設工事を請負った特定建設業者は、その工事現場内で作業をするすべての建設業者が関係法令の規定に違反しないよう指導管理に努めなければならない。

(5) 建設大臣または都道府県知事の特定建設業者に対する指導、助言および勧告

設建大臣または都道府県知事は、特定建設業者の請け負った建設工事につき、下請負人が賃金不払事件を起した場合または工事の施工に関して他人に損害を加えた場合において必要と認めるときは、当該不払賃金または損害金の立替払その他の適正な措置を講ずることを勧告することができるものとし、勧告に従わない特定建設者に対して、必要と認めるときは、監督処分を行うことができるものとした。

問題点

(1) 建設業者の育成、助成について

今回の法改正においても、建設業法が業界規制法であるという建前から、建設業者に対する積極的な助成措置が講ぜられていない。したがって、建設業法により、業界の資質の向上を図りながら、一方では、国および都道府県の積極的な業界育成助成措置が不可欠である。

(2) 許可制度の運営について

建設工事の適正な施工を確保するために、登録制度が許可制度に改められたが、国および都道府県における許可制度の運用如何が、今後の重要な課題となるであろう。

（大阪府建築部市街地建築課主幹　河島　潔）

おしらせ

法令コーナーでは、法令相談のコーナーも設けていますので、改正建築基準法についての質疑その他の建築法規に関する相談・質問などがあれば、編集部宛におよせ下さい。担当委員より、法令コーナー誌上でお答えします。

防水は建築技術とともに進歩しています。



新工法・省力化・工期の短縮などを
可能にしたまったく新しい防水仕様です。

現代建築の技術革新にはめざましいものがあります。たとえば超高層ビル一階層の工期——霞が関ビルでは28日だったものが、2年後の世界貿易センターでは22日、そして新宿の京王プラザビルではたった17日と短縮されています。こうした建築技術の発展とともに防水は進歩するものです。今までにも、たくさんの防水材料・工法が開発されてきました。

そして東西アス協組では、画期的な防水材料と防水工法の開発成功を期して、この4月、防水仕様が大きくかわりました。まもなく、みなさまのお手もとに、この「新防水仕様」を、お届けいたします。
ご期待ください！
なお、お問合せは資料請求券をそえて下記宛お申し込みください。

田島ルーフィング株式会社
本　　社　東京都足立区小台1-3-1　電話(03)912-1131(代)
神田営業所　東京都千代田区岩本町3・11・13　電話(03)862-8531(代)

田島応用化工株式会社
東京営業所　東京都千代田区岩本町3・11・13　電話(03)866-6101(代)
大阪営業所　大阪市西区京町堀1・74　電話(06)441-5951(代)

東日本アスファルト事業協同組合
東京都千代田区岩本町3・11・13　電話(03)866-6101(代)

西日本アスファルト事業協同組合
大阪事務所　大阪市西区京町堀1・74　電話(06)441-5951(代)
名古屋事務所　名古屋市西区桜木町3-8　電話(052)571-6361
広島事務所　広島市鉄砲町5番の16号　電話(0822)21-0266
福岡事務所　福岡市冷泉町5番7号　電話(092) 28-2807

請求券 建築と社会 7月号

建築と社会 ニュース

ニュース原稿をお送りください。

□関西経済の今後——住友銀行調査

住友銀行は5月27日、関西経済の発展方向を探る調査結果をまとめ発表した。

これは万国博の開催で経済的な地盤上昇のきっかけをつかんだ関西経済がこんごどのように発展するかについて ①関西経済圏の現状(人口、経済活動面、カネの流れなどからみたドーナツ現象) ②ドーナツ化がもたらした諸問題(生活環境の悪化、生産効率の低下) ③今後の発展方向(圏内の再開発とドーナツ外縁部の拡大、社会資本の整備とその社会開発効果)——などに分け、現状の分析と発展方向を調査したもの。

それによると、大阪市を中心とする関西地区では人口、経済活動のドーナツ化現象が半径25K圏を境にとまっているため、この圏内では工場と住宅の混在による生活環境の悪化や生産、流通機関の低下が目立っているという。こうした関西経済の過密状態を解消するためには、こんご、大阪都心部では卸売機能の整備や住宅の高層化で再開発を進める。そして都心に隣接した25K圏ではニュータウンや流通センターを建設し、交通網などを整備する一方、45K圏にも工場や人口を分散させるための工場団地や大型の住宅団地を建設して、関西経済のニュー・フロンティアの開発に積極的に取組むべきだとしている。

こうしたドーナツ圏の再開発とニュー・フロンティアの開発を有機的に結びつけていくためには社会資本の整備が必要だが、同行では地方自治体にはそのための巨額な資金を負担する能力がないので、こんごは国家の財政資金の導入をはかる一方、民間デベロッパーの資金を積極的に活用すべきだと訴えている。

関西経済圏の現状と発展予想図



□「平城開発センター」(仮称)設立

日本住宅公団大阪支所は27日起工する京都、奈良両府県にまたがった「平城ニュータウン」の中心部で、団地住民が共用するセンター施設やプール、資料館など娯楽、文化施設づくり、環境整備などの開発を進めるため自治体や民間の資金の導入も考えた「平城開発センター」(仮称)の設立の検討をはじめた。公団の団地だけを対象にした開発会社は東京の多摩ニュータウンにあるが、平城でできると関西では初のケースとなる。

平城ニュータウンは奈良市の中心部から西北約5㌔、同市歌姫町、山陵町などと京都府相楽郡木津町、精華町にまたがる丘陵地約610haを切開いてつくる。53年に完成すると18,800戸、約75,000人というマンモス団地になる。

開発会社構想はもともと鍵田忠三郎奈良市長の発案だが、公団がつくる意向を固めたのは①ニュータウンが二府県一市二町にまたがっていることから府、県、市、町の行政ベースでは住民サービスに不均衡がでるおそれがある②家を建てさえすればいい時期は過ぎ、住環境の整備が問題になってきているが、公団だけの手ではじじゅうぶんなことができない——などが大きな理由、という。

公団大阪支所の考えでは開発会社は多摩ニュータウンの新都市センター開発会社(資本金六億円、うち公団が二億円、残りを東京電力、日本不動産銀行、市中銀行などが出資)をモデルに公団が大半を出資、残りを関係市町などに出資を求めるというものだが、近鉄など民間企業にも協力を求めるか、などはこれからの課題。鍵田奈良市長はすでに出資の意向を明らかにしている。

事業としてはニュータウンの中心部にできる近鉄の新駅を中心に計画されたショッピング街の建設や経営、文化財関係の資料館、ホール、集会場を持つ住民センターづくりなどがあがっている。

しかし、開発会社による地区センターの建設、経営が住民の負担増を招かぬか、という反発もあり、また保守系首長の奈良県、市側と革新知事の京都府側の姿勢に違いがあるため、開発会社がスタートするまでにはなお曲折が予想される。

(朝日S46.5.27より)

□良環境の建築物の推進について

大阪市建築局長、徳山正文氏より標記周知要請があったので以下記します。

記

1. 本年1月1日より施行されています改正建築基準法において、用途地域制の純化、容積制の全面採用などと並んで、良環境の建築物いわゆる総合設計建築物に対して、容積の割増し、形態制限の緩和などの特例許可による優遇措置が規定されました。

   本市といたしましても、有効なオープンスペースを確保し、環境整備に多大の貢献をする総合設計建築物の積極的な推進をはかりたいと考えています。しかし、来春以降に予定されています新用途地域の指定がなければ、総合設計建築物に対する特例許可制度が発足いたしません。そこで、現行規定による高さ制限の特例許可、容積地区にこける容積割増しの特例許可を活用することは勿論、形態制限の緩和の扱いに関しては、現行規定に抵触する部分の工程が新用途地域の指定以降にわたる場合には、2段申請の便宜をはかることとしておりますので、積極的に総合設計として計画されるようにお願いいたします。なお、この場合には、全体計画について事前にご相談していただくようにお願いいたします。
2. 本市では、昭和39年に緑化百年宣言を行ない、緑化運動を強力に進めてまいっておりますが、その一環として建築物の緑化を要請してきております。そこで、建築計画にはできるだけ緑化を考慮していただき、とくに、総合設計によって生み出された空地空間はできるだけ緑化施設として計画されるようお願いいたします。

□新刊紹介

●「VERTICAL TRNASPORTATION FOR BUILDINGS」RODNEY R.ADLER著 228頁
¥9,180 発行:EIsevier Pubishing Company

●「CONCRETE IN THE GARDEN」
GERD DAUMEL著 63頁 ¥2,520
発行:Elsevier Pubilshing Company

●「Frank Lloyd Wright—his life, his work, his words」
発行:PITMAN PUBLISHING

●「関西の住い」発行:日本建築家協会関西支部
(TEL 768−2902)
頒価¥500

□明治建築土木史年表・関西篇(その46)

(明治11年11月9日)□

明治
11年11月9日 明治天皇。北陸、京畿、東海御巡幸より着京。諸官庁は休みとなり、昭憲皇后。英照皇太后は新橋駅まで。大臣・参議は神奈川駅まで出迎え。有位華族(正三位とか従四位とかの位を持つ華族。此の頃公候伯子男の五階級はまだ制定されていない。)は、皇后参賀を命ぜられる。

〃 〃 〃 西南戦争後薩摩地方には真宗の布教僧が多く出張して慈善事業につくしたので、帰依する者増え、県民からの寄附金四万二千円に達し、説教場もあちこちに建てられたという。元来此の地方では寺證文にも「切支丹又は門徒にては御座なく候」と書く程真宗信者は差別されていたという。

〃 〃 〃 横浜入港の汽船は着砲を一発放つ事になっていたが、長崎経由の船だけはすべて二発とすることにした。それを聞いて流行病検査の医師が出向くため。

(東京都北区神谷2ノ22ノ13 須藤欣二)

すぐれた居住性を創造する

軽量気泡コンクリート

シポレックス

SIPOREX



和歌山経済連センター・和歌山市
設計　㈱雑賀建築設計事務所
施工　大成建設株式会社
使用場所　カベ・マジキリ

軽量

比重0.5

コンクリート1/4の重量

断熱

コンクリートの10倍の断熱性

耐火

法定耐火材料

◆シポレックスは工場、住宅から超高層ビルまであらゆる建物の屋根・床・壁・間仕切・耐火被覆に使用されますが次の建物には特に最適です。

1　工期短縮を要するすべての建物
2　空調を要する工場・倉庫事務所住宅等
3　鉄骨大張間の工場・体育館等
4　軽量化を要する高層建築物・軟弱地盤の建物
5　鉄骨耐火構造の建物

シポレックス販売株式会社

本社・東京支店　東京都千代田区神田司町２－６（平沼ビル）
電話　東京（256）代表３４５１
大阪支店　大阪市西区立売堀北通１－90（第三富士ビル）
電話　大阪（538）代表０５２１
名古屋支店　名古屋市中村区広小路西通３－２（大商ビル）
電話　名古屋（581）代表７４２１

□ 写真と概要をどしどしお送りください。
凡例：a．所在地　b．建築面積　c．延面積　d．構造規模　e．工　期



667．白　山　病　院

設計：大　成　建　設KK
施工：大　成　建　設KK
a．大阪市東淀川区豊里町964番地の2
b．693 ㎡
c．2,261 ㎡
d．RC造、5F
e．昭和45年5月～昭和45年12月



668．名古屋港湾会館

設計：KK石本建築事務所名古屋支所
施工：KK鴻池組名古屋支店
a．名古屋市港区南倉町4丁目6番地
b．2,717 ㎡
c．8,702 ㎡
d．SRC造、5F、B1、PH1
e．昭和45年4月～昭和46年5月



669．福　岡　武　田　ビ　ル

設計：KK大　林　組
施工：KK大　林　組
a．福岡市下川端町9番12号
b．915.361 ㎡
c．9,824.359 ㎡
d．SRC造、9F、B2、PH3
e．昭和43年7月～昭和45年1月



670．住　友　銀　行　立　売　堀

設計：KK日　建　設　計
施工：鹿　島　建　設KK
a．大阪市西区立売堀上通2丁目1番地
b．616.17 ㎡
c．4,175.67 ㎡
d．SRC造、6F、B1、PH2
e．昭和45年2月～昭和46年3月



671．ライオン歯磨株式会社関西本社

設計：清水建設KK大阪支店
施工：清水建設KK大阪支店
a．大阪市福島区上福島北2丁目1の2
b．1,029.81 ㎡
c．5,387.716 ㎡
d．SRC造、7F、B1、PH2
e．昭和45年3月～昭和46年3月



672．道　野　ビ　ル　デ　ィ　ン　グ

設計：KK松村組本店設計部
施工：KK松　村　組
a．大阪市阿倍野区西田辺町1丁目144番地
b．352.175 ㎡
c．2,711.696 ㎡
d．RC造、6F、B2
e．昭和45年3月～昭和46年4月



673．国　立　泉　北　病　院

設計：厚生省医務局整備課
施工：KK間　　組
a．堺市槇尾711（泉北J地区）
b．3,709 ㎡
c．15,364 ㎡
d．RC造、7F、B1、PH2
e．昭和43年4月～昭和46年4月



674．比叡山延暦寺横川中堂

設計：大成建設KK　大阪支店
施工：大成建設KK　大阪支店
a．大津市坂本本町字横川4225
b．846.78 ㎡
c．530.64 ㎡
d．S造、耐火被覆
e．昭和45年3月～昭和46年3月



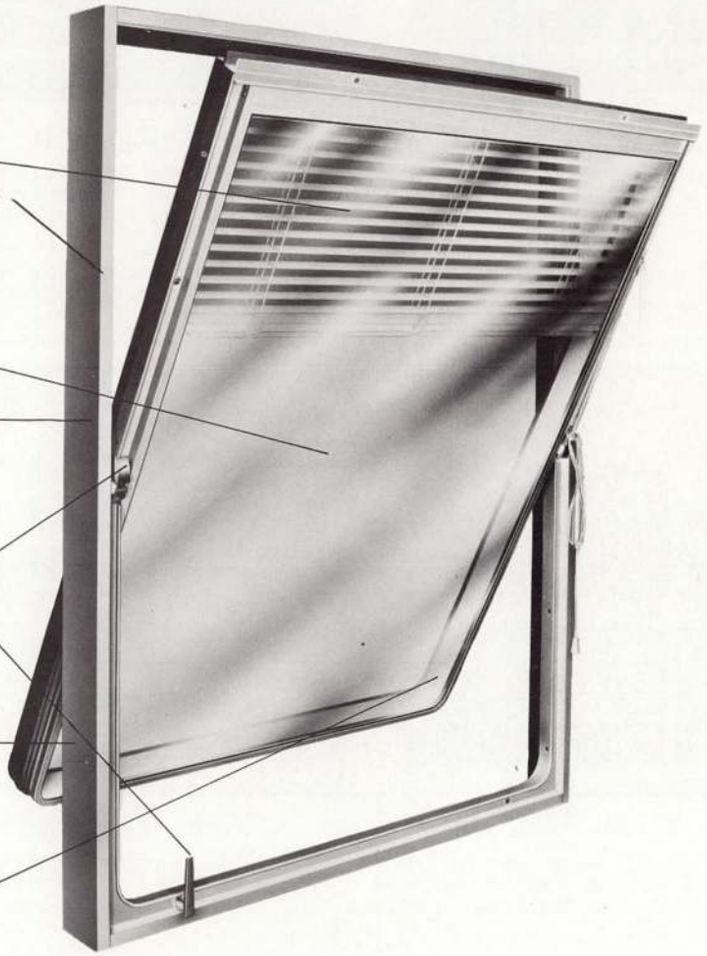
675．公立学校共済組合津宿泊所（洞津会館）

設計：KK東畑建築事務所名古屋事務所
施工：KK浅　　沼　　組
a．三重県津市新町1丁目6－28
b．1,076.74 ㎡
c．2,915.34 ㎡
d．RC造、4F、B1、PH1
e．昭和45年4月～昭和46年3月

エルミン窓は

「はめ殺し」窓に近い気・水密性能を持っている施工環境

ビルの高さに応じてその威力は充分に発揮される――



●二重ガラスの間に内蔵されたブラインド。
上げ下げ、角度調節は室内の紐で。

●枠本体も断熱材によって内部・外部が絶縁されている。

●二重ガラス内面の清掃も容易。

●枠と障子と一緒に取りつけられる総合窓。

●障子を枠に引きつける方式の特殊なロック。

●このヒンジにより窓は180度完全に回転。

●P C工法に最適。

●U型に曲げられた障子。
特殊なベンディング・マシンにより曲げ加工される。

ブラインド内蔵・アルミ二重ガラス窓

エルミン窓

戸外の騒音を防止します
180度横軸回転機構により清掃管理が簡単です
大型窓の使用が可能です
きわめてすぐれた気・水密性能を持っています
空調設備費・維持費を大巾に低下させます
ガラス、サッシの結露を防止します
ブラインドは損傷しにくく維持管理が容易です
ブラインドはきわめて高い遮光率を持っています

日本エルミンサッシ株式会社

大阪営業所　大阪市西区京町堀1の125(東洋ビル) TEL 441－1978(代表)443－1461(ビル交換)
本　　社　東京都千代田区岩本町1丁目11番2号(三泉ビル) TEL861－1891(代表)



クラスメート

74　〔関西高等工学校　昭和18年卒〕



◀関西高工建築科第15回卒業記念

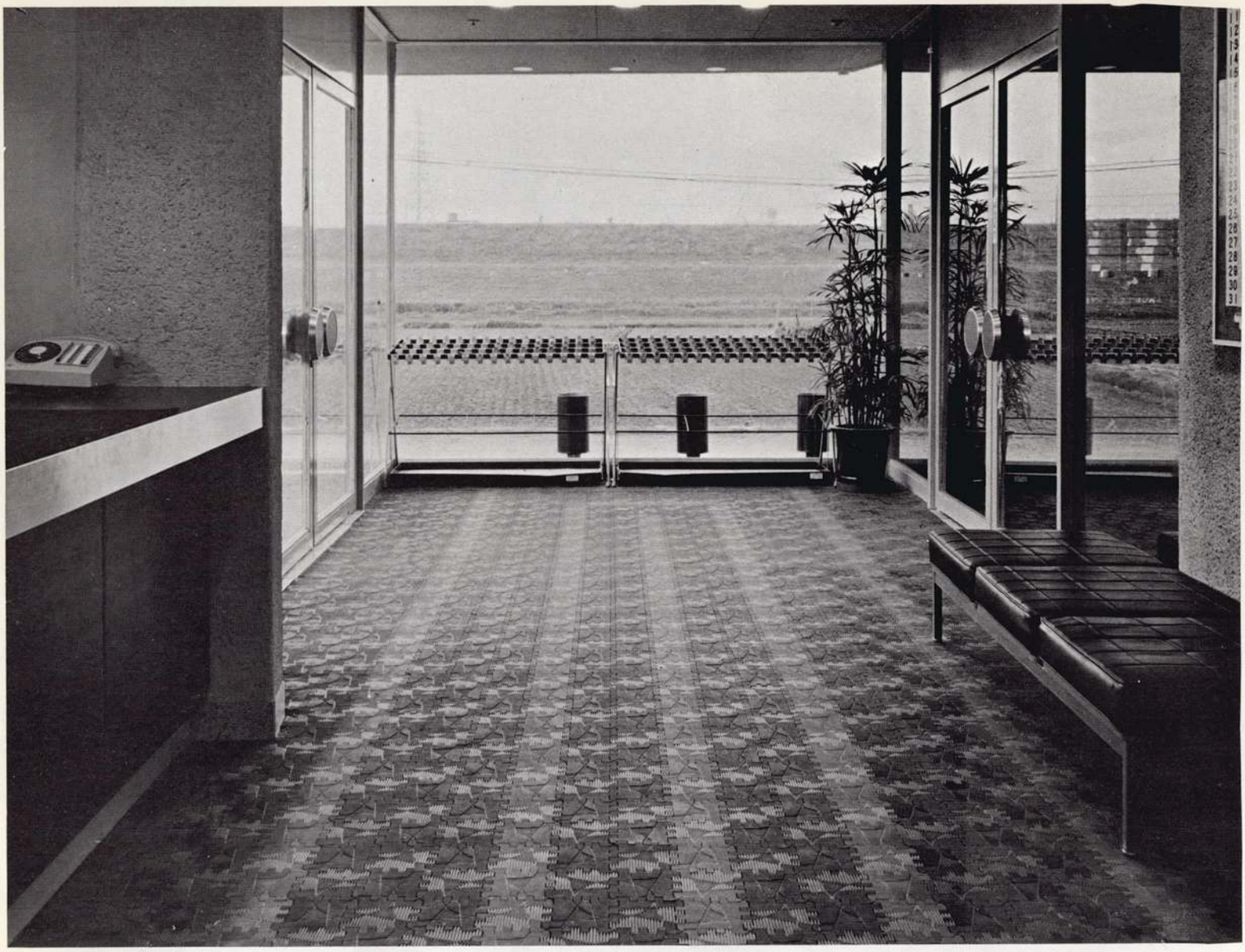
卒業後すでに28年、卒業当時われわれは直ちに徴兵、召集などで動員を受け、一部は戦死、また大阪の空襲で在阪の連中も四散し、戦後はその所在もわからなかった。その後仕事の出会でつながりをもったもの同志個々にクラス会的なものをやって、お互の情報を交換しあい旧談に花を咲せたりしていたが、今回は７名集った。皆それぞれ頭もはげ、腹も出て、眼鏡の必要な年令となったが昔ながらの気分でその一時を楽しく過した。

里村年人　建築事務所自営、最近里村ビルを建て大阪市内で大活躍、相変らず設計に監理に持前の気の良さで飛びまわっている。**吉岡明郎**　吉岡建設取締社長、もっぱら積水ハウスの指定工事店として誠実をモットーとした施工方面で多いにもうけている。われわれの最年長であるが昔と変らず実に落付きはらっている。**吉永　正**　大林組勤務、民間の住宅設計を担当している。非常にユーモアもあり話しぶりも昔と変らないが頭のはげたのには少しおどろいた。最近大和に新居を建て大阪へ通勤している。**広部忠夫**　額縁製造業自営、家業を継ぎ相変らず忙がしいそうで、去年女房をなくし独身となったとか、今後の活躍を期待する。**森　貢**　中井組道路部次長、土木関係にも手を伸し会社で営業、監督とたいへんいそがしいとか大いに元気そうである。**角倉　清**　大阪鉄道局施設部建築課勤務、最近なかなか役所の方がいそがしい、とくに公衆便所の落書対策に苦心しているようで昔ながらの好男子、今も変っていない。**上田善一**　日本住宅公団勤務、相変らず工事監理にいそがしい、とくに現場の「和」を第一に各団地を飛びまわっている。最近眼鏡をかけはじめなにかと若返ろうと努力している。ほかに本日出席していない能口久良雄・重里壽治・富永康夫・秋吉富夫なども過日会ったが皆、元気で各分野で頑張っている。なおこの機会に各クラスメートに連絡できるのなら、里村または上田まで連絡してもらえれば幸である。各氏の住所録を作成したいと思っている。　（里村・上田記）

左より（敬称略）

森　貢	（KK中井組道路部　次長）
里村年人	（里村建築事務所）
上田善一	（日本住宅公団　総主任）
角倉　清	（大阪鉄道管理局施設部建築課設計第三課長
吉岡明郎	（KK吉岡建設）
広部忠夫	（広部木工）
吉永　正	（KK大林組住宅部設計課長）

大阪・雅庭にて　昭和46年５月25日

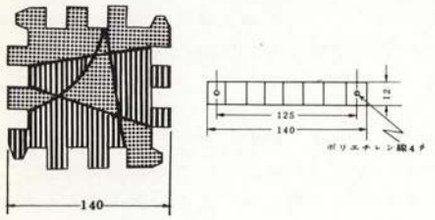


各種玄関マット設計製作　ミヅシマ

ウルトラインマット

（ウルトラセン）

〈詳細図〉



〈規格色〉赤・白・緑・鼠・青

玄関に
ハイセンスを！

マットは
トップメーカーの
ミヅシマ製品を
お選び下さい

ウルトラインマット試験表

- **耐摩耗試験**－摩耗減量 0.0035グラム
  試験条件　テーバー摩耗試験機 荷重 500グラム
  回転速度 57r.p.m.1000回転
- **熱収縮試験（膨張）**
  40℃±1℃3時間変化なし－5℃3時間 縦（－0.10%）横（－0.17%）
- **耐薬品試験**　浸漬条件30℃×31日間重量変化率
  3%H_2SO_4（≦0.1%）10%NA_0H（≦0.1%）
  植物油（白絞油）（5.2%）（30℃×5日間）
- **耐水試験**　浸漬条件23℃×24時間0.07%

ミヅシマ

おそうじ百貨
ミヅシマ工業株式会社

営業本部／大阪市西区北堀江上通一丁目20　TEL（531）7571～4
本社工場／京都市南区久世築山町380の2　TEL（921）6361～3

〈営業所〉
東　京／TEL（667）8844（代）
名古屋／TEL（911）4306～7
京都第1／TEL（221）5363・0214
京都第2／TEL（312）6051
大　阪／TEL（531）7571～4
福　岡／TEL（27）2331（代）
北九州／TEL（57）3579

眼 けんちくのめ・けんちくのめ・けんちくのめ・けんちくのめ

渡辺道輝
KK渡辺建築事務所代表取締役
前川純一
神戸大学教授・工博
今西祥郎
大阪府企業局調査室長
近藤義雄
清水建設KK大阪支店次長

眼 けんちくのめ・けんちくのめ・けんちくのめ・けんちくのめ

〔七月号より十二月号まで上記四氏で担当〕

❖斜め思考

仕事がらか定規に規制されて、ものを直角に考えることに馴れてしまって斜めにというか自由に考えることは、なかなかできないのである。
便箋なんか罫があるのは自由度がなくてつまらんと思うが型にはめなくては書けないのは情けない。巻紙なんていうのは誠に味があるがその方は無理なので努めて白紙に書くようにしている。それにしても、今、目の前にしている原稿用紙などというものは、人の考えをますで計るようで全くご気嫌斜めである。
あの対角線に物を包む風呂敷なんか、実にしゃれている。案外行動は斜めにやっていて、思考はつまらぬ約束に規制されてできないものかもしれない。碁、将棋でも、斜め思考に弱いのである。王手飛車といっても、王手角とはいわないのである。
小学生に算数もよいが、もっと幾何でもやったらよいと思う。
そういえば幼稚園の折紙細工の方がよいかもしれない。（W）

◇舗装

毎日、朝晩、バスと電車を乗りかえるために歩かされる新しい広場の舗装に腹が立つ。みかげ石の砕石の洗い出し、凸凹もよいとこ、真新しい靴がひっかかって傷がつく、古い靴では足の裏が痛い、婦人靴では踵がはさまる、子供はつまづいて膝をすりむく。ところが車道はアスファルトのつるつる、自動車はスイスイと滑ってゆく。何かのまちがいではないか？
まえまえから、事故をなくすために市中の車道はスピードの出ないように、スリップしないように、凸凹に、といつも主張しているのとアベコベ！
設計者曰く〝200年ぐらいたったら磨きがかかるよ、それくらい長い目で見てほしいね〟、冗談じゃない、それまで何世代も、歩かされる何百万人の苦痛をどう思っているのか、まさかピラミッドのように、苦痛を耐え忍ぶ人間の数に比例して作品が偉大になるとは考えていないだろうが。すべてを自分の作品に奉仕させる芸術家の冷酷さ！　建築家はこのような芸術家でよいのだろうか、200年先を考える息の長さは大変結構、それなら凸凹の砕石をモルタルに埋めておいて、それがすりへった頃に知らぬ間に磨きのかかったみかげ石が現われる、という暖かい親切さが奥ゆかしいと思うけれど、それではこのぎすぎすした世の中が渡れないのだろうか。ひとりでも多くの人に平和の喜びを与えるために奉仕すること、そこに喜びを感じるのが建築家だと思うのだが。（M）

❖自然保護から自然創造へ

先日「森と道路」という番組がテレビ放送された。「動植物の宝庫である鈴鹿山脈を横断する道路が自然を破壊するというのである。しかし、その道路は、三重・滋賀両県にとっては、待望の幹線道路であり、どうしても開通させたい。そこで反対運動がきっかけとなって、動植物に被害の少ないルートに計画変更がなされた。そして道路が自然をどうむしばんでいくのか、その原因は何かを、長期にわたって調査研究することを条件にして、漸く着工のはこびとなった。」というのがそのあらすじである。
自然をまもるということは、現代社会のひとつの大きな課題である。しかし自動車のない社会への逆もどりもできない。そこで考え方を変えて、自然保護から自然の保育と創造へ、積極的に自然を創り出していく方向へ進まなくてはならない。わが国伝統の自然にしたがう生き方、西洋の自然を克服する生き方とは別に、第3の自然創造の生き方こそ新しい社会に必要になっている。ビルの緑化もささやかな方法ではあるが、もっと積極的に建設投資と同額の自然創造投資を並行して実施するようになるならば、開発反対の声もなくなるだろう。（I）

◇千里丘陵

5月3日の大阪大学工学部新築の式典におよばれした。
この大きな移転計画完成のお祝いの日をわざわざ連休の日に選び、全く気のきかない催しだわいと思いながら余儀なきしだいで出席はしたものの内心おもしろくないことには変りはない。
式典は型通り進み、演壇にたたれる方々の顔を眺めるだけで聞く耳もたぬとまではいわないが、時間ばかりが気になるふてくさり方。ところがこの移転計画の立役者（だと思う）A教授が壇にたちこの計画の発想からでき上りまでを淡々として話された。
先生の説明を聞いているうちに今までのふてぶてしさは何処へやら真にさわやかな気分になってきた。それどころではない。この式典に参列してよかったなとさえ思うようになったから不思議である。
どうしてだろう。A先生の話がうまかったのは事実だ。がしかしそれだけではないな、と思いながら宴席に移りB先生、C先生、Dさんなどと話しているうちに〝ハタ〟と思いあたった。
千里ニュータウン、万国博などの施設をのみこんだこの丘陵に阪大用地が選ばれたこととこの計画の関係者のあたたかい心とその腕のなせる巧みなる味わいが、A先生の話を通じて私にさわやかな気持を味あわせてくれたのではなかろうか。計画の妙とはこういったものだろう。
A先生ありがとう!!　阪大工学部移転万才!!（K）

燃えない塗料完成!!

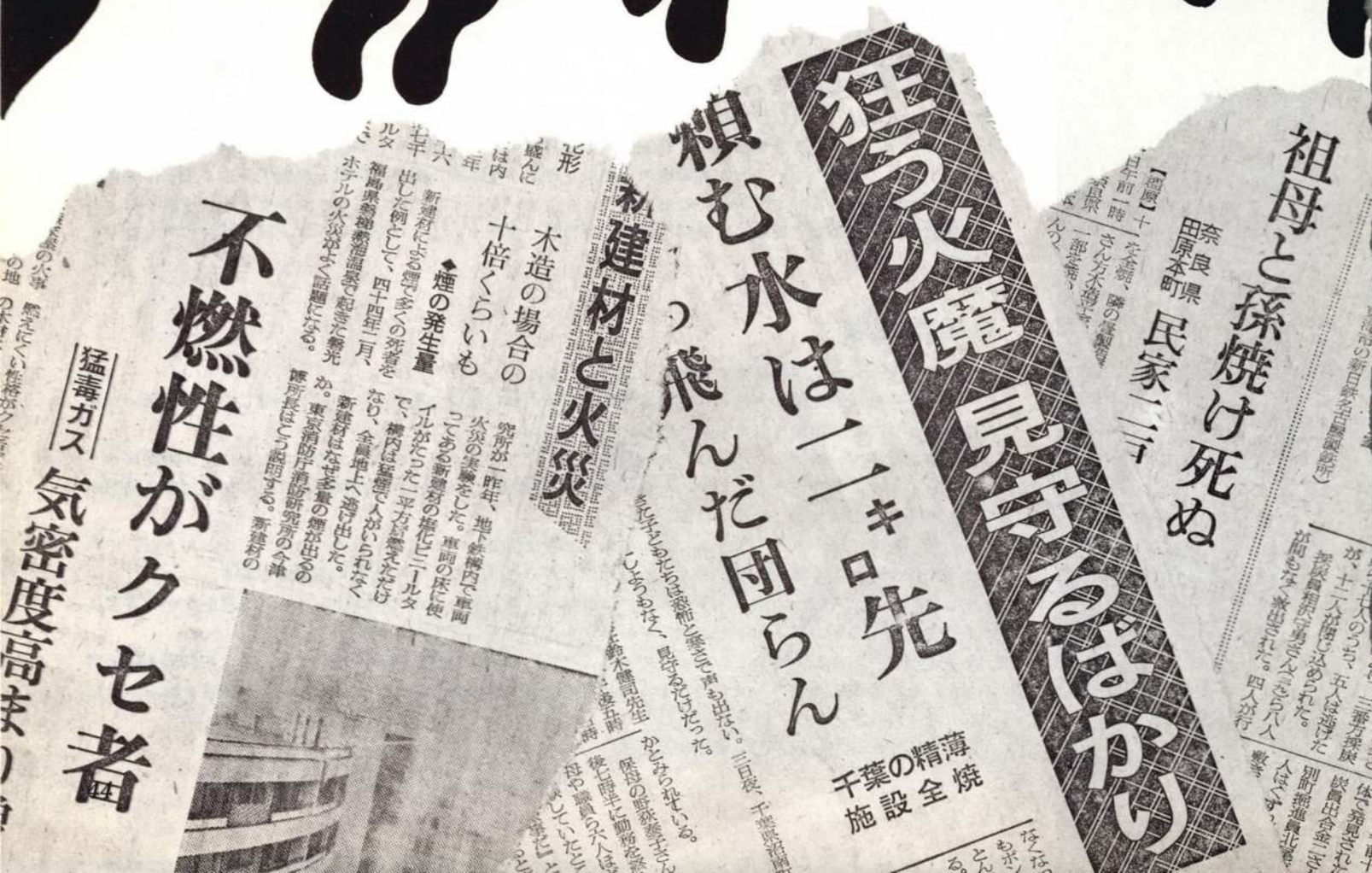
どんな高熱にあっても燃えない、煙もガスも出ない完全無機質の塗料を、関西ペイントがついに完成しました。名づけてバイタル（VITAL）――無機質ですから絶対に燃えず、煙も、ガスも、臭いも出ません。もちろんわが国では初めて、世界でも最先端をゆく画期的な製品で、数多くの特許（出願中を含む）をもっています。人間最優先の時代といわれるいま、バイタル（VITAL）は、尊い人命や財産を火災から守る〝安全の膜〟として建築界の重大な役割りを担おうとしています。

完全無機質塗料

バイタル

関西ペイント株式會社





建築と社会

表紙デザイン：表紙デザイン小委員会 & 山元清重

The Architectural Association of Japan

都市と港湾

1971年 Vol. 52 7

会　　告　「21世紀関西グループ」による〈21世紀の日本未来像〉講演会—第一回・大石寺正本堂建立工事の見学と富士五湖めぐり・大阪市教育青年センターの見学会・流通機構の未来をひらく大阪紙文具流通センターの見学会・第8回「よろず相談住宅展」開催・通常総会決議報告・作品作風欄掲載作品公募・昭和45年度事業報告・昭和45年度決算報告 …… 11

法令コーナー47.　建設業法の改正について（河島潔） …… 35

建築と社会ニュース　関西経済の今後—住友銀行調査・「平城開発センター」（仮称）設立・良環境の建築物の推進について・新刊紹介・明治建築土木史年表46（須藤欣二） …… 37

スケッチブック　最近竣工した新建築9点（№667〜675） …… 39

クラスメート74.　関西高等工学校　昭和18年卒 …… 41
（里村年人・森貢・上田善一・角倉清・吉岡明郎・広部忠夫・吉永正）

建築の眼　渡辺道輝（斜め思考）　前川純一（舗　装）
今西祥郎（自然保護から自然創造へ）　近藤義雄（千里丘陵） …… 43

海外写真　クメール文化　1 ……写真と文・恒成　一訓… 47

作品作風　伊豫銀行大阪北支店……設計：KK日建設計… 48
施工：清水建設KK

軽費老人ホーム万寿荘……設計：大阪府建築部
坂倉建築研究所
施工：KK盛工務店

特集＝都市と港湾

1　港湾機能と都市構造 ……水谷　穎介… 56
2　港湾計画からみた大阪港 ……川崎　芳一… 66
3　港湾都市の建設技術 ……佐々木　伸・樋口　通夫… 70
4　市民生活と港湾 ……柴田　悦子… 72
5　あすの大阪湾を考える　—望ましい海面利用のあり方を探る—…川崎　芳一… 74
6　都市と港湾トピックス・大阪港 ……桜井　与平・橋本　固… 77
〃　神戸港 ……野中　明… 79

ネパールの街とむら2　ネパールの民家……大野　義照… 83

技術の頁 107.　材料部門　新しい可動間仕切……長瀬　正信… 87

月報　日本建築協会月間の動き（昭和46年5月分） …… 89

編集人　松井昭光
印刷　昭和46年7月20日
発行　昭和46年7月25日
発行人　福中定三郎
発行所　(社)日本建築協会
大阪市東区北浜3—37
電 大阪231—9648
振替口座 大阪39975

印刷者　網野栄
印刷所　(株)研文社
大阪市北区堂山町66
電 大阪361—2091
売価　1部 300円・送料共

◀ 次号特集予告：転換期のニュータウン
総論　転換期としてのニュータウン
各論　1. これからのニュータウンと都市構成
2. 開発手法
3. ニュータウンのプランニング
4. 住民運動と計画
—ニュータウン住民意識と住民運動と計画とのつながり—討論会
5. 農住構想批判
◀ 9月号特集予告：軟弱地盤と震災

KENTIKU TO SHAKAI

No. 7 Vol. 52, July 1971

(Architecture and Society)

A Journal of "The Architectural Association of Japan"

Cover design: K. Yamamoto

Editor: *Akimitsu Matsui*
Publisher: *Teisaburo Fukunaka*
Published by
The Architectural Association of Japan.
37, 3-chome, kitahama, Higashi-ku, Osaka, Japan.
Price: *single copy price ¥300*

CONTENTS

Column for Laws & Ordinances about Architecture	35	
News for Architecture and Society	37	
Column of New Buildings	39	
Class-mates	41	
Essayes ("Kentiku no Me")	43	by *Michiteru Watanabe, Junichi Maekawa, Yoshio Imanishi & Yoshio Kondo*
Photograph: The Ruins of "KHMERS" (1)	47	Photo: *Kazunori Tsunenari*
WORKS OF NEW ARCHITECTURE ASSESSED		
Iyo Bank, Osaka-Kita Branch	48	Design: *Nikken LTD.* Construction: *Shimizu Construction Co.,LTD.*
Home for the Aged "Manju-so"	50	Design: *Sakakura Associates & Osaka Prefectural Government, Design section* Construction: *Mori KomutenCo.,LTD.*
SPECIAL FEATURES ON CITY AND HARBOR		
Harbor Function and City Composition	56	by *E.Mizutani*
Osaka Bay from View of Harbor Planning	66	by *Y.Kawasaki*
Construction Technique of Harbor City	70	by *S.Sasaki & M.Higuchi*
People's Living and Harbor	72	by *E.Shibata*
Considering Future Osaka Bay—Searching for Method of Desirable Sea Surface Utilization	74	by *Y.Kawasaki*
Topics of City and Harbor—Osaka Port	77	by *Y.Sakurai & K.Hashimoto*
Topics of City and Harbor—Kobe Port	79	by *A.Nonaka*
Town and Village of Nepal —2—	83	by *Y.Ohno*
COLUMN OF ENGINEERING		
107 New Movable Partition	87	by *M.Nagase*
BULLETIN	11, 89	



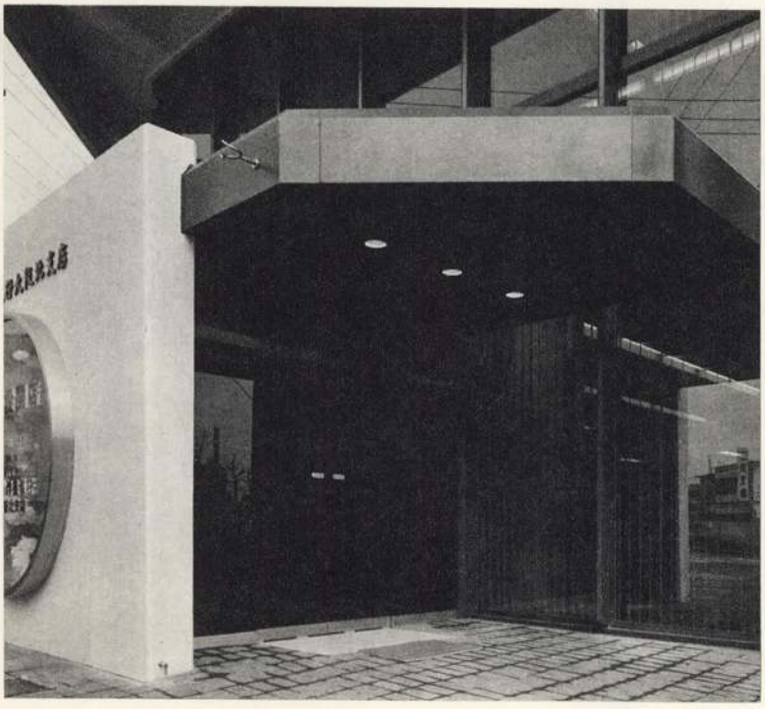
海外写真

写真と文 恒成一訓

クメール文化 1

バイヨン北東面　12世紀後半
異様なマスクをした四面塔が林立する石の山は、強力な迫力を持つ。
ジャヴアルマン七世（1181－1220）が建てた佛教建築である。





伊豫銀行大阪北支店

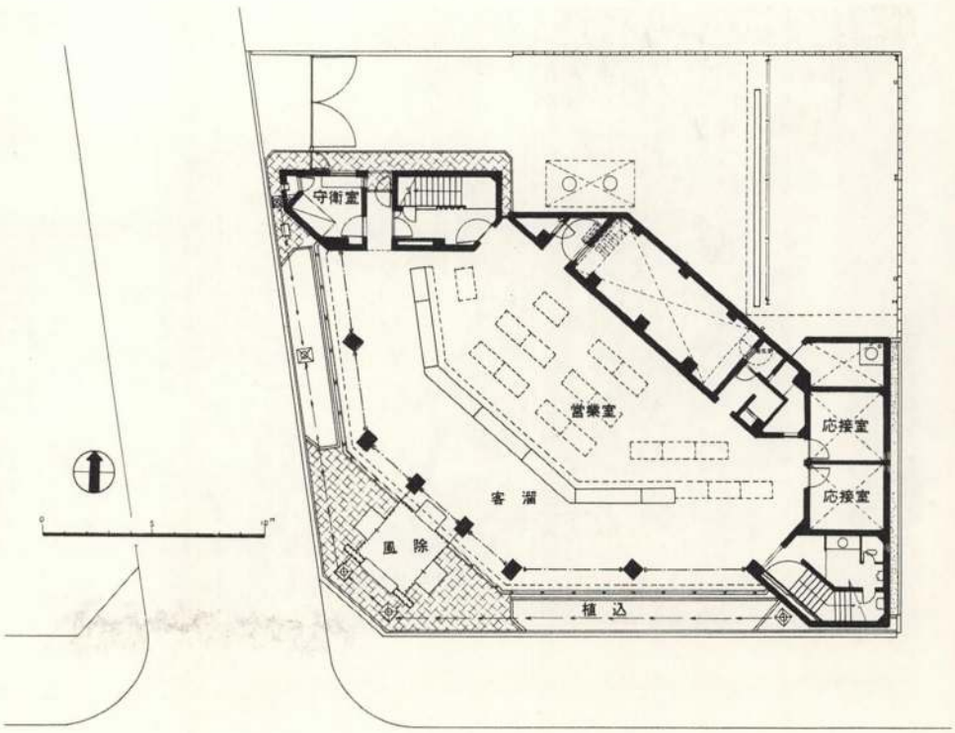
設計監理　株式会社日建設計

施　　工　清水建設株式会社

工事場所		大阪市東淀川区十三西ノ町２丁目11番４号
敷地面積		718.840m²
建築面積		447.312m²
延床面積		1,250.854m²
	1階	364.038m²
	2階	381.978m²
	3階	438.652m²
	4階	66.186m²
高　さ	最高軒高	SGL＋16.400m
	最高部高	SGL＋16.700m
構　造	主体構造	鉄筋コンクリート地上４階
	基　礎	独立基礎
	地　業	現場築造コンクリート杭
外　装	屋　根	アスファルト防水　露出シルバー塗装
	外　壁	コンクリート打放し　タイルコート吹付
	外部建具	アルミ形鋼サッシュ
工　期		昭和45年７月着工、昭和46年３月竣工

敷地周辺は大阪北の繁華街として庶民的な雰囲気をもつ十三の一角で淀川より北の大阪を東西に貫通する交通量の激しい府道に面した角地にある。附近は大道に沿っては金融機関の集った所であるが、一方裏道に入ればありとあらゆる歓楽施設が満ち極めてバイタリティに富み人間臭さのあふれた所でもある。

このような立地条件に対し、我々は銀行支店と顧客との対話を深める為に外部に対しては積極的に開放しつつ、騒音に満ちた道路の光景を直接視野に入らないようにする為、建物の軸線を45° 前面道路と交叉させることにより一つの解決策としている。又、角地の特性からも2方向からの顧客の動線を最も合理的、且スムーズに営業室に導入する為に、入口は角地にまとめ営業室での顧客の動線を短かくすることにより落着いた室内にすべく計画した。（佐々木純一）



軽費老人ホーム　万寿荘

設計監理　大阪府建築部営繕工事課
　　坂倉建築研究所大阪事務所
施　　工　株式会社盛工務店



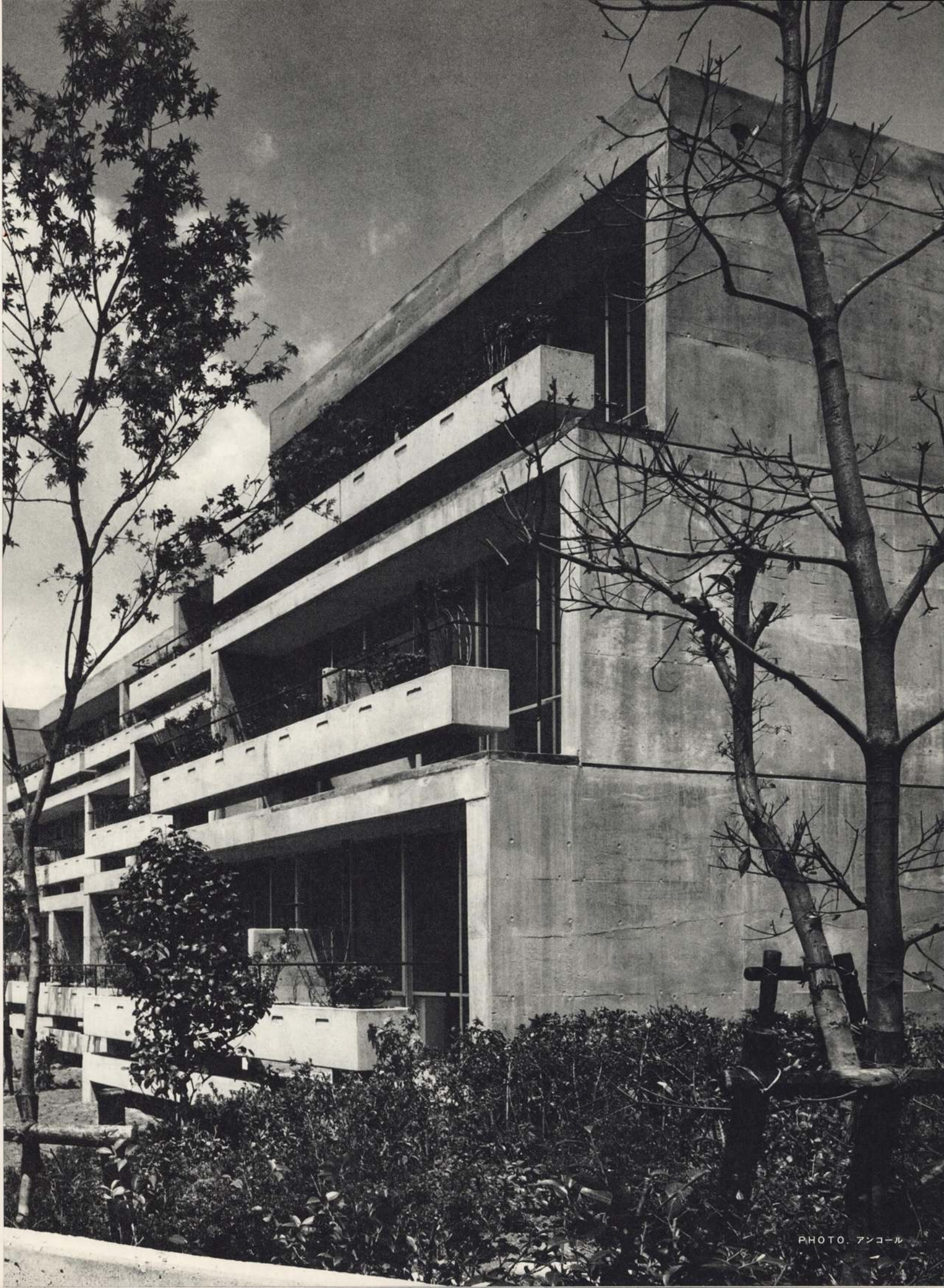
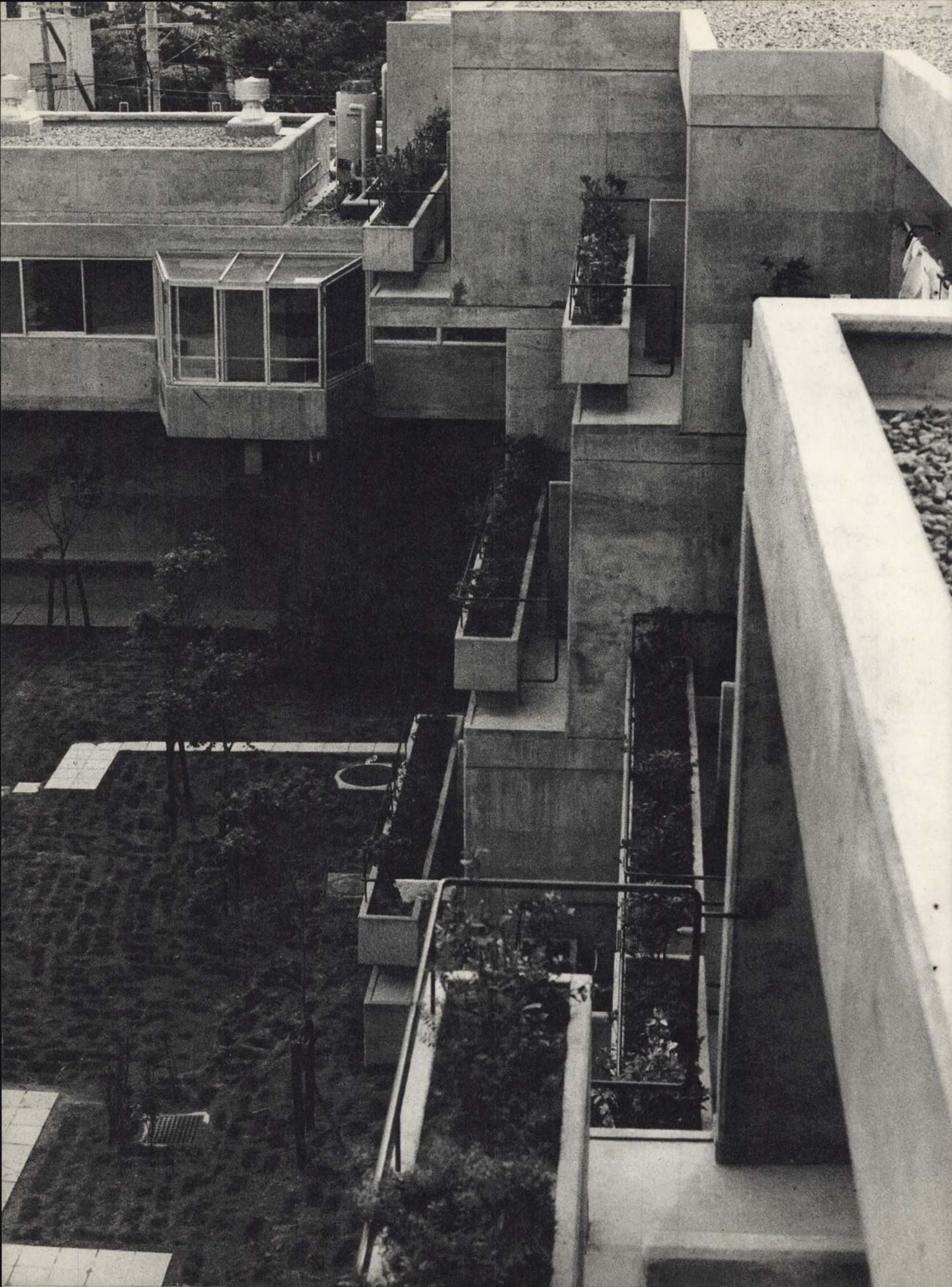
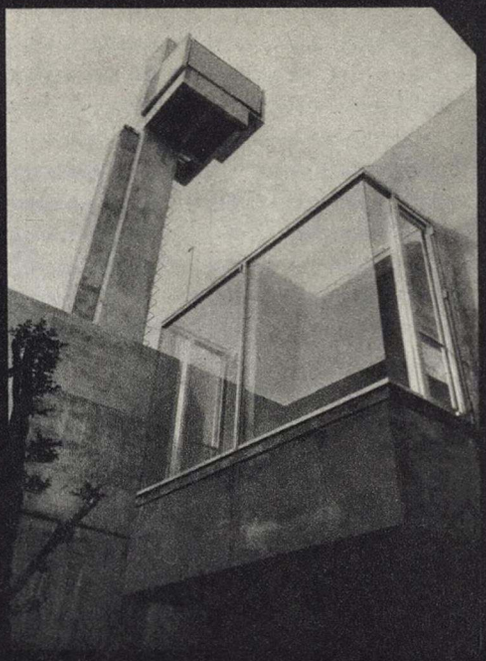
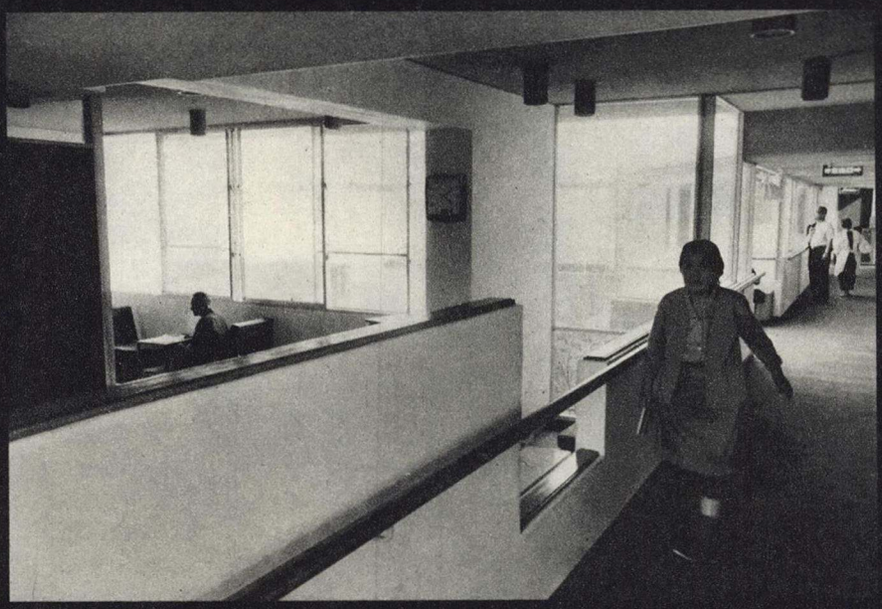


PHOTO. アンコール









大阪府立軽費老人ホーム万寿荘

池田市井口堂3丁目

設計監理　大阪府建築部営繕工事課
　　坂倉建築研究所大阪事務所
　　担当　柴田勝之、藤田宜紀、青野達司

構　造　平田建築構造研究所　担当　村沢藤四郎

設　備　中村設備設計事務所

施　工　株式会社盛工務店

電　気　富士電業株式会社

衛　生　山田工業株式会社

敷地面積　3,187.00m²

建築面積　785.83m²

室内床面積　1,466.85m²

構　造　鉄筋コンクリート造、三階建

収容人員　50名

工　期　昭和45年9月着工、昭和46年3月竣工

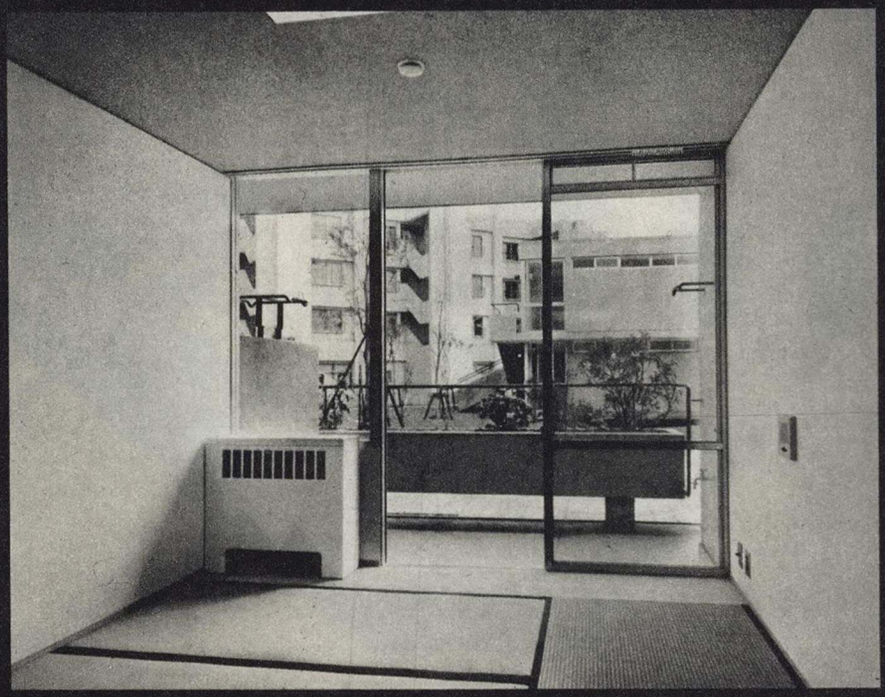


PHOTO. アンコール

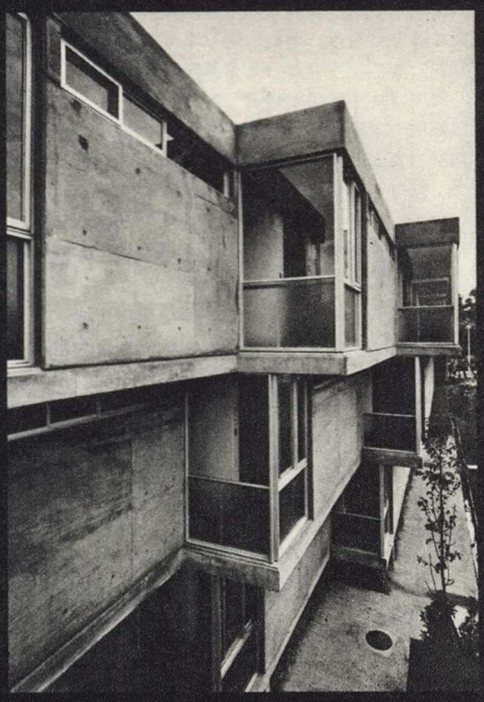


PHOTO. アンコール

老人福祉施設を考えることは住宅問題を考えることであると思っている。老人のあるべき姿はやはり各家庭に各人の個性を生かして家庭の一員として居ることが望ましいことであるには違いない。長い人生を経て来た人々であるので、環境の変化に対してそう簡単に生活様式が変化するものでなく、若者のように順応性に富んでいるはずがない。各自異った生活態度が信条のように確立しているに違いない。しかし世間ではヤングヤングの大流行である。老人の生活様式は排他的な面もあるし、ヤングヤングとは相入れないものがあるだろうが、決して彼等を無視出来ない。我々建築家としても考えなければならない。一つの団地を計画をする時その人口の何割が老人で、彼等はどういう行動をするかということを。アパートの一戸を計画する時老人の居るスペースをつくっているだろうか。ショッピングをする時、彼等に犠牲を強いてはないだろうか。

とはいっても世の中は複雑である。どうしても身寄りのない老人とか、家族と共に生活出来ない老人は居る。

それは逆に老人問題の根の深さを示している。

我々は老人ホームをつくるだけで老人福祉問題解消に努力しているといった収容人員を競うことでなく、まず建築家の立場として住宅問題あるいは住環境のあたりから老人問題を考えて行かなければならないと思う。

この万寿荘は池田市の閑静な住宅街の南端にあった池を埋立てて、既に完成している公園、保育所は母子寮に隣接して建てられた。設計時点では北側に残っていた池もやがて埋立てられて公園になる予定であった。敷地は狭いものであった（現在は北の池の一部が加えられているので広くなっている）。敷地は狭くとも南北に公園があることは外部での活動には不自由ない広さである。むしろ比較的元気な老人が生活するのだから、周囲の人々との対話が生まれるようなものでなければならないと考えていた。つまりこの施設もコミュニティーに積極的に参加するものでなければならない。

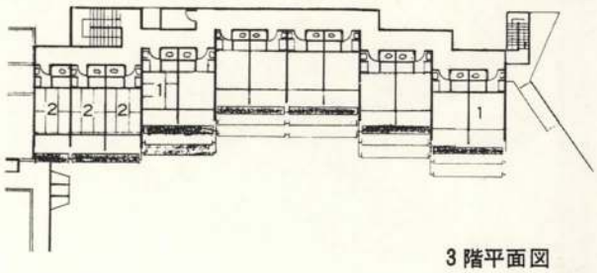
その意味では集合住宅をつくるようなイメージがあった。

また収容人員は50人だから施設内での自然な対話の生まれるように、同じ外部室内でも中庭は比較的静的なものでり、数人がまとまれるようなスペースを隅々につくっている。この中庭から食堂下のピロティーを通って公園に通じる動線を考え、それも一直線に公園に通じるものでなく曲折した道となっている。ピロティーを大きく取ったのは雨天の場合ここでゲームが出来るようにと思ったからである。中庭には20種以上樹木を植えた。大体花の咲くものが多く、老人の楽しみになるはずである。また花は咲かないが、紅葉の美しいもみじを敷地全体に植えてこの施設の名物となるようにした。植樹に関しては根本に南北の公園の緑を切断しないようにという意識が当初からあったのである。

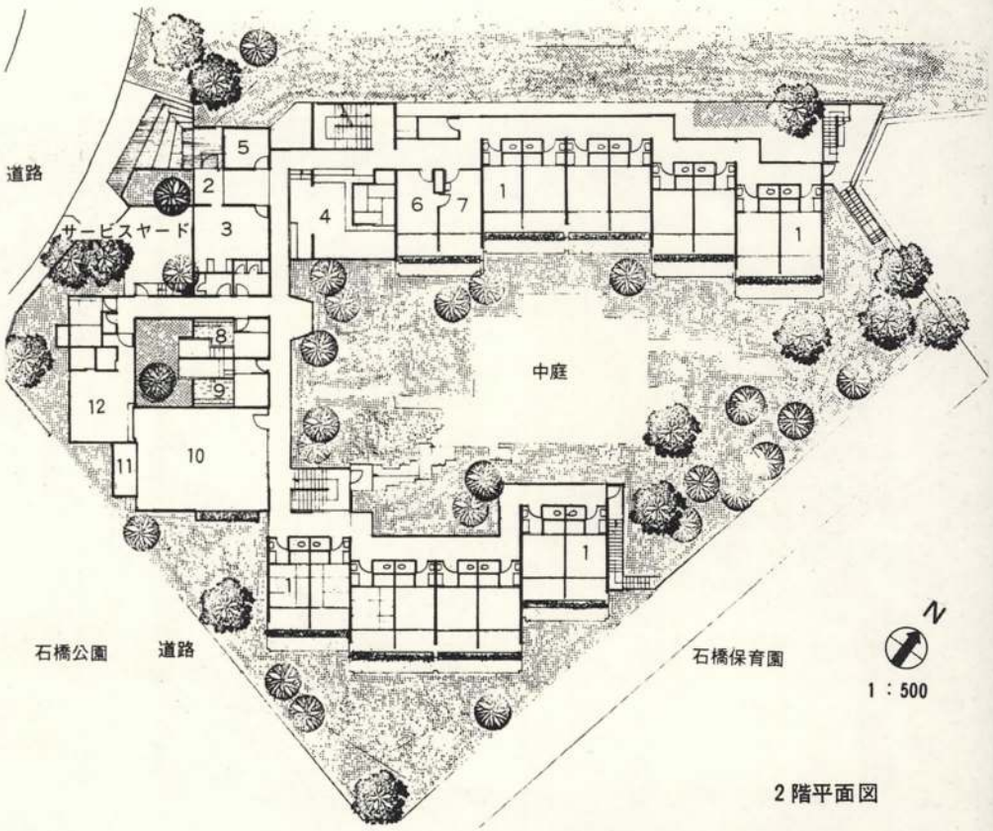
室内はまず居室が快適でなければならない。個室で4.5畳の広さは仕方ないとしても、各室に洗面所と洋式便所を設けたことは最大の特徴であろう。勿論便所内での非常の際、保母を呼び出せるように押ボタンがついている。これに押入れとロードロープが附属して一戸となっている。バルコンは各階をセットバックさせて、十分植物が育つようにしている。これは室内の生活にうるおいを与えるためばかりでなく、バルコンが洗濯物で一杯になっても目かくしになり、中庭の雰囲気をあまり変えないような働きをする。廊下は特に重要な要素である。立止まって外をながめたり、自然に話し合えるように、娯楽室を廊下と一体の室間にしたり、簡単な休息スペースをつくっている。更に廊下の曲り角は必ずガラスにして空間の変化をつけた。この廊下から中庭へは三ヶ所から出られるが、食堂前の階段は一番よく使われることを考えて、踊場に下駄箱を設け、のんびりと花木の間を降りて行けるようになっている。三階からの外部階段も二階にテラスがあり、こ・で休息しながら自然に中庭に導かれるようになっている。洗濯室が三ヶ所に分散しているのも老人には便利であろう。

藤田宜紀

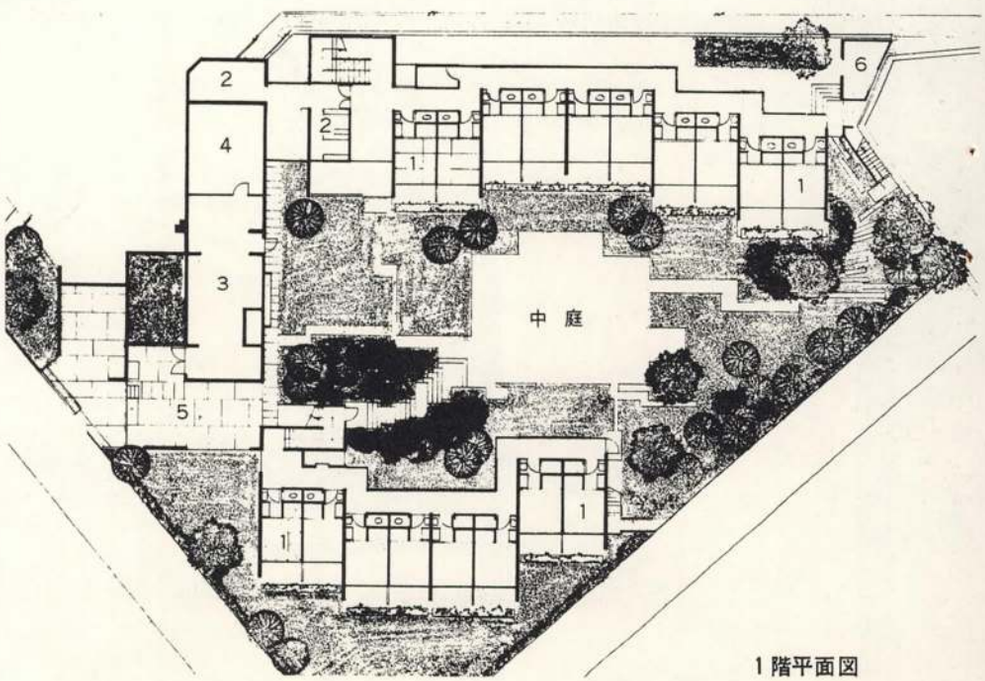




3階平面図



2階平面図



1階平面図

特集・都市と港湾



1 港湾機能と都市構造／**水谷穎介**

2 港湾計画からみた大阪湾／**川崎芳一**

3 港湾都市の建設技術／**佐々木伸・樋口通夫**

4 市民生活と港湾／**柴田悦子**

5 あすの大阪湾を考える一望ましい海面利用のあり方を探る／**川崎芳一**

6 都市と港湾トピックス・大阪南港における流通基地構想／**桜井与平・橋本固**

都市と港湾トピックス・神戸港／**野中明**

港湾機能と都市構造

水谷頴介

1. 「臨海」と「内陸」をつなぐ構造

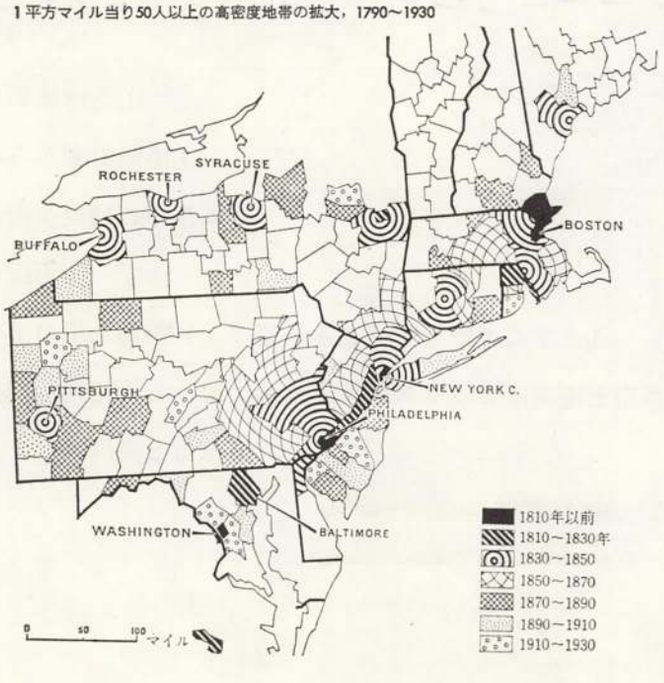
1） かつて，船——水路が交通の主役だった時代には，都市の窓口は海の港湾だった。外からのいろいろな資源や情報は，港湾を通して入ってきたし，それに加工を加えた製品や技術は，港湾を通して他の都市へ輸出されていった。

船——水路が交通の主役だった時代には，海と陸の結節点である港とその周辺が，都市活動のセンターだった。日本における諸都市も，特に海陸の接点——船の文化と馬の文化の合流点であった古代の難波津をはじめとし，中世の神崎・堺，近世の船場・島の内・中之島，そして明治開港とともに従来の砂浜の漁村から突然整然とした居留地をもって近代都市として展開してきた神戸など，臨港都市としての発展の位置が読みとれる。

2） 「From Water to Wealth」という言葉が，ニューヨークの生長を物語ることばとして使われている。そして，アメリカ合衆国の北東地区臨海部（Northeastern Seaboard）に形成されているメガロポリス発展の要因も，ボストン・フィラデルフィア・ニューヨーク・ボルチモア諸港湾の役割が大きかったことは，ゴットマンが指摘しているとおりである。

そして，ゴットマンは，そのメガロポリス形成を，絶え間ざる「臨海」の再構成・高度化と「内陸」の発展という都市化のダイナミックスにもとづいた各港湾都市の展開に基本的な視点をおいてとらえている。すなわち，「メガロポリスが合衆国内の他の地域と異なる点は，人口，事物および機能の集中とその多様性とにある。人口の集中は，高い人口密度を招くとともに，銀行，保険，卸売，娯楽，交通などの巨大な集中を招く。その集中はまた，大企業本社，小売店，旅行業者，広告業，法律相談所，技術相談所，大学，研究団体，その他，一連の他の諸活動を吸引する。このようにメガロポリスでは，集中が集中を呼び，雪だるま式にふくれ上っていく。メガロポリスには，多数の都市的核心地がある。それらの核心地は，初期にはそれぞれ独自の都市圏をもっていた。しかし，植民が内陸へ拡大するにつれて，主要な核心地は相互に競合し始め，核心地間で機能の専門的分担関係が進展した。その結果，それら核心地相互間の依存関係が深まり，すべての核心地が成長した。また郊外と大都市圏とが拡大し，大都市圏が相互に重なり合うようになった。最近では，若干の地区が衰退するとともに，過度な集中による分散（工業・商業・管理機関など）がみられるようになった。そこには多核的構造が認められる（木内・石水訳「メガロポリス」より）」と。事実，ボストンからワシトンまで，車でどんどんと走り抜けてみると，各都市の中心部再開発が「臨海」の再開発といった役割りをもちながら，それぞれの都市の個性の再生を目標としていることが強く感じられる。全国どこへいっても同じような駅前ビル群が並び，再開発事業といっても，その

1平方マイル当り50人以上の高密度地帯の拡大，1790～1930



事業と成立の困難さに比べて何とも薄っぺらな安物デザインにまとめあげてしまっている日本の現状と比較してみて強烈にその役割と個性がつたわってくる。

ボストンでは，世界一の規模といわれるそのガバメントセンターの再開発事業や「Window to the world」というキャッチフレーズをもった臨港地区再開発がある。また，「City of idea」をかかげるボストンの再生を裏づけるべく，M.I.T.，ハーバードの並ぶケンブリッジに研究機関を集中的に収容することを目的としたテクノロジースクエアーの再開発が民間ですすめられている。そして，「内陸」では，その頭脳中心にぶら下がるかたちで環状128号道路に数多くのインダストリアルパークが建設されている。南へ下りて，マサチューセッツターンパイクに入ると，沿道は，ニューイングランドの紅葉した美しい自然が延々とつづく。91号線に乗り移って少し進むと，地域冷暖房でも有名なコンスティテューションプラザをもつハートフォードに出る。91号と95号が交わる点ニューヘブンでは，エール大学のキャンパス，オイツ・オブ・コロンブスのタワーなどを中心に住宅地区改良がたんねんに積み重ねられている。ニューヨークにも数多くの再開発があることは勿論である。ダウンタウンロワーマンハッタン（Lower Manhattan）の構想は，「Back to water front」という目標をもったノース・イーストリバー両ウォーターフロントの再開発計画などと結びついて，河港として発展してきた地区の再構成を目標としたものである。古くせまい埠頭をつなぎ広く新しい埠頭に組みかえ，その上の空間に積極的に住宅や公共施設を導入しようといった構想がいくつも画かれている。その計画の一環としてのWTC—ワールドトレードセンターの建設は，すでにその部分が完成している。

ニュージャージーターンパイクの沿道には，新しい市街地—工場群，インダストリアルパークが点々と連続している。フィラデルフィアでは，デラウエアー河とシユルキル河の間をつなぐ都市軸にベースをおいた再開発として，ソサイアティヒルの住宅再開発，インディペンデントメル・ベンセンター，ユニバーシティ・シティ・サイエンスセンターがあり，次にマーケットストリートプロジェクトの具体化が進行中である。フイラデルフィアからバルチモアまでは，ケネディメモリアルハイウェイ。バルチモアの都心では，チヤールズセンターがほぼ完成し，次いで港湾地区再開発プロジェクトが検討中である。そしてバルチモアとワシントンをつなぐ内陸には，コロンバアとレストンの2つのニュータウンがすでに一部できあがっている。

3） 日本のメガロポリスの理解は，東海道—東京と大阪間の市街化が連たんしてしまという現象面に焦点がある。そして，その横の連たんを形成する要因として，鉄道・新幹線・名神高速道路といったヨコのつながりと，その鉄道・インターチェンジのターミナルをつなぐヨコの情報間ネットワークの役割を強く評価している。東京と名古屋，大阪の都心が連続するといった発想でもある。その基礎には，都心，いわゆる鉄道ターミナルを中心においた同心円構造の都市構造にしか思考がおよんでいないという実態がある。

そのためか，港湾地区の都市における位置づけは，あくまでも都心から離れた末端の部分であり，その利用と役割づけについては，関心をはらわなくなる。だから，海岸線は，不用意な工業地区・流通地区といった用途で埋めつくされていくわけである。本来のメガロポリス的思考では，そういったパターンではなく，各都市・各地域における〈臨海〉〈内陸〉のつながり，それを支えるそれぞれ個性的な内容をもった港と都市を直結した都市軸の連鎖といった構造を意図することになるはずだが……。

東京湾の場合にも，東京都心とそれにすべてぶら下がる内陸平野という単核心同心円構造ではなくて，現在の晴海・築地・銀座・丸の内をつなぐ中央軸に対して，千葉・鹿島臨海地区と北関東〈内陸〉をつなぐ東軸，横浜〈臨海〉と，八王寺・多摩・港北丘陵〈内陸〉をつなぐ西軸が加わり，計3本の〈臨海・都市〉軸とその組合せで将来を方向づけていく必要があるだろう。

2. 大阪・神戸ベイエリアの都市構造

4） 大阪湾を囲む市街地構造についても，〈臨海〉〈内陸〉の組合せで構成していく。瀬戸内海水のメガロポリスと東海道陸のメガロポリスの接点といった過去から現在にいたる東西方向の流れに直交して，〈臨海〉

を〈内陸〉に展開していく南北—タテの軸を仮設するわけである。

大防湾を中心とする高密度都市地域を，その地域的位置づけ，開発—〈内陸〉新市街地，再開発—〈臨海〉既成市街地という方向で5つのグループにまとめる。

①大阪湾沿岸臨海既成市街地　②北摂・北神の内陸市街地　③泉北・泉南の内陸市街地　④京都・奈良をつなぐ内陸市街地　⑤淡路島である。

大阪湾沿岸臨海市街地の当面の市街地対策は，再開発である。それに対して，北摂・北神・泉北・泉南は，まだ新しい開発が進行していく。この構成は，現在の臨海既成市街地〈再開発〉を中心にすえて，北に北摂・北神〈開発〉，東に京都・奈良〈再構成〉，西に淡路〈開発〉といった配置になる。東西の方向には，水と陸のメガロポリスの重なりに平行して，国土幹線のシステムがヨコに走っている。それを南北に串ざしたかたちで，北摂・北神と泉北・泉南を位置させる。国土をヨコに走るエネルギーと情報を，タテに幅広く転換していくパターンである。例えば北摂，北神，泉北，泉南などの内陸市街地の開発は，港湾流通機能の拡充や各産業の高度化に関連して，そこにインランドデポとしての流通センター（流通＋加工）などが配置されることによってその新しい背後地としても活動していくだろう。すなわち，臨海市街地の高度化（技術開発・研究機能への変質）に対応したかたちでの内陸スペースとして機能差の高度な技術開発集団などが考えられる。さらに，ひろげて，淡路島を中心に，太平洋から日本海をタテにつなぐ南北軸（135°軸）を仮設してみると，より広域の〈臨海〉〈内陸〉コミュニティとなる。太平洋に臨む外洋立地の徳島と和歌山には自然の地形を利用した石油・鉄鋼などの大型工業基地と貯蔵配分基地が予定されている。そこで，大阪湾沿岸市街地—阪神と播磨の背後にひろがる広大な内陸にはサイエンスシティを計画したい。日本海沿岸は，原子力発電などのエネルギー基地と将来の対岸貿易の港湾基地である。但馬・丹波の内陸には第二のサイエンスシティが，自然を利用した生物工業をいかしたかたちで創造されていくべきだろう。

また，このタテの軸自身は，血管のように日本海からの原子力発電による電気，太平洋からの鉄鋼・石油，但馬・丹波の円山川・由良川と徳島・和歌山の吉野川・紀ノ川の水，などをつなぐエネルギーのパイプラインとしても機能させたい。また，表と裏，すなわち太平洋経済圏および中国・シベリヤ大陸からの情報パイプとしてのこの軸が広く世界にも直結する。そして，この軸のちょうど中間にぶら下がる大阪湾沿岸市街地がこの広域135°軸都市圏の焦点に位置することになる。

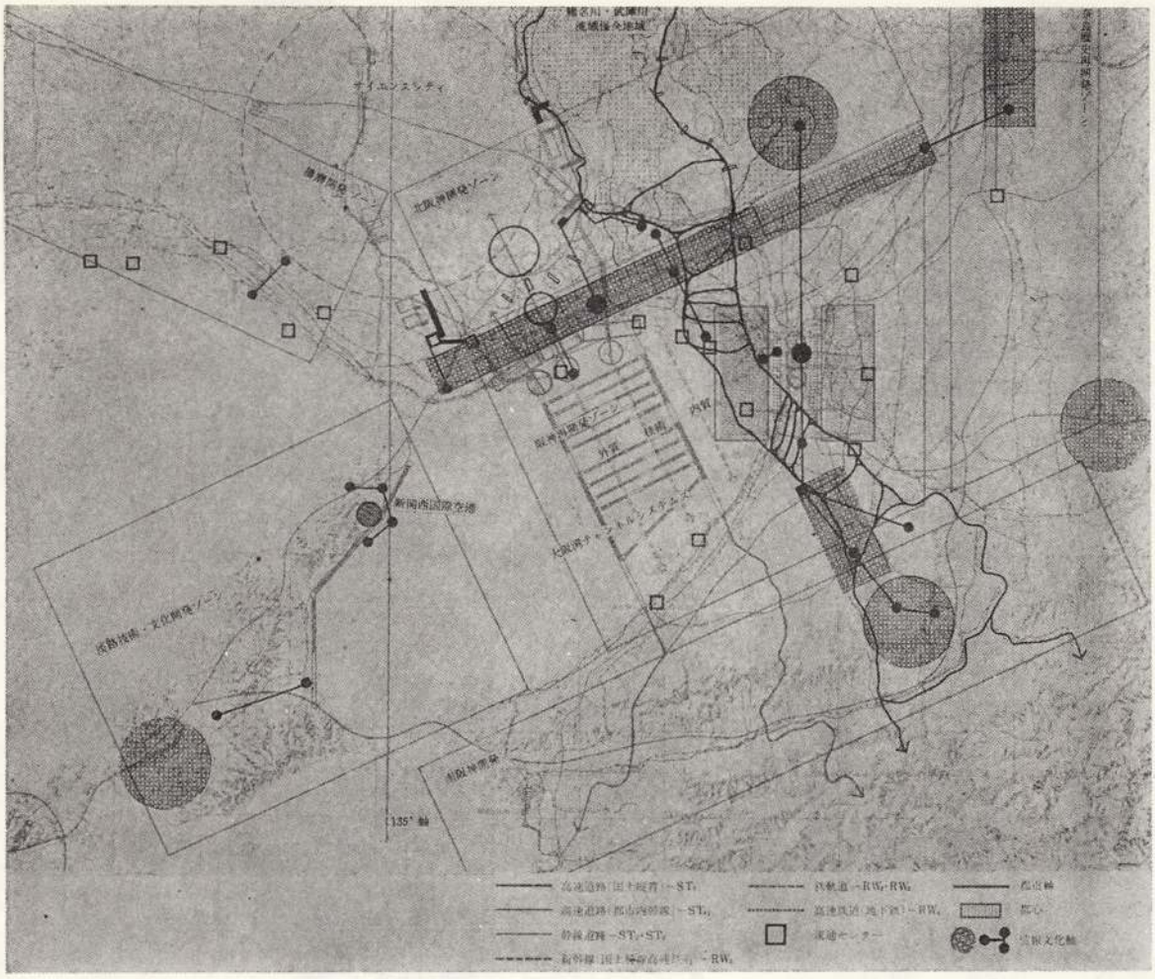
5） こういった〈内陸〉市街地の拡大に対応して，〈臨海〉の役割と機能は，ますます重要になってくる。大阪湾という有限のスペースは，高度にかつ適切な機能で利用されなければならない。単に〈土地〉を確保するといった目的のために，その貴重なスペースが使われてしまうことではいけない。総合交通体系—ポート・ファシィリティや，都市レクリエーション—といった機能が，その中心とならなければならない。貴重なスペースの利用は，未宅地化水面だけを対象とするのではなく，既存の臨海機能—埋立地工業や老朽港湾の再開発も必要である。

また，大阪・泉北・阪神・播磨の〈臨海〉の整備・再開発に並行して，泉南・播磨内陸・淡路の開発が，ベイエリアの今後の直接的な課題となっている。大阪湾の西部分の水面〈淡路島東〉と泉南および阪神・播磨内陸をタテ〈南北〉につなぐ軸である。大阪府における泉南開発，兵庫県における播磨100万都市構想，神戸ポートアイランド，新関西国際空港は，この軸上にのったものとして，総合的に関連して検討されなければならない。

6） 港と都市をつなぐ市街地設計，という目標が，港湾都市の街づくりのテーマにならなければならない。

神戸においては，最近港湾と都市のつながりが，ポートアイランド・プロジェクトと，超高層ビル——商工貿易センター・プロジェクトの連結などを契機として再検討されている。

商工貿易センターを臨港地区（Water front）再開発の拠点として位置づけ，情報センター・プランニングセンターとして役割づけることによって，ここを港と都市の結節点として情報社会時代の神戸の都市中心を構成し，そこから外に向かっては，ポートアイランド建設につづく大阪湾総合開発計画，内——山・陸に



"大関西" 開発ビジョン

大阪湾総合開発研究会

向かっては，三宮都心市街地再開発と西北神開発がぶら下がるという方向づけである。

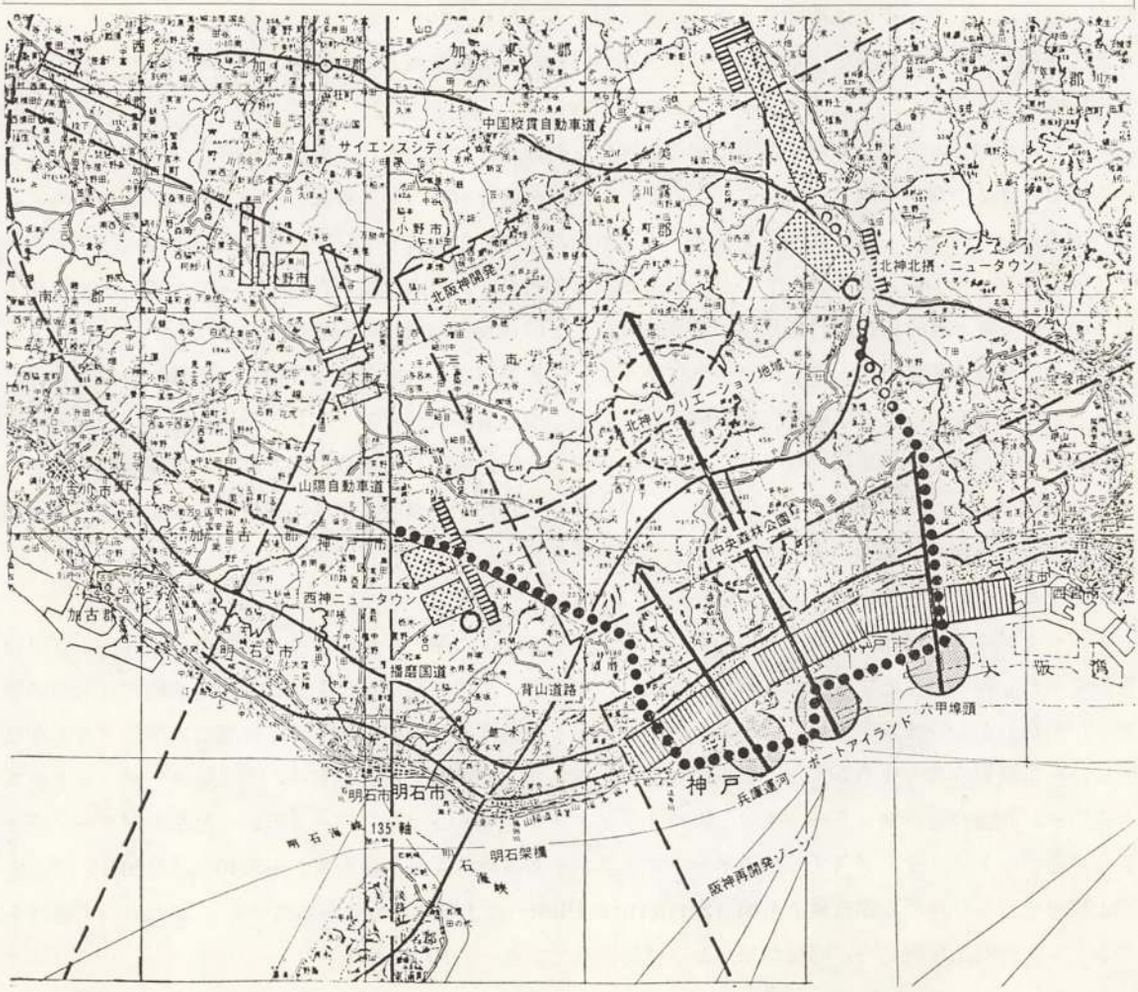
商工貿易センターを拠点とする再開発は，現在の都心，港湾背後地——港湾施設地区・工業地区を新しい都市中心へと変質していく目的をもっているわけである。

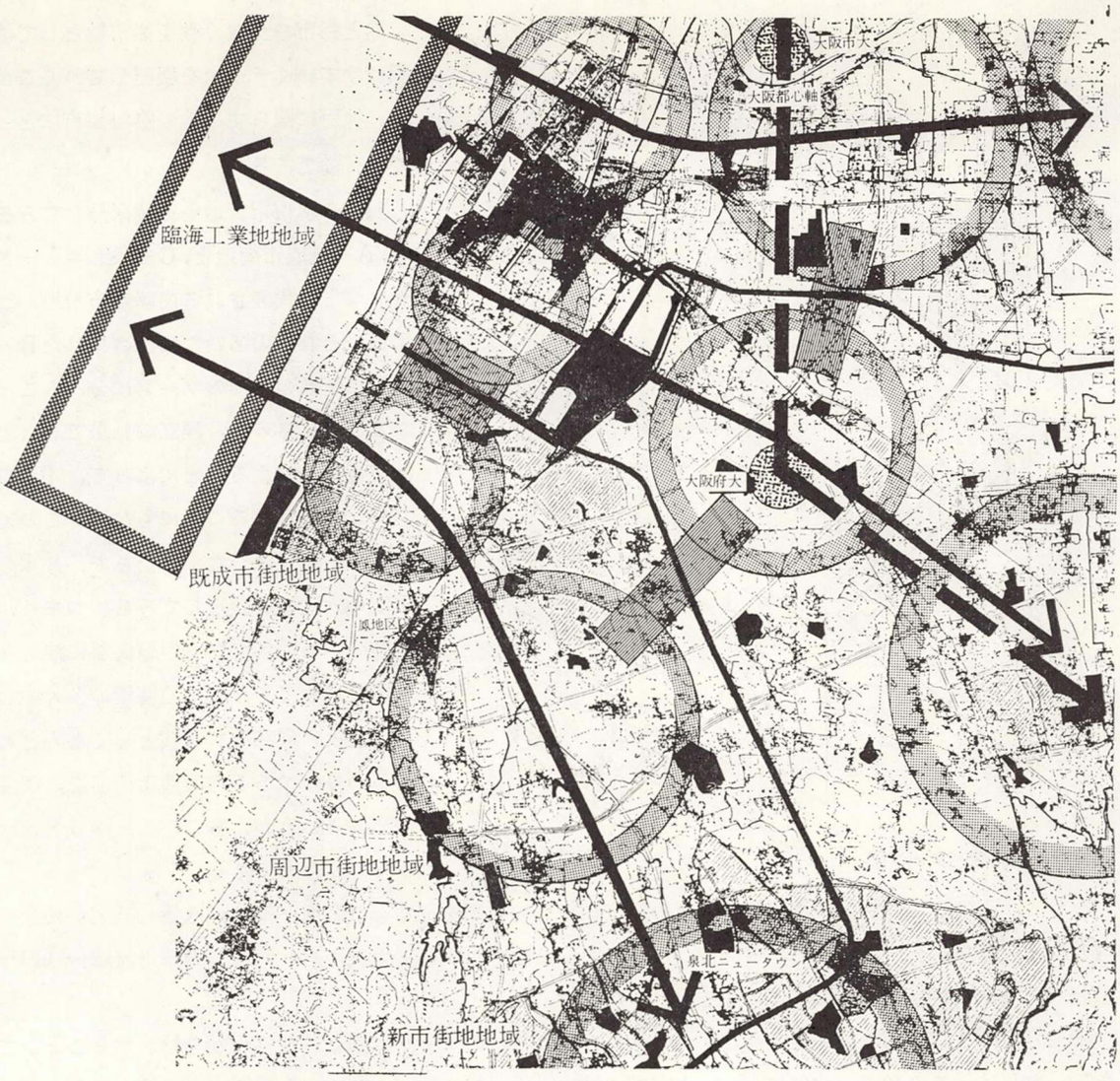
神戸の市街地は，港につながる六甲山麓の現在の市街地と，六甲山という緑地帯の背後地にひろがる西北神地域という2つから構成されている。この2つの地帯を港を中心として組立てていくために，中心部に臨海市街地——再開発，左右に西神・北神——内陸開発，といったかたちでU字の振子型の市街地開発パターンを仮設する。振子の役割をはたすのが，道路と鉄道であり，六甲山を貫いた六甲トンネルにつづく第2・第3の六甲トンネルや，山陽自動車道，西北神鉄道などの建設が，将来の重要な課題となる。

一方，臨海既成市街地は，さらにポートアイランド・六甲埠頭・兵庫運河地区の3つの港湾核をそれぞれ軸として，特徴をもった3本の都市軸で構成していく。中心が，ポートアイランドを核として，三宮・元町といった現在の都心をタテにつなぐ軸，東が，六甲埠頭と六甲副都心をつなぐ軸，西が，兵庫運河地区と新長田の西副都心をつなぐ軸である。都心軸は，外貿機能と管理中枢機能，東は，技術開発機能および生活物資加工機能と市街地住宅地中心，西は，内貿物的流通機能と都市サービス工業と下町型の生活中心，といった特徴をそれぞれもっていく。

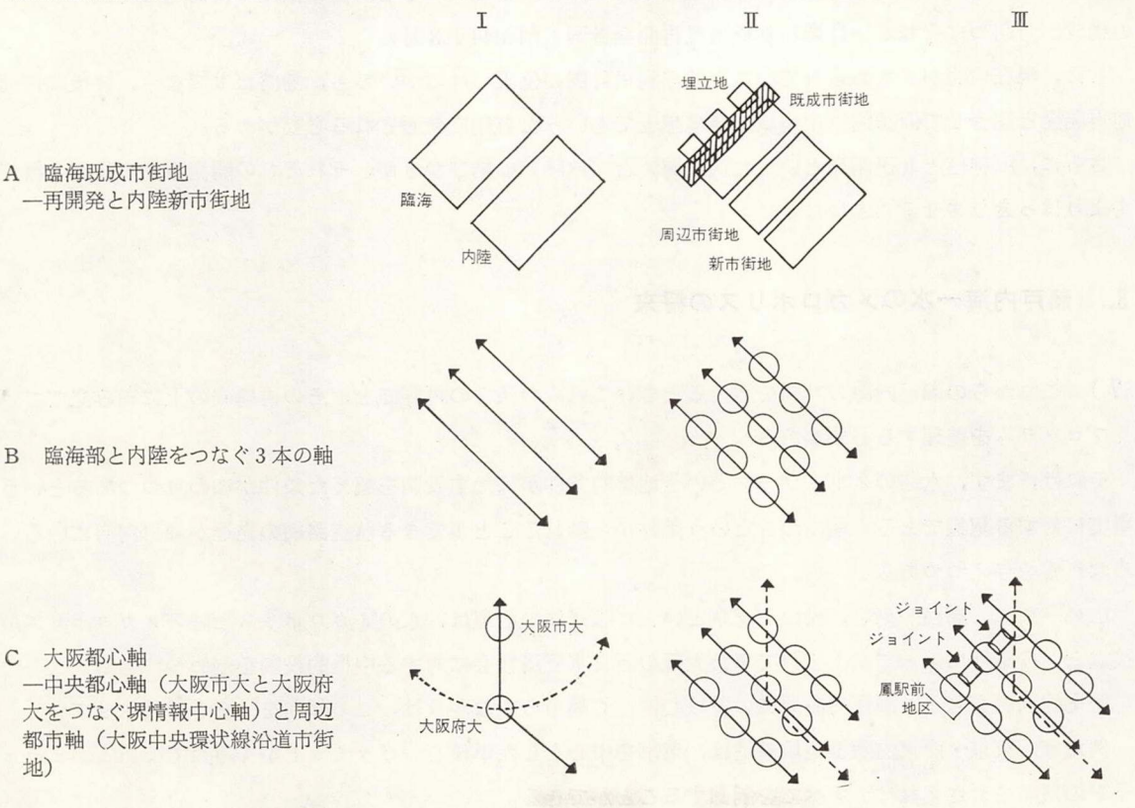
①ポートアイランドは，港湾・流通のセンターとすることは勿論，日本における特色ある世界への窓口の役割を果たし得るものとする。②さらに，みどり，すまい，文化施設ななどを配しながが，活動的な人達の集まる，わかわかしいまちをつくる。③ポートアイランドの諸施設が一体となって，有機的に機能するような新しい都市経営の実現をめざす，といった目標設定をもち，(1)ポートスクエアー，(2)インターナショナルスクエアー，(3)総合業務センター，(4)コミュニイティスクエアー，(5)マリンパークといった基本パターンをとる神戸港ポートアイランド（「神戸港ポートアイランド基本設計委員会報告書」昭和46年3月20日）は，港湾と都市をつなぐ神戸の都市構造計画（Structure Plan）の上に位置づけられている。また，兵庫運河を中心とした市街地再開発も，同様な観点から検討されている。

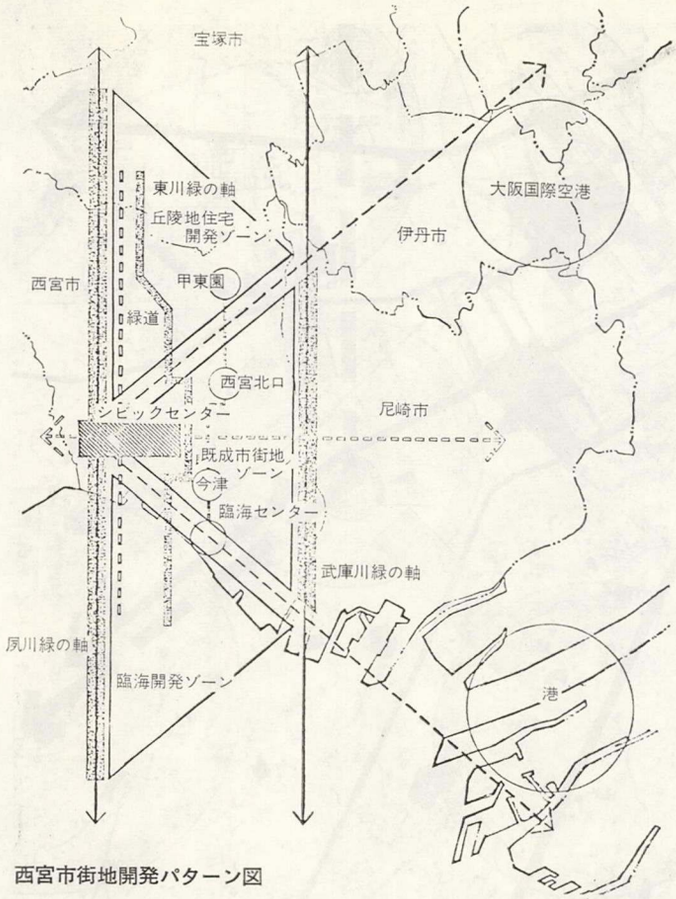
	構想計画 (PILOT PLAN)	基本計画 (MASTER PLAN)	事業計画 (PROGRAM PLAN)
1 ポートアイランド地区	●外貿港湾機能をもった総合的な新しい市街地——ポートアイランド（Ex東京—大井埠頭，大阪—南港） ●三宮・元町・神戸の管理中枢業務都心性商業につながる都市軸の設定 ●北神総合運動場・中央森林公園・ポートアイランド・海浜公園をつなぐ緑地軸の設定 （○神戸港ポートアイランド基本設計委員会報告書　昭和46年3月29日）	○土地利用・機能配分計画 ポートアイランド ●コンテナー埠頭を中心とした新しい港湾機能 ●流通センターと流通加工・倉庫機能 ●新しい都心としての業務・商業と住宅機能 新港突堤の再開発（Ex ボストン—ウォーターフロント再開発，ニューヨーク—マンハッタン・ノースリバー再開発） ○交通計画 ●三宮総合交通センター ●鉄道と港湾の接合—神戸港駅の整備	●ポートアイランド造成事業（港湾建設） ●一建設省，三港建，神戸市 ●神戸商工貿易センターの建設 ●パッセンジャーターミナルの建設（第4突堤） ●山陽新幹線・新神戸駅 ●地域冷暖房プラントの検討
2 六甲埠頭地区	●技術開発センター及び生活物資加工機能の流通センターの設定 ●臨海技術センターから内側の市街地へとつながるかたちでの技術開発↔サービス工業及び業務↔人的能力供給のための住宅といった2本の技術軸の設定 ●六甲副都心軸 （○神戸港六甲埠頭基本方針検討委員会報告書　昭和45年10月23日）	○土地利用・機能配分計画 ●第3工区第4工区（食品コンビナート）の流通センター（Ex広島西部開発事業，博多，箱崎1区，千葉，中央地区） ●六甲埠頭に技術開発センター，外貿埠頭と流通加工機能 ●浜手幹線（第2阪神）沿いに埋立地の流通機能加工機能に対応したサービス工業 ●阪急・国鉄・阪神の各駅前をつなぐ地区商業機能 ○交通計画 ●六甲トンネル，第2六甲トンネルを通じ北神に通じる南北幹線道路（京都・大阪と神戸をむすぶ軸幹線道路と鉄道港岸道路，高速道路）	●六甲埠頭建設計画（港湾審議会・第28回計画部会） ●大阪湾横断堤構想—第三港湾建設局構想 ●東部第4工区埋立造成——神戸市（卸売業商業団地，中央卸売市場東部市場トラックターミナル，東部内貿埠頭） ●国鉄六甲道駅前市街地改造事業 フェリーボート基地建設
3 兵庫運河地区	●バージライン利用等による，兵庫港と直結した兵庫運河の再開発 ●運河地区を中心に御崎公園↔兵庫駅前↔会下山公園という南北の機能軸—緑地文化軸 ●内貿的物的流通と都市サービス工業（兵庫）と下町型の生活中心（西神戸）	○土地利用・機能配分計画 ●浜手幹線沿道に地域地区拠点業務 ●中央幹線沿道に広域業務 ●兵庫駅前に兵庫地区と長田地区を結ぶ流通業務中心施設 ●中央幹線より北部はそれらに対する都市サービス機能と人的資源基地としての市街地住宅機能中心とする。 ○交通計画 ●東西をつらぬく三大幹線道路と鉄道，神戸高速道路 ●南北をつなぐ幹線道路と緑道	●兵庫運河周辺の工場跡地利用 ●兵庫駅前再開発構想（山陽電鉄兵庫駅跡地） ●大橋市街地改造事業 ●道路建設 （臨海道路↔山陽自動車道 阪神高速道路↔西神戸バイパス）





堺市鳳駅前地区再開発計画





西宮市街地開発パターン図

港と都市をつなぐ軸を都市軸として位置づけていくテーマを展開していくことは，神戸に限らず，他の臨海都市にとっても有効である。

現在の堺市市街地を地域区分してみると，A—既成市街地と，C—泉北ニュータウンなどに代表される内陸新市街地，および，それらのあいだにはさまれたB—周辺市街地の3つのゾーンに分けることができる。さらに，埋立の結果できた臨海市街地を加えることによって，4つのゾーンに分かれることにもなる。この地域区分を相互につなぐかたちで，3本の臨海↔内陸軸を設定してみる。つまり，現在の堺市の各ゾーンが臨海部に港町として発展してきた歴史的蓄積の多い中心市街地と，現在それを核としてどんどんひろがりつつある内陸部市街地を，臨海↔内陸というかたちで，しっかり関連づけていくためである。

そして，その3本の臨海↔内陸軸は，堺の既成市街地の北部を通る軸（臨海—築港・八幡—三宝↔松原—南大阪流通センター—予定）と，中央軸（出島↔大仙公園↔百舌鳥・天美町），南軸（石津川流域↔八田↔泉北ニュータウン）といったことになる。

南北方向に3つの軸に分けてみたことによって，それぞれのゾーンに固有の性格づけを検討することができる。さらに，この3本の軸に加えて，大阪都心軸——中央都心軸（大阪市大と大阪府大を結ぶ将来の堺の情報中心軸として考える），あるいは，周辺市街地軸などを配置すると，堺市全体の市街地の開発パターンの構成が方向づけられる。（「堺市翁橋地区再開発計画」昭和44年3月）

また，現在検討がすすめられている阪神港利用計画の位置づけについても，港湾だけでなく，背後の市街地再開発と組合せて阪神間湾岸地域開発構想とでもいった方向で検討される必要がある。

さらに，阪神港と北摂開発といった〈臨海〉と〈内陸〉の結びつきが，それぞれの開発事業の役割と機能をよりはっきりさせることになる。

3. 瀬戸内海一水のメガロポリスの将来

7） これからの瀬戸内海の計画を考えるとき，これらの条件の再評価と，その再構成の上に組み立てていくプログラムを整理する必要がある。

それは，まず，水路のネットワークという地勢的条件がはたす役割を超えた条件が加わりつつあるという事実に対する認識である。地つづきという条件から離れることができる航空路網の発達が瀬戸内海にいろいろな影響を与えつつある。

広島—東京，高松—東京，松山—東京といった直通便の活躍は，水のメガロポリスと陸のメガロポリスの接点という条件によって支えられてきた大阪の西日本経済社会に対する中枢的役割を弱めつつある。

歴史的基礎をもった瀬戸内海地域の多核心構造的都市のつながりは，この傾向を一そう助長させていく。

例えば，東京・関東内陸型地域構造は，東京を中心とした単核心—ピラミッド型くみたてである。ピラミッドの頂点をおさえれば，すべてを制御することができる。

それに対して，瀬戸内海地域の場合，大阪中心構造でないというむしろ地方都市の個性的機能が発達した

構造の結果，大阪の管理的役割りを不必要にする。東京↔大阪↔瀬戸内海諸都市という国内ネットワークにおける大阪の中間段階的役割を消去していくわけである。

過去の連続にのっかった瀬戸内海開発と大阪湾総合計画という思考では駄目になってきた。

瀬戸内海水路の意味は，大阪湾へアプローチする航路ということではなく，瀬戸内海沿岸諸都市間の相互の多様なネットワークということに基本的な意味を求めるべきであり，単に物の輸送ということではなく，人間・頭脳・知恵のコミュニィケーションネットワークの場としての役割を育てていくべきである。水路としての瀬戸内海から，広場としての瀬戸内海への設計が必要になってきているわけである。

現在のフェリー航路の発達は，ややそういった意味の方向可能性を暗示している。

個性のある諸都市間相互の多様なコミュニィケーションは，多次元な価値観を育てる。

それは，東京中心構造がひき出す一つの価値感の判断の結果がもたらす画一化に対するアンティテーゼとなるだろう。そして，多様な個性を基礎にした瀬戸内海水のメガロポリスの国際社会への参加，という条件に対してはじめて大阪湾総合計画の意味がはっきりしてくるのではないだろうか。

国内での２眼レフ論の議論だけで，大阪湾ベイエリアを位置づけることには無理がある。

これからの国際社会に向かって，個性ある地域と地域をつなぐ文化の交流が，世界の広場でくりひろげられ，その国際的窓口の機能を大阪湾総合計画がになうことになるわけである。

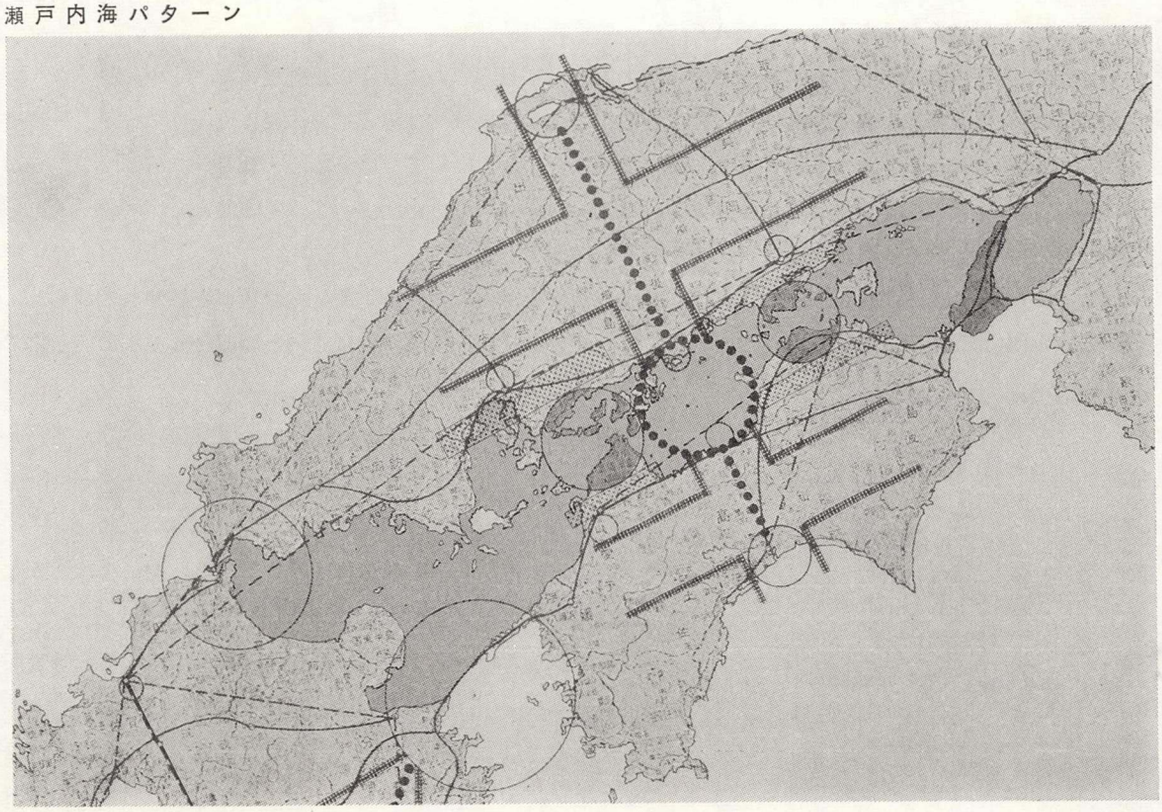
8） 瀬戸内海大橋架橋をはじめとする３本の本洲・四国架橋が活動した場合，瀬戸内海地域の都市構造には，一つの変化が予測できる。それは，現在の工業社会時代の都市配置構造からの転換のビジョンである。

瀬戸内海の新しいシンボルとなる水と緑の都市軸を形成する位置は，３カ所，淡路島，備讃諸島，芸予諸島である。そして，それに，瀬戸内海水のメガロポリス側からみて，九州全島が１つの核として加わる。

周防灘・伊予灘を東の播磨灘と見立ててみると，九州全島は，さしずめ淡路島の位置にあり，大阪湾と淡路島の関係とは様相をかえたかたちで，博多湾・長崎湾・鹿児島湾をしたがえて東シナ海とつながったことになるわけである。水と緑の都市軸は，工業社会時代の都市核の構造とは違った内容からスタートする。それは，ビル街・工場といった職場が集積した「会社都市」型の都市中心ではなく，レクリエーション・スポーツ・教育・研究・文化機能が主役となった構成である。

例えば，淡路島開発のかつてのキャッチフレーズは，「花とミルクとオレンジ」の島だった。

瀬戸内海パターン



架橋がそこに加われば，その豊かな，自然につつまれた新しい都市軸を育てる絶好の環境となる。

児島・坂出ルートの架橋が導入される備讃諸島の場合も同様である。

児島・玉野をもつ児島半島，そして海に浮かぶ本島・午島，さらに大平山・五色台は，その自然環境を基礎として大きな緑軸を構成し，工業社会時代の従来からの中心都市市街地——岡山・水島・倉敷・高松・坂出・丸亀がそれにぶら下がったかたちとなる。今治・尾道ルートの架橋が走る三原・尾道，因島・大三島・大島などの島嶼部，今治自身が位置する高縄半島も，同じような役割りづけを志向していくべきだろう。

柑橘などを中心とした高度農業，養殖漁業，それに多くの歴史文化財の蓄積をネットワークした都市軸が，広島・福山，松山・新居浜といった工業社会時代都市群を従えた新しいシンボルとして活動するというビジョンが考えられる。九州にも，恵まれた大自然のふところのなかに点々と配置されている各都市のネットワークといった多核心構造の多元的な活動を大いに期待したくなるわけである。

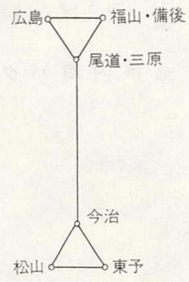
博多・長崎・鹿児島といった外を向いた港の活動が，この多核心都市の活動によって加工・増幅され，瀬戸内海メガロポリスへの大きな刺激となってあらわれてくるからである。

9） ところで，瀬戸内海沿岸都市のこの臨港地区の現況はどうだろう。困ったことに，臨海都市としての成り立ちを忘れたかのようにその地区の利用のされ方が混乱し，荒廃している。

都市計画も，港と都市のテーマを忘れ，ダウンタウン中心の市街地構造を思考しているために，臨港地区は，市街地のはずれとしてしか位置づけられていない傾向が強い。広島しかり，高松しかり，福山しかりである。海の広場の設計の必要性とあわせて，この瀬戸内海諸都市のウォーターフロントの再構成と再開発は，これからの大きな課題である。広島の場合も，河川緑地と港，空港といった機能施設を総合的に束ねくみたてていくことによって，臨港地区をシーデッキとして再構成・高度化すると同時に，そこを中心として，むしろ既成市街地と海をしっかりつないでいくべきである。

陸の文化センター——平和記念公園と似島・江田島・宮島の海の公園をしっかりタテにつなぐかたちでの都市構造への転換をはかる必要があるだろう。高松の場合は，この臨港部のデッキと内陸の空港・流通センターがしっかり連結されることから市街地構造のくみたてがきまってくる。

尾道・三原・今治などは，尾道・今治架橋線の都市軸の構成とも関係しながら，ウォーターフロントをより積極的に海のひろばへ直結させ，都市活動自体の方向を変質させていく必要がある。フェリー基地づくりと港公園，そしてそれと直結するシーサイドタウンセンターの建設などが当面の目標となるだろう。（図A）



図A

例えば，瀬戸内海の新しい都市軸構想の方向にあわせて思考し，今治市の役割を，その都市軸の窓口的機能を基礎において考えてみる。すなわち，今治は海と道路の交点としての条件をしっかりいかすことにより，海の広場に面した街として，経済中心・観光中心・頭脳中心（市街地機能の集積）的役割をはたすべきだという指向である。そこで都市としての総合的機能環境の設計が，今治の今後の課題となる。

今治市の市街地構造(Structure of City)を検討していく上で，新しく加わった重要と思われる課題は，

① 瀬戸内海大橋架橋道路と今治の連絡（インターチェンジ）——西口縦貫道路との組合せそれに関して幹線道路網の再編成

② 港湾機能施設の再配置と関連しての工業地区の立地変動

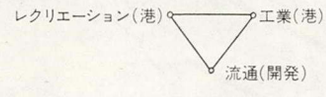
③ 港湾地区再編成・高度化に関連してのフェリーターミナルなど港の窓口機能の整備

である。以上の課題を総合的に検討した結果，左の図のような市街地開発パターン（Structure PLAN）を構想してみた。

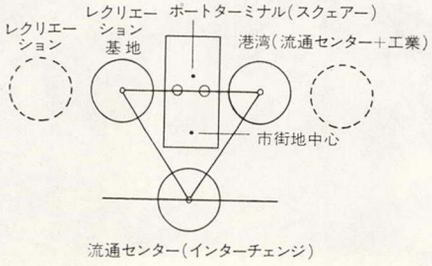
図Bといった軸をまず基礎におき，図Cといった構成を方向づけてみる。

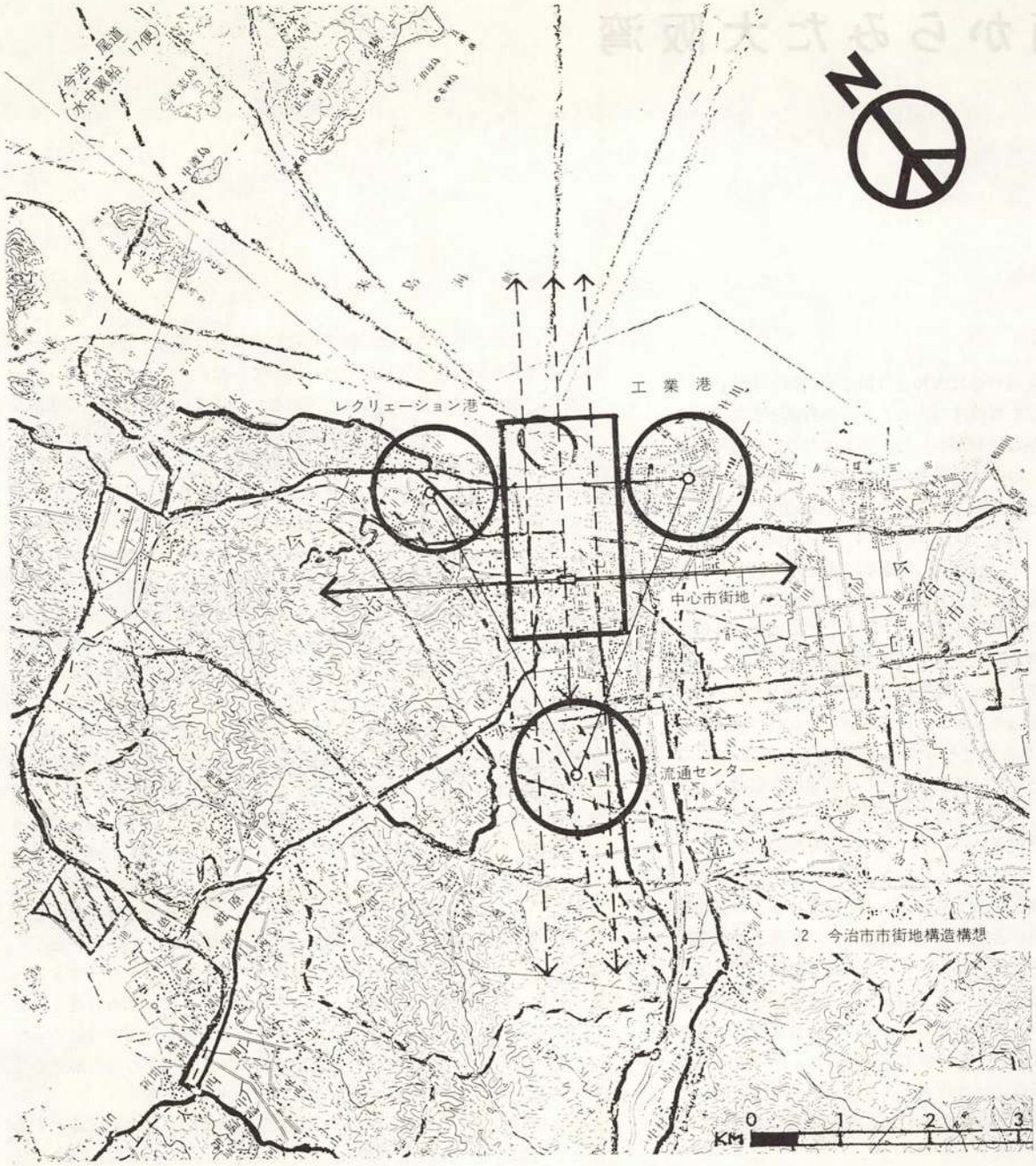
瀬戸内海大橋と四国縦貫，今治の街とつながりを考えた位置にインターチェンジを配置する必要がある。その場合，その内

図B



図C





.2 今治市市街地構造構想

陸流通センターと，港湾およびその臨海流通センターとのつながり，および機能分担が十分検討されなければならない。また，現在の港湾機能と，東の新しい港湾の配置にともなう港湾相互の機能分担と都市構造の再編成が次の課題となる。

背後の都市構造を十分に検討しないで港湾施設計画のみが先行することに，いろいろ問題点が多い。

現在の港湾は，フェリーの整備なども含め，人を集中としたターミナルに方向づけ，貨物を中心として港を新しい港に配置していくべきだと考える。

現在の内港もそれに従って，ヨットハーバーなどの利用も考えたポートターミナルである。そしてこのポートターミナルを海に面した今治市の都市広場として，街づくりの中心としたい。オールドポートの都市広場化と新港の港湾流通機能中心化は，マルセイユなどの例をはじめ，ヨーロッパ各都市における街づくりの智恵である。それと同時に，浅川じりの工業港的利用も，レクリエーションポート化し，瀬戸内海大橋の架橋地点とつなげていくことを考える。

こういった市街地構造の方向づけと再編成を現実的に検討しておかないと，今治市街地は非常な混乱を招くことになるだろう。こういった市街地構造（Structure PLAN）に対応して，現在の市街地を構成する各地区の再開発計画・整備計画が考えられなければならない。　（「今治市広域商業診断報告書」1971.）。

（みずたに　えいすけ　都市・計画・設計研究所，大阪芸術大学 九州芸術工科大学講師）

港湾計画からみた大阪湾

川崎芳一

1. 大阪湾内港湾の盛衰

上古における最も重要な交通幹線は大和と九州を結ぶ線であり，瀬戸内海を通う船の東の終点として難波津（大阪），その外港として「むこみなと」(武庫川河口か定説がない）があった。中古になり，奈良平安の王朝時代には「むこみなと」の名は消えて，「大輪田」（神戸）が重要港となって現われ，難波津と並んで，中国大陸との往来の地に使われ，奈良朝時代に制定された「五泊」の一つとして，瀬戸内海ばかりでなく，海外との海運の節点として発展した。難波津は淀川の河口に位置し，淀川を通じて京都との交通に便利であったこと，大輪田は後に平清盛の経ケ島築島によってもうかがえるように，港としての地理的条件に恵まれていたことと瀬戸内海の海上交通路の要衝として，朝廷に近い位置にあったことが，この両港が港として古い歴史を持つ原因となった。

中世においても貢納品の運送や貿易のために港が用いられ，大輪田は兵庫と改称され，この頃現われた堺とともに，全国の船を吸収し，明および朝鮮に対する貿易の中心となって発展した。この時期は大阪は，港としての繁栄を兵庫，堺に奪われていたが，豊臣秀吉の大阪城築城と堺の商人の招致によって再び海外貿易の中心となり，江戸幕府の鎖国時代には，各大名の蔵屋敷が各河川筋に設けられたことによる全国の物資集散の場として天下の台所を形成し，一大発展をみることとなる。一方兵庫は参勤交代の経路として船宿が設けられ，北国廻船の中心港として諸国の物資が集散して栄えた。明治維新になって，外国との通商のため1867年12月兵庫港，1868年7月大阪港が開港に指定され，汽船の出現による近代的港湾の修築が要請されるようになった。このため外人技術者の指導と外国の築港技術の導入によって港の整備が進められ，今日の隆盛をみることとなった。とくに兵庫港は神戸港と名を変え，外国居留地に定められたこともあって，横浜港と並ぶ日本の代表的国際港に成長した。

2. 港と都市

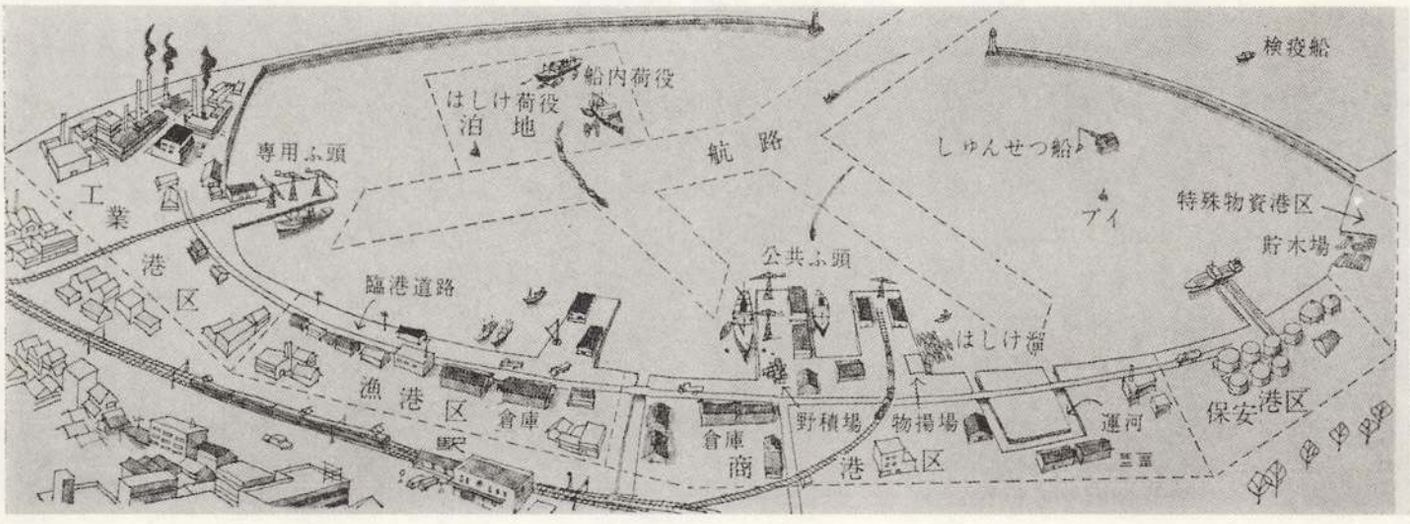
古来から都市の多くは，川に沿い，海に向かった所で発達した。そして食糧や軍隊，学問，芸術，人間を送り出し，迎え入れ，商業が栄えたところ，それが港であった。現代風にいえば港は都市活動のセンターであり，流通機能と情報機能を合わせ持っていた。

港は，現在も毎日の生活を支えて働きつづけている。大都市の生活を支える物資の多くは船によって港から運び込まれる。都市の水際線には，こうした貨物を受け入れるふ頭が並んでいる。会社専用のふ頭では運ばれてきた貨物がそこで加工されたり，貯蔵されたりしている。大阪の安治川では，ガス，セメント，穀物サイロ，発電所，そして観光船のためのふ頭が水際線狭しと建ちならんでいる。そのほか港の区域外の河川沿いにさらに上流へ500万トン以上の貨物が運び込まれている。もし，トラックで500万トンの貨物を運ぶとなると100万台分ぐらいになるが，200～300トン積みの船なら2万隻ですみ，労働力をほとんど必要としないばかりか，都市の空気も汚さず，騒音もほとんどない輸送ができる。最近では冷蔵倉庫も急激に増え，九州から大阪，東京まで肉や野菜を冷凍船やフェリーで運ぶ輸送も増えてきた。海運は労働力が少ないから，将来においても輸送コストが高まることがない。魚，肉，野菜などを安く供給できるという面においても都市の暮らしを支えている。

港はレクリエーションの場としても活躍している。美しい船，世界各国の船乗り，重そうな貨物を軽がると吊り上げるクレーン，港の中をゆっくり行きかう小さな船，のんびり飛ぶかもめ，これらを眺め，静かな波の音，ポンポンと単調にひびく曳船のエンジンの音に耳をかすことは，日常生活が無味乾燥になってきている大都市の人々に潤いを与える。港はレクリエーション旅行の出発点ともなっている。カーフェリーの発達によって，車で船旅を楽しむ人が増えた。また，都市の近くに海洋性のレクリエーションを楽しめる場所を作ることも一方では進められている。遠くの浜まで行く余裕のない人のために人工的な海浜が必要なのである。大阪の浜寺海水浴場は人工のプールに変った。

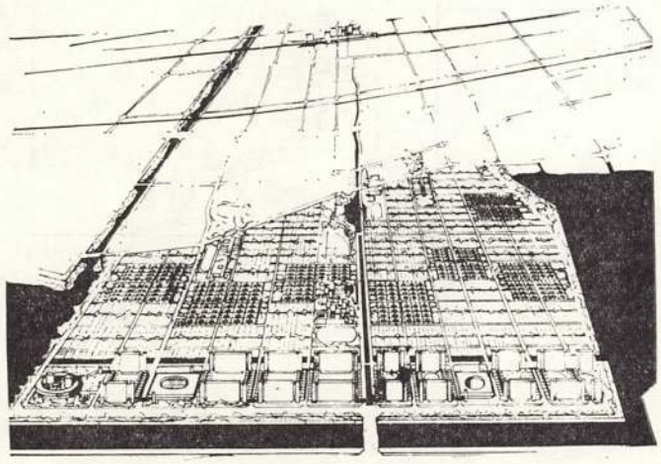
埋立技術の発達によって，海面を埋立てて新しい広い土地を造成することが可能になった。神戸港のポートアイランド，大阪南港，さらに芦屋の前面に大規模な埋立を行なってあらかじめ計画された新しい都市が生まれようとしている。このように港は都市住民の生活と密着して，都市の発展に寄与している。

みなとは，はたらき，大きさ，かたち，位置などでいろいろな分け方ができる。ふつうは用途によって商港，工業港，観光港，漁港とわけることが多い。みなとの中の施設はこのように呼ばれる。





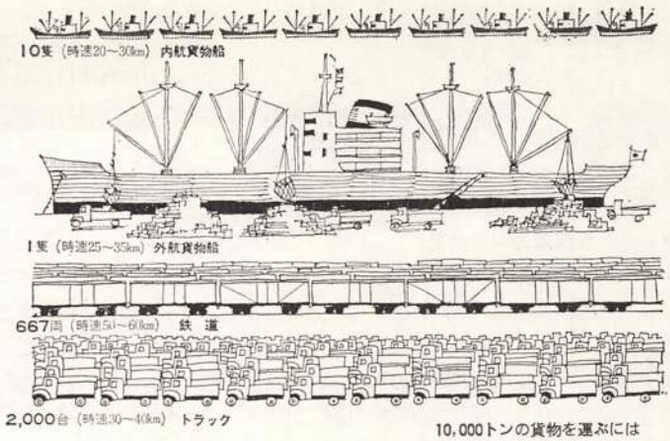
大阪の尻無川，空からみるのでないとその活動はわからない。



芦屋は住宅都市，埋立ても住宅中心，海辺の遊歩道なども計画されている。

浜寺公園





10,000トンの貨物を運ぶには



国民1人当り輸入額（昭和42年）

これからの都市と港はどうなるだろうか。都市の中心部は高層化され，人の交通や情報の収集が便利になるが，貨物の移動には不便になる。都市にある港の用地にも立体化が要求されてこよう。都心部の港は貿易センターのような情報部門が拡大し，定着するとともに，いままでのふ頭は再開発され，立体的に使われるようになる。さらにレクリエーションの基地，港の見える公園やレストラン，豪華船の発着場が美しく整備されよう。そして都市の水際線に立地し，都市の発展を支えた臨海工業地帯はしだいにその姿を変えてインダストリアルパークとしても生まれ変わり，公害のある工場ははなれていくであろう。コンテナや一般貨物を取り扱うふ頭は都市の環状道路の出入口付近に整備され，都市の背後に通じる立体道路に結びつけられる。このように港は都市の中核として，その機能を多様化し，高めていくであろう。

3. 大阪湾内港湾の現状

大阪湾周辺地域は西日本における産業，経済活動の中核として，大規模な経済集積を有しており，港湾立地条件としてもきわめてすぐれている。このため，従来から東京湾と並んで重点的に港湾整備が進められている。現在，特定重要港湾3港（神戸港，大阪港，堺・泉北港）および重要港湾2港（尼崎・西宮・芦屋港，阪南港），地方港湾12港があり，2億1千万トンの港湾貨物を取り扱っている。水際線は高密度に利用されており，海上コンテナ輸送，フェリー輸送等の輸送革新の波をまともに受けている。

3－1 大阪湾の特徴

大阪湾を東京湾や世界の港と比べてみよう。

大阪湾の最大の特色は，いかようにも加工できる広大な海面を有していることである。世界有数の大港湾であるニューヨーク港，ロッテルダム港を同一縮尺でみると，これら両港は大阪湾と比べものにならない位の狭小な海面しか持っていないことがうかがえる。

以下に大阪湾の特徴を上げてみる。

(1) 大阪湾は瀬戸内海と外洋を結ぶ海運の要衝として活発な港湾活動を展開している。とくに，大規模な集積を有する大阪湾と瀬戸内海が明石海峡を境に海のメガロポリスを形成していることは，大阪湾だけにみられる大きな特徴である。

(2) 海岸線の延長は，東京湾とほぼ同延長であるが，現在港湾活動が営まれている海岸線延長は東京湾の約半分である。

(3) 港湾貨物量は工業原材料の多い東京湾が多く，入港船舶隻数はほぼ同程度である。

(4) これらのことは，大阪湾の海岸線が東京湾のそれより高密度に利用されていることを示し，また瀬戸内海を擁する大阪湾は，比較的小型の船舶が活動していることを意味している。

(5) 湾背後の状況も，東京湾背後に比べ高度な活動をしており，単位平坦地当りの生産性は東京湾背後の約2倍である。

3－2 大阪湾の利用状況

大阪湾内の各港はそれぞれ固有の機能を果している。すなわち，神戸港，大阪港は西日本経済の外国貿易の窓口として，遠く九州にまでその勢力を拡げている。また，堺泉北港は工業港として機能し，阪南港，尼崎・西宮・芦屋港は国内貿易の海の窓口の役割を担っている。これらの港で取り扱われる港湾貨物量は昭和40年以降平均15%の伸び率で増加しており，全国港湾取扱貨物量に対するウェイトは現在13%弱となっている。外国貿易貨物量だけをみれば，大阪湾の全国に対するウェイトは14%弱と高く，その貨物量は着実に増加している。

また，大阪湾を航行する船舶は次第に大型化しており，すでに20万D/Wクラスのタンカーが航行している。一方，最近の道路事情の悪化によって，フェリー輸送の需要が増大し，神戸港では1日20便をこすフェリーが就航している。また，深日港は淡路島，徳島を結ぶ基地港として機能し，このほか，大阪港，堺・泉北港，尼崎・西宮・芦屋港でも現在フェリー施設を整備中である。

3－3 大阪湾内港湾投資の動向

昭和40年以降の大阪湾内諸港に対する港湾整備のための投資は年平均24%の高率で伸びており（昭和45年投資額252億円），全国投資額に占める比重も年々増大し，16%以上に達している。一方，埋立事業は毎年2,000千㎡程度を造成している。

3－4 大阪湾内港湾整備の問題点

大阪湾内港湾は現在多くの問題を内蔵しているが，その主なものは次のとおりである。

(1) 港湾施設の不足

港湾貨物の増大に伴なって，けい留施設の整備が量的にも質的にも遅れ，大阪，神戸両港で入港船舶隻数の1割が40時間（昭和44年）にも及ぶ滞船現象を示している。また船型の大型化によって従来の航路，泊地等が狭隘となっていること，けい留施設に余裕のないことが，上屋，倉庫等との一体的運営を阻害していること，総合輸送体系の変化に対応しうる内航海運のためのフェリー，コンテナ輸送のための施設が十分整備できていないなど問題点がある。

(2) 港湾背後の道路網整備の遅れ

港湾と背後地間，港湾相互間を結ぶ道路が十分完備していないために，港湾関連自動車が市街地を走行することとなり，輸送効率を低下させるとともに交通安全の確保を困難にしている。

(3) 環境保全，保安対策の遅れ

エネルギー需要の変化にともなうオイルタンカー，ＬＮＧ輸送船に対する安全対策が十分でなく，また海水汚染の防止，自然海浜の保護等，自然環境に対する積極的対策が十分に展開されていない。

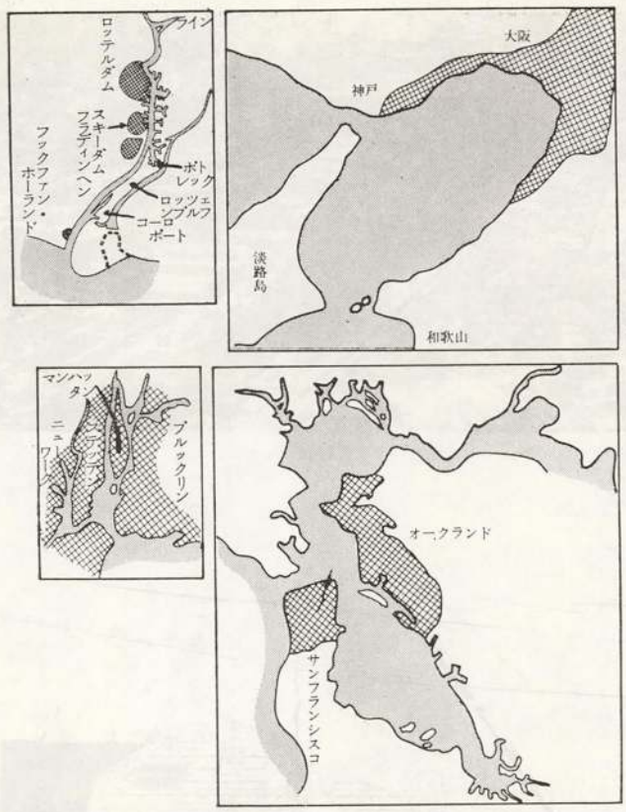
(4) 大阪湾の環境変化の対応策の遅れ

背後都市への人口集中による用地および空間の不足が，海面への都市のスプロール化現象を引きおこしており，関西新国際空港の海上への立地の動き，湾内船舶航行の幅輳による大型船航行の規制の動きとからまって大阪湾の海面利用が複雑化してきている。

4. 大阪湾の港湾整備

4－1 大阪湾港湾整備の方向

日本の経済社会の発展にともなって，大阪湾周辺の都市活動が密接に関連をもち，湾岸都市として一体化する動きにある。これに対応して，運輸省は大阪湾内諸港を有機的に結びつけ，一体化した有効利用をはかるため，昭和42年8月「大阪湾港湾整備の基本構想」を策定した。以後，大阪湾内の港湾は以下の基本方針にもとづき，広域的，総合的な港



同じスケールでみた世界のみなと
ニューヨーク港やユーロポートも思ったより小さい。

大阪港港湾計画平面図（案）



大阪湾，東京湾の比較

		東京湾	大阪湾
海岸線 (km)		154	160 (70)
湾面積 (km²)		1,160	1,400 (650)
港湾取扱貨物量（百万トン）		269	206
	外貿	111	64
(44年)	内貿	158	142
入港商船隻数 (43年) (千隻)		351	331
通航船舶隻数 (隻／日) (43年8月調査) ( ) 内は漁船で内数		浦賀水道 759 (66)	友ケ島 (42年調査) 449 (42) 明石海峡 1,663 (565)
背後圏	人口 (百万人) (45年)	32	17
	面積 (千km²)	50	27
	背後平担地の人口密度 (人／km²)	1,060	2,380
	製造業出荷額 (44年) (百億円)	2,136	1,291

(注) 1. 大阪湾の ( ) は神戸から泉佐野迄のもの。
2. 背後圏は次のように想定した。
東京湾……(茨木) (栃木) (群馬) (埼玉) (千葉) (東京) (神奈川) 山梨，長野の9県。
大阪湾……滋賀，京都，(大阪) (兵庫) 奈良，和歌山の6府県。
3. 湾背後の平担地は，湾背後の標高200m以下の地帯である。背後平担地の人口密度を算定する際は (注) 2のうち ( ) の各都道府県の人口を対象とした。

大阪湾港湾貨物量の見通し (単位：百万トン)

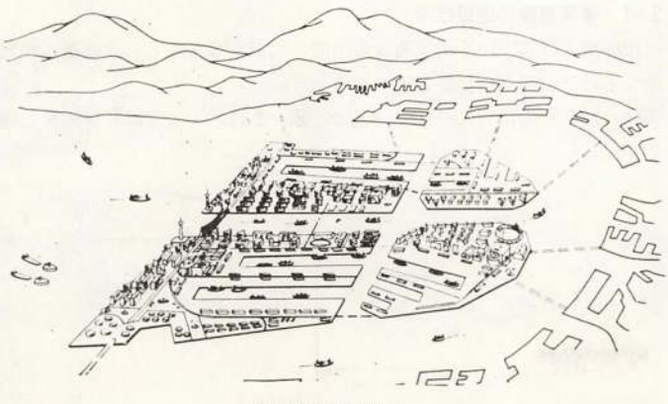
	昭44年	昭50年	昭55年	昭60年	備考
合計	164	280	457	560～800	①大阪湾の第2線埋立地の水際線で取扱いうる限界値 ②GNP 220兆円 (60／40=10%の伸び率) ③企画庁長期展望ケースAの輸出入金額を使用GNP297兆円 ④臨海工業用地の一部スクラップ化を考慮
外貿(公共)	32	58	97	130 ～250	
内貿(〃)	47	73	160	190 ～250	
公共小計	79	131	257①	320②～500③	
専用小計	85	149	200	260 ～300④	

(注) 1. いずれもフェリーを含まない数字である。

大阪湾内各港整備計画事業 (昭和46～50年度) (単位：億円)

港名	港湾整備事業	機能施設整備事業	埋立事業	外貿バース	内貿バース	埋立地 (ha) 港湾用	都市再開発	工業用
堺・泉北	231	61	192	8	25	107	101	313
大阪	923	153	126	16(5)	27	86	185	56
神戸	1,333	234	458	46(7)	19	158	233	
阪南	48	15	7		2	16	23	
尼崎・西宮・芦屋	473	165	708	6	57	133	384	51
計	3008	628	1491	76(12)	130	500	926	420

(注) 1. 本計画は要求中のものである。
2. 外貿バースの ( ) はコンテナバースを示し，内数である。



海上都市鳥かん図

湾整備が進められることとなった。

(1) 湾内の海岸線および水面については，快適な環境の保全と公害の予防を考慮しつつ，計画的に用途を定めて開発をはかるものとする。

(2) 各港の特性に応じ，機能の効果的な分担をはかり，相互の重複を避ける。

(3) 湾内の商港施設は背後地との関連を考慮して貨物の流通が合理的になるよう配置する。

(4) 湾内の用地造成については，重化学工業用地の造成は原則として一定区域に限定し，その他については主として港湾用地，都市再開発用地等にあてるものとする。

(5) 港湾施設の利用効率を高め，荷役の合理化をはかるため，極力ふ頭の物資別専門化をはかる。

(6) 流通の円滑化ならびに都市交通の混雑緩和に資するため，沿岸に幹線交通施設を配置できるよう考慮する。

(7) 港湾内における安全確保のため，危険物施設はできる限り一般施設からの分離をはかる。

4－2 第4次港湾整備5か年計画（昭和46～50年度）

新経済社会発展計画の決定（昭和45年5月1日）にともなって，港湾整備についても本経済計画の政策に沿って強力に推進するため，国は昭和46年度からスタートする総事業費2兆1千億円の第4次港湾整備5か年計画を策定した。この計画は，日本の経済社会の発展に対応した，港湾取扱貨物量の増大，船舶の大型化，安全性の確保，環境保全等に対処した港湾整備を目途としている。これを受けた大阪湾内諸港の整備計画は次のとおりである。

(1) 物的流通のための港湾の整備

阪南港を除き，各港に外貿用岸壁を整備する。とくに神戸，大阪港にはポートアイランド，南港を中心として，コンテナ船および外貿一般船のための施設を重点的に整備して外貿商港機能を強化する。また，物的流通の全国的ネットワークが形成されるよう尼崎・西宮・芦屋港等流通の拠点的港湾を整備する。

(2) 地域開発に関する港湾の整備

都市型産業の育成をはかるため，堺・泉北港に大型岸壁を整備する。また，淡輪港にヨットハーバー等の観光港を整備する。

(3) 安全確保，公害防止のための施策の推進

船舶航行の安全を確保するため航路泊地の拡幅，増深をはかるとともに尼崎・西宮・芦屋港，神戸港に防波堤を建設する。さらに湾内各港に海水汚濁防止のための施設を整備する。

5. 大阪湾の将来展望

京阪神を中心とする大阪湾地域は，わが国の経済社会諸活動の中枢であり，西日本の中核として発展し，その経済圏は瀬戸内海地域へと外延的に拡大されて新しい経済活動の場を形成しよう。また，国際交流の緊密化，地域経済の活発化などによって輸送需要がますます増大し，近代的な流通機能が要請されようが，当地域が東海道メガロポリスの西部に位置し，太平洋，瀬戸内海に位置する広大な水域を有していることから，わが国の新しい輸送システムの中枢として発展していくものと考えられる。このような大阪湾地域の一体化にともなう諸活動の高度化が進むことにより，大阪湾海面の有効利用が要請されてくるだろうが，現在，大阪湾の開発構想として，関西経済同友会，水谷頴介氏（都市・計画・設計研究所），運輸省第三港湾建設局等が海上都市の構想を提案している。これらの海上都市構想は，いずれも総合的な土地利用計画にもとづいた機能的で文化的な近代都市の建設を目指したものであるが，新関西国際空港の大阪湾への立地の動きと合わせて，空港と海上都市構想など各種プロジェクトの調和をはかり，将来の大阪湾のベイエリアの望ましい開発パターンを探る必要があろう。

参考文献 日本港湾修築史（日本港湾協会）
都市化時代のみなと（小合彬生著）
神戸開港百年史建設編（神戸市）

（かわさき よしかず 運輸省第三港湾建設局企画課長）

港湾都市の建設技術

佐々木　　伸
樋口通夫

1. はじめに

港湾工事のみに限らず，土木工事は地域的な土質，気候といった条件によって，種々異なる技術が用いられる。したがって，一般的な技術というものはないが，ここでは軟弱な粘土地盤上の建設について述べたいと思う。

2. 港湾建設技術の歴史

港湾そのものの建設は防波堤に代表される外かく施設，航路，泊地に代表される水域施設，および，けい船施設とに大別される。これらのうち，建設工事の機械化されていない時代にあっては，水域施設，けい船施設の建設は非常に困難であった。とくに水域施設は水中の工事であるので，不可能あるいは至難なわざといってよかった。したがって，しゅんせつ技術の歴史は港湾建設技術の歴史だといってよいだろう。

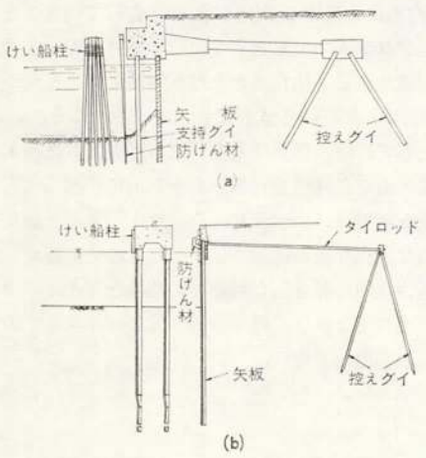
しゅんせつ船といってよいと思われるものが誕生したのはオランダにおいて，1435年である。Krabbelaar と呼ばれるこの船は船底に "まぐわ" をもっており，帆と水中翼とで移動する。船は引潮のときに港口のところにもってこられ，引潮とともに港外に出るのであるが，その際，まぐわで海底土を掘りおこし，ルーズな状態にして引潮で港外へ押流そうとするもので，主としてシルト地盤に用いられた。Krabbelaar は1800年頃までもオランダのいくつかの港で用いられていたそうである。

1600年になって英国人たちからAmsterdam Mud-mill と呼ばれたしゅんせつ船が，やはりオランダで出現した。これはまさに現在のバケット式しゅんせつ船である。ただ，この船はギヤやバケットを含めすべて木製であり，動力は人力によっていた。労働者はわが国の水車の足ぶみのような船上に設けられた大きな環を足でふみ回していたのである。しかし，1620年には，動力として馬を採用している。馬は甲板上に水平に設けられた環の周囲を動き，環を回す方式であった。5匹の馬を積んだ（2匹が働き他の3匹は休む）船では，400t/day のしゅんせつ能力を有し，そのしゅんせつ限界深さは約5mであった。その後，この船は大型化し，1835年のレポートによるとなんと180t/hrの能力を有し，深さは約7mまで可能だったということである。

18世紀の後半にイギリスでスチームエンジンが発明され，少ししてこれがしゅんせつ船にもとり入れられている。

その後，技術的進歩を経て現在のように土質やその他の条件によって選択できるほど，数多くの種類のしゅんせつ船が完成したのである。とくに今世紀に入って出現したポンプ式しゅんせつ船は大量施工能力を有している点で画期的なものであった。現在では軟弱地盤のしゅんせつには，主としてグラブ式しゅんせつ船，およびポンプ式しゅんせつ船が用いられている。

図—1



一方，けい船岸の発達は例をあげればきりがない。ここでは，図—1を示すにとどめたい。図—1の(a)はわずか20年ほど前にアメリカで大学の教科書用に出版された本に示されている矢板式岸壁の例である。(b)は最近建設された矢板式岸壁であるが，この図は(a)と比較する意味で構造上できるだけ近いものを選んでいる。なお，けい船柱も比較上(a)と同じ場所に描き込んだ。両図の相違点でまず気付くのは防げん材である。(a)のような形の防げん材は現在でも諸外国では時々見かけるものである。杭の上端は自由にしておく方が効率がよいので大部分のこの種の防げん材は上端自由としていることが多い。しかし，この種の防げん材は，船が斜方向から接岸するとき折損することもあるし，近年の船舶の大型化による衝撃力の増大に対処することが困難であるところから，ゴム材や木材を介して，上端をけい船岸に固定するか，(b)に示した中空の硬質ゴム防げん材が用いられることが多くなっている。

次の相違点は，タイロッドである。(a)のものはプレキャストの鉄筋コンクリート製のものと思われる。現在は高い引張力に耐えうるロッドや特殊なロープが開発され，ジョイント類も優秀なものがでまわっているので断面を小さくできるようになった。さらに，(a)では，矢板と支持杭が併用されていることがある。これは，矢板の断面にも関係があるが，現在でも時々見かける構造である。しかし，図のように両者の根入れ深さが等しく，とくに摩擦杭の場合は，支持杭の効果を疑うむきもある。ただこの(a)の場合は，前面水深を確保する意味もかねているとも考えられるが，頭部のコクリンクリートが大きすぎて不経済である。

けい船柱も相違点の一つである。現在では仮設の構造物であるか，とくに小型船用のものである場合を除き，けい船柱に木杭を利用することは少なくなってきている。けい船柱には，直杭構造のものと斜杭構造のものとが考えられる。水平方向力，地盤条件，および近接する構造物との関係などを考慮して，より有利な方を選べばよいのは，他の構造物の場合と同様である。ただ，この場合は，けい船に用いるワイヤやチェーンの強さの関係で，けい船柱頭の水平方向変位のしやすさが問題になることがあるので注意を要する。

このようにわずか20年間の変化をとりあげただけでも大変な相違があるのがわかる。今後ともさらに進歩し，変化していくであろうことは想像に難くない。ただ，後にもふれるが，構造上の基本形そのものについては変化がないのは注目すべきであろう。

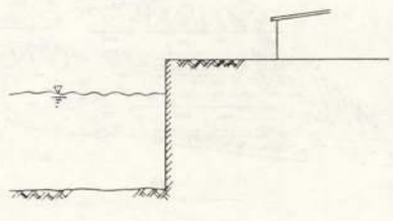
3. 現在の港湾技術

3—1 港湾施設の建設技術

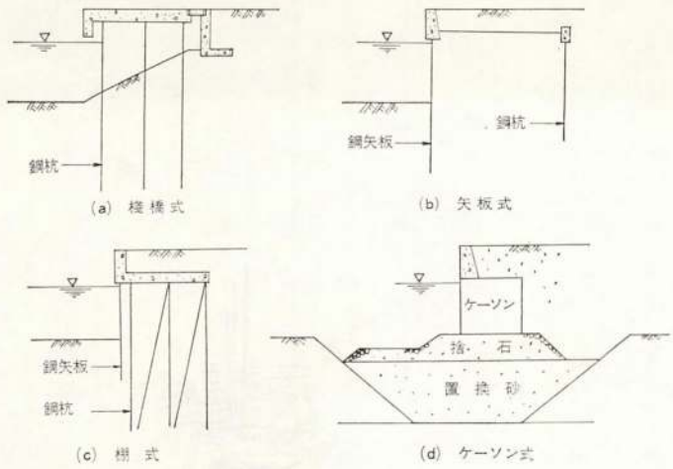
現在施工されている港湾施設の中で，代表的なものである岸壁，物揚場などのけい船岸について述べてみよう。

けい船岸を構造的に一口でいえば，図—2に示すように背後地面と海

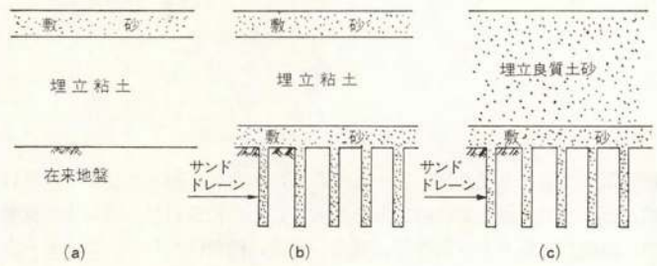
図—2



図—3　けい船岸の構造



図—4　埋立工法



底面とを垂直な接岸面で連絡する構造物ということができる。長い港湾技術の歴史において，この直立面を保たせるということだけのために，技術者たちは苦労を重ねてきたのである。

けい船岸の構造形式は種々あるが，最も一般的と思われる形式は図—3に示される桟橋式，矢板式，棚式およびケーソン（重力）式の4種である。大型けい船岸では桟橋式，棚式を選ぶことが多く，比較的小型けい船岸，および護岸のほとんどは，矢板式を採用している。なお，ケーソン式は大型，小型の別なく採用されている。

これらの諸形式において，前述した細部における種々の変化，進歩を別にすると，——これらの進歩は土質力学，構造力学の発達による現象の的確な把握に起因する——構造形式上の問題としては，ある程度かたまったものとみるべきで，先人が苦労を重ねた結果見いだした技術を賞讃すべきであろう。なお，使用材料については，大型杭打船の開発と電気防食など防食技術の進歩と相俟って，鋼材が主材料として，コンクリートや木材にとって代ろうとしている。

構造形式を重力式とその他の形式とに分類すると，軟弱地盤上では，重力式以外の形式が用いられがちである。それは，第一に既設構造物，例えば護岸などがある場合，その附近で重力式を採用するのに(d)のような置換が困難であること，第二に耐震性を考慮した結果有利であること，第三に支持力の点で有利であることなどの諸因による。

とくに，第二の点は大地震多発帯であるわが国においては重要な事項である。ケーソン式のように地震力が直接壁体に作用する重力式構造物では，たとえそれが設計計算上安定だとしても，潜在的な不安感を設計者はぬぐいきれずにいるのが現状である。

しかしながら，海洋を埋め立て大規模港湾を建設する場合には，施工中の安定，急速な大量施工などの関係で，ケーソン式をすることもある。

この場合，一箇のケーソンの大きさは，大阪湾内では 800 t～1200 t 程度で陸上制作して起重機で海上に吊り下ろすという施工法が一般的である。これは起重機船の大型化によって，はじめて実現できたものである。

軟弱な地盤にケーソン式を採用するにあたっての支持力，耐震性の問題については，基礎地盤を良質土砂で置換することにより解決している。地震時の置換砂のクイックサンドの防止については，定量的には未解決であるが，置換面全域について捨石で被覆を行なって防ぎょしている。

しかし，この重力式とても港湾取扱貨物量の増大に対処するための急速施工にあたって，良質土砂の確保の問題，ケーソン基礎捨石均しのような人力による工種の省略化の問題など，多くの問題が今後に残されている。

3—2　埋立技術

戦後，港湾の拡張のための埠頭用地をはじめ，工業用地，都市再開発のための用地など多くの用地を臨海部に求め，本格的な土地造成事業が施工されてきた。埋立工法としては，大別して図—4のように3つの形式に分けられる。(a)は埋立地へ直接しゅんせつ土を送る方法である。(b)は埋立前に在来海底地盤の圧密促進を考慮した方法で海底に敷砂し，サンドドレーンを打設したものである。(a)，(b)はいずれも埋立周辺の土が埋立に不適当な粘土であっても種々の理由からそのまま利用したものである。これらは埋立後，埋立土を長期間放置し，その表面を乾燥させ，ある程度の強度をもたせたのち，その上に敷砂を施工するもので，土地使用のためには，さらにペーパードレーンなどで改良する必要がある。これらの工法では上置砂のための粘土の乾燥期間，地盤改良期間等，相当長期にわたる工期を要し，その間の金利まで考慮すると不経済なことになりかねない。(c)は良質な土砂で埋立てた工法である。この工法による場合，大阪港では現在のところ，海砂については 500㎥ 積大型バージによる運搬後ポンプ船によって送砂を行なっている。また，山砂を採用したときは，バージ，ガット船からの直接投入のほか，陸上運搬はダンプトラックとブルドーザーの組合せを採用している。将来，さらに大量土砂を使用するにあたっては，コンベアシステムが支配すると思われる。

3—3　埋立地の都市化に伴う問題点

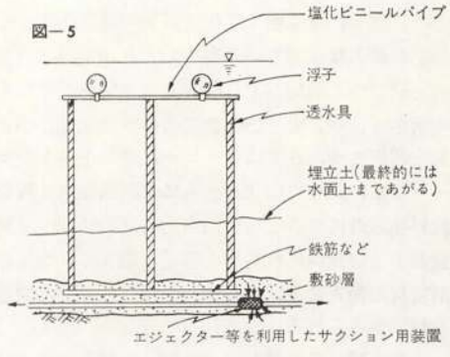
造成地の都市化を埋立という技術的な問題でとらえてみるならば，以下の諸点が埋立工事に要求されよう。

i）埋立地盤の構造上の安定性
ii）埋立地利用の時期（完成までの期間）
iii）埋立地価

これらの事柄は互いに相関連し，また矛盾した要素を含んでいる。i）はとりもなおさず，埋立地盤の支持力と沈下との問題である。良質土砂で埋立てた場合においてさえ，昔からの地盤と比較して弱く，また沈下が予想される地盤であることは否定できない。しゅんせつ粘土よる埋立は，前述したように地盤改良を必要とするが，今後は乾燥期間をおくといったことでなく工期を短縮する必要がある。こうしたことから研究されたのが，フローティングドレーンである。

フロティングドレーンは図—5に示すように，浮子で浮かされた透水具を埋立前に設置しておくもので，埋立土がどんなに軟弱であっても，埋立と同時に圧密を開始することができる。なお，圧密荷重は海底敷砂層からのサクションによっている。

図—5



4.　お　わ　り　に

以上，港湾建設の技術について簡単に述べてきたが，将来とも港湾は物流の中心として，また都市再開発の場として，重要な役割を果していくものと思われる。港湾技術も，現在よりさらに安価に，速く，確実にということを目指して発展しつづけるものと思う。今後に期待し，見守っていきたいものである。

（ささき　しん　大阪市港湾局技術部第一計画係長
ひぐち　みちお　大阪市港湾局南港開発部設計係長）

市民生活と港湾

柴田悦子



1. 巨大な胃ぶくろ（大都市）と食料輸入

市民生活と港湾の関係は，一般にはあまり密接とは考えられていない。港湾が市民の眼にうつるのは，船出の旅やその送迎の際に，昔も今も変らぬドラの音に印象づけられる程度であって，日常生活の中で港湾はほとんど忘却されている。新聞に港湾関係の記事が出るのも，コレラ騒ぎとか，港の暴力とか（もっともこれは最近ぐんと減少した），せいぜい接岸中のカーフェリーから車が海水へ転落した事故といったたぐいに限られていた。それもニュース価値がなくなれば，人々の記憶から簡単に忘れられてしまう程度のものでしかなかったのである。

本来，港湾と市民生活の関係は，このように一時的部分的なものではない。15年以上も前のことであるが，昭和29年ビキニ島で行われた米国水爆実験のために，日本のまぐろ漁船が"死の灰"で汚染されたとき，放射能が多量に検出されたまぐろが中央市場へ出荷される直前にチェックされ廃棄されたことがあった。日常食生活と直結するだけに，この例は港の諸活動の重要性を各方面に再認識させたのであった。

水爆まぐろの時代に比較して，今日ではわれわれの食生活に必要な食料品の多くが港湾を通じて輸入され，デパートや食品店に並んでいる。とくに近年，食生活の変化や貿易の自由化にともなって，海外からの食料品の輸入量は増加の傾向をたどり，市民の台所は港湾を通じて直接海外と結びつく傾向がより明白になってきたのである。米食菜食中心の食生活から，パン食その他食生活の多様化は，小麦，肉類，砂糖等の輸入量を増加させ，さらにコーヒー，サンキストレモン，バナナ，チョコレートなど，貿易自由化とともに食料品輸入は質量ともに増加している。食料品以外においても市民生活に直接結びつく輸入商品は多くある。大豆のような食料用原料品，羊毛，綿花のような繊維原料品，さらに耐久消費材の輸入など，われわれの生活への直接的連結範囲はますます広がる傾向がみられる。

大蔵省関税局の統計によれば，食料品の輸入は，昭和39年から42年の間に4991億円から6497億円に増加した。トン数でみれば，肉類は5倍，小麦1.6倍，砂糖1.45倍に増加しており，国内自給率の低い小麦，砂糖，大豆などはその8割(大豆は9割)以上を輸入に依存している状態である。

このように食料輸入は増加しているが，ここで尨大な消費人口をかかえた大都市と港湾の関係をみてみよう。昭和43年8月から9月にかけて1カ月間，運輸省第三港湾建設局が中心となって「大阪湾輸出入貨物流動調査」が行われた。この調査によると，大阪湾（神戸税関，大阪税関内）における上記期間内の貨物の動きは，輸出110万トン，輸入138万トン，輸入品目の中心は，鉱物性燃料，金属原材料，木材などであるが，穀物類（大麦，小麦，米，とうもろこし，メリケン粉およびミール）は13.8万トンで全輸入量の約10%をしめる。その他食料品（肉および調整類，酪農品，魚および調整類，果実，野菜，糖類はちみつ，コーヒー茶など）は9.9万トン，約7.2%である。これは巨大な胃ぶくろである大都市を背後にひかえた大阪・神戸港で，都市生活の必需食品が港湾を通じて市場に出されることを示している。

輸入貨物の背後地は，輸出貨物に比べてせまく，近畿地方で全体の84%，神戸市，大阪市だけでも45%の集中をみせている。輸入食料の場合の背後地は，とくに両大都市への集中が顕著である。トン数からみて最大量を示す穀物の仕向地は，近畿以外の中国・四国地方へひろがりをみせているが，肉および加工食品は，神戸・大阪を中心とした都市へ集中している。例えば神戸，大阪両市へ最終着地を有する食料品は，魚および調整品70%強，果物野菜40%，糖類はちみつ85%，穀類40%といった具合である。これらの事実は，大都市＝大消費地を背後に有する港湾は，市民の食生活に欠くことのできぬ重要な役割を果していることが判明するのである。

次に神戸港で扱った輸入品の実績を，44年上半期について神戸税関統計によってみれば，全輸入商品の中で食料品の比率（金額）は24%で，原燃料品その他に比べて最も大きな比重を示している（原料品18.0%，機械機器12.4%，繊維原料12.1%）。この食料品の主要なものは食肉，魚介類，とうもろこし，バナナなどであり，前年に比してとくに増加したのはバナナ13.1%，小麦5.6%などである。これをみても大都市を背後に持つ港湾において，市民生活に直結する食料品輸入のウエイトが予想以上に高いことがわかるのである。

2. コンテナ化と食品輸入

最近世界の定期船にコンテナ化がすすむにしたがい，その復航に食料品が積まれ，わが国の食料輸入がさらに一層増加してきている。これはコンテナ船就航当時予測していた範囲を超えて食品輸入が進んでいるのである。

東京税関コンテナ委員会の調査によって，昭和44年2月～3月の2カ月間のコンテナ貨物の取扱状態をみると，輸入4287個のうち生鮮果実は全体の11%をしめており，食肉4.8%，えび2.2%，豆1.7%，その他食料品1.5%を加えると21.2%となり，コンテナ貨物の中では第一位をしめることになる。この統計で食料品以外のコンテナ貨物としては，ＮＳＴＳ貨物（20.4%），硼砂（9.2%），原皮（8.0%），機械類（6.0%）といったところが主要なものである。

少し時期はずれるが，昭和44年10月～12月，大阪・神戸税関と阪神外貿埠頭公団によるコンテナ貨物流動調査によれば，輸入コンテナ貨物の中で第一位は，食料品・動物で30.3%（17,797トン）であり，たばこを加えると30.5%になる。食料品の内訳では，レモン7.7%，肉6.3%，飼料2.2%，干ぶどう1.8%。レモンはその約2分の1が大阪府へむけられている。おそらく今後食料品の輸入量の増加につれて，コンテナによるものが急増していくにちがいない。果物・野菜のように，荷いたみがはげしくしかも迅速な輸送が望まれる貨物に関しては，コンテナはきわめて有効な輸送手段になっている。

食料品の大阪・神戸揚げ港からの内陸輸送は，加工食品，食料品の場合はトラック輸送が圧倒的である。穀物は汽船・はしけの輸送がつかわれ，果実，はちみつ，コーヒ，茶，香辛料，飼料などについては，一部はしけがつかわれることもある。しかし一般的に食料品の背後地が，港からあまり離れていないこともあって，トラック輸送が中心となっている。さらに食料品のような高級貨物で配送先が小口に分散しているものは，トラック輸送が適切であり，穀類のようにサイロ扱いがなされるものは，直接サイロ——食品コンビナートへ荷揚げされ加工されるのが一般的である。

食料品の場合，船卸時のロットがどの程度の大きさかをみると，前記調査による神戸港に例をとれば，穀物類が385件中297件が100トン以上のロット・カーゴーである。これに対し食料品は1～5トン程度のところに集中しており，例えば肉および調整品は233件中102件が，果実および野菜は385件中117件が，それぞれ1～5トンの小ロットで輸入されている。前記調査によればこれら貨物の荷姿は，食料品のコンテナ扱いはまだ一部に限られており，現在急速に増加の過程にあるといえる。

食料品輸入の場合においては，荷づくり費用の節減が，直接商品価格を動かすまでに至るか否かは，今後の研究をまたねばならない。というのは，食料品の場合，物的流通以外の流通機構がいまだに複雑さをきわめているため，市場価格の形成にいくつかの段階を経なければならない事情によるのである。消費者である一般市民は，市場にならぶ食料品を選択するとき，その輸送手段や荷姿や流通機構などをいちいち問題になどしない。品質と価格のみが選択を決定する唯一の規準である。この点輸入食料品に限らず，一般的に食料品における流通機構改革がつよく望まれる所以でもある。むしろ比較的流通機構の単純な輸入食料品の近年にみられるような著増ぶりが，国産食料品の複雑な流通機構へ何らかの刺激的影響を与えているかもしれない。この意味では，輸入食料品の国民的経済に持つ役割は，単なる"市民の胃袋"をみたす以上に大きな役割を有していることを知るのである。

3. 港湾都市と都市交通

港湾活動の活発化は，当然港湾への搬出入貨物の量を急増させる。ここで最大の問題となるのは，港湾と幹線道路を結ぶ道路網と交通量の増加によって市民生活が多くの犠牲的影響をうけざるをえない点である。例えばそれを大阪港に例をとってみれば，従来から大阪の陸上貨物輸送の拠点は，国鉄貨物駅をはじめ主要幹線道路が北部に集中している。大阪港と名神高速など主要幹線との連結は，鉄道の場合は，臨港線を経由して梅田駅に集められるが，道路については過密とマヒにあえいでいる都心部を通過しなければ幹線道路へ出ることができない。とくに大阪の地理的特質から日本縦断幹線道路につながるためには，西へいくにも東へいくにも淀川を渡らねばならず，ここにかかった6本の橋が，実質的には大阪の出入口となって，この部分における交通混雑がもっとも深刻になっている。最近内・中・外の三環状線の建設によって，大阪府南部および東部発生の貨物は，大阪市内を通過することが減少はしたものの，大阪府下輸出貨物の発生源が，上記南，東部に集中していることもあって，これら貨物（主として雑貨——ミシン，ガラス製品，自転車，眼鏡，洋傘など）の輸出港——神戸港への輸送は，阪神間の都市交通に大きな影響をもたらさざるをえない。今後大阪府下発生貨物が大阪港から積み出される可能性については今日問題にされている大阪湾再開発の中で検討されるであろう。ただしここでは外貿ライナーポートとしての神戸港と，輸出貨物発生源との間の陸上輸送体制の問題点の指摘にとどめておこう。

港湾と背後輸送との関連から生じる市民生活への影響は，コンテナの内陸輸送で一層顕著になる。8×8×20（単位はフィート）のコンテナを積載したトレラーは，大型，低床で，"山のよう"に巨大である。神戸港まや埠頭へ出入するこれらトレラーは，阪神高速，名神，または第2阪神国道などで大阪，京都，名古屋方面へ，さらに山陽方面へと結ばれるのであるが，沿線都市の市民たちは，交通事故の激増をはじめ多くの生活環境悪化に悩まされている。例えば第2阪神国道に，阪神高速の二階建道路が建築されてのちに，下を通る車の騒音が反響して，周辺の住民からは従来よりひどい騒音に苦情が出ている。二階建道路は，沿道北側の日照権を奪い，テレビ映像は写らず，騒音と排気ガスで著しい生活環境の悪化をもたらしている。

こうした矛盾は，港湾建設と内陸輸送体系が統一的に進められていないところに原因がある。港湾と道路の行政主体が別々であることもその一因であろう。しかし今後の港湾建設や道路建設は，少なくとも都市の再開発の観点から統一的に進められなければならないであろう。この意味で阪神沿線都市の通過交通からくる被害を解消させる点で，大阪湾岸道路の建設は有効であると考える。また必ずしも神戸港と結合しない大型トラックやトレラー（大阪—山陽—北九州を結ぶ路線トラックや，山陽・四国・九州方面への各種トラック）の通過道路としても，住宅地からはなれた湾岸道路は有効であろう。最近四国，九州むけにカー・フェリーが多く利用されている。カー・フェリーは，長距離トラックの運転手一人乗務を可能にするとともに，運転労働からくる疲労を軽減するという有利な面を有しているが，フェリーポートの立地は必ずしも適切ではない。現在ある東神戸埋立地区のフェリー港を西宮以東に移すならば，大阪発貨物が何といっても多量をしめる輸送構造のもとでは，若干の改善となるのではあるまいか。

4. いこいの場所・海上公園・憧れのみなと

上記のように今日の港湾と市民生活の結びつきはあくまで経済活動が中心であった。しかし市民はみなとに対してもう一つのイメージを持っている。神戸市民は，神戸市山手にあるすわ山公園からみなとを眺めるのが好きである。世界へひろがる海，白い波を残して出ていく船をみるのは，忙しい生活の中の"うるおいの一時"である場合もある。"みなと"を主題にして広くうたわれた流行歌が数多いのをみても"みなと"の持つロマンティックな側面を落すわけにはいかない。明治時代からうたわれた小学唱歌「港」「波浮の港」「長崎物語」「港町ブルース」など，いずれも市民に親しまれた歌である。

市民の心にうたわれてきた"みなと"も，現実にみれば，汚染され異臭のただよう"みなと"でもある。海上の汚染を防ぎ（これは一つは臨海工業地に何らかの規制をし，公害防止装置を義務づけること，さらにタンカーの海上汚染を防ぐ強力な方法をとる必要がある），美しい"みなと"つまり市民のリクリエーションの場をその一部に確保できるような港が望まれるのである。大阪府は，阪南港からさらに和歌山よりの多奈川周辺に海洋リクリエーションセンターを建設する計画をすすめている。緑とオゾンと青い海は，青少年をはじめ多くの市民のいこいの場として活用されるであろう。

大阪湾の総合開発をすすめる過程で，芦屋沖埋立地に海上公園をつくるプランが発表された。奈良盆地や六甲山上まで都市化がすすんでいる今日，ついに海上へ公園を移さねばならぬのかと都市化の深刻さを思う反面，市民生活の充実と環境整備の立場から海上公園のプランの実現化が待たれるであろう。市民がより気軽にみなとへ散歩やリクリエーションに出かけるようになれば，港湾や海上汚染についても，よりもっと積極的な対策がたてられるかもしれない。運輸省は海上リクリエーション開発について積極的態度を示している。

いずれにしても今まであまり緊密と考えられていなかった「市民生活と港湾」の関係は，今後急速に接近するであろうことはまちがいない。

（しばた　えつこ　大阪市立大学商学部助教授）

あすの大阪湾を考える —望ましい海面利用のあり方を探る—

川崎芳一

—はじめに—

大阪湾地域においては，これまで"商都—大阪""国際貿易港—神戸""文化都市—京都"を三大核とするいわゆる京阪神地域を形成しており，西日本の経済・文化の中枢としての地位を占めてきた。とくに物的流通に関しては東海道地域（陸のベルト地帯）と瀬戸内（水のベルト地帯）との接点の役割を果たす重要な地域である。

近年，わが国の急テンポな高度成長につれて，当地域でも膨大な人口および諸産業の集中が進行し，過密の弊害があらゆるところで顕在化している。このことにより大阪湾地域においては今後，これまでのすう勢的拡大では時代の要求に対処できなくなり，その構造的な変換を余儀なくされてきている。

現在，運輸省第三港湾建設局では昭和60年を目標とした「大阪湾港湾整備の基本構想」を策定中であるが，その作業の一環として，大阪湾におけるベイエアリアの望ましい利用を中心とした開発ビジョンをさぐるため，昭和45年度に「あすの大阪湾を考える」というテーマで，各方面の有識者に対し，下記のような観点からのアンケート調査を実施したので，その概要を紹介してみよう。

—大阪湾地域の将来のイメージ—

大阪湾地域（大阪湾とその周辺部）の役割について全国的な視野に立って考えてみた場合の将来のイメージについて50人から解答をえたが，要約すると以下のようになる。

イ）京阪神を中心とする大阪湾地域の地形的，歴史的な環境，都市構造を十分反映し，風土的にも精神的にも豊かで高密度な国土の利用がなされる。

ロ）西日本の交通通信の中核として，一大流通拠点的性格がますます強まる。とくに阪神経済圏は瀬戸内海地域，紀伊水道地域と外延的に新しい経済活動の場が形成され，国土の均衡ある発展が期待できる。

ハ）国際交流の緊密化，地域経済の活発などにより，輸送需要はますます増大し，近代的な流通施設の整備が推進され，瀬戸内海，大阪湾，紀伊水道の海面は海上輸送の動脈としての機能を十分発揮できる。

ニ）京阪神経済商業資本を主体とした発展のプロセスからしても今後の東南アジアのターミナルとしての集積の可能性と期待は非常に大なるものがある。

また大阪湾地域の将来像として参考になるベイエアリアの例としては，サンフランシスコ，ニューヨーク，ロッテルダム，サンディエゴ，ブリストル湾，ピュージェット，などがあげられているほか，他に参考になるものはなく，将来の大阪湾地域については，他に例のないユニークなものを考えるべきとの意見は少なくない。

—アンケート対象者と回収率—

アンケート対象者としては，大学教授，各種研究機関，企業，財界団体，報道関係者，評論家など大阪湾に関心を抱いていると思われる有識者154人に対してアンケートを依頼し，69人から回答をえた。回収率は全体で45%ではあったが，質問内容が高度であったこと，回答がすべて文章記述方式であった点を考えれば，良好な回収率であると考えられる。（表—1参照）

表—1　アンケートの対象者と回収率

	発送数	回収数	回収率
大学	63人	23人	37%
各種研究機関	9	3	33
企業及び財界団体	66	40	61
マスコミ関係	9	3	33
その他個人	7	0	0
合計	154	69	45

—海面を中心とするベイエアリアの利用方法—

大阪湾地域の総合開発の一環として今後大阪湾の海面をどのように利用すればよいかという質問に対しては，回答者66人のうち，半数以上が国際貿易港，国際空港，トラックターミナル，倉庫などの流通施設を中心に大阪湾を大規模な流通拠点として開発する方向を指向している。

これらの施設につづいて多いのは都市型工業，臨海性装置工業，未来産業としての利用，あるいは発電所，C.T.Sなどエネルギー基地としての利用，あるいは，海洋性レクリエーション基地，住宅を中心とする新都市の建設，大規模な産業廃棄物処理用地としての利用をあげている。

回答者66人が施設に制限なく奨める場合の施設別推奨状況を図—1に示す。

—ベイエアリアの開発パターン—

大阪湾の海面の今後の開発については下記のようなパターンが考えられる。そのうちあなたが最もよいと思われるものはどれかという質問に対しては，

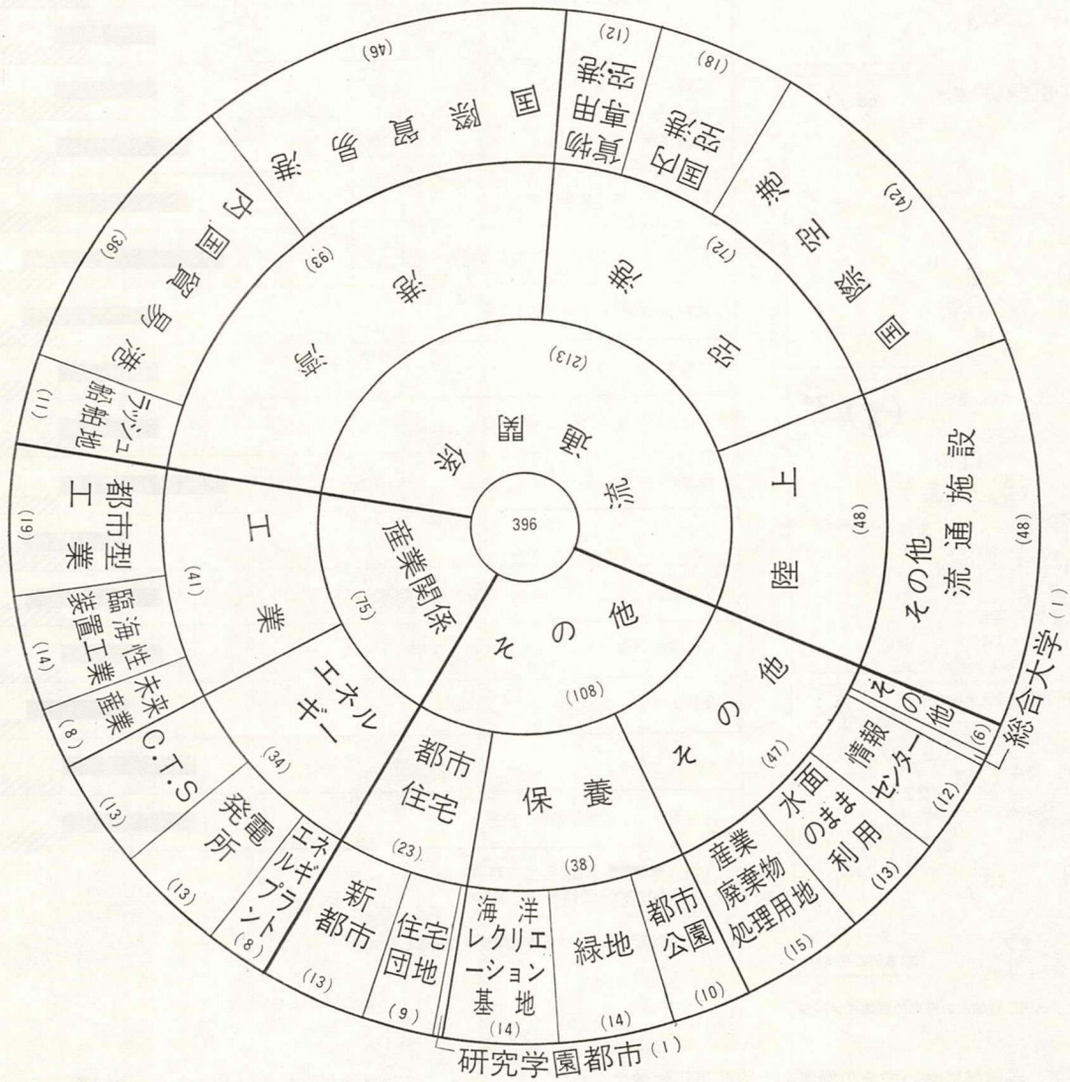
1）現在の水際線にとどめる（現状維持型）	6人	単独型 31人
2）現在の水際線より沖へ出す（前進型）	3人	
3）水際線沿いに延伸させる（延伸型）	4人	
4）湾央海面を利用する（湾央型）	18人	
5）複合型（湾央型）＋（前進型）	13人	複合型 33人
（〃）＋（延伸型）	12人	
（〃）＋（前進型）＋（延伸型）	3人	
（前進型）＋（延伸型）	5人	

単独パターンと複合パターンが大体半々となっている。湾央埋立型としてはすでに種々の開発構想が提案されているためか，全体の¾が，可としている。ただ膨大な資金，高度の技術，環境の変化（気象，汚染，海象等）など検討すべき点は少なくないが，大ブロックで自由な土地利用ができること，湾央道路湾岸道路による大阪湾地域の一体化，高潮対策など有利な点も多いと指摘している。（図—2参照）

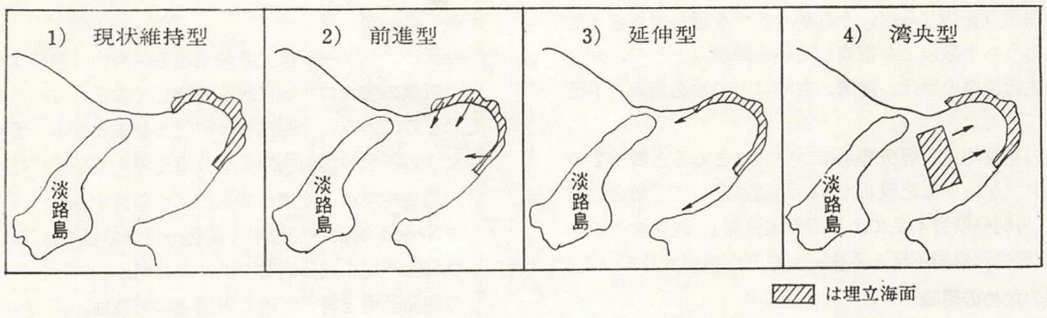
—ベイエアリアと周辺地域の将来イメージ—

「大阪湾」と周辺地域は過去〜現在において相互に関連して発展してきたと思われる。そこで下記の地域について将来の関連イメージは何かという質問に対して将来期待される機能について地域別に一つだけ選出すれば，

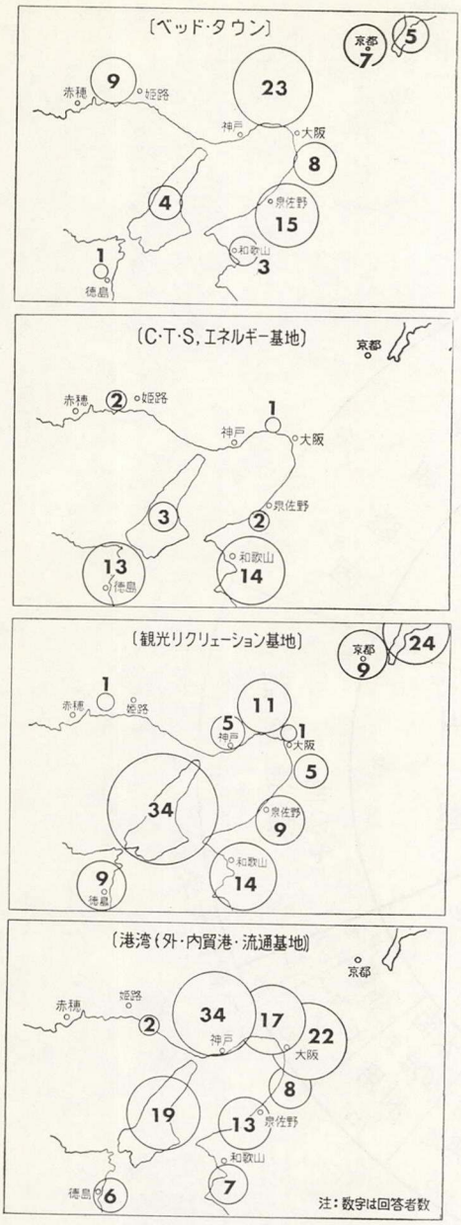
	回答数	全回答数
大阪は流通基地	14人	(57)
神戸は外貿の中心	22人	(49)
京都は文化学術都市	18人	(69)
阪神間地区は住宅地帯	23人	(68)
徳島は臨海性工業地帯	11人	(57)
和歌山はレクリエーション地域	14人	(69)
琵琶湖は水資源供給地	33人	(68)
淡路島はレクリエーション地域	34人	(85)
泉北は臨海性工業地帯	13人	(68)
泉南は住宅地帯	15人	(82)
播磨は臨海性工業地帯	15人	(54)



図—1　大阪湾海面利用方法（　）内は解答者数，単位人

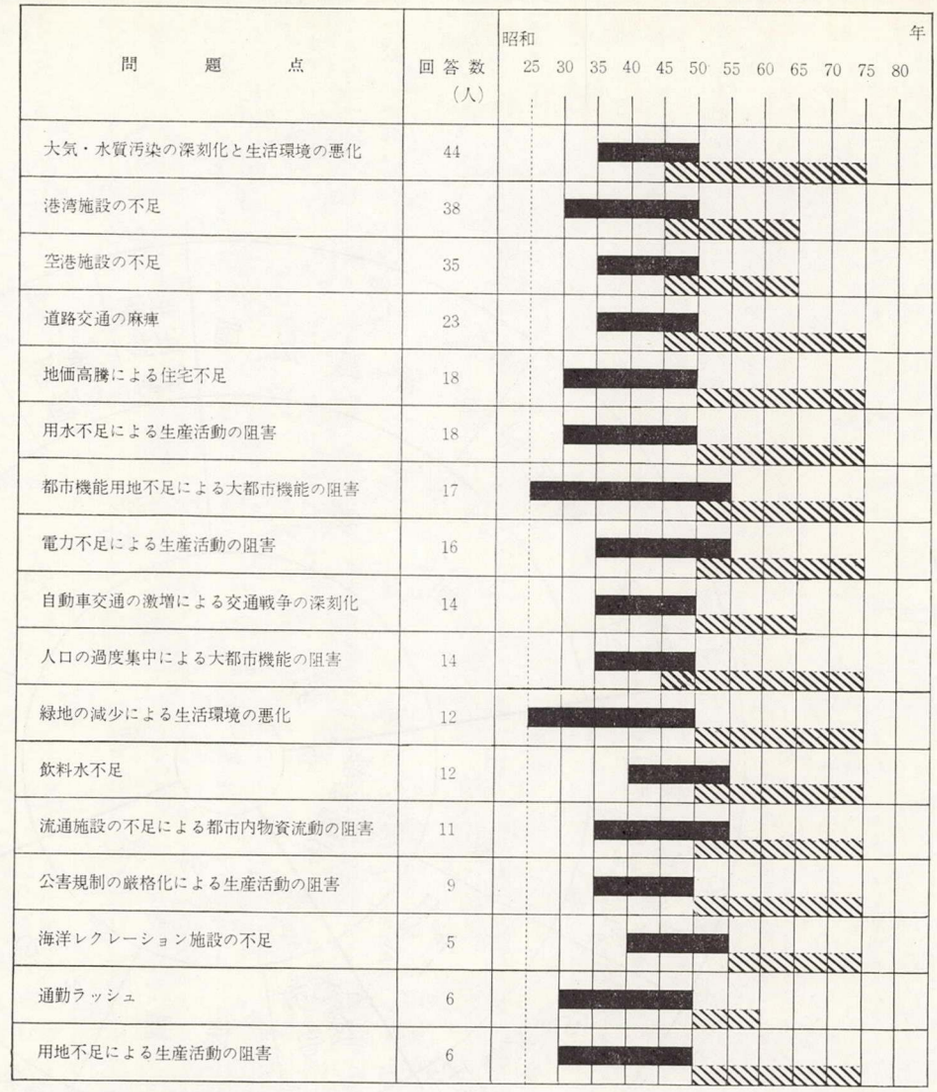


図—2　大阪湾の海面利用パターン



図—3 「ベイエアリア」と周辺地域との将来の関連イメージ

問題点	回答数（人）
大気・水質汚染の深刻化と生活環境の悪化	44
港湾施設の不足	38
空港施設の不足	35
道路交通の麻痺	23
地価高騰による住宅不足	18
用水不足による生産活動の阻害	18
都市機能用地不足による大都市機能の阻害	17
電力不足による生産活動の阻害	16
自動車交通の激増による交通戦争の深刻化	14
人口の過度集中による大都市機能の阻害	14
緑地の減少による生活環境の悪化	12
飲料水不足	12
流通施設の不足による都市内物資流動の阻害	11
公害規制の厳格化による生産活動の阻害	9
海洋レクレーション施設の不足	5
通勤ラッシュ	6
用地不足による生産活動の阻害	6



（注）━━ 問題発生の時点
▨ 問題解決の時点

表—2 大阪湾地域における各種問題点の発生と解決時点

また機能について，各地域においてその機能の大阪湾周辺地域における分布期待状況の一部を例示すれば図—3のとおりである。

—問題点の発生と解決—

今後重点的に解決していかねばならない問題は何かをさぐるために，代表的と考えられる問題点を19ならべ，それから5つを選んでもらったところ，回答者67人のうち半数以上が指摘している問題点として，大気水質汚染の深刻化と生活環境の悪化，港湾，空港などの輸送施設の不足などの指摘が目立っている。

各問題点に関しての発生時点と解決時点についてまとめると表—2のようになる。なお，アンケートに記載してない問題点として「総合計画の欠如による弊害」「再開発投資不足による市街地荒廃」「地盤沈下による都市機能低下」「情報処理機能不足と不統一」などが指摘されている。

—大阪湾の開発管理のための組織—

大阪湾の調査，研究開発は主としてどこが行なうべきかとの質問に対しては，国，地方自治体，民間などが単独で行なわずこれらの混合組織をもって行なうべきであるとの意見が圧倒的である。しかし参加主体がそれぞれの特徴を生かした効果的な調査，研究を行なうことを強調している。

将来「大阪湾」の管理運営組織はどうあるべきかとの質問に対しては，ニューヨークのポートオーソリティーを範とした，特別管理団体によって管理運営を行なうべきであるとの回答が圧倒的に多く，全体の70％に達している。また特別行政区を設定して従来の行政組織の枠を離れた新しい行政組織によるべきであるとの意見も多く，国，地方自治体，公社，公団などをあげているのはほとんどない。

—あ と が き—

今回のアンケートは大阪湾地域を総合的に開発する場合に，各有識者が大阪湾の広大な水域に何を期待しておられるかを探り出すために実施したものである。今回はその中間とりまとめの一部を紹介させていただいたが，将来の海面利用のあり方を考えていくには，

○過去～現在の変遷が将来に何を期待するか。
○Needs および価値観の変化→将来の目標は何か。
○海面利用の具体的なパターンは何か。
○海面利用と背後都市の再開発の可能性。
○新しい港湾機能の導入と在来施設の機能純化。
○海面利用の新しい要請と湾全体の調和。

などについて，さらに今後徹底的に検討を行なう必要がある。

最後に今回のアンケート調査に尽大なるご協力をいただいた皆さまに対しては深く謝意を表するとともに，今後ともご指導をいただきたいと思います。

（かわさき　よしかず　運輸省第三港湾建設局企画課長）

都市と港湾トピックス・大阪港

大阪南港における流通基地構想について

桜井与平
橋本　固

はしがき

経済の高度成長にともない，貨物の輸送量は年々増加し，運輸省の試算による海運貨物取扱量は全国規模で昭和44年の約16億３千万トンに対し昭和50年には33億８千万トンに達すると予想されている。大阪港においても貨物量の激増が予想され，新港湾整備５カ年計画による貨物取扱量は昭和50年には現在の約５千万トンに対し倍の約１億トン（但しフェリーを含む）近くになると推定されている。

これら激増する貨物を迅速，正確に輸送するためには近代的な外，内貿およびフェリー埠頭などの整備およびこれらと有機的に連けいした大規模，適切なる流通基地すなわち在来埠頭の強化とともに，輸送体系をシステム化して鉄道，トラック，船舶（フェリー）など各種輸送機関の合理的結合による協同一貫輸送体制（Inter-modal transportation）の可能なターミナル―複合ターミナル―の建設がまたれる。大阪港においては南港造成地を中心に複合ターミナルを検討中であるが，これについては運輸経済こん談会が昭和42年にその構想を発表されている。従来単一輸送機関のターミナルは存在しても本格的な複合ターミナルの建設された例はなく，この計画は大阪港において初めての試みと考えられ施設計画をはじめ建設主体，管理運営主体等々について未経けんのむつかしい問題が多くあり，各界のご意見を頂いて解決していく必要がある。したがって当局においては，陸運，海運，金融等各界の方々にお集まりいただき，学会よりのご支援も得て“複合ターミナル研究会”（座長・京大長尾教授）を発足させ，KK日建設計の協力のもとに，ターミナル利用大宗貨物の流動予測，これら貨物に対する施設計画，建設管理運営形態などを中心に目下検討中である。従って大阪港における複合ターミナルについての全容の報告は本研究会及びそれ以後に予定されている委員会の結論をまつ要があるが，本稿では南港開発を中心に現時点でこの域内で考えられている複合ターミナルの概要について述べることとする。

南港開発計画と立地条件について

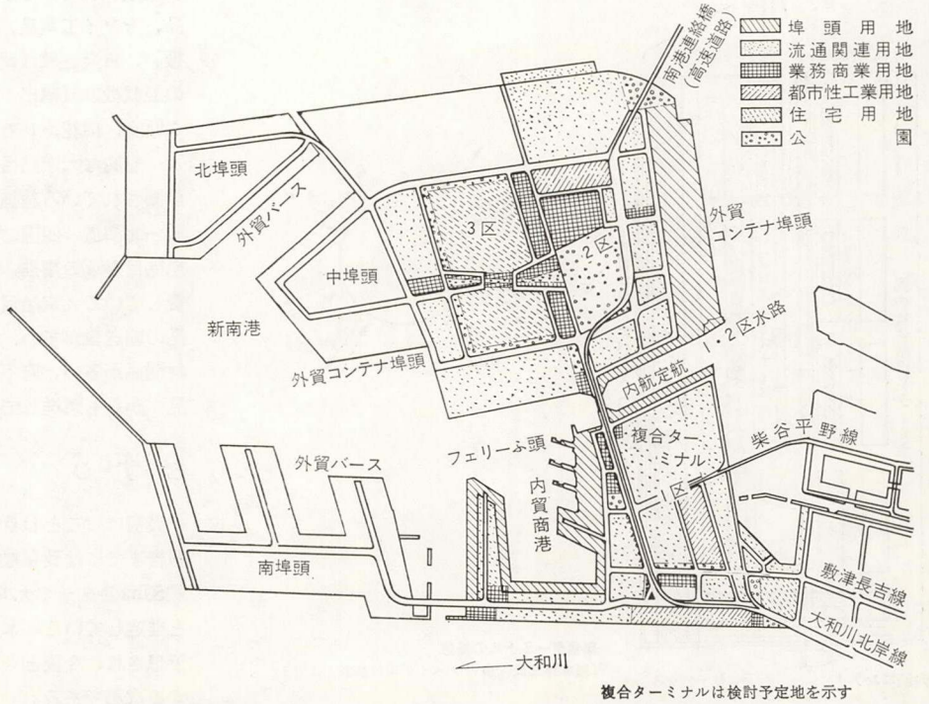
大阪南港は大阪市住吉区，大正区の西部に位置し，昭和33年より本格的な埋立を開始したが現在事業中の約610haの区域については約80%の進捗をみている。さらに昭和50年までには新南港約300haの区域の造成を図る計画である。現在外貿埠頭公団がコンテナ埠頭２バース（オーストラリヤ航路）を供用しているのをはじめ，それの関連施設（２区），関東，四国，九州方面とのフェリーの開業（３区内貿商港），鉄鋼，木材の流通加工基地の稼動（１，２区）などにみられるごとく，道路など公共施設の整備とあわせ着々と都市的形態を調えつつあるが，その基本となるマスタープランの根幹的な考え方は次の２点に要約される。

１）港湾貨物の激増に対処するため内外貿の埠頭を整備し，埠頭関連用地を確保して大都市港湾としての流通機能を強化すること。特に海運革命といわれるコンテナリゼーションに対応してコンテナ埠頭用地を確保するとともに道路輸送と海運輸送の長所を兼ねそなえた中長距離フェリー施設の建設とさらにその背後に複合ターミナル用地を確保し流通の近代化を図ること。

２）港湾施設に限らず海陸交通の接点として西日本の流通センターとしての機能を強化すること。併せて大都市大阪が有している種々の都市問題に対し，都市再開発用地を確保するとともに広域港湾道路の一環となる基幹道路の他，幅広い道路，公園，緑地など街づくりの基本施設を整備すること。以上の考え方による土地利用構想図は図―１に示す通りであるが，大ざっぱにいって，新南港（外貿バース）を別とすれば，１・２区水路南側は，内貿商港，フェリー，トラックターミナル，鉄道貨物駅などを集約した流通基地（複合ターミナル）およびそれに附随した業務地区，水路北側は，業務，商業，サービス施設，住宅地を中心とした都市開発用地，水際線にはコンテナ埠頭，流通関連団地などを導入している。

なお，道路（13%以上），公園緑地（７%以上）など公共施設，レクリエーション施設を十二分に確保している。また，陸上交通網としてはすでに完成している敷津長吉線をはじめ柴谷平野線，大和川北岸線など都市計画道路の開発地内延長と現在工事中の港区と南港を結ぶ南港連絡橋の架橋によって合計22車線が確保され，これらは内環状線，中央環状線，市内高速道路網と短絡し，さらに名神高速道路，中国縦貫道路等紀南，京岐，中国方面への幹線道路に接続され，また複合ターミナル建設予定地附近を通る大阪湾岸道路が昭和60年開通を目途に計画が進められるなど，流通拠点としての環境は整いつつあり，当地区は複合ターミナル建設地としては，理想的な条件を有していると考えられる。

図―１　南港土地利用構想図



複合ターミナルは検討予定地を示す

複合ターミナルについて

i）複合ターミナルとは

「物流革新の方向」（運輸経済研究センター）によれば，複合ターミナルとは従来各輸送機関が各自所有していたターミナルを地理的に集約化して輸送経路の合理的な選択を容易ならしめるような構造を有するターミナルであって，理想的には次のような機能をあわせもつものであるとされている。

a）積みかえターミナルとしての機能

鉄道（フレートライナー），自動車（高速道路，路線車，集配車），海運（外貿コンテナ，内貿コンテナ，フェリー），航空の各種輸送機関の結節点にあって輸送機関相互の積換え作業がスムーズに行われることによって協同一貫輸送が円滑に行われること。

b）一元化された集配機能

各運輸企業間の共同集荷，共同配送体制を確立して配車の積載率の向上を図るとともに合理的な集配圏域を設定して交錯輸送をなくす。

c）一元化された混載機能

従来各輸送機関で独自に行っていた混載業務を一元化することによって規模の利益を生み出すこと。機械設備の導入などにより省力化する。

d）ストックポイントとしての機能

ストックポイント機能が補助的に具備されることによって輸送活動と保管活動とを合理的に結合すると同時に輸送活動に付帯する荷役作業と保管作業に付帯する荷役作業をなるべく合理化して荷役運搬作業量を節減する。

e）情報サービスの提供

以上より複合ターミナルのパターンは図―2のごとくなると考えられる。大阪南港は単に近代的設備をもった海陸の積替えターミナルというだけでなく鉄道引込みという新たな条件も加われば，大阪における一大物流拠点となり得るが，複合化することの公共的見地からの利点は次のごとくと考えられる。

a）最適輸送機関選択の自由性

b）輸送機関相互の柔軟性のある一貫輸送

c）集約化によるスペースの有効利用

d）混載業務の一元化による能率向上に伴う輸送のスピードアップ

e）集配業務の一元化による交錯輸送の排除

以上の結果として　i）都市内交通事情の緩和　ii）輸送コストの低減に資しうるものと考えられる。事業主体，運営の方法などについては　a）公共機関　b）官民混合体　c）協同組合　d）個別企業，などが行うことが考えられるが，さらに分譲方式，賃貸方式などについてもそれぞれの長短所を詳細に検討する要がある。今後の検討に待つべき問題と考えている。

ii）複合ターミナルで扱う貨物について

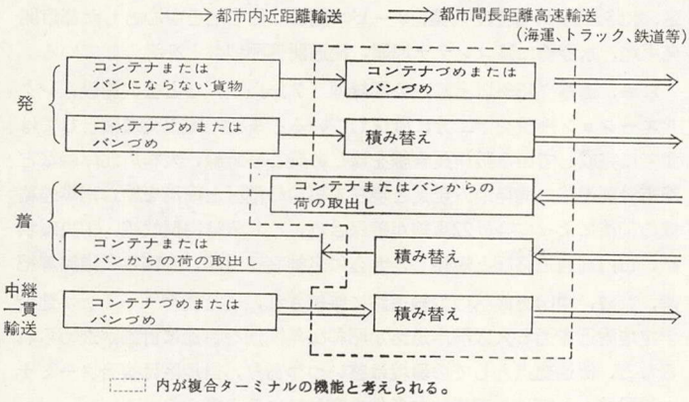
港湾貨物は一般に石油，鉄鋼，木材，セメントなどに代表される大量物資（バルキーカーゴ）と雑貨またはこれに近い小口貨物（ゼネラルカーゴ）に分けて考えられる。前者の物流は特定の品目を多量に扱うので個々の企業による合理化，専用化が進みやすい。これにくらべゼネラルカーゴは，一般に荷のロットが小さく，荷姿や行先もまちまちであり荷役の機械化や末端の集配の合理化がおくれていた。またゼネラルカーゴは都市消費者と直接関係の深い品目が多いだけに大都市の前述のごとく交通問題，物価問題などとからんでその合理的な配送形態の検討に急を要する。

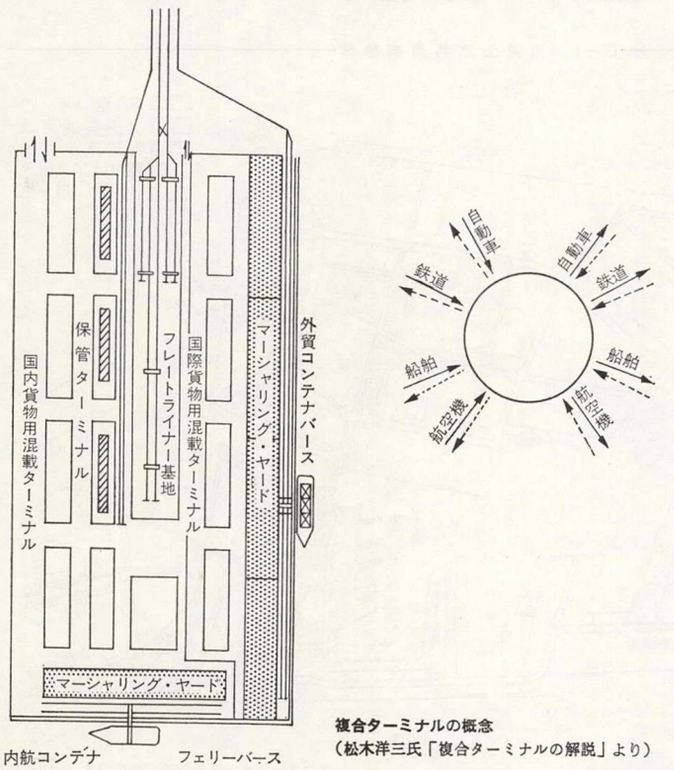
取扱い品目については，さらに今後の検討に待つべき点が多いが，一応海運造船審議会であげている「コンテナ適合貨物」が考えられる。すなわち輸送統計に用いる32品目のうち，野菜果物，その他農産品，畜産品，水産品，窯業品，化学肥料の一部，化学工業，センイ工業品，食料工業品，日用品，その他の製造工業品，動植物性飼料の一部。

次に雑貨のうち小口混載荷物は当然複合ターミナルの対象となる。現在取扱われている小口混載荷物としては路線トラック貨物（機械，日用品，センイ工業品，その他化学工業品），鉄道貨物の小口扱，小口混載扱い，日発定航（鋼材，日用雑貨，建築資材，機械など），外貿コンテナの混載扱い（輸出：電器製品，衣類，陶磁器，金属製品，センイ，輸入：原皮，綿花，レモン，肉類など）。

一般的な大宗品目は以上のとおりであるが，さらに具体的には南港に計画されている諸施設（外貿コンテナ埠頭，フェリー埠頭，内貿定期埠頭―北海道，四国，九州，京浜など国鉄フレートライナー基地）の取扱予想品目からの類推，および複合ターミナル集配対象圏域で，生産，流通消費している大宗品目（臨海3区では金属機械工業品，化学工業品，林産品の輸送量が多い，また事務所分布からみても金属整品，機械，鉄鋼，木材関係が多い，府下南部は，センイが圧倒的に多く次いで機械，金属製品）からも類推して，その起終点間の輸送系路を検討する必要がある。

図―2　複合ターミナルのパターン図





複合ターミナルの概念
（松木洋三氏「複合ターミナルの解説」より）

むすび

最初におことわりしたように現時点では複合ターミナルの具体案のご報告までには致らないが，大阪市内および南大阪を集配圏域とする面積約50haのターミナルを構想している。混載荷物の取扱量は9,000t/日位と推定している。本ターミナルの建設計画に当っては種々困難な問題が予想され，今後とも運輸省を始め各界の一層のご指導，ご支援をお願いする次第である。

（さくらい　よへい　大阪市港湾局技術部
はしもと　かたし　大阪市港湾局南港開発部）

都市と港湾トピックス・神戸港

野中　明

■ 港のトピックではじまった神戸

近代の神戸の年譜の第1ページには，「1868年1月1日，運上所にて開港式挙行」とある。また，これをはるかにさかのぼる12世紀，すでにいまの兵庫港の前身「大輪田の泊」があったが，平清盛による大規模な築港工事が行なわれ，その後も「兵庫の津」として，年貢船，貿易船の発着場としてさかえた。「都市と港湾」という関係でみるかぎり，神戸はまず港のトピックではじまったといってよかろう。

その後，1886年（明19）川崎造船所，1905年（明38）三菱造船所が設立され，1896年(明29) 兵庫運河が起工された。神戸港も1906年（明39）から第1期，1919年（大8）から第2期の修築工事によって，ほぼ現在の兵庫突堤，新港突堤が形づくられた。有力貿易商社の多くも神戸に本店を置くなどもあって，戦前の神戸は，まさに港とともにあゆんだといえる。

■ 神戸経済の50%が港に依存

ところで最近，「港が遠くなった」とよくいわれる。これはどういう意味をもっているのか。まず，近年は港とは関係のない大都市としての機能が増大し，相対的に港の印象がうすくなったということがあろう。また，戦後，貿易，商取引などの港に関連した中枢機能が東京あるいは大阪に集中し，港はいわゆる現場としての性格が強くなったということもあげられよう。さらに，最近の港湾活動の近代化，合理化などによって，市民にとって親しみやすい港としてのイメージがうすくなったということも指摘できよう。ともかく，「港が遠くなった」と感じている市民は意外に多いのである。

さて，それでは，神戸市の経済活動のなかで港はどの程度の役割を果しているのであろうか。これをいま，「神戸港と市民経済」（1969.7神戸市港湾局）によってみてみよう。

まず，港湾関連産業の範囲をきめておく必要がある。港内での荷役，運送などの水上部門，ふ頭，倉庫，陸上輸送などの陸上部門は，まずもっともせまい意味の港湾関連産業である。つぎに海運企業，貿易商社，金融機関，港湾の管理運営に関する公共部門などが含まれる。さらに，工業部門として，造船，船舶修理など直接港湾と関係するもの，原材料を海外に依存するもの，あるいは輸出入貨物の加工や流行に支配されやすい貿易商品の生産などが港湾関連産業の範ちゅうのなかに考えられる。

表1　産業別港湾関連所得

産業別	市内生産所得 (A)	港湾関連所得 (B)	B/A×100
農林漁業	4,597	5,970	——
製造業	138,344	99,942	72
建設業	29,967	8,979	30
卸・小売業（含貿易）	101,565	15,375	15
運輸・通信業	60,323	53,680	89
金融・保険・不動産業	38,416	2,110	5
サービス業	48,867	1,066	2
電気・ガス・水道業	5,502	1,350	25
公務	17,777	3,836	22
その他	——	10,667	——
計	445,358	202,975	46

資料：「神戸港と市民経済」1967 神戸市港湾局

このレポートによれば，こうした関連を含めて，市内就業者53万人のうち12万人，ほぼ20%が港湾関連産業に直接雇われていることになる。また，以上の港湾関連産業の生産所得は，市内生産所得の約50%を占めているのである。世界的にみても100万都市で，港湾にこのように深く依存している都市はまれであろう。神戸は，「港から遠くなった」といわれながら，根づよく港湾都市としての性格をもちつづけているのである。

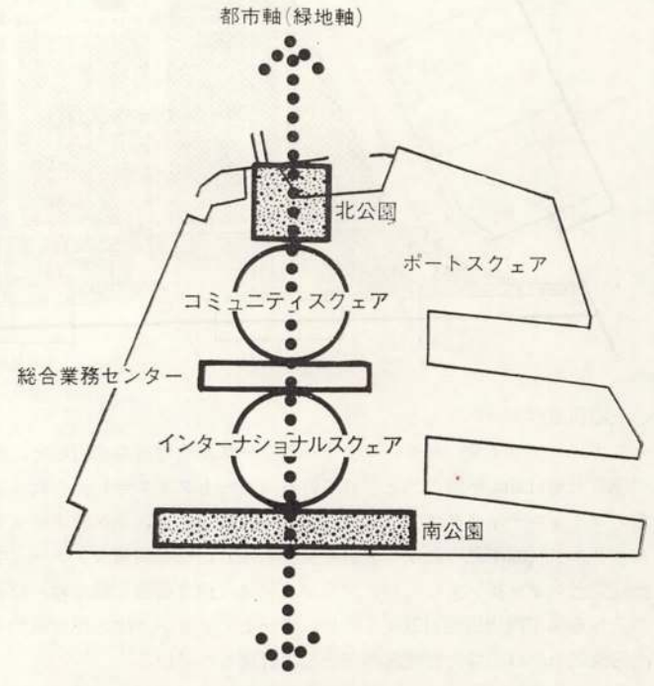
■ 相互浸透する都市活動と港湾活動

大都市における都市（活動）と港湾についていえば，たしかに戦前の神戸に代表的にみられるような融合はいま薄れつつあるのかもしれない。しかし，最近，新たな側面から都市と港湾との接点が問題にされているようである。それは，いろいろな要因があるものと思われる。それを，現在計画が進められているポートアイランドや六甲アイランドのいくつかの側面を紹介しながら考えてみたい。

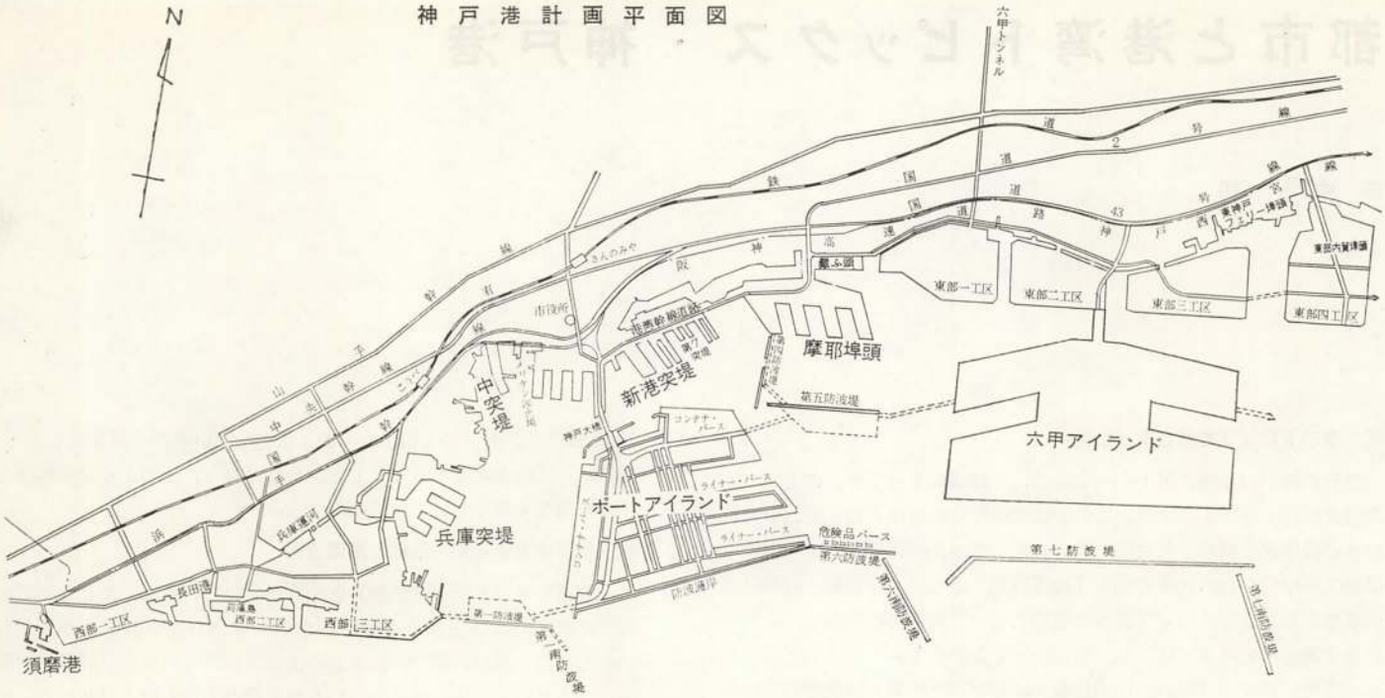
まず最初は，これまでどちらかといえばエリヤとして画然とわかれていた都市活動と港湾活動の場が相互浸透する傾向がうかがえることである。まず都市側からの要因として，しだいに膨張する大都市の内部の用地需要が臨海部へもむかい，たとえば埋立てといった形で，在来の港湾地域にも都市活動が浸透していく傾向がうかがえることである。

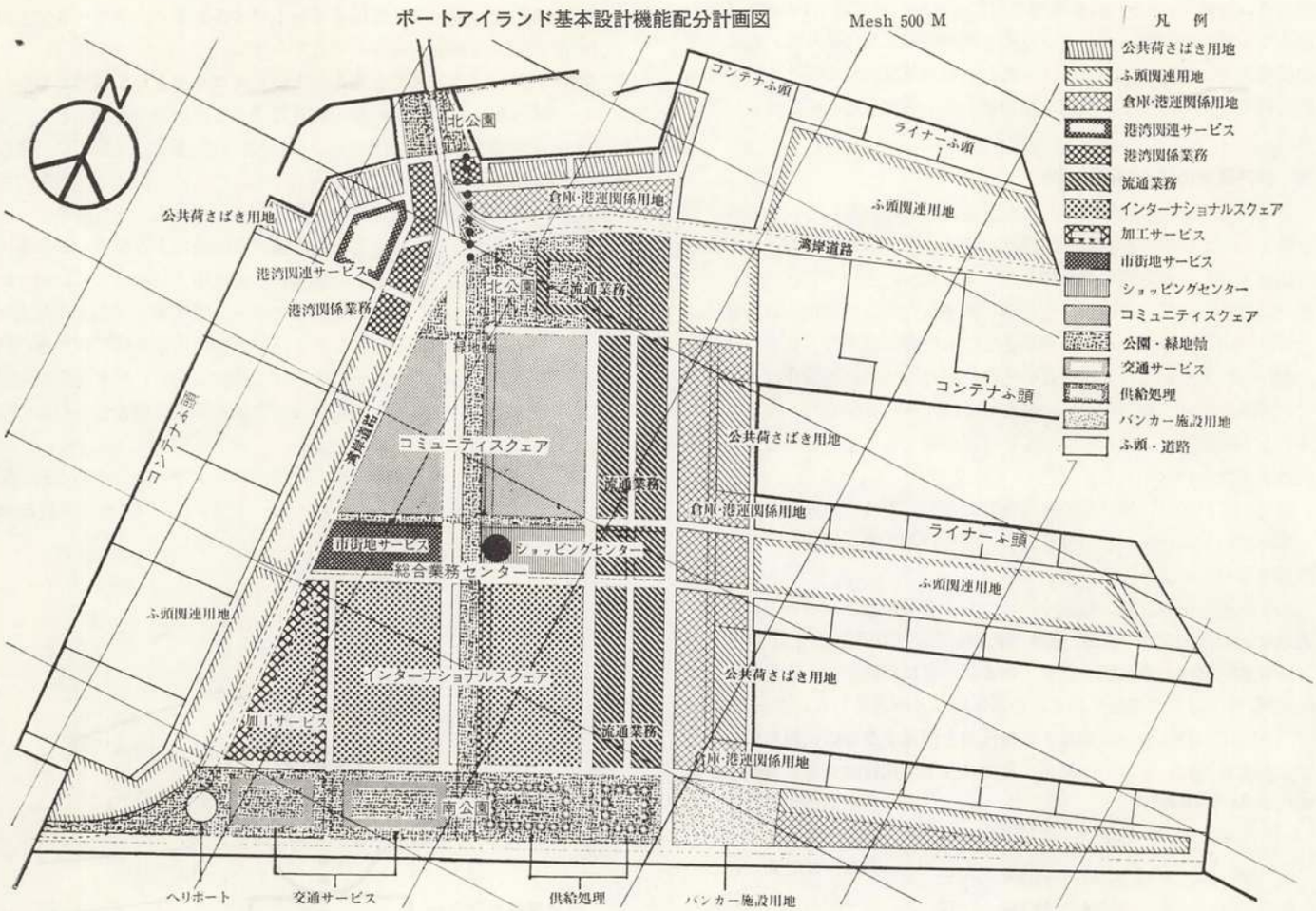
逆に港湾側からの要因として港湾施設の増設による都市への影響があげられる。最近の「船ごみ」の状態からも推察されるように，バースの不足ははなはだしい。これに対応してポートアイランドのような大規模な港湾施設を増設することになると，いきおい道路をはじめ大きな関連投資が都市側にも要請される。これは，極端な場合，都市再開発を誘導することにもなり，近時の港湾施設の計画と都市計画とがきわめて接近していることをものがたっている。

下に示す図は，さる3月29日「神戸港ポートアイランド基本設計委員会」で半年間の審議の後答申されたポートアイランド（全体面積436ha）



神戸港ポートアイランドの土地利用パターン





の土地利用パターンである。

まず，コンテナ9バース，ライナー21バースからなるふ頭用地と，港湾機能用地110haが周辺にとられている（ポートスクエヤ）。これに加えてコミュニティスクエア（1.5〜2.0万人の居住区），インタナショナルスクエア（国際色ゆたかな取引と交換の場），総合業務センター（中枢機能とショッピングなど），マリンパーク（南北公園と緑地軸）などからなる都市機能用地112haがあり，ポートアイランドは，都市機能と港湾機能をかねそなえた港湾都市として計画されている。

上図からもわかるように，周辺港湾機能用地のまんなかに都市機能用地がおかれ，都市軸がそれらを串ざしするような形で各機能を整理するとともに，ポートアイランド全体を既成都市部へ有機的に関連づける役割を果たしている。

これらは，さきにのべた都市と港湾の相互浸透が具体的な計画にあらわれたというみかたができる。ポートアイランドにおける都市機能用地は，港湾活動を支える役割をもつと同時に，既成市街地の都市活動の拡張，発展の場でもある。そして，都市軸は，都市と港湾をむすびつける太い血管となろう。ポートアイランドは，都市活動と港湾活動が融合した新しい港湾都市をめざして計画がすすめられているのである。

表2　地域別に見た神戸港の利用度数

利用度数		東灘	灘	葺合生田	兵庫	長田	須磨垂水	合計
時々利用する	1	2	1	9	7	13	8	40
利用経験はある	2	43	54	42	61	48	74	332
利用経験はない	3	36	38	38	55	75	59	301
回答者（百分比分母）		81	92	89	123	136	141	673
	1	2	1	10	6	9	6	5
	2	60	59	47	52	38	53	50
	3	38	40	43	42	53	41	45
備考		百分比は本表の合計に対するもの。						

表3　地域別に見た神戸港の利用地点

利用地点	東灘	灘	葺合生田	兵庫	長田	須磨垂水	合計
摩耶大橋周辺	55	50	50	45	40	40	45
貿易センタービル	40	50	50	45	40	30	40
東遊園地	60	45	65	60	70	50	60
神戸大橋周辺	35	30	35	40	35	35	40
メリケン波止場	70	65	75	50	50	55	50
ポートタワー周辺	50	75	60	60	65	55	65
港内遊覧船	50	55	65	50	50	55	50
回答者（百分比分母）	94	91	89	128	139	148	694
備考	数値は百分比を示し，回答は無制限に有効とする。 全項の百分比は5%括約						

市民と港

次に，都市と港湾とのあいだで見のがすことのできないものとして，市民のレクリエーション生活と港の関係についてのべておきたい。

近年，レクリエーションの要求が急速に高まっていることは，だれしも疑いをさしはさむところのない事実である。ところで，「みなとコウベ」としたしまれている神戸港も，市民がどの程度利用しているかとなると意外に少ないのである。ポートアイランド基本設計委員の近藤公夫氏が市の消費モニターに対して行なった調査によれば，神戸港を「時々利用する」というものはきわめて少なく，神戸港が必ずしも市民の日常的なしたしみの場となっていないことを示している（**表2**）。これは，港のなかに，とくにひいでたレクリエーションの場や施設がないことも利用の少ない原因であろう（**表3**）。

ポートアイランドでは，市民がしたしめる港づくりをめざして，南北に公園を配置し，それらを幅約50メートルの緑道でむすぶ計画をたてている。そして北公園は，「みなと」，「ながめ」 南公園は，「みどり」，「みず」とそれぞれテーマを設けて，港湾都市にふさわしい公園づくりをめざしている。

港と市民をむすびつけること，これは都市と港湾の接点としてもきわめて重要なことといえよう。

複合ターミナル

最近の コンテナリゼーション などに 代表される 輸送革新にともなって，港が単に物資の発着点だけではなく，内陸の輸送体系と海運を有機的にむすびつけ，貨物の混載，集配，保管ならびに情報機能などをかねそなえた総合的なターミナルとなることが要請されている。これは港湾活動が都市活動へ接近している一側面としてみることができよう。

70年7月，ポートアイランドのコンテナバースに第1船が就航した。あくる日には，すっかり貨物の積みおろしをおえて姿を消してしまった。輸送革新の新しい時期の渡来をつげるかのようであった。ポートアイランドも，ふ頭用地に加えて広い後背地をもち，全体が外貿貨物をあつかう総合的な カーゴターミナル であるということができよう。しかし，ポートアイランドにひきつづいて建設される六甲アイランドにおいては，この点がさらに明確にうちだされることになった。

近く着工の予定される六甲アイランドは，面積約620haとポートアイランドをしのいでいる。昨年10月23日，神戸港六甲埠頭基本方針検討委員会で，六甲 アイランド の土地利用の 基本的な 考えかたがうちだされた。それは，

(1)　海陸空の国際複合輸送ターミナルとする

(2)　大阪湾および瀬戸内海における国際輸送のための総合情報センターとする。

(3)　自然の導入による緑の港湾都市とする

というものである。



サンポーホールと神戸商工貿易センタービル

このように六甲アイランドは，ポートアイランドと同様，港湾機能と都市機能をあわせもった港湾都市として建設されるが，複合輸送ターミナルとしての性格がさらに前面におしだされてこよう。

三代にわたる貿易情報センター

都市と港湾をむすびつける行政側の努力として，商工貿易に関する情報センターづくりがあげられる。海運・貿易に関する情報収集，展示，商談，取引などができるセンターづくりで，港の活動を神戸の経済活動のなかに位置づける大きなファクターとなるものである。すでに，いくどかの努力がなされてきた。

一代目は，1957年の神戸国際会館の建設であった。これは貿易関係の商社，事務所，エキジビションセンターとともに，2,000人のホール，ホテルなどをもつ会館で，市，県，地元財界の手で建設されたものである。

二代目は，1969年完成した神戸商工貿易センタービルである。市，商工会議所などが中心となって建設したもので地上26階，45,299㎡の西日本一の超高層ビルは新しい神戸の名所となった。市内に散在する貿易関連業務，内外貿易商社をあつめ，同敷地に建設された展示専用のサンポーホールとあいまって貿易，取引きに関する総合情報センターの機能をつくりだそうとするものであった。これなどは，まさに都市と港湾をむすびつける役割をになったものである。

現在，三代目の貿易情報センターをポートアイランド内に計画しつつある。ポートアイランドの中央部には，総合業務センターとして港湾，貿易の情報センター，非現業の港湾関連業務，各種企業の中枢管理機能をもった複合ビルを計画している。このビルは，やはり超高層とし，ポートアイランド全体のシンボルとなるものにしたい。またこのビルの南側約30haのインターナショナルスクエアは国際的な取引や交歓の場として，国際見本市会場，国際会議場や国際貿易に関する各種施設の誘致を企画している。これらふたつの施設があいまって，新しい時代にふさわしい総合的な貿易情報センターとなるとともに，都市と港湾の新しい豊かな出会いが生まれることを期待している。

（のなか　あきら　神戸市開発局次長）



ネパールの街とむら

大野義照
（大阪大学工学部）

2
ネパールの民家

今回はカトマンズからチベットエリアに至るまでの民家を紹介する。前回、記したように私のたどったルートは、文化的にはヒンドウ文化圏からチベット文化圏へ、自然環境は低地から高地のそれへと移り変り、それらの影響を受けて民家の形態は変化していく。

カトマンズ市街の民家；カトマンズの市街地には、王宮や寺院の間に3階4階建ての共同住宅がある。建物はどれも古く、構造は一見レンガ造りのようであるが、木構造で、柱と柱の間にレンガが積まれている。4階建てともなると、自重は大きく、壁厚は40～50cm、柱は2重柱である。一般に1階床は土間で、2階3階床も床板の上に泥が塗られている。出入口は小さく両開き戸で、これらの戸や窓の木枠には細かい彫刻がされている。屋根は瓦葺き、軒は斜材で支えられ、この斜材にも人物や動物が細かく彫刻れている(**写真－1**)。街の中心近くの共同住宅は1階に店舗を持っているが、前面の開口部に多くの柱が並び、室内は薄暗い(**写真－2**)。街で会った少年が案内してくれた彼の家は、裏通りの共同住宅であった。1階のドアを開けるとすぐ階段で2階へ、続いて3階へ、居室は3階にあり、履物は3階へ上ったところで脱ぐ。床は土間の上にゴザのようなものが敷いてある。卵焼と紅茶で歓待されたが、炊事場も3階にあり、1、2階は狭く、物置となっている。水は女が水かめをかかえて共同水場まで汲みに行く。

もう一軒の私が尋ねた上級役人の家は中心街を少し離れた畑の中にあった。3階建てで各階に4部屋あり、3階床まで泥が塗られている。居室はじゅうたんが敷かれ、そこでは履物を脱ぐ。1、2階にも居室はあるが、主人の部屋は3階で、4m×5mの室内には、ベッド、応接セット、木箱、飾り棚等が置かれている。この家でも炊事場は3階にあった。使った水は、3階から直接、裏の畑へ流す。一般に、炊事場は最上階にあり、水は屋外の水場へ汲みに行く。燃料は薪である。街角では大きな天秤で薪を売っている風景が見られるが、近年品不足で高いため、登山用の携帯石油コンロが多く使用されてきている。また、従来の住宅には、浴室、便所がない。

共同住宅は一体、どのように管理されているのであろうか。あるものは住人すべて血縁関係にあり、その家族の持ち家であり、あるものは家主が居て、賃貸しをしているそうである。市街地の古い共同住宅は、当初、他の目的のため建設されたように思えるが、カトマンズ自身の歴史が明らかでない現状では、よく分らない。

アルガトバザールまでの民家；交通路の要所に発達した街であるトリスリバザール、アルガトバザールは、石だたみの通りに面して専業商家が並んでいる。それらの中には3階4階建ての大規模な家もある。屋根は切妻造り、瓦またはトタン葺きであり、壁はレンガないし石積みで、開口部には木枠がはめられている。煙ぬきのある屋根もみられ、軒は斜材で支えられている。全体にカトマンズ郊外の民家の造りとよく似ている(**写真－3.4**)。

アルガトバザールの街並より一段高い処の農家は、商家と違って屋根は草葺きの入母屋造りで、2階の窓に特徴がある(**写真－5**)。

上記の2つの集落間のむら(**写真－6**)は農業が生業で、農家が殆んど、なかに茶店を兼ねているものがある。農家も茶店も2階建て、壁は石積み、その上に泥が塗られ石面は外に出ていない。壁面は白や赤茶色に彩色されている。これは単に装飾のためで他に意味はなく、年に一度塗りかえるそうである。

図－1は、トリスリバザールから数時間のところにある街道筋の茶店である。前面は開放され、2つのカマドのうち、通りに面しているカマドでは湯が沸き、いつでも茶が入れられる。通りには長椅子が置かれている。板で囲われた真暗な室には、にわとりとやぎが同居し、なに気なく戸を開け、にわとりが飛び出たのには驚いた。通りに面して商品を並べる部屋があるが訪れた時には何もなかった。泥壁で仕切られた隣りの部屋には牛が飼われている。この家では屋外に2階への階段が設けられているが、このあたりでは珍らしい。このような茶店では、旅人が1階に泊まることもあり、家族は2階で就寝する。**図－2**も野営第2日目の村の茶店であ



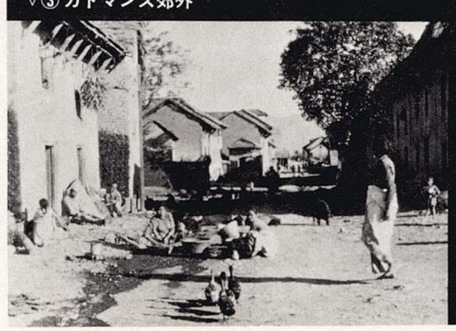
▽②カトマンズ市街　△①カトマンズの共同住宅　▽④アルガトバザールの街



▽③カトマンズ郊外



▽⑤アルガトバザールの農家



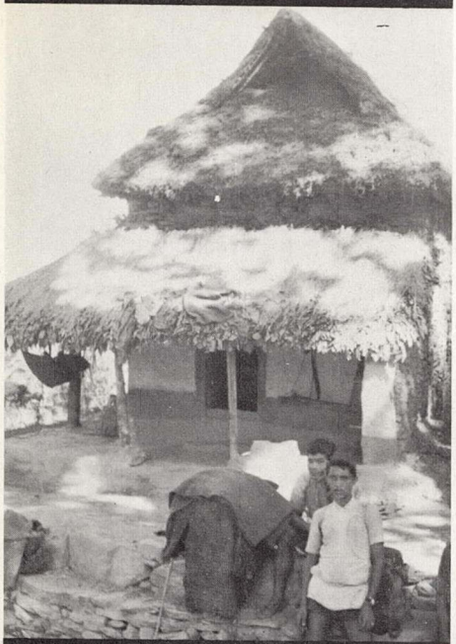




△⑥農村



△⑦ポップコーンを作る女



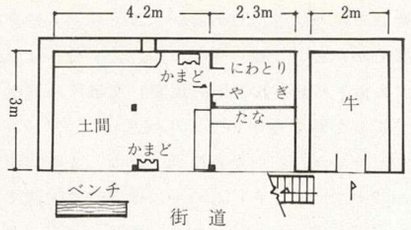
△⑧農家



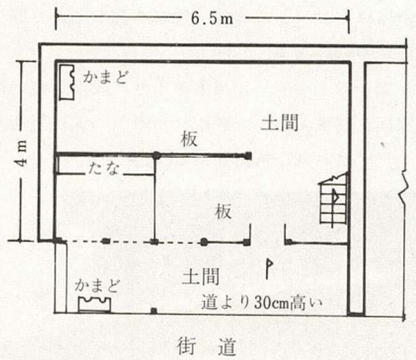
▽⑨廃屋



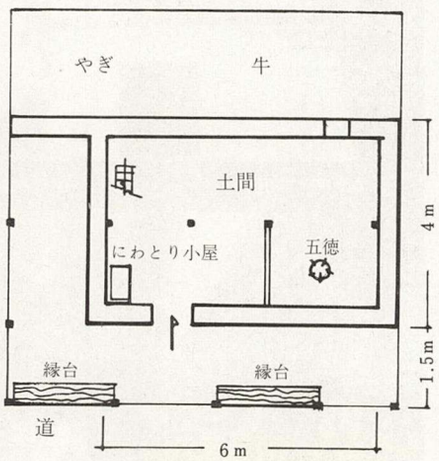
▽⑩木賃宿。

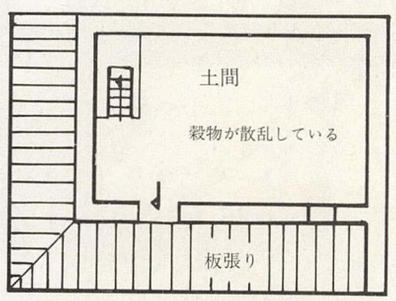


図—1 茶店



図—2 茶店





図—3 農家

る。この村では何軒かが壁1つで隣接している。図の茶店もその1軒であり、隣りは農家である。この茶店も前面は開放されているが、夜間は板戸で戸締りが出来る。板戸の下半分は昼間取りはずされ、夜になると約1m間隔の柱下部に柱をはさむように打ちつけられた2枚の板の間におろし、上半分は昼間、内側に吊り上げてある部分をおろす。この茶店の土間は道より約30cm高く、同じ高さで軒下の巾1.2mの土間に続く。旅人はその土間に座ったり、腰をかけたりして茶や酒を飲む。カマドは2つあるが通常は外のカマドが使用される。

図—3は第2日目の野営地の村の民家で、道に面し縁台があるが、茶店ではない。農家と見うけられるが、行きと帰りの2度尋ねた時、酒を出して応待してくれたのは、娘とその母親の2人で、他の家族の姿はなかった。家族構成を尋ねたところ、娘の両親、兄夫婦とその子供との答を得たが、はっきりしたことは分らない。というのは、夜遅くまで居たが、ついぞ他の者の姿を見なかったからである。もっとも暗やみと酔眼のせいで気が付かなかったのかも知れない。一階は土間、二階も床板の上に厚く泥が塗ってある。約60cm×140cmの両開き戸を腰をかがめて入ると、室内は昼間でも暗く、手さぐりで歩かねばならない。明りは入口と奥の30cm角の小さな窓から入ってくるのみ、それでも馴れるにしたがって観察すると、入口近くに木の箱がある。これはにわとり小屋、といっても夜間入れるだけで、昼間は外で放飼いされている。左隅には階段があり、その周囲にかご、真ちゅうの壺、収穫したままのとうもろこしがある。一部、板で仕切られた右隅には、五徳を据えただけの簡単な炉があり、真ちゅうの食器や壺が散乱している(**写真—7**)、私達は、窓近く直径3、40cmのまるい竹で編んだ上敷に腰を下し、娘の母親が作ってくれたゆで卵やポップコーンを食べた。2階はとうもろこし等の雑穀置場、2階のベランダは、街道筋で時々見かけた。裏には牛とやぎが飼われている。

図—4、一般的な農家の室内である。2階建て、屋根は入母屋、草茸き、2面に土びさしがある(**写真—8**)。壁は泥と石からなり、土びさしの下の正面は、泥で石は隠され、上⅔は白く塗ってある。1階土間とひさし下の土間は、殆んど同じレベルにあるが、周囲より約30cm高く、道はさらに1m低い。屋内はカマドのある¼の土間が10cm高い。屋内には、入口近くに固定された石うす、2階への階段、奥に物入の木箱、かまど、壁近くに大きな水がめがある。これらの位置の決っているものの間に、かご、さら、やかん、コップ、なべ、ビンが放置されている。壁には、棚が4つあり、紙箱が載り、わずかな衣類が掛かっている。床から30cmの位置に巾30cm、高さ40cmの窓がある。壁厚は40cmと厚いため、棚としての役割もしている。出入口は、巾62cm、高さ135cmの両開き戸、この戸を閉めると室内は真暗である。丸太に足掛りをつけただけの階段を上った2階は、主として穀物等の物置となっている。天井高は約1.7mと低い。

茶店、農家の構造について、2階床は規模に応じ、1本から数本の柱と壁で棟木方向のはりを支え、このはりと壁の上に根太がのり、床板が張られ、泥が塗ってある。棟木は2階床ばりからの柱で支え、合掌は、直接壁にはのっていない。屋根が大きくなると壁より外に出て合掌の端を支えるはり下に斜材が補強されている（図－5）。**写真**－9はトリスリバザールの民家の廃屋である農家はもっと小さく、入母屋で天井は張ってないが、構造はほぼ同じである。

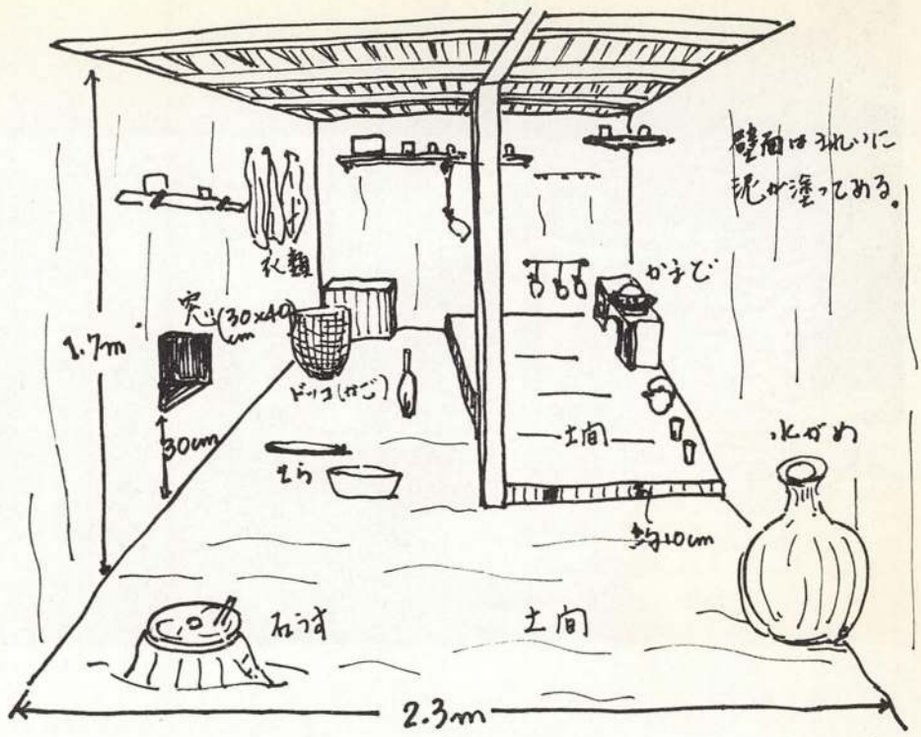
図－6、**写真**－10はトリスリバザールとアルガトバザールの中間にある集落の木賃宿である。3階建て、周りの民家と比べ、きわだって大きい。屋内も泥壁でいくつかの部屋に仕切られている。旅人は軒下の作りつけの長椅子に腰をかけ、茶や酒を飲む。茶は1階中央のカマドで沸かす。そのカマドのほか、屋内外に多くのカマドがあるが、それらは泊り客が利用する。2階は主として客室で、個室もあり、ベッドも置かれている。3階は物置、とうもろこしが収穫されたまま隅に積まれ、大小さまざまな壺には穀物、醸造中の酒が入っている。穀物の入ったかごもある。家の周囲には、バナナ、マンゴの木が実をつけていた。

ブリガンダキの民家；図－7以降はブリガンダキに入ってからの民家である。前回述べたように、ブリガンダキは交通も少なく、茶店や木賃宿はない。村は貧しい。**図**－7はブリガンダキに入って1日目に通過した村の民家で、2階建て草葺き、石と泥からなる壁、構造的にはいままでの民家と変りないが、室内に少し違いがある。入ってすぐ右側に、高さ20－40cm、長さ1mの物入箱が置かれ、隅のカマド以外に部屋の中央に簡単な炉があり、1階土間に高低差がある。炉の存在は、昨日までの村より約600m高いということによるものであろう。

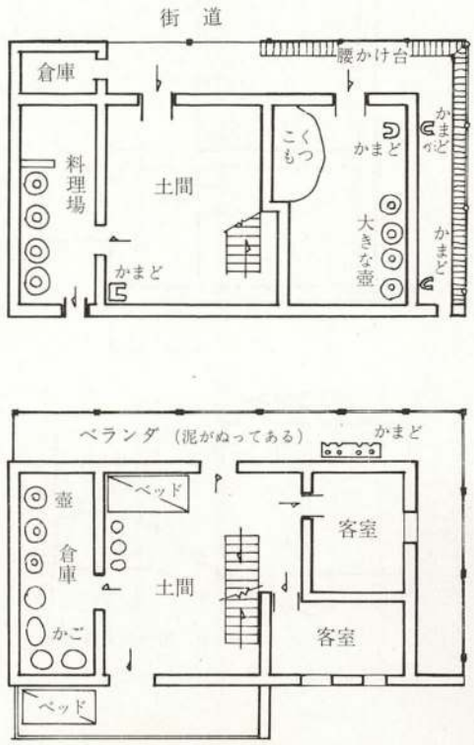
ブリガンダキに入って2日目、バナナはなくなり、家の外観は一変する。屋根は切妻、板葺きとなる。屋根に板が用いられるようになったのは、地形がけわしく、開墾不可能な林が残り、木材が容易に手に入るためと思われる。壁は石と泥であることには変りないが、泥の使用量が少なく、外側は石の積み目が見える。1階土間には段はなく、2階床は板が並べてあるだけで泥は塗られていない。

一つの村において、家の大きさ、間取りに大差はないが、住居とする建物のみの家、家畜小屋を持つ家、家畜小屋と物置小屋を持つ家と附帯している小屋に差がある。家畜は食料、使役以外に、化学肥料のない当地において唯一の肥料を生み出すものとして重要である。一部の家畜小屋は高床式で、床下には草を置き推肥を作る。

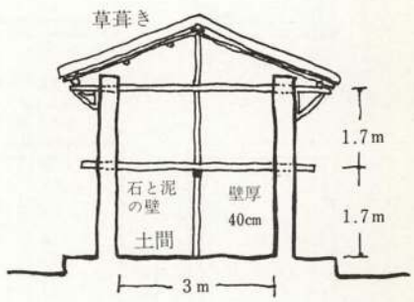
民家は2階建てが多いが、ある戸数数十の村は、すべて平屋で、家の一面は板壁であった。2階がないだけに、土間には水かめ、かご、穀物が散乱している（**図**－8）、（**写真**－11）。



図－4　農家の屋内



図－6　木賃宿



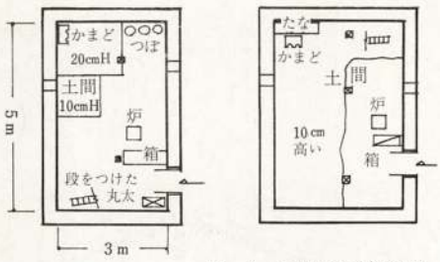
図－5　断面

▽⑪室内

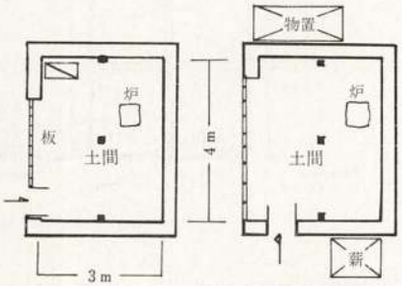




△⑫ジャガードの家



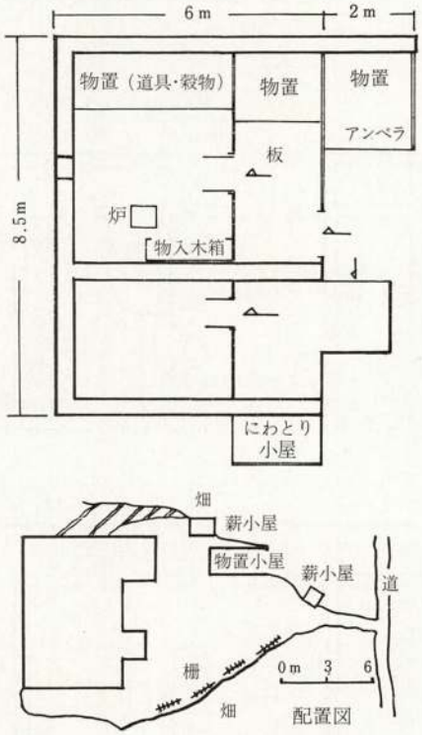
図—7　ブリガンダキの家



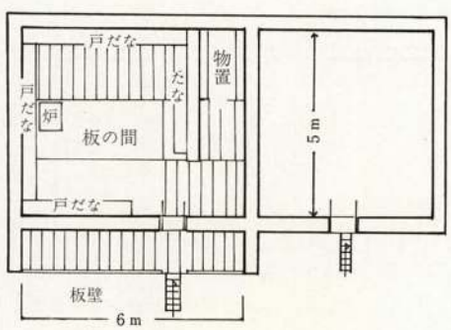
図—8　板壁のある家

▽⑬ジャガードの官舎





図—9　広い庭を持つ家



図—10　グルン族の家

図—9は戸数100余の村の一番大きな家と平面と配置図である。このように広い庭を持ち、別棟に小屋を持つ家は珍らしい。

アルガトバザールとチベット人の村サマの中間に、外国人の通行を監視するチェックポストがある。そこには政府から巡遣された役人とその家族、兵士が住み、彼らの住居と丘舎の囲りに、村人達の民家がある。役人の住居と兵舎は2階建て、屋根は自然石のスレート葺きであるが、民家は平屋建て、板葺きである。民家の壁は石積みで、室内、入口近くの外壁のみ泥が塗られている（**写真**—12．13）。

図—10はグルン族の民家である。人種はいままでと変らないが、チベット人のエリアに近いため、次回に述べるチベット人の民家とよく似てきた。屋根は切妻、板葺き、壁は石積み、泥は塗ってない。2階建て、1階は物置で、2階が居住空間となり、板の間、壁にそって棚、木箱が配置され、壁近く、炉がきられている。柱は2階にはなく、大きな棟木の両端を壁が支えている。天井はない。窓は全くないが、屋根と壁のすき間より明りが漏れてくる。これまでの民家同様、暗い。2階へは屋外の階段より上る。2戸づつ1棟となっている家が多い。

まとめ；カトマンズの古い市街を離れると全般に2階建てが多く、壁は石と泥からなり厚い。窓はなくしかも小さくて室内は暗い。細かい室内の状況は、写真から知ったことが多い。屋内の間仕切りはない。物入箱を置くとか、なんとなく室内を区切ろうとする意図が見られないこともないが、出入口以外にドアのある農家は全くなかった。出入口は小さい木製の両開き戸が木枠ごと壁にはめ込まれている。またカトマンズの古い民家を含め、浴室、便所がない。便所がないということは、糞尿を肥料として使わないことにもよるのであろうが、といって決った場所があるようにもみえなかった。以上は全般に共通していることであるが、奥地に入るにつれ次のような変化がみられた。壁は泥の使用量が減り、はじめ室内外とも泥が塗りこめられていたのが、室内だけ、ついで内外とも石積みのままとなる。屋根は市街地の切妻から入母屋、再び切妻となる。それに対応して瓦から草葺き、板およびスレート葺きとなる。2階床は土間から板の間へ、居住空間は1階から2階へと変る。火の使用は、カマドからカマドと炉、そして炉のみとなる。

ネパールは多民族の国であるが、これらの変化は民族の違いによるものより、自然環境の変化によるものが大きいと考えられる。奥地に入るにつれ、高度が上り、気温は低く、地形的に木材の入手は容易となる。1部（居住空間の1階から2階への変化）に、チベット文化の影響もみられる。

つづく

新しい可動間仕切

長瀬正信

はじめに

壁というものは，昔からいろいろな面で行動の自由，伝達の自由，というものを遮断し，空間を利用できない不経済なものであった。が，空間を必要に応じて区切るという点では必須的存在であった。

現代という時代について考えてみると，すべてが非常に回転の早い時代であり，従来のような空間の定型的な利用は，時の流れにそぐわないものになってきた。

そのことは，現代建築においても要求されている。

すなわち，同一面積をいかに広く，あるいは効果的に使用するか，ということである。

たとえば，ある面積（1フロアー）を全く仕切らない方法は非常に経済的な使い方であろう。がしかし，下手をすると，もっとも効率の悪い使い方ともなりかねない。組織というものをもつ会社という立場になるとかえって仕切がないことが不便になることもある。

そこで考えてみたいのが可動間仕切である。

もし，各部屋をブロック等の固定のもので間仕切るとすると，組織変更などの場合，必ずといってよいほど，無駄になる。すなわち使用できない空間が生じる。

とくに，組織変えなどの激しい会社等では，その空間を累積してみると，たいへんな無駄を生んでいることになる。

しかし，これがブロック等の固定間仕切ではなく，可動間仕切を使用した場合には，必要に応じて間仕切ることができ，また組織の変更などで壁が不必要になれば，いつでも必要な場所に付け変えることができ，撤去することもできる。

これはビジネスビルに限らず，工場，住宅，学校等，あらゆる建築物にあてはまることである。

いまここに可動間仕切を"壁"という文字を使用して表わしたように，機能的にみて，絶対に壁としての役目を果さなければならない。

では，壁としての機能とは何であろうか？

まず第一に衝撃に耐えることである。

第二に熱あるいは火に強いことである。

第三に遮音性がよいことである。

この意味において"ついたて式"の間仕切は無意味なものになってくる。

もっとも，ついたて式の間仕切も時と場合によっては便利なものである。

1. 可動間仕切の種類

現在，可動間仕切には大きくわけてスタッド方式，パネルジョイント方式（以下パネル式と呼ぶ）とスライド式，アコーディオン式の4つの方式がある。

このうち，スタッド方式とパネル方式は使用目的が一致しており，アコーデオン方式とスライド方式が一致している。スライド方式あるいはアコーデオン方式は可動間仕切ではあるが，ある場所からある場所へ移動させることは不可能である。

これらは一つの部屋を大きく，あるいは小さく使用するために用いるものであり，どちらかといえば，移動間仕切という名称を使う方が適切かと思われる。

ここではスタッド方式とパネル方式が問題になる。

（a）スタッド方式

スタッド方式は適当な間隔に柱（スタッド）を立てて，それにパネルをはめ込んだり，とめたりする方法である。

この方式は，わが国の可動間仕切には最も多く使用されている。

スタッドの材料としては木，鉄，アルミニウムが多く，その断面は四方に凹部のある**井**型，**X**型または二方に凹部のあるH型が多く用いられている。

パネルはスタッドの凹部にはめ込むか，支持金具によって固定する。また，スタッド方式はその建込み順序から2つに分類できる。

① スタッドだけを先に建てて，後からパネルをはめ込む方式

② スタッド→パネル→スタッド，というように建込む方式である。

この2つの方式は作業性がよく，再使用の場合，可動しやすいことが最大の長所である。これは，可動間仕切として欠かすことのできない点である。

ここで前に述べた壁としての機能をひとつひとつ照合してみよう。

●衝撃について

スタッド方式は前述のごとくスタッドがパネルをささえる唯一のものである。であるから，パネルに加わる衝撃はすべてボールに加わる。そのスタッドは天井と床，それぞれとの接点すなわちパネルをはめ込んだ状態で4つの点でその衝撃をうけることになる。

そこで考えなければならないことは，スタッドの断面積はせいぜい25平方センチメートルである。その小さな点が，弱い天井に接触しており，そこに衝撃が加わることは，建築物を非常に傷つけることになる。

●不燃ということに関して

これは表面材によって変ってくる。表面材として現在使用されているのは，化粧合板，スチール，フレキシブルボードである。

このうち化粧合板は難燃処理をしても不燃材にはなりえない。であるから仕様によって合板あるいはスチール，フレキシブルボードと表面材を変えることのできる間仕切が最も便利である。

●遮音ということに関して

遮音性というのは間仕切の表面材と空間層によって大きく変わる。もっとも，影響があるのはジョイナー部分であることはいうまでもない。

一般に，人声は250Hz～1,000Hz，ちょっとした金属音で2,000Hzである。

ゆえに遮音ということに関して問題とされるのは250Hz～2,000Hzで

あり，とくに250～1,000Hzの間での遮音性がどれほどかということである。

遮音性は一般にdBで表わされる。ある騒音状態から間仕切をすることによって，その騒音が10ホーン下がれば，その間仕切の遮音性は10dBである。

このことから考えて，250Hz～200Hzで平均35dB，最低30dBあれば，まず可動間仕切として優秀な方である。もっとも，これは間仕切単体としてではなく，壁の状態にして測った場合である。

表面材に合板を使用した場合に比べ，スチール，フレキシブルボード等を使用した場合の遮音性は抜群であり，これらの表面材が不燃材であることをも考え合わせると，表面材にはスチール，フレキシブルボードを使用するのが賢明であると思われる。

これは，天井と床にレールやピースを取りつけて，それに間仕切パネルをとめていく方式である。

（b）パネル方式

パネル式には天井，床の2方のみを固定する方法と，パネル継手部分も本実にしたり四方を額ぶちのように固定にする方法とがある。上下の固定のしかたには，天井，床にコ型のものをとりつけそれにパネルを差し込む方法と，天井・床にあらかじめとりつけたL型のものにパネルをビス止めする方法がある。

この方法は非常に可動性が悪くなる。日本であまり使われないのはこのためである。

しかし，この方式は天井・床にレールを敷くためにスタッド方式に比べ衝撃に対する強さは抜群である。

これは衝撃を点でうけるか線でうけるかの差である。

その他，壁としての機能はスタッド方式で述べたのと同様である。

以上のようにみると，それぞれ欠くことのできない長所をもっているが，反面絶対不可欠の要素をもっていないということが問題になる。

これはNCRビルにおいて日本の既製の可動間仕切が使用されず，あらたに可動間仕切を考案されたことが，はっきりと示している。

（c）合 成 式

その考案されたものとは，スタッド方式，パネル方式の合成型であり，それぞれの欠点を補い合わせたものである。この合成型というのは米国ではもっとも多く使用されているものである。それは米国においては組織変えが激しいことからなるべく建物を傷つけないようにという配慮からであろうと思われる。

現在，わが国においてこの合成型を商品化しているところは非常に少ない。

合成型の建込み方法は間仕切パネルを一応天井や床のレールやピースにとめた後，パネルの継手部分を特殊な金具等を用いて結合させたものである。

この金具によって作業性，可動性をよくしている。

NCRビルで使用されたものは職人2人一組になって約15分で建込むことができる。

遮音性に関しても，パネルとパネルの継手部分が弱点になるのではないかという心配ももたれるが，目板をとめその中にグラスウールを充填することによって，その心配を解消している。また，この商品の目板幅とパネル厚を同じにすることによって3 way，4 wayになってもモジュールは全く変わらず，建築家にとっては使用しやすいものと思われる。

建込みとしては，仕上った床・天井に取付チャンネルをビス止めする方法をとり，平面的に自由な位置がえらべ，現場施工精度との対応性も広く，パネルのジョイント部分または巾木，傘木部分を利用して電気配線を内蔵することができ，それらは最後にバネ式にとりつけられるようにしてある。そのため電灯スイッチ，コンセント等を現場で自由にとりつけることができ，大きな施工上の魅力となっている。

建込後の見かけは押えぶちをつけたパネル式やスタッド式，合成式もほとんど同じになる。

2. 今後のあり方

私見ではあるが，今後のビルというものは，建設業者と可動間仕切の業者が一体となってはじめて一つのビルができあがるということになると思われる。

そのためには，可動間仕切は合成式のように強度的にも遮音ということに関しても壁として十分に機能を果しうるものにならなければならない。

いつの日か固定間仕切に負けない可動間仕切がでてほしいものである。

（ながせ まさのぶ KK日光化成特品課）



日本建築協会 月間の動き

□昭和46年5月分□

理　事　会

26日　4時～5時　於綿業クラブ
出席者　松村，福田各副会長ほか18理事
小西監事，一円東海支部長
議事(1)昭和45年度事業報告承認の件
(2)昭和45年度収支決算承認の件
(3)定時評議員会開催の件
(4)通常総会開催の件
(5)「4会連合」協定工事請負契約約款委員会委員選出の件
(6)事務局職員上期賞与支給の件
(7)入退会者承認の件
(8)報告事項

出　版　委　員　会

委　員　会
6日　6時～7時半　於会館集会室
出席者　小林委員長ほか8名
議事(1)委員長，副委員長，幹事選出について
(2)部会の設置と構成員について
(3)前年度よりの出版企画について
(4)本年度の出版企画について
(5)そのほか

建築基礎工法と実例幹事会
7日　6時～8時半　於会館3階会議室
出席者　山肩委員長，山口，多々見幹事
議事(1)表紙と資料篇について
(2)出版工程について
17日　6時～8時　於会館3階会議室
出席者　山肩委員長，山口，多々見幹事
議事(1)図書の構成について
(2)出版工程について
26日　6時～8時半　於会館3階会議室
出席者　山口，多々見幹事
議事(1)原稿調整について
(2)出版工程について

事　業　委　員　会

見学会小委員会
6日　6時～7時半　於会館3階会議室
出席者　堤副委員長代理（篠田）金子幹事ほか3名
議事(1)4月に実施した見学会についての報告
(2)5月～7月の見学会企画について
(3)8月以降の見学会企画について
(4)8月に催す大石寺の見学と富士五湖めぐりについて検討
(5)そのほか

広報小委員会
7日　6時～7時半　於会館集会室
出席者　三品副委員長，小泉幹事ほか8名
議事(1)各種説明会の開催に関する内規についての説明
(2)本年度の事業企画について
(3)そのほか

委　員　会
13日　6時～7時半　於会館集会室
出席者　北垣，窪田，田村，堤，三品，柳正副委員長，小泉，田中，佐々木各幹事
議事(1)各小委員会の事業報告
(2)5月～7月までの事業企画について
(3)本年度の事業企画について
(4)そのほか

若い会員の集い小委員会
20日　6時～8時　於会館集会室
出席者　柳副委員長ほか10名
議事(1)第1回事業「ロサンゼルス大地震の教えるもの」の実施について
(2)事業方針と企画について
(3)各事業の担当委員とその作業内容について
(4)そのほか

編　集　委　員　会

委　員　会
10日　4時～6時　於会館集会室
出席者　鳥田委員長ほか13名
議事(1)編集常任幹事会案報告
(2)6月号＝解体工学特集経過報告
(3)7月号＝都市と港湾特集報告
(4)8月号＝ニュータウン特集幹事会案報告
(5)作品作風小委員会報告
(6)技術の頁小委員会報告
(7)9月号＝軟弱地盤と震災
(8)10月号＝建築生産（仮称）特集
(9)11月号＝第18回青年技術者
(10)そのほか

「軟弱地盤と震災」特集編集幹事会
20日　4時～6時半　於会館集会室
出席者　山肩，水畑，中堀各特別幹事
議事　軟弱地盤と震災特集企画

作品作風小委員会
20日　4時～6時　於会館集会室
出席者　平内主査ほか4名
議事(1)7月号作品決定
(2)作品作風欄への公募具体案

ニュース・読者の頁小委員会
24日　6時～8時　於会館集会室
議事(1)読者の頁タイトル決定
(2)論文募集の提案

建築データシート委員会

改訂分科会
12日　正午～2時　於会館集会室
出席者　松村副委員長ほか3名
議事(1)幹事の選出について
(2)分科会の作業内容について
(3)発行計画について
(4)そのほか

計画分科会
14日　正午～2時　於会館集会室
出席者　井上委員長ほか5名
議事(1)幹事の選出について
(2)計画分科会の業務内容について
(3)原稿用紙，割付用紙について
(4)業務の進め方について
(5)そのほか

委　員　会
19日　6時～8時　於会館集会室
出席者　井上，松村正副委員長ほか4名
議事(1)各分科会よりの提案事項について
(2)データシート発行計画について
(3)そのほか

住　宅　委　員　会

住宅展，総務合同委員会
12日　5時半～8時　於会館集会室
出席者　湯浅，上田，細見，山下各委員
議事　第8回「よろず相談住宅展」について
(イ)出展申込状況と今後の勧誘先について
(ロ)そのほか

委　員　会
19日　6時～8時　於会館集会室
出席者　岡橋，黒谷正副委員長ほか13名
議事(1)正副委員長互選の件
(2)第8回よろず相談住宅展に関する件
(3)そのほか

法　規　委　員　会

委　員　会（4会合同）
19日　3時～5時　於会館集会室
出席者　福田委員長ほか17名
議事(1)今後の4会合同の法規委員会の進め方について
(2)建設省への要望書または質問状について
(3)そのほか

教　育　委　員　会

委　員　会
21日　正午～2時　於会館集会室
出席者　谷口委員長，岩下，辛木，臼井，斉藤各副委員長ほか8名
議事(1)委員長，副委員長，幹事選出について
(2)本年度小委員会構成員について
(3)前年度委員会よりの申送り事項について
(4)本年度建築工事実務講習会の企画について

⑸本年度の事業企画について

見　学　会

国宝・重文の拝観とぼたんの観賞・撮影会

当麻寺と石光寺

1日　2時～5時

参加者　20名



東京の新しい超高層建築の見学会

8日　1時～5時

京浜急行ホテル新築工事

設計・監理　㈱坂倉建築研究所

施　工　鹿島建設㈱　東急建設㈱

朝日・東海ビル新築工事

設計・監理　㈱日建設計

施　工　清水建設㈱

参加者　34名

飛鳥・藤原宮跡発堀現場その他の見学会

（本会，大阪府建築士会，日本建築学会近畿支部と共催）

22日　12時半～6時半

案内者

奈良国立文化財研究所　宮沢智士氏

参加者　55名

SNSU―草津プロジェクトとクーラー・冷蔵庫の工場見学会

24日　1時50分～5時35分

SNSU工事

設計　ナショナル住宅建材㈱

新日本製鉄㈱

施工　ナショナル住宅建材㈱

新日本製鉄㈱　㈱鴻池組

参加者　24名

若い会員の集い

「ロサンゼルス大地震の教えるもの」

現地調査報告・映画の会

28日　6時～8時

於大阪科学技術センター

ゲスト　大阪建築事務所社長　高橋慶夫氏

出席者　130名

常設委員会委員長懇談会

25日　5時半～8時　於会館集会室

出席者　塚本，松村，福田（兼法規），正副会長，北垣（事業），鳥田（編集），岡橋（住宅），小林（出版），谷口（教育），堀内（建材），井上（データシート）各委員長

協会の各種事業について意見交換の後北水において懇談会を開催した。

3会事業委員長打合会

27日　正午～1時半　於大阪府建築士会

出席者　小西士会委員長ほか事務局員5名

6月以降の共催事業について打合せ

4会連合協定工事請負契約約款委員会

19日　3時～5時　於日本建築学会

出席者　岡田正委員ほか9名

当日は建設省係官の建設業法改正の説明を聴取，本約款改正の参考にし，約款改正についての意見交換を行なった。

東畑前会長感謝の会

26日　綿業クラブにおいて，会員有志100余名が出席して盛大に開催された。福田副会長が会員有志を代表して感謝の挨拶並びに記念品贈呈が行われた後，東畑前会長の謝辞，竹腰名誉会長の音頭で乾盃，宴に入り，6時半頃銭高前副会長の発声で東畑先生の万才を3唱盛会裡に散会した。

5月の入会者　（敬称略）

〔個人会員　32名〕

市岡　進	佐野宣治	久田恵士
稲葉　健	清水克彦	福永文弘
入梅　寛	下路正展	藤本証三
岩切　勉	下西伊佐男	古沢康利
岩田正一	須田洋一	南田重雄
小川　確	立川義信	矢上昭男
神嶌　弘	戸子田　靖	湯浅武夫
木村精一	中林賢一	横田達徹
木元隆司	西尾一夫	若松信幸
貴伝名浩造	抜水博人	渡辺　実
曽　進治	野原耕三	

〔准会員　64名〕　（氏名省略）

都市計画法および宅地造成等規制法等による許可，承認または指定を受けなければならない敷地内における建築確認申請書の取扱いについて　　大阪府建築部長

Ⅰ　都市計画法に関係する確認申請

⑴　建築主事の判断により処理するもの。

イ，開発許可に係る区域内における確認申請

新築の場合は原則として，基準法施行規則第1条第5号の規定による証明書として，開発登録簿の写を添付，または提示せしめ，その内容と確認申請書の内容が一致しているもの。

ロ，調整区域内における「新築，改築し用変，用変」の確認申請

都計法第43条第1項の許可証，またはその写，またはその証明書を添付，または提示せしめ，その内容と確認申請書の内容が一致しているもの。

ハ，開発行為の工事完了公告前における確認申請

都計法第37条の建築承認書またはその写を添付せしめ，開発行為の許可書の提示を求め，その内容と確認申請書の内容が一致しているもの。

ニ，その他

市街化区域内で，1,000平方メートルを超える敷地内における増，改築工事の確認申請でき得れば前願の確認通知の提示を求め，その敷地形状および面積が一致しているもの。

⑵　開発指導課で判断し，その旨を確認申請書に裏書きし，建築主事が処理するもの。

イ，前項各号の許可書またはその写，または証明書の添付，または提示ができないもの，およびその内容が一致していないもの。

ロ，都計法第29条第二号（農，林，漁業用の建築物および従事者用の住宅）並びに同条第九号（通常の管理行為および軽易な行為（令第22条））に該当するもの。

ハ，その他建築主事の判断に疑義を生じたもの。

⑶　裏書きに際して，開発指導課の方針

イ，前項イの場合（許可書，またはその写の提示ができないか，またはその内容が一致していない場合の判断）

許可書等が添付または提示できない場合は，その理由により已むを得ないものと認めたものについては公的機関またはこれに準ずる機関の証すべきものを根拠として判断し，許可書等と確認申請書の内容が一致しない場合は，都計法の許容範囲内か否かの判断により裏書きし，要すれば変更申請または再申請を指示許可，承認にいたる間，裏書きを保留する。

ロ，前項ロの場合（農，林，漁業用建築物の判断）

市，町，村長または農業委員会々長（林，漁業の場合も農業に準ずる）の証する証明書により判断し，その旨を裏書きする。

ハ，前項ハの場合（その他建築主事に疑義を生じた場合）

その都度，そのケース毎に判断し，裏書きする。

〈Ⅱ　宅地造成等規制法に関係する確認申請〉　以下は省略。詳しくは大阪府建築部開発指導課へお問い合せ下さい。

暑中お見舞申し上げます　昭和46年盛夏

設計事務所有志

RIA建築綜合研究所大阪支店

所　長　山　口　文　象
支店長　山　家　啓　助

大阪・大阪市北区太融寺町33　大阪合同ビル 406　電話 312－9154
東京・270－5861　名古屋・262－3941

青田設計事務所

所　長　青　田　豊　吉

姫路市坂田町54（姫路建設会館内）　電話　代表 姫路（24）9012
直通 姫路（22）7126

株式会社 赤松菅野建築設計事務所

代表取締役
大阪事務所長　赤　松　　修

大阪市北区梅ケ枝町123（瑞穂ビル）　電話（364）5651
東　京・横　浜・大　宮・富士ノ宮

株式会社 浅野建築設計事務所

代表取締役　浅　野　真　澄

本　社　大阪市天王寺区城南寺町9－27　電話 768－0201（代）
768－1870
分　室　奈良県北葛城郡香芝町下田256　電話(0745)77－7805

株式会社 東建築設計事務所

代表取締役　東　秀　保

大阪市北区天神橋筋3－68　三海ビル　電話 (358)5598・3497

株式会社 荒木造園設計事務所

代表取締役　荒木　芳邦

大阪府池田市鉢塚2丁目8番21号　電話 0727 (61) 8874 (代表)

株式会社 井上達明建築事務所

代表取締役　井上　達明

〒530 大阪市北区鶴野町51番地　電話 372－2821代表

株式会社伊東建築設計事務所

代表取締役　伊東　正也
取締役　竹原　永一郎
大阪市浪速区幸町通り2－6 清光ビル　電話(562) 4343～4

株式会社 池田宮彦設計事務所

代表取締役 池田　昭　　取締役会長 荒川直治

本　社　大阪市南区瓦屋町3番丁68（オートセンタービル）
電話　大阪 (761)0360　(762)0396　(762)5551　内線 351～7
東京事務所　東京都新宿区坂町28（三広ビル）　電話　東京 (351)8962
山陰出張所　松江市西川津町2570　電話　松江 (21) 2547

石川建築事務所

石川寛三
石川　宏

大阪市天王寺区茶臼山町111　電話 06 (779)9491～2
東京都豊島区駒込 1－11－9　電話 03 (946)5431～2

株式会社 泉設計事務所

代表取締役　長谷川元耶
代表取締役　宮川達郎

大阪市南区横堀7－4（新田ビル）　電話 251－7691(代)

株式会社 泉沢建築設計事務所

代表取締役　泉　沢　哲　史

大阪市東区瓦町5丁目42番地　新瓦町ビル　電話（231）2064～5

株式会社 今西建築デザインルーム

代表取締役　今　西　茂　雄

大阪市西区北堀江通2－47　TEL 541－3051～3

株式会社 栄和設計事務所

取締役社長　小　泉　善　重

本　　社　大阪市福島区堂島浜通4丁目14　TEL大阪（452）1651～3

株式会社 大阪建築事務所

取締役社長　高　橋　慶　夫

本社並びに支所	大阪市西区京町堀2丁目75	電話　大阪(441)9351(代)
東京支所	東京都港区赤坂1丁目1番14号(溜池東急ビル)	電話　東京(583) 8169
名古屋支所	名古屋市中区丸の内2丁目2番15号(東照ビル)	電話名古屋(221) 8566
九州支所	北九州市小倉区魚町4丁目3番8号(丸源ビル)	電話　小倉(52)4285
分　　室	福岡・大分・水島・室蘭	

株式会社 海上静一建築事務所

代表取締役　海　上　静　一

本　　社　大阪市東区博労町2－41(中博ビル)　電話　大阪(261)4428～9
三重分室　三重県津市船頭町2044　電話　津（8）9627

コータケ建築設計事務所

所長　高　武　主　計

大阪市西区江戸堀5－155(新山越ビル)　TEL 488－0178・2408

株式会社 小林得志建築事務所

代表取締役　小林得志

大阪市北区堂島北町20　藤田ビル内　電話(341) 5658～9

有限会社 河内義就設計事務所

代表取締役　河内義就

広島市上幟町2番37号　電話 (0822) 28－2271

株式会社 坂倉建築研究所

代表取締役　西澤文隆

東京事務所　東京都港区赤坂9－5－12　TEL03－403－3551
大阪事務所　大阪市西区京町堀2－122　TEL06－443－0021



株式会社 桜井建築設備研究所大阪事務所

取締役所長　長谷川幸雄

大阪市西区靱本町1－50(第2富士ビル)　電話06－443－7891㈹
大阪事務所九州支所　福岡市那の川2－9－32　電話092－52－3036㈹
本社・東京事務所　東京都新宿区四谷1-4(野原ビル)　電話03－353－4711㈹

株式会社 清水和彌設計事務所

代表取締役　清水和彌

大阪市北区万才町43（浪速ビル）　電話　大阪 (312)4616・7278(代)

株式会社 篠田川口建築事務所
株式会社 協同設備事務所

代表取締役社長　川口喜代枝

名古屋市東区富士塚町3－2
TEL 962－7581(代)
TEL 971－2255(代)

株式会社昭和設計事務所

代表取締役社長　岡本行善
代表取締役専務　林唯夫

設計・監理

大阪事務所　大阪市西区西長堀北通1－8 四ツ橋ビル　TEL代表 532－0415
神戸事務所　神戸市葺合区八幡通5－6　久徳ビル　TEL 078－25－0651
姫路事務所　姫路市竪町54番地　滝川ビル　TEL姫路 24－2926
姫路事務所長　河野豊蔵

株式会社 田中/小西 建築事務所

取締役社長　小西岬

本社　大阪市西区阿波座南通2－60　電話 (532) 4051大代表
東京事務所　東京都千代田区神田鍛冶町3ノ3(大木ビル内)　電話 (256) 9301代表
名古屋事務所　名古屋市中区丸の内1の8番39号(三信ビル内)　電話 (211) 4035
大津事務所　大津市梅林1丁目4番15号(滋賀県教育会館内)　電話 (22) 5373～4番

株式会社 竹内建築事務所

代表取締役　内藤一真
専務取締役　林茂

大阪市南区長堀橋筋2丁目35の1(日亜ビル)　電話 (211)2706～8番

東西建築サービス株式会社

取締役社長　布袋國雄

本社　大阪市東区横堀2－48 〒541　電話 06 (202) 3626
事務所所在地　東京・名古屋

株式会社 東畑建築事務所

代表取締役　東畑謙三

本社　大阪市東区伏見町5丁目19　電話　大阪(06)202-0391
大阪事務所
東京事務所　東京都千代田区永田町2(永田町ビル)　電話　東京(03)581-1251
名古屋事務所　名古屋市中村区堀内町2(堀内ビル)　電話名古屋(052)571-8471
北九州支所・大分支所

名古屋建築設計事務所

所長　井上正一

名古屋市中村区椿町4－28(国鉄会館ビル)〒453　電話 (025)571－1271(大代) (025)551－2025 (直)

株式会社 内藤建築事務所

代表取締役社長　内藤資忠

本　社　京都市左京区田中大堰町189番地　電話 075（781）6195代
事務所・出張所　青森・仙台・東京・松本・静岡・名古屋・京都
滋賀・奈良・大阪・四国・福岡・大分・鹿児島

株式会社 中澤建築事務所

代表取締役　中澤誠一郎

大阪市北区富田町38（高橋ビル北5号館）　電話 363－3881（代）

有限会社 中西建築事務所

代表取締役　福田亨吉

大阪市北区中之島3－3（朝日ビル）　電話 231－9531

株式会社 日建設計

取締役社長　塚本猛次

大阪市東区横堀2丁目38番地　電話203－2361（大代表）

株式会社 根津建築事務所

代表取締役　根津耕一郎

本　社　大阪市東区安土町2－15（佐々木ビル）　電話（06）262－0595（代表）
東京事務所　東京都渋谷区幡ヶ谷2-7-1（アサヒビル）　電話（03）377－8687

株式会社 福永建築設計事務所

代表取締役　福永薫
専務取締役　福永健一

大阪市南区順慶町通4ノ61　電話（06）251－3102・5189

株式会社 藤沢建築設計事務所

代表取締役所長　藤　沢　英　雄

本　社　大阪市南区大宝寺町中之丁２９　電話06－251－0255㈹
支　所　東京都港区南青山２－２２－１５　電話03－402－８６２６
　　大分市今津留６組（千代田ビル）　電話09752－８－3533

株式会社 宮後建築事務所

代表取締役　宮　後　　健

本　社　大阪市天王寺区上汐町６－３５　電話 772－０１６５(代表)
分　室　大阪椎寺町・大阪横堀・大阪本町・茨木

株式会社 安井建築設計事務所

代表取締役社長　佐　野　正　一

本　　社　大阪市東区島町２丁目７番地　電話06(943)1371(大代)
大阪事務所　大阪市東区島町２丁目７番地　電話06(943)1371(大代)
東京事務所　東京都千代田区平河町１丁目１番地　電話03（261）5101(代)
名古屋事務所　名古屋市中区錦３丁目２４番(日本生命ビル)　電話052(961) 1861(代)
神戸事務所　神戸市生田区三宮町2丁目18番地(阪神相互ビル)　電話078（32）1533(代)

株式会社 U.A.（ユー　エー）建築事務所

代表取締役　上　田　良　治
専務取締役　浅　井　潤　一

大阪市東区谷町５－３０(新野村ビル)　電話 768－２９４１～２

株式会社 洋建築事務所

代表取締役　設　楽　貞　三

大阪市北区松ヶ枝町８８(河田ビル)　電話 358－６３７２(代)

株式会社 吉田建築事務所

取締役会長　吉　田　信　武
取締役社長　佐　治　誠　次

大阪市西区北堀江上通３－22(久竹ビル)　電話（538）2991 代表

暑中お見舞申し上げます　昭和46年盛夏

建設業者有志

株式会社 **青　木　建　設**

（旧ブルドーザー工事株式会社）

取締役社長　青　木　益　次

本　社　大阪市大淀区大淀町南1の5　TEL 06 (458) 5851
東京本社　東京都渋谷区渋谷2－17－3　TEL 03 (407) 8511
大阪支店　大阪市大淀区大淀町南1の5　TEL 06 (458) 5851

株式会社 **淺　沼　組**

取締役社長　淺沼猪之吉

本　社
本　店・大阪市天王寺区東高津町8番地の1　電話 代表 (762) 0251
支　店・東京・名古屋・札幌・仙台・福岡・広島
営業所・秋田・岩手・水戸・千葉・立川・横浜・新潟・北陸・静岡・岐阜・長野
三重・奈良・京都・郡山・和歌山・神戸・岡山・高松・徳島・高知・熊本

株式会社 **新（アタラシ）工　務　所**

取締役社長　新　昭　一

本　店・大阪市北区曽根崎中一丁目四三　電話 代表 大阪 (313) 1331番
支　店・東京都千代田区猿楽町二丁目一番十四号　電話 代表 東京 (291) 3741番
営業所・名古屋市中区大須四丁目一番七一号（時計ビル）　電話 名古屋 (262) 1725番
神戸市灘区倉石通一丁目二　電話 神戸 (87) 6119番

株式会社 **あめりか屋**

取締役社長　前野慶太郎

本　社　大阪市北区常安町17番地　電話 代表 (444) 1501番

安藤建設株式会社大阪支店

取締役大阪支店長　村　田　隆　次

大阪市西区江戸堀北通一丁目七番地　電話 代表 443－5561
本　社・東京都中央区八重州四丁目七番地　電話 大代表 (272) 7411
支　店・名古屋・仙台・静岡・九州・広島
営業所・千葉・横浜・水戸・盛岡・新潟・神戸・沼津・札幌・宇都宮・北九州・熊本

株式会社 井上組

取締役社長　井上福蔵

本社　大阪市都島区網島町6番25号　大阪(351)0530　(352)4031～4
出張所　神戸市生田区加納町三丁目二番地　電話　神戸(33)1780

株式会社 今西組

取締役社長　今西壽雄

本社　大阪市天王寺区上本町七丁目二番地ノ一　電話06(772)1251
支店　東京都新宿区内藤町一番地　電話03(354)0581～5
営業所　神戸市生田区下山手通四丁目四番地ノ一　電話078(33)6060
埼玉県所沢市大字中富字北見元秋津分990番地　電話0429(22)0180

株式会社 大林組

取締役社長　大林芳郎

本店・大阪市東区京橋3丁目75番地　電話 大代表 (941)0861番
東京本社・東京都千代田区神田司町2丁目3の1　電話 大代表 (292)1111番
支店：札幌・仙台・横浜・名古屋・神戸・広島・岡山・福岡・高松

株式会社 奥村組

社長　奥村俊夫

大阪市阿倍野区松崎町1の2の3　電話 大阪 (621) 1101 (大代表)
支店　札幌・仙台・東京・名古屋・広島・四国・北九州

鹿島建設株式会社

会長　鹿島守之助

取締役社長　渥美健夫　　取締役大阪支店長　橋本正二

本社　東京都港区元赤坂1－2－7　電話東京 (404)3311(大代)
大阪支店　大阪市東区瓦町五の七一(瓦町ビル)　電話大阪(202)代7461・8166

株式会社 金山工務店

代表取締役　金山伊三次郎

本社　大阪市東区内淡路町1丁目2　電話 大阪 代表 (942)5461番
東京支店　東京都中央区日本橋堀留町1丁目2　電話 東京 代表 (663)7844番
堺支店　堺市中瓦町2丁87(博愛ビル4階)　電話 堺 代表 (21)2751番

株式会社 神崎組大阪支店

取締役支店長 佐伯武男

大阪市北区曽根崎新地1丁目21 電話 (341) 7371 (代表)
本店・姫路市北条口86－3 電話 姫路 (23) 2021(代表)

株式会社 熊谷組大阪支店

専務取締役支店長 泉 治郎一

大阪市西区西道頓堀通二丁目一番地 電話 (538) 1841番 (大代表)
本社 東京都新宿区筑土八幡町二二番地 電話 (260) 2111番 (大代表)
支店 札幌・仙台・北関東・東京土木・東京建築・横浜・名古屋・広島・四国・福岡

株式会社 鴻池組

取締役社長 鴻池藤一

本店 大阪市東区北久宝寺町4－27 電話 代表 (252) 3100
支店 東京・名古屋・福岡・鹿児島・広島・松江・高松・仙台

甲南建設工業株式会社

代表取締役 原精一

本社 大阪市東淀川区十三西之町4丁目3 電話(06)302－1551代表
営業所 尼崎市南塚口町2丁目29番34号 電話(06)429－4569
神戸市葺合区八幡通5丁目6番地(松井ビル) 電話(078)22－6293
堺市宿屋町東3丁1番19号 電話(0722)2－5423
東京都中央区越前堀1丁目8番地 電話(03)551－4501

佐藤工業株式会社

取締役社長 佐藤欣治・常務取締役大阪支店長 山本良勝

本社・東京都中央区日本橋本町4－8 電話 東京 (662) 2331 (大代)
大阪支店・大阪市東区北浜1－25 電話 大阪 (203) 7221 (代表)
支店・東京・名古屋・富山・札幌・福岡・仙台・広島

三和建設株式会社

代表取締役 竹下文武

本社 大阪市東淀川区加島町431 TEL (301) 6636代
東京支店 東京都港区西新橋2丁目19番1号 TEL東京 (436) 1271代
京都営業所 京都市右京区西大路五条上ル TEL京都 (311) 8897
東京工場 川口市仁志町1～241 TEL川口 (52) 4100
高槻工作所 高槻市芝生町5の2 TEL高槻 (74) 0381



島藤建設工業株式会社 大阪支店

支店長　樽田光男

本　社　東京都港区赤坂８丁目５番34号　電話　東京（403）１５１１
支　店　大阪市北区茶屋町３１番地の２　電話　大阪（372）６００１代表



清水建設株式会社

社長　吉川清一

本　社　東京都中央区宝町二ノ一
支　店　大阪・名古屋・広島・高松・福岡・金沢・仙台・札幌



住友建設株式會社

常務取締役大阪支店長　野村太郎

大阪支店　大阪市東区北浜５丁目２２番地(新住友ビル2号館)電話（202）代表7421番
本　店　東京都新宿区荒木町13番地　電話（353）代表5111番



株式会社 錢高組

取締役社長　錢高輝之

本　店　大阪市西区阿波座上通３丁目２番地　電話 大阪（531）6431番(大代表)
支　店　札幌・仙台・東京・名古屋・広島・福岡
営業所　青森・秋田・盛岡・前橋・新潟・千葉・横浜・静岡・津・京都
　　神戸・岡山・高松・松山・松江・北九州・熊本・長崎・大分



大末建設株式会社

取締役社長　山本末男

本　　社　大阪市南区大和町１番地　電話（213）大代 ０５５５
大阪工場　大阪府南河内郡美原町菅生８１０－１　電話（0723）61－５８８１
東京支店　東京都千代田区神田駿河台２の９　電話（294）大代 ４３１１
名古屋支店　名古屋市中区錦1丁目2番11号(岩田ビル)　電話（211）代 ５４２１
広島支店　広島市東白島町２１－１６(多田ビル)　電話 ２１－０２１０
九州支店　福岡市天神３丁目３番11号(新梅居ビル)　電話 ７６－５３３１
営業所　札幌・千葉・埼玉・横浜・立川・京都・滋賀・神戸・奈良・和歌山・岡山



大成建設株式会社

取締役社長　南幸治
専務取締役支店長　菅澤英夫

本　　社　東京都中央区銀座２丁目５番11号　ＴＥＬ東京（567）1511大代表
大阪支店　大阪市東区本町４丁目２７番地　ＴＥＬ大阪（262）1131大代表

大日本土木株式会社大阪支店

大阪駐在常務取締役　山　田　　豊

常務取締役支店長　高　木　政　夫

530 大阪市北区堂島北町9　電話 06（341）代表5931
東京本社　101 東京都千代田区神田松永町19 電話 03（255）代表0371
本　店　500 岐阜市六条1483番地5　電話 0532（72）3141
支　店　東京・名古屋
営業所　神戸・京都・奈良・和歌山・上六・岡山・広島・九州
宮崎・熊本・静岡・長野・中津川・三重・横浜・千葉・仙台

株式会社竹中工務店

取締役社長　竹　中　錬　一

本　店　大阪市東区本町4丁目27　電話 大阪（252）1201番（大代表）
営業所　札幌・仙台・東京・横浜・静岡・名古屋・富山
京都・神戸・岡山・広島・高松・北九州・福岡

鉄建建設株式会社大阪支店

常務取締役支店長　勝　田　頼　春

大阪市大淀区天神橋筋六丁目五番地（天六阪急ビル）　電話（358）0321（代表）
本社・東京都千代田区三崎町二丁目五番三号　電話東京（262）3411（代表）

東海興業株式會社大阪支店

取締役社長　中西小一　　専務取締役 大阪支店長　小松英二

本　社　東京都千代田区丸の内3−4−2 日石ビル　電話 東京（212）3261
大阪支店　大阪市北区梅田町27 サンケイビル　電話 大阪（343）0451
支　店　東京・名古屋・仙台・札幌

戸田建設株式会社大阪支店

取締役支店長　加　納　秀　雄

大阪市東区本町3丁目27の1（センバ・セントラルビル）
電話（252）6311（大代表）
本社・東京都中央区京橋1丁目3番地
大阪支店営業所・京都・神戸・金沢・富山

飛島建設株式會社大阪支店

常務取締役支店長　篠　原　忠　治

大阪市東区島町2丁目28番地　電話（942）2481（代表）
本　社　東京都千代田区九段南2丁目3番28号

明日をささえる

西松建設

大阪建築支店　大阪市東区釣鐘町2丁目41番地
取締役支店長　島田勢喜
本　　社　東京都港区芝西久保桜川町13番地

日東建設株式会社

取締役社長　長久保俊夫
取締役支店長　本澤平八郎

本社　102 東京都千代田区平河町1丁目2番地12　電話東京　03（265）（大代表）4281番
支店　530 大阪市北区末広町12番地（新末広ビル）　電話大阪　06（351）代 0623 番

日本建設株式会社

社　長　生田重政

本　社　大阪市東区安土町4－5　TEL（261）7591－6
支　店　東京・名古屋・福岡・広島・仙台・札幌・四国

野村建設工業株式会社

取締役社長　岩本義心

本　社　大阪市東区高麗橋二丁目九番地　電話（202）代表4791
東京支店　東京都千代田区大手町二丁目一番一号　電話（241）代表4171

株式会社 間組大阪支店

常務取締役
支店長　吉村幾蔵

大阪市東区横堀町二丁目七〇番地　電話（203）代表2821
本　店・東京都港区赤坂青山南町一丁目一番地　電話（402）代表8171
支　店・東京・大阪・名古屋・福岡・仙台・長野・海外工事局・札幌・広島・高松

長谷川組株式会社

取締役社長　長谷川為一

本　社　大阪市天王寺区大道町四丁目一三〇
電　話（771）（代表）4148・4149・4140
工作場　大阪市生野区巽四条町103の2
電　話（791）2744番

総合建設 株式会社 **長谷川工務店** ビル経営

取締役社長 水上芳美

本　社　東京都渋谷区道玄坂2－29－20　TEL(463) 5451(代表)
大阪支店　大阪市東区平野町5の40　TEL(203) 5661(代表)

阪神土木工業株式会社

取締役社長 藤原正一

本　社	大阪市北区梅田町93番地	電話 (341)5445(代)
神戸支店	神戸市東灘区御影本町2－18－1	電話 078(85)5362
西宮営業所	西宮市甲子園高汐町2－29	電話0798(4)4908
尼崎営業所	尼崎市昭和南通3－26 尼崎松本ビル内	電話 (412) 1866
和歌山営業所	和歌山市3番丁	電話0734(36)0231
岡山営業所	岡山市鹿田町1丁目4番9号	電話0862(24)6689
出張所	芦屋・京都・川西・寝屋川	

飛騨建設株式会社

代表取締役 清涼信泰

大阪市北区富田町38番地　電話 大阪 (06) 363－1741代表

不二建設株式会社

取締役社長 山口吾郎

本　社　大阪市西区阿波座上通4丁目8　〒550 電話 大阪 (06) 541－5534代表・9301代表
支　店　東京都新宿区西新宿4丁目5番2号　〒160 電話 東京 (03) 377－5171代表
　　名古屋市中区千代田4丁目11番17号　〒460 電話名古屋 (052) 321－8481代表
出張所　大垣・京都・神戸・広畑・大分

不動建設株式会社

取締役社長 庄野勝

大阪本社　大阪市東区平野町5丁目30番地　電話 大阪 (201) 1121
東京本社　東京都中央区銀座4丁目2番16号　電話 東京 (567) 1751
支　店　九州・名古屋・君津・大分・神戸・横浜・北海道・千葉・仙台・広島
営業所　岡山・福岡・長崎・山口・水戸・姫路

株式会社 藤木工務店

本　店・大阪市東区両替町一丁目一三・電話 大阪 06(942) 1461(代)
支　店・東京都新宿区三栄町二三番地・電話 東京 03(357) 1611(代)
　　倉敷市鶴形一丁目十ノ三二・電話 倉敷0864(22) 3330(代)
　　高松市丸ノ内十一番地ノ十三　電話 高松0878(51) 7272(代)
出張所・京都・名古屋・津・岡山・新居浜・徳島・福岡・熊本

未来をひらく フジタ工業

常務取締役大阪支店長　古賀文之介

大阪市北区堂島中2丁目38番地　電話(345)代表7671
本社・東京都渋谷区千駄ヶ谷4－6－15
支店・東京・札幌・横浜・名古屋・大阪・広島
九州・仙台・リマ・カラカス・サンパウロ

真柄建設株式会社大阪支店

取締役 支店長　佐々木孝治

大阪支店　大阪市西区京町堀3丁目12番地　電話 大阪(06) 443－0641(代表)
東京本社　東京都千代田区麹町5丁目1番地　電話 東京(03) 263－1211(代表)
支店・営業所　東京・名古屋・金沢・富山・福井・京都・大津・神戸・新潟

前田建設工業株式会社大阪支店

常務取締役支店長　島田光富

支店　大阪市東区石町2丁目7番地　電話大阪(942) 1301(代表)
本社　東京都千代田区富士見2丁目10番地の26号　電話東京(265)5551番(代表)

株式会社 松村組

取締役社長　松村雄二

本社・大阪市北区空心町一丁目七〇番地　電話 大代表 大阪(353)1131
支店・東京・札幌・名古屋・広島・福岡

三井建設株式会社 大阪支店

常務取締役 支店長　竹内慶久

大阪支店　大阪市北区中之島3－2(三井ビル2号館)　電話大阪(443)代表1321
本社　東京都中央区日本橋室町二ノ一(三井ビル)　電話東京(270)大代表8651
支店　東京土木・東京建築・札幌・仙台・横浜・名古屋・広島・福岡

村本建設株式会社

代表取締役社長　村本豊嗣

本社　奈良県北葛城郡広陵町安部547　電話　大和高田　(52) 6021(代表)
大阪支店　大阪市天王寺区上本町9丁目49　電話　大阪　(779)1571(代表)
東京支店　電話 東京(265)5851㈹
名古屋支店　電話 名古屋(241)1511㈹
福岡支店　電話 福岡(74)0119

望月建設株式会社

取締役社長　望月小太郎

本　　社　大阪市北区堂島上1丁目18　電話大阪(344) 8651(代表)
工 作 所　豊中市小曽根4丁目900　電話 (332) 4831～2
豊中倉庫　豊中市島江1丁目1番7号　電話 (333) 7430

株式会社 森組

取締役社長　森　幸治

本　社　大阪市東区横堀2丁目14番地　電話 (231) 8283～7番
(支店) 東京・名古屋・奈良　(営業所) 和歌山・尼崎・神戸・岡山

株式会社 森本組

代表取締役社長　森本積善

本 社　大阪市天王寺区夕陽ケ丘町三番地　電話 大阪 (779) 1451
支 店　東京・名古屋・広島
営業所　松江・神戸
出張所　奈良・米子・下北山・西明石・和歌山・河内・相生・木曽福島

株式会社 盛工務店

代表取締役　盛道雄

本 社・大阪市北区南森町47番地　電話大阪(364) 1581(代表)
営業所・神戸・福岡・西宮

矢島建設株式会社

取締役社長　矢島浩三

本　社　東京都中央区銀座七丁目11－3　電話 東京 (572) 代1436
大阪支店　大阪市南区北炭屋町八番地　電話 大阪 (271) 代5837
取締役副社長　仁平信也
支店長
支店・営業所　仙台・福岡・蒲郡・和歌山

株式會社 米田工務店

取締役会長　米田治郎兵衛
代表取締役　米田良男

本　社　大阪市天王寺区逢坂上ノ町7　TEL 大阪(06) 771－7771代表

暑中お見舞申し上げます　昭和46年盛夏

建材・設備・工事業者有志



浅野スレート株式会社

取締役支店長　谷　幸一

本社　東京都港区芝浜松町4の2　電話 (434) 1211
支店　大阪市大淀区中津浜通り3の11の1　電話 (372) 5351



株式会社 井上浄夫商店

取締役社長　井上浄夫

本社　大阪市西区江戸堀1－101　電話 441－8531(代)
支社・東京都中央区八丁堀4－2－2　電話 551－6756



タイル・瓦工事

井上窯業株式会社

代表取締役　井上秋次

大阪市天王寺区生玉町40番地　電話 771－2825(代)
営業所　豊中・奈良・寝屋川



株式会社 梅彦

代表取締役　松永彦太郎

本　社　大阪市北区舟場町20番地　電話 06 (371) 4036代
営業所　大阪市北区道本町40番地　電話 06 (312) 6171代
茨木工場　茨木市字清水246番地　電話0726 (43) 6149代
寝屋川工場　寝屋川市河北一番地　電話0720 (21) 4338代



大阪装飾株式会社

取締役社長　蜷川智造

本社　大阪市西区京町堀2丁目64番地　電話代表 06 (441) 0931
営業所　東京都豊島区東池袋1丁目45番地　電話代表 03 (984) 7725

日本電気硝子㈱代理店　**営業品目**　鉛硝子・ガラスブロック・光り壁
㈱各務クリスタル製作所代理店　ゲージグラス・レンズ・サンストップ

株式会社 伊勢谷特殊硝子製作所

代表取締役　伊勢谷圭作

本　　社　大阪市西区靱本町4丁目83　電話　大　阪（541）9161代
支　　店　名古屋市北区駒止町1丁目64　電話　名古屋（981）5650
（912）3962

陶磁タイル・オリエンタルモザイコ
（陶磁・ガラスを主材とする壁画構成・立体構成）

関西タイル商会

大阪市西区江戸堀北通1ノ19（オカダビル）　電話　（443）9131（代表）

各種冷暖房・空気調整機器専門製作

木村工機株式会社

代表取締役　木村悦造

本　　社　大阪市東区上町13番地　電話(06) 761－6921
東京営業所　東京都中央区八重洲4丁目5番地（新光ビル）電話(03) 273－8821
名古屋営業所　名古屋市中区錦1丁目4番27号（高野ビル）電話(052)211－5048
福岡営業所　福岡市大名1丁目12番52号（内藤ビル）電話(092) 77－0628
八尾製作所　大阪府八尾市北久宝寺2丁目2番7号　電話(0729)23－0621

電気・計装・空調・土木

近畿電氣工事株式會社

取締役社長　大森久司

本店　大阪市北区南扇町11　電話 312－1281（大代）

株式会社 シエル石油大阪発売所

アスファルト製品販売部

部長　栗山和三

本　社　大阪市北区堂島浜通り1－25　電話　大阪（363）0441大代表
分　室　大阪市東淀川区西中島町2－76　電話　大阪（303）7131代表
事務所　東京・福岡

建築写真の撮影から仕上げ・カラー写真の一貫生産
記録アルバム作成・パネル張り・装飾用大伸し
作品集・竣工アルバム及びパンフレットの編集・印刷

G.T.SUN OSAKA ジーチーサン

大阪市東区北浜3丁目52
電話 06（231）1263～4・6791・〒541

住宅タイムス

代表取締役　植田泰弘

大阪市東区北浜2丁目84　電話06(231)1441～3

SINKO

新晃工業株式会社

本社・大阪支社　大阪市東区大川町一番地 〒541　電話（06）202－4761番（大代表）
TELEX　522－4864
東京支社　東京都千代田区有楽町一丁目五番地 〒100　電話（03）216－4311番（大代表）
TELEX　222－2857
名古屋支店　名古屋市中区栄四丁目一番一号 〒460　電話（052)261－1731番（代表）
TELEX　442－4171
技術研究所　寝屋川市大字太秦九九八番地 〒572　電話（0720）23－1771番（代表）

神東塗料株式会社

社長　山口由美

本　社　尼崎市南塚口町6－10－73　電話 429－6261(大代)
東京支店　東京都中央区八重洲3－3(八重洲口会館)　電話 272－4011(大代)

SNK

新日本空調株式会社大阪支店

支店長　堀田雅邦

大阪支店　大阪市北区堂島浜通1－25－1(新大ビル)　電話大阪（344）6031(代)
本　社　東京都中央区日本橋本石町4-2(三井第2別館)　電話東京(279)5671(大代)

須賀工業株式会社

取締役社長　須賀　孝

東京・大阪・名古屋・京都・神戸・福岡
千葉・横浜・広島・高松・北九州

精研冷機株式会社

取締役社長　木内清三
専務取締役　和田正八郎

本　社　大阪市南区瓦屋町3番丁68番地(オートセンタービル)　電話761-1141㈹
東京営業所　東京都千代田区九段南2丁目2番5号（九段ビル）電話262-3241㈹

建築用接着剤・各種コーキング剤製造・販売・責任施工

セメダイン株式会社

大阪支店長　大山昭典

大阪市南区大宝寺町東之丁41　電話（251）3555（大代表）

西日本アスファルト事業協同組合
西日本床工事事業協同組合

株式会社 タテバヤシ商店

代表取締役　舘林彦四郎

京都市南区西九条大国町37　電話（075）681－7221（代）

大阪ガス風呂ショップ

タナカ風呂

代表者　田中照雄

大阪市浪速区元町1丁目747　（但し国鉄湊町駅南へ50メーター西側）
電話（641）5313・6221・8128

工場　守口市大宮通り4丁目25　電話（992）3822

田島応用化工株式会社 大阪営業所

大阪市西区京町堀1－7－4　電話441－5951（代）

鉄骨・鉄塔
橋梁・製缶　鉄構造物設計施工

株式会社 大成鉄工所

代表取締役　高杉善久

本社工場　枚方市出口383　電話(0720)31－7001～8
広島営業所　広島市横川町新町8-19(ライトビル)　電話(0822)32－8859

暖・冷房・空気温湿度調整装置設計施工

高砂熱学工業株式会社

大阪支店　大阪市北区梅田8（新阪急ビル）　電話 345－4521（代）
本　社　東京都千代田区神田駿河台4－2　電話 255－8211（代）

株式会社 高村電機製作所

取締役社長　副島栄八

本　社　大阪市北区河内町２－２８　電話06(358) 6351(代表)
工　場　大阪府八尾市佐堂町３－３－12　電話0729(99)0151(代表)

創業50周年

株式会社 立花商會

取締役社長　佐竹孝雄

営業品目　冷暖房機器・昇降機器
照明器具・電子機器
住宅機器・産業機械
空調・電気・クレーン工事

本　社　大阪市西区阿波堀通２－４７　電話 541－９５２１(大代)
支　店　東京・名古屋・堺・神戸
営業所　大阪：東・北・中央、東京：町田・鹿島

共栄パーライト販売株式会社

取締役社長　橘　泰治

本　社　大阪市東区森之宮西の町５９４　電話(941)9243～7(代)

NABCO

自動ドアーはこのマーク

ナブコドアーエンジン株式会社

取締役社長　中畔登鬼男

本　社　〒550　大阪市西区阿波堀通２－７　TEL(代) 532－５８４１
営業所　名古屋・広島・高松・金沢・京都・神戸/和歌山・岐阜・津・富山
主要都市に代理店あり

NAIGAI

保温・保冷・設計・施工
サーモパネル板による
空調機ケーシング
設計・施工
サーモテックス吹付 } 耐火被覆
サーモ耐火板 }

内外アスベスト株式会社大阪支店

大阪市都島区善源寺町２丁目３番１４号　電話(06) 922－１３７１(代)
高松営業所　高松市木太町新関２８１３　電話(0878) 62－８９１６
本　社　東京都北区東田端町1-4-8　電話(03) 800－２１１１(代)
支　店　札幌・名古屋・広島　出張所　福岡・仙台

ダイヤラス・鉄筋ラス・親子ラス・ラスシート・リブラス・溶接金網

中川ラス製作所

代表者　中川楢栄

大阪市南区鰻谷仲之町３１　但し十合百貨店北ノ辻東へ入ル南側
電話　(271) 5228～9・(252) 8861～3

特許 強力ギルソイド・アスタイト防水

西日本アスファルト事業協同組合

東　京・千代田区岩本町３の11の13　田島応用内　ＴＥＬ代表（866）6101
大　阪・大阪市西区京町堀１の７４　ＴＥＬ代表（441）5951
名古屋・ＴＥＬ（571）6361　広島・ＴＥＬ(21)0266　福岡・ＴＥＬ(28)2807

株式会社 西原衛生工業所大阪店

取締役社長　伴　一　郎

大阪市大淀区中津南通４丁目１１番地　電話大阪（458）代３５３１番

日刊建設産業新聞・日刊建産速報

株式会社 日刊建設産業新聞社

取締役社長 花村茂彦　　取締役支社長 山邊敏郎

大阪支社　大阪市東区淡路町１丁目14(八千代ビル)　電話（231）8171(代)
本　社　東京都板橋区板橋町１丁目４８－８　電話03(961)1691(代)
神戸支局　神戸市葺合区八幡通５丁目６－１　電話078(29)0541－２
京都支局　京都市右京区鳴滝本町１１－４　電話075(463)０６８３

株式会社 日刊建設通信関西支社

代表取締役会長　田　中　　一
取締役支社長　成　田　辰　美

大阪市西区京町堀１－６８　電話（444）４４５１代表
本　社・東京都港区西新橋２－１１－４　電話（502）８５８１代表

日本アスファルト年限保証防水（日本アス協組員）
ニトルーフシート防水 } 冷工法
ＮＰシート２号防水 }
ウレタン、Ｎ.Ｓ塗膜防水工法（冷工法）

日新工材株式会社

代表取締役　井　場　　績

大阪市西区新町北通１－１７　電話（541）3785～６・2721

建設省東計
第240号認可

日本アスファルト防水工業協同組合　関西支部

大阪市東淀川区瑞光通り4-30-2 日新工業株式会社大阪支店内
電話（329）７７３７～４０

エレベータ・リフト・カーリフト
設計・製作・据付・修理

日本エレベータ工業K. K.

代表取締役 長尾正大

本　　社　大阪市大淀区天神橋筋六丁目　天六阪急ビル　電話 06(351) 4927㈹
東京営業所　東京都北区田端町３１１　東京建築興業ビル　電話 03(822) 0995㈹
工　　場　大阪市東淀川区小松中通５丁目６番地　電話 06(328) 0363㈹

温湿度調整・暖冷房・換気給排水・衛生設備
設計並施工

日本管工業株式会社

本　　社　京都市南区西九条豊田町20－１　電話 681－5101～5
大阪営業所　大阪市北区天満橋筋１－３７　電話 352－3501～3
四日市営業所　四日市市浜田西末広町　電話 53－7431～3
大津出張所　大津市打出浜１３－１５　電話 22－９７３８
津営業所　津市栄町２－１１１　電話 8－３６１０

日本建鉄株式会社

取締役社長　橋本幸雄

本社・東京支店　東京都千代田区大手町2－6－2(日本ビル)　電話 東京270－6511(大代表)
大阪支店　大阪市北区梅田町４７番地(新阪神ビル)　電話 大阪341－4331(代　表)

日本熱学工業株式会社

取締役社長　牛田正郎

大阪本社　大阪市北区万才町５０番地　TEL大代表(312) 8671
東京本社　東京都港区芝西久保桜川町2 第17森ビル　TEL大代表(501) 7631

原田今商事株式会社

取締役社長　原田守蔵

本　　社　電話06－541－７４５５(代)
水分営業所　電話06－541－３８４３～4

HARDWARE HIGAKI

株式会社 日垣本社

取締役社長　日垣桂一

本　　社　大阪市南区安堂寺橋通２－３　電話 261－５０９１
東大阪支店　東大阪市稲田１１４１－１　電話 789－５４８１
東京支店　東京都墨田区向島３－３５－６　電話 623－８３１１
名古屋営業所　名古屋市西区那古野町３－７　電話 561－９４９１
札幌営業所　札幌市北１２条東５丁目223-46　電話 741－３１１１
福岡営業所　福岡市御供所町２－４２　電話 27－１５５１

フクビ化学工業株式会社

取締役社長　八木熊吉

本社工場　福井市三十八社町33－66　電話 22－7280
大阪営業所　大阪市南区長堀橋筋1－1(森久ビル)　電話 271－8531

電気設備工事　計装工事

富士電業株式会社

取締役社長　田中実

本　社　大阪市西区北堀江上通1丁目65　電話(541) 0564代表
営業所　東京・名古屋・広島・福岡

室谷商事株式会社

取締役社長　室谷山水

本　社　神戸市生田区北長狭通4丁目　電話078 －33－0881
支　店　大阪市北区絹笠町50(堂ビル)　電話06－ 364－2031

明研化学工業株式会社

取締役社長　村田鞆二

外内装材　特許　エマルリシン　プレハタイル　内装材　エマジュラク　エマソフト
エマレックスリシン　明研リシン　エマミックス　防火レックス
エマルスキン　エマーロール　エマトップ

本社	明石市中谷町888番地	電話明石代表(913) 3456
第二工場	神戸市垂水区岩岡町野中字福吉564	
大阪営業所	大阪市東区北久宝寺町2丁目6(三京ビル)	電話 06 (271) 3967代
東京営業所	東京都墨田区両国4丁目37　13坂井ビル	電話 03(634) 1756～8
名古屋営業所	名古屋市西区枇杷島通4丁目47	電話 052 (521) 6373代
広島営業所	広島市天満町11－23(内藤ビル)	電話 0822 (91) 5927
福岡営業所	福岡市博多駅南4－9－23	電話 092 (41)4426

株式会社矢橋大理石商店大阪支店

取締役支店長　北垣圭一

大阪市東区高麗橋2(野村ビル)　TEL 202－4905
本社岐阜　TEL0584-71-1211　東京支店　TEL03-214-3561
名古屋支店　TEL052-561-3441　営業所　福岡・広島・札幌

引戸用レール各種、階段スベリ止め各種、アルミ押出形材
アルミ窓手すり、窓格子、アルミ梯子、脚立

安田株式会社

取締役会長　安田誠一

本　社　大阪市南区末吉橋通1－17　TEL251-7091～8
東京営業所　東京都中央区日本橋本町4-4(クラウンビル5階)　TEL662-4457～9

耐火建材・金属建材

株式会社 **山 本 建 材 社**

代表取締役　山 本 武 雄

本 社　大阪市西区西長堀南通１－１　電話 541－１８６１～７
東 店　東大阪市金物町３号１番　電話 723－２２７７～８

山本窯業化工株式会社

取締役社長　山 本 禎 彌

本社・工場　大阪府摂津市東別府1-3-6　電話(06) 381－９１３１～５
営 業 所　東京・名古屋・広島・福岡・仙台

銘木と建材

株式会社 **吉 川 商 店**

本 社　和歌山市西布経町１の１　電話 0734－23－５２５７(代)
営業所　田辺市新庄町４９１　電話 0739－22－0259・6350
営業所　和歌山県海草郡下津町下２２２　電話 07349－2－１４２３(代)

ウレタン・エポキシ樹脂の合成ゴム塗膜防水剤
〝ラバシール〟責任施工

ラバシール

ラバレヂン工業株式会社

取締役社長　原　淳

本 社　大阪市浪速区桜川５丁目２番地の８田坂ビル　電話 大阪 (561)6601(代)
出張所　名古屋市北区清水町６の４　電話名古屋(911)６８０１

理研鋼機株式会社大阪支店

支店長　長 井 誕

大阪支店　大阪市東区高麗橋５－45(興銀ビル別館)　電話06－245－0221(代)
本　社　東京都北区神谷３－10－８　電話03-902-3111(大代)
東京支店　東京都港区西麻布4-15-21(第6興和ビル)　電話03-407-6111(大代)
支　店　名古屋・仙台

株式会社 **翼建築設計事務所**

代表取締役　畠 中 繁

本社・大阪事務所　大阪市西区靱1-130(布亀ビル)　ＴＥＬ06-441-2288・9595
京都事務所　京都市下京区五条通室町東入(木村ビル)　ＴＥＬ075-351-4366

信用ある技術と伝統の

アスファルト工事 専業大店

株式会社 久保商店

大阪市北区真砂町5番地　電話　大阪 364・代表 0206～9

室谷

内装資材専門店

室谷商事株式会社

本社　神戸市生田区北長狭通4－1　（英和ビル）
直通電話　神戸（33）0881～3
支店　大阪市北区絹笠町50（堂ビル5階 502号室）
直通電話　大阪（364）2031～4
倉庫　神戸市葺合区八幡通1－5（電話㉒2923）

OKUYAMA KAKOGYO WATER-PROOF OAM

新工法！
プレノテクト吹付工法

陸屋根防水には 奥山式 特許 絶縁工法 を

カッパー防水帯

コーパータイト

8対2の防水（冷工法）デラタイト

特許　奥山式熱工法・冷工法綜合防水層

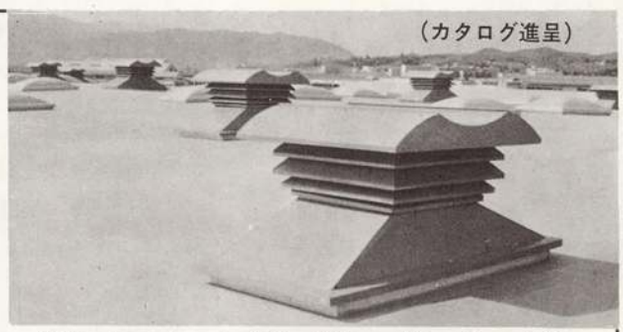
奥山化工業株式會社

本　社　東京都中央区銀座8－4－11　電話(571)2703～4・2370・4064・0264
大阪出張所　大阪市都島区都島中通り2-3-1　電話(921)2497・(922)7280
名古屋出張所　名古屋市南区若草町33　電話(811)3660・3104
札幌出張所　札幌市北三条東四丁目　電話(231) 7　5　1　1

特許　岩元式ベンチレーター
（電動式並固定型各種）

岩元式ベンチレーター　A型・B型・固定型
岩元式連塔換気装置（コンチニヤス・ベンチレーター）
新型　換気塔 NSライン　（強制換気扇付）
新型　換気塔 SFスーパー　（特殊装置による風量増幅 換気扇の能力を倍増する）
最新型　採光排気塔（風光）スーパーライン特殊増幅装置付
スカイライト工事・通風ルーパー
スチール及アルミサッシュドアー・各種シャッター製作施工
其の他　曲加工一式

（カタログ進呈）



岩元工業株式会社

大阪市東成区大今里2丁目5番22号
電話（981）　～0618

空気調和・冷暖房設備
給排水・衛生設備　設計・施工

株式会社 朝日工業社

本　社　東京都港区芝浜松町2－7　電話(434)6171(大代)
大阪支社　大阪市東淀川区加島町375　電話(302)2271(代)
支　店　北海道・仙台・名古屋・広島・福岡
営業所　釧路・函館・盛岡・横浜・静岡・京都・神戸

冷暖房　各種サッシ
給排水、衛生水道　環境衛生施設
電気　荷役運搬機械
厨房　化学鉱山機械

三機工業 株式会社 大阪支店

取締役社長　各務節
取締役支店長　濱川幸十郎
大阪市東区北浜2丁目22番地　電話 大阪 (202) 代表3071
本　店　東京・日比谷・三信ビル
支　店　名古屋、福岡、札幌、広島、仙台、富山
出張所　横浜、金沢、静岡、高松

電気・空調・給排水・衛生設備・設計施工

大阪電気暖房株式会社

取締役社長　菅谷知巳

本　店　大阪市西区江戸堀1－60　電話 (441) 8231大代
支店東京・名古屋・福岡
営業所　札幌・仙台・金沢・神戸・広島
出帳所　京都・岡山・高松・熊本・横浜
新潟・富山・福井・豊田

空気調和設備
衛生設備 設計施工

三建設備工業株式會社

大阪支店　大阪市都島区都島本通4－10－30　電話 (922)6251(代)
本　社　東京都中央区日本橋蠣殻町2－22　電話 (667)3431(大代)
支　社　名古屋・仙台・札幌・広島・福岡・金沢・新潟・横浜

給排水・衛生
暖冷房・換気 設計施工

株式会社 大阪城口研究所

取締役社長　城口庸平

大阪市北区高垣町一・電話 大阪372局7151(代)
京都市東山区大和大路正面上ル 電話 京都561局4945(代)
神戸市生田区下山手通六ノ一・電話神戸34局 5892

空気調和・衛生設備
設計施工

株式会社 三晃空調

本　社　大阪市北区富田町16番地　電話(363)大代表1371
支　店　東京都千代田区神田小川町2丁目1番地　電話(292) 代表7751
広島市紙屋町1丁目2番22号　電話(47) 代表4535
福岡市大名1丁目8番12号　電話(76) 代表3795
出張所　名古屋・富山・神戸・福井・京都・松江

営業種目●空気調和設備●給排水衛生設備●塗装設備
●蒸気噴射式冷凍機／設計・製作・施工

空気調和のケンザイ 株式会社 建材社

本社・東京支店＝東京都中央区銀座6－6－7　㊫(572)7411 代
大阪支店＝大阪市北区中之島2－22　㊫(203)3721 代
名古屋支店＝名古屋市中区錦2－2－13　㊫(211)1535 代
出張所＝札幌・仙台・豊田・金沢・神戸
広島・松山・福岡・バンコック

須賀工業株式会社

空気調和 衛生設備

大阪市西区土佐堀通1丁目14　電話 441－5171
支店－東京・大阪・名古屋・京都・神戸・福岡
営業所－広島　出張所－北九州

水道・衛生・暖冷房・其他管工事
設計並施工
(旧斎藤久孝事務所)

斎久工業株式会社大阪支店

大阪市北区常安町11番地
電話　大阪 (443) 5041～5番

東京本社　東京都千代田区大手町2の8番地(日本ビル)
電話 東京 (270) 7411番 (代表)
札幌営業所　札幌市南大通西4丁目1札幌道銀ビル　電話 札幌 (22) 5756
金沢営業所　金沢市高岡町2番16号　電話 金沢 (21) 2074
福井出張所　福井市御幸2の1　電話 福井 (24) 2436
高松出張所　高松市2番丁9　電話 高松 (21) 5195
岡山出張所　岡山市大供380の1　電話 岡山 (24) 5486

空気調和　地盤凍結　冷凍冷蔵

精研冷機株式会社

本　社　大阪市南区瓦屋町3番丁68番地
(オートセンタービル2階)　郵便番号542
電話 大阪 (06) 761(代)1141～8番(直通)
東京営業所　東京都千代田区九段南2丁目2番5号
(九段ビル8階)　郵便番号102
電話　東京(03) 262－3241～4番

創業 大正二年
暖冷房・換気・温湿度空気調和 設計
病院諸設備・給排水衛生・水族館設備 施工

株式会社 斎藤省三商店

東京店　東京都千代田区丸の内2の2　丸ビル676号　電話 212(代)3751
大阪店　大阪市西区土佐堀通1の1　大同ビル616号　電話 443代 3361
札幌店　札幌市北十条西18丁目36番地　電話 61(代)4371
名古屋店　名古屋市中区栄3の5番29号　千代田ビル514号　電話 261(代)0641
京都店　京都市南区西九条春日町48番地　電話 681(代)1781

温湿度調整装置、暖房
冷房、水道、搬送機設備
設計並ニ施工

第一工業株式会社大阪支店

大阪市北区富田町30　電話 (364) 6661(代)
本　社　東京都千代田区丸ノ内3-3-1(新東京ビル)
電話 (211) 8511・8561(代)
仙台支店　仙台市新伝馬町60
電話 (21) 4491
名古屋支店　名古屋市東区東門前町3－6
電話 (971) 3621

冷房・暖房・温湿度調整装置
換気・給排水・衛生設備
設計施工

第一企業株式会社大阪支店

大阪市北区北同心町1丁目57
電話 (351) (代表) 2808
本社 東京都文京区本郷1丁目12－5
電話 (814) (代表) 5151
支店出張所 名古屋・福岡・札幌・仙台・高松・広島

㊀ **平山工業株式会社**

衛生・空気調和設備 ・ 設計・施工

TEL (441)㈹ 1994.(443) ㈹0331 大阪市西区江戸堀通2の2

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設計施工

髙砂熱学

大阪支店 大阪市北区梅田8番地(新阪急ビル8階)
電話 大阪 (312) 4521 (代表)
本社 東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

空気調和・恒温恒湿・冷凍・冷蔵
給排水衛生設備 設計施工

㊀ 不二熱學工業株式會社

本店 大阪市南区順慶町2－50 電話 261－2436㈹
東京支店 東京都大田区西馬込1－2－1 電話 773－1231㈹
営業所 銀座・浜松・京都・神戸・福岡

SNK **新日本空調株式会社**

大阪支店 大阪市北区堂島浜通1－25 (新大ビル)
電話 (06) 344－6031 (代)
本社・東京支店 東京都中央区日本橋本石町4-2(三井第二別館)
電話 (03) 279－5671 (大代)
名古屋・九州・広島・札幌・東海村・北陸・大分

冷暖房・温湿度調整・水道
衛生・環境衛生施設
設計施工

山田工業株式会社

本社 大阪市西区京町堀1丁目62 電話(443) 代表8161～9
支店 名古屋市中村区水主町1の12 電話(541)0966(551)1655
出張所 東京都港区赤坂2丁目3～12
赤坂ピークビル5階 電話 (583) 1467
神戸市生田区北長狭通7丁目1の1 電話 (34) 1778・4386

MODAIR 空気調和設備
換気・除塵設備 設計施工

東洋熱工業株式会社大阪支店

大阪市西区京町堀4丁目 TEL(443) 8071
本社 東京都中央区京橋2丁目9 TEL(562) 1351
支店 名古屋・福岡

空気調和装置・冷暖房・換気装置
ファン・ヒーター・クーラー
スチール・アルミ・サッシ・ドア・シャッター
設計・製作・施工

理研鋼機株式会社

大阪支店 大阪市東区高麗橋5－45 (興銀ビル別館)
電 大阪 代 (202) 7745番
本社・工場 東京都北区神谷3の10の8
電 東京 代 (901) 3191番
空調事業部 東京都港区西麻布4-15-23(第5興和ビル)
電 東京 代 (409) 0151番
支店 名古屋・仙台

温湿度調整・暖冷房・換気給排水・衛生設備
設計並施工

㊀ 日本管工業株式会社

代表取締役 市川繁雄

本社 京都市南区西九条豊田町20番地の1
電話(681) 5101～5・夜間専用(691) 1045
大阪営業所 大阪市北区天満橋筋1－37(天満橋北詰)
電話 (352) 3501～3
四日市営業所 四日市市浜田西末広町 電話㊿7431～3
大津出張所 大津市打出浜13－15 電話 0775 ㉒9738
津営業所 津市栄町2－111 電話⑧3610

Carrier **冷暖房は CARRIER キャリア**

東洋キヤリア工業(株)製品販売店・特約工事店

㊀ 日本冷熱工産株式会社

本社及大阪営業所 大阪市西区土佐堀通1－16(石川ビル)
電話大阪 (443) 3661～5

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備

㈱西原衛生工業所大阪店

大阪市大淀区中津南通4丁目11 電話大阪(458)3531番
出張所＝京都・福岡

エレベータ・リフト・カーリフト
設計・製作

日本エレベータ工業株式会社

代表取締役 長尾正大

本社 大阪市大淀区天神橋筋六(天六阪急ビル) (351) 4927代
大阪営業所 (351) 4927代 サービス事業所 (328) 0364代
東京営業所 (822) 0995代 工場 (328) 0363代

各種電気工事設計施工

浅海電気株式会社

取締役社長　浅海正雄

本　社　大阪市北区老松町1丁目22
電話大阪(362)8701
東京支社　東京都新宿区戸塚1－95－7
電話(200)5911代表
支　店　名古屋・札幌・福岡
営業所　旭川・横浜・浜松・姫路・高松

電気設備 ε 設計施工

朝陽電気株式会社

代表取締役　山本博三

本　社　大阪市北区中之島3の3　朝日ビルディング
TEL　代表　(448)1361
営業所　大阪市西区土佐堀通り4の8
TEL　代表　(448)1361
営業所　京都市右京区西京極郡葛野町21番地
TEL　代表　(311)1185

電気工事設計施工

太陽工藤工事株式会社

取締役会長　西村庄市
取締役社長　小林四郎
本　社　大阪市福島区上福島北1－2
TEL(06)452－1151(代)
電力工事本部　大阪市此花区恩貴南之町73
TEL(06)462－1301(代)

電気設備工事設計施工

東光電気工事株式会社
大阪支社

支社長　姉川正男

大阪市東区高麗橋五丁目二八番地　電話大阪(202)0325～9番
本　社　東京都千代田区西神田1丁目4番地5号
支　社　札幌・仙台・丸ノ内・名古屋・福岡
出張所　旭川・白河・横浜・静岡・富山

電気工事・計装工事
設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長　栗原信英

大阪市北区高垣町16番地(東阪急ビル)
電話　大阪(313)1101(大代)
支店　東京・名古屋・舞鶴・大阪南・神戸・広島・九州

電気工事 中 設計・施工

中本電気株式会社

取締役社長　中本正明

本　社　大阪市城東区野江東之町三丁目一五
電話大阪(931)代表7341～5
0388・2193
資材倉庫　大阪市城東区野江東之町三丁目一一　電話大阪(931)7004
奈良営業所　奈良県御所市御国通り360　電話御所(2)2607・4259

電気工事設計施工

株式会社　三興社

代表取締役　林　敏夫

本　社　大阪市北区絹笠町50(堂ビル7階)
電話(361)3671(代)
支　店　東京都中央区日本橋箱崎町3丁目2番地
電話(661)1478(代)
出張所　川崎・相模原・堺・福山

各種電気工事設計施工・制御盤製作

野里電気工業株式会社

取締役社長　池内文夫

本　社　大阪市西淀川区柏里町1丁目110番地
電話大阪(472)代表1101～7
支　店　東京都品川区西五反田6丁目25番11号(福島ビル)
電話東京(491)1746(492)0182・0350
営業所　北九州市小倉区鋳物師町23番地
電話小倉(56)5665・5818
出張所　群馬・千葉・和歌山・名古屋

電気・暖冷房・空調工事設計施工

三宝電機株式会社

取締役社長　嘉納伝三

本　社　大阪市北区絹笠町五〇(堂ビル三階)
電話(364)1471(代)
支　社　東京都中央区明石町6－23(辻孝ビル)
電話(542)5641
営業所　名古屋市北区城見通二丁目二〇番地
電話(991)5131～3
出張所　神戸市・堺市・高槻市・姫路市

電気工事設計施工

富士電業株式会社

取締役社長　田中実

本　社　大阪市西区北堀江上通1丁目65
電話大阪(541)0564～7・7148～9
営業所　東京・名古屋・広島・福岡

電気工事・計装工事・設計施工

中央電気工業株式会社

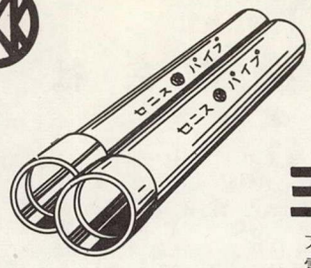
取締役会長　今村　騰
取締役社長　立石行男
本　社　大阪市北区梅ケ枝町56番地
電話　大阪　大代表(312)8881
支　店　東京・名古屋・四日市・神戸・和歌山
営業所　松山・京都・草津・静岡・水島・福岡

各種電気工事設計施工

株式会社　ヤマト電気商会

取締役社長　山本永造

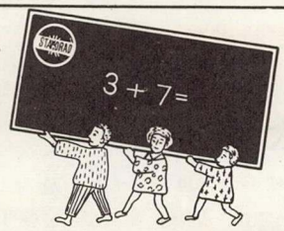
本　社　大阪市北区西堀川町15番地
電話大阪(364)代3056
東京支店　東京都港区新橋5－34－6　相馬ビル5階
電話　東京(434)3848・(431)8435
出張所　大阪南・札幌・名古屋・四日市・松山・徳山



トラフ・ヒューム管
ベンチレーター・マンホール

株式会社
三幸商會

大阪市北区与力町一ノ一〇
電話　大阪(358)　4031



Standard　Board&Slate

フタバ黒板

大阪市東住吉区加美末次町8－92　TEL 大阪06（792）代5858

奉仕感謝の店

タイル工事施工

特許申請中・完全滑止タイル

SSS（サンエス）タイル新発売

（カタログ進呈）

株式会社 川岸窯業商店

大阪市西区靱本町2丁目98　靱本町電停前
電話　大阪（532）0461～4番

営業品目
● カネボウゴーレックス防水
●化粧壁材ソリジットスタイン吹付
●樹脂砂壁エバーサンド吹付
●樹脂蛭石エバテックス吹付

合同特許建材工業株式会社

本社営業所・大阪市東住吉区駒川町3－54　電話(702)代7814～6
特約代理店・東京・名古屋・金沢・広島・今治・福岡

耐酸ツボ各種
陶器、ガラス製品卸問屋
セトモノのデパート
源八橋セトモノ百貨店をご利用下さい。



株式会社 吉田芳雄商店

本　店 大阪市北区旅篭町18 電話(361)3450・(364)2345
源八橋店 大阪市北区天満橋筋4—78 電話(358)1790・1838

株式会社 矢橋大理石商店

大阪支店

大阪市東区高麗橋二丁目九　野村ビル五階
電話　大阪　（202）　4905

FUTABAYA DECORATORS, LTD.
建築物・船舶等の造作工事及び
室内装飾工事の設計施工
建具、パネル、家具、各種木工品の製作
内外装飾織物、窓掛、敷物、壁紙類一式
（創業大正7年）

二葉屋装備工業 株式会社

取締役社長　若林繁吉

大阪府知事建設登録
(る)第16216号

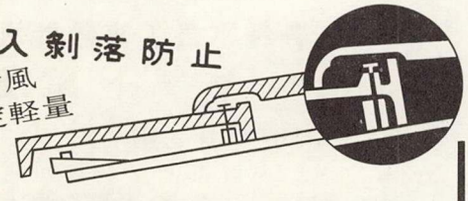
大阪市大淀区本庄川崎町2の6
電話・大阪(371) 3321～3・3630

社寺数奇屋用瓦……大仏瓦
床・壁内外装用瓦……大仏敷・貼瓦
内外装用窯変美術タイル……大仏タイル
新発売……古代土器調高温焼タイル……大仏古代タイル

株式会社 大仏

本　社　京都市東山区今熊野大仏池田町9の9　075(541)3344(代)
東京営業所　東京都渋谷区上原1丁目29の4　03（467)1641
工　場　京都清水・山城・瀬戸

雨水浸入剝落防止
耐震耐風
安定軽量



ナニワ緩勾配瓦

3寸緩勾最適軽量水止付(空葺)瓦

ナニワ瓦株式会社
大阪市浪速区元町二丁目壱番電話(641)5231番

青写真とマイクロフィルム

株式会社
内外写真

製図・トレース・複写写真

本　社　大阪市北区堂島北町16　TEL（345)9055(代表)
本町営業所　大阪市東区本町4-27御堂ビル　TEL（252）3906
横堀営業所　大阪市東区横堀2－36　TEL（202）5260

発明賞に輝く各種特許235件所有

特許 鈴木シャッター

65年の歴史最高の技術最大の生産

防煙火・防災・防盗

鈴木式防煙火シャッター・リンググリル®シャッター・
ステンレスシャッター・アルミニュームシャッター・
40・ピーアップ®シャッター・汎用シャッター
その他特殊シャッターの製造
アフターサービスの完璧

株式会社 鈴木シヤタア商会
大阪市北区茶屋町33番地 電話大阪(06市外局番)371代表4151~6
北陸営業所 金沢市長田町119番地 電話金沢(0762市外局番)21—2287

スチール
アルミ
ステンレス
サッシ・ドアー
カーテンウオール
シヤッター
三高式オペレーター・ドアーハンガー

TRADE MARK
M.T.K.S

株式会社 三高製作所
本社・工場 尼崎市神崎五反田280番地
電話大阪(499) 8151代表

近代建築の要求する

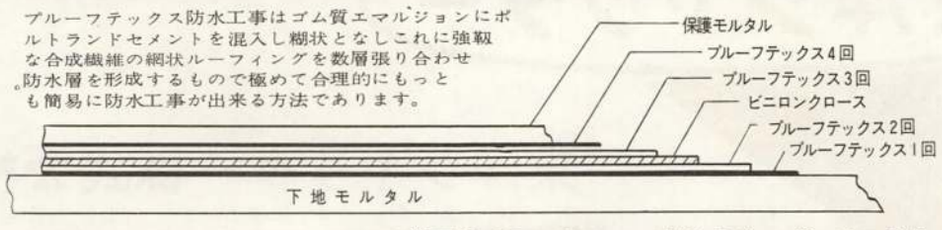
＊特許 小俣式 ステンレス・アルミニウム 防火シャッター

設計
製作
施工

小俣シャッター工業株式会社大阪支店
大阪支店 大阪市北区若松町30 電話大阪(364)9004・9016・4825
本社工場 東京都北区田端町1138 電話東京(893)5211～5

プルーフテックス防水工事

プルーフテックス防水工事はゴム質エマルジョンにポルトランドセメントを混入し糊状となしこれに強靱な合成繊維の網状ルーフィングを数層張り合わせ防水層を形成するもので極めて合理的にもっとも簡易に防水工事が出来る方法であります。



《特長》
1)防水性が優秀
2)接着力が強大
3)火気を要しない
4)耐摩耗性
5)物理的強度優秀

耐酸工事・防水工事専門店 耐酸化学工業株式会社
大阪市北区高垣町80番地
電話大阪(06)361・0178代

腐らない そして燃えない
法定不燃材 829号

ケミカラーオーシマメタル
新しい型の
ひふくてっぱん

屋根材、壁材・谷樋棟包水切に
スタンダードメタルの大島応用化学
東大阪市新庄(782)4171代

特許 内外式 意匠登録
電動ベンチレーター
屋上強制換気装置製作のパイオニア

50年の豊富な経験と技術、研究により
1。最高の換気率
2。スマートな外観
3。雨仕舞の完全
4。価格の低廉
5。直傭工による施工の完璧
6。行届いたアフターサービス



近畿コカコーラボトリング美原工場
NK型口径 900m/m(モートル3HP)40基

内外建材株式会社
本 社 大阪市西区江戸堀北通1－25(相生ビル) TEL(441)3983～4・4396
工 場 大阪市城東区天王田町1の141 TEL(962)1149

内外式コンチニアスベンチレーター
筒型ベンチレーター
内外式ガラス屋根
内外式連続採光換気装置
設計施工

Taniyama
送風機



営業品目
●LAF形 リミットロード送風機
●VAF形 可変式軸流送風機
●SAF形 ストリームライン送風機
●CAF形 遠心式静音軸流送風機
(特 許)

株式会社 谷山鐵工所
本社工場/大阪市城東区野江東之町二丁目一番地
電話 大阪(931)代7803～9
東京出張所/東京都文京区湯島四丁目六番十七号
東京(814)6651～3

シヤッターの総合メーカー
豊かな経験と
最新の技術…
東洋シヤッター
東洋シヤッター株式会社
本 社 大阪市東区谷町5－30 新野村ビル TEL(762)5861代
本 社 東京(543)2281・名古屋(331)6171・大阪(352)4571
営業所 横浜・滋賀・京都・神戸・福岡・他全国主要都市

全国で好評の……新興の内装壁材を！

新しい時代の新らしい壁
ヒル石基材の燃えぬ壁材

ダイシンコート

（特長）

塗付・吹付・保温・防音・耐アルカリ・耐水・耐火

革新塗料現る

①ソフトな感覚、優雅な味
②ペイント塗料に優る
③塗りかえ自由
④安価で塗りよい
⑤吹付施工も自由
⑥洗いも下地も自由

繊維塗料の
シンコゾール

全国有名建材店又は当社へ

繊維壁材（通称）わたかべ

耐水、耐アルカリ性時代来る

漆喰差支なし
ドロマイドプラスター
セメントモルタル下地
落ちない
塗り良い
塗面が強い
水に強い
（特長）

すゝき・すゞか・新いすゞ・四七宝香・錦紋・王座

●カタログお送りします

（株）新興建材工業所
大阪市西区南堀江通６丁目39番地　TEL 大阪(538)2951～5・(541)5757～7
営業所　東京・高槻・明石・姫路・四国・中国

発売元

新興壁材工業（株）
大阪市住吉区粉浜本町４丁目２６番地　TEL 大阪（672）１６６１～3

（株）九州新興建材工業所
福岡市上牟田八田町２６の１　TEL 福岡（41）５２２５～６

特許・耐酸被覆鋼板
耐久建築屋根・外壁材料

オリエンタルメタル

燃えない
われない
腐らない

長尺物・色彩自由・責任施工

品種　オリエンタルメタル（O.P.M）
オリエンタルスーパーメタル（S.P.M）
オリエンタルカラードメタル（C.P.M）
カラースーパーオリエンタルメタル（C.S.P.M）

波板規格　S小波　S大波　V波　ボックス波　Wジャンボ波

用途　平板・波板・棟包・雨押類・谷樋・竪樋・軒樋
通風器・排気ダクト・モニター

カタログ御請求下さい。

オリエンタルメタル製造株式会社

本社	兵庫県尼崎市昭和南通り３－26松本ビル	電話	大阪（412）5131代表
東京支社及工場	埼玉県蕨市塚越５丁目６番３２号	電話	蕨（42）3115～８
大阪支社及工場	兵庫県尼崎市長洲稲川新田４４	電話	大阪（488）1081代表
九州支店及工場	福岡県遠賀郡水巻町頃末	電話	八幡（69）2831～４
名古屋支店及工場	名古屋市中村区泥江町1の24第2中経ビル	電話	名古屋(581)2781～4

新製品

特許セメント分散剤
コンクリート減水剤

● リグコン

特許 セメント分散剤 コンクリート減水剤
リグナール

建設大臣認定

● 三段ブロック

其の他コンクリート二次製品

● 宅地造成・分譲

指導　神戸大学土木工学部長
　　田中　茂教授
設計　日建設計工務株式会社
現在二団地設計中

● 耐火・防水外見板
　SPボード代理店

● 日本鋼管
　NKプレハブ代理店

● 高弾性目地材　エスシール＃31

● 防水材　エスシール＃21

リグナール製造発売元

神戸枓料株式会社

本　社　神戸市葺合区熊内町2丁目88番地
　　電話078代表（23）1421・6956
東京営業所　電話03（294）6167・6177
福山出張所　電話　0849（53）2　0　2　7

日本建築協会優良証明

セメント硬化促進増強防水剤

CEMENT WATER-PROOF WOTAITO

ウォータイトB号

合成樹脂系防水剤　スーパーウオータイト

合成ゴム系防水剤（クロロプレン系）　ウオータイトK

合成ゴム系防水剤（ポリウレタン系）　ウオータイトU

JIS合格品

御一報次第型録並仕様書進呈

ウォータイト式防水工事代行店

安藤工事	TEL福　岡	（28）5207
川添商店	TEL鹿児島	（51）0001
大三工業	TEL高　松	（51）6811
伊東工業	TEL徳　島	（52）6880
豊永建材	TEL広　島	（61）6371
東邦防水	TEL札　幌	（82）3133

株式会社 日本セメント防水剤製造所

大阪事務所　TEL大　阪（941）2626・2628
宝塚市高台　TEL宝　塚（86）2　1　5　3
名古屋出張所　TEL名古屋（331）1　5　3　1
仙台出張所　TEL仙　台（23）0　7　2　1
東京出張所　TEL東　京（431）8　6　4　8

蟻の集団

誠実・勤勉、しかもファイトある〝蟻〟――それがわれわれです。



全国的販売組織カネライトパネルホーライト天井カルトン施工体制の確立ベニオンポーライトセメントペーストによる特殊接着ユニオンボード技術の結晶ホローボードパイオニヤカルトン高精度パネルKCパネル工期大巾短縮ホローシステムカルトンフロンテアベニオンスピリットカルトン外壁ポーライト耐火60分1021号ホローボード耐火30分耐火30分0027・0028号アコニオン全国的販売組織KCパネル遮音35dbカルトンL=0.034Kcal/mh cカルトンL=0.097Kcal/mh cポーライトL=0.097Kcal/mh cカルトン乾式構造アコニオンL=0.097Kcal/mh cポーライトカルトンK=0.86Kcal/m h cアコニオン間仕切カネライトパネル外壁ホローライト内壁カルトン技術の結晶0.86Kcal/m h cベニオンカネライトパネルセメントペーストによる特殊接着ベニオンオートメーションシステムカルトン高精度パネルカルトン全国的販売組織KCパネル施工体制の確立ユニオンボードパイオニヤポーライトフロンテアホローライトスピリットKCパネル施工体制の確立アコニオン防火55号・99号ホローボード遮音35dbユニオンボードL=0.034Kcal/mh cカルトンK=0.8Kcal/mh cポーライトL=0.097Kcal/mh cホローライト耐火30分0027・0028号カルトン遮音35dbベニオン防火55号・99号ホローボード野地カネライトパネル内壁ホローライト野地カルトン荷重500kgベニオンポーライトセメントペーストによる特殊接着ユニオンボードライト間仕切アコニオンシステムユニオンボードセメントペーストによる特殊接着ユニオンボード全国的販売組織KCパネル施工体制の確立ホローライトパイオニヤカルトンフロンテアポーリットカネライト耐火30分0027・0028号カルトン遮音35dbベニオン防火55号・99号ホローボードライトL=0.034Kcal/mh cカルトンK=0.8Kcal/mh cKCパネルK=2.41Kcal/m h cアコニオンカネライトパネル工期大巾短縮KCパネル内壁ホローライト野地カルトン荷重500kgカネライトパネルセメントペーストによる特殊接着ユニオンボードの販売組織KCパネル施工体制の確立ベニオンポーライトセメントペーストによる特殊接着ユニオンスピリットポーライト耐火30分0027・0028号カルトン遮音35db防火55号・99号ホローボード遮音dbカルトン全国的販売組織カネライトパネルホローライト天井カルトン施工体制の確立ポーライトセメントペーストによる特殊接着カルトン間仕切ユニオンボードの術の結晶ホローボードパイオニヤカルトン高精度パネルKCパネル工期大巾短縮ホローライトオートメーションシステムカルトンフロンテアベニオンスピリット外壁ポーライトスピリットホローボード耐火30分0027・0028号アコニオン技術の結晶KCパネル遮音35dbカルトンL=30分0027・0028号アコニオン全国的販売組織カルトン遮音35dbカルトンL=0.0 K0.034Kcal/mh cローライト曲げ破壊荷重500kgアコニオンL=0.097Kcal/mh cポーライトカルトン乾式構造ユニオンボードK=2.41Kcal/m h cホローボードK=0.8Kcal/m h cアコニオン間仕切カネライトパネル外壁ホローライト内壁カルトン技術の結晶ベニオン間仕切カネライトパネルセメントペーストによるシステムカルトン高精度パネルカルトン全国的販売組織カネライトユニオンボードパイオニヤポーライトフロンテアホローライトスピリットKCパネル施工体制の確立アコニオン防火55号・99号ホローボード遮音35dbユニオンボードL=0.034Kcal/mh cカルトンK=0.8Kcal/mh cポーライトL=0.097Kcal/mh cカルトン曲げ破壊荷重500kgベニオン乾式構造アコニオン工期大巾短縮ホローボード遮音35dbカネライトパネル内壁ホローライト天井ホローライト仕様パネルオートメーションシステムユニオンボードセメントペーストによる特殊接着ユニオンボード全国的販売組織カルトン高精度パネルベニオン施工体制の確立ホローライトパイオニヤカルトンポーライトスピリットカネライト耐火60分1021号カルトン耐火30分0027・0027号カルトン遮音35dbポーライトL=0.034Kcal/mh cホローボードK=0.8Kcal/mh cKCパネルK=2.41Kcal/mh cカルトンL=0.097Kcal/mh cKCパネルK=2.41Kcal/m h cホローライト曲げ破壊荷重500kgアコニオン乾式構造ホローライト野地カルトン天井カネライトパネル技術の結晶オートメーションシステムカルトンセメントペーストによる特殊接着ユニオンボードカネライトパネル高精度パネルアコニオン全国的販売組織KCパネル施工体制の確立ホローライトパイオニヤカルトンフロンテアベニオンスピリットポーライト耐火30分0027・0028号カルトン耐火30分0027・0028ユニオンボード防火55号・99号ホローボード遮音35dbカネライトパネルホローライト天井カルトン施工体制の確立ベニオンポーライトセメントペーストによる特殊接着カルトン間仕切ユニオンボード技術の結晶ホローボードパイオニヤ

保有外貨61億ドルに
昭和60年には世界の
総生産の25%に！

ユニオンボードはわが社の
技術の結晶です

サンドイッチパネルの総合メーカー

旭化工板製造株式会社

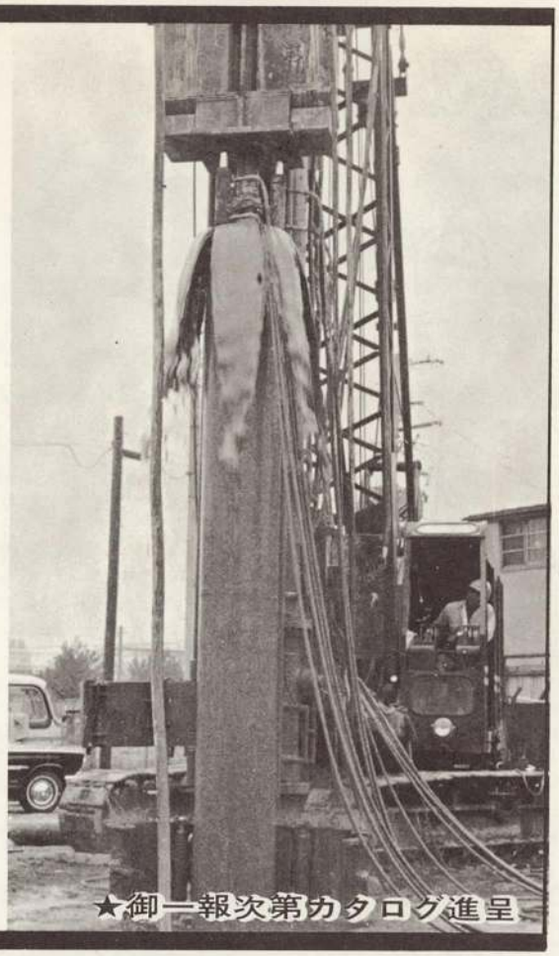
JIS 表示許可工場

本社・工場	尼崎市下坂部久々知前235 TEL 大阪(06)491－6781(代)	名古屋出張所	名古屋市中区丸ノ内3-18-12（大興ビル） TEL 名古屋(052)961－5940
東京営業所	東京都台東区駒形2-3-5(駒形武蔵野ビル) TEL 東京(03)842－9251(代)	福山出張所	福山市松浜町1－1－4(福山不動産ビル) TEL 福山(0849)23－1491
		鈴鹿工場	鈴鹿市三日市町1859 TEL 鈴鹿(0593)78－1165～6
		上野工場	上野市山出字柏ケ坪100の1 TEL 上野(05952)3－0205～6

●資料ご希望の方はD係までお申込みください。

タイプ
TAIP工法
にはハンマー不要です
〈完全無音無振動既製杭工法〉

従来の既製杭を利用して杭打施工時の
振動・騒音を完全に追放しました!!



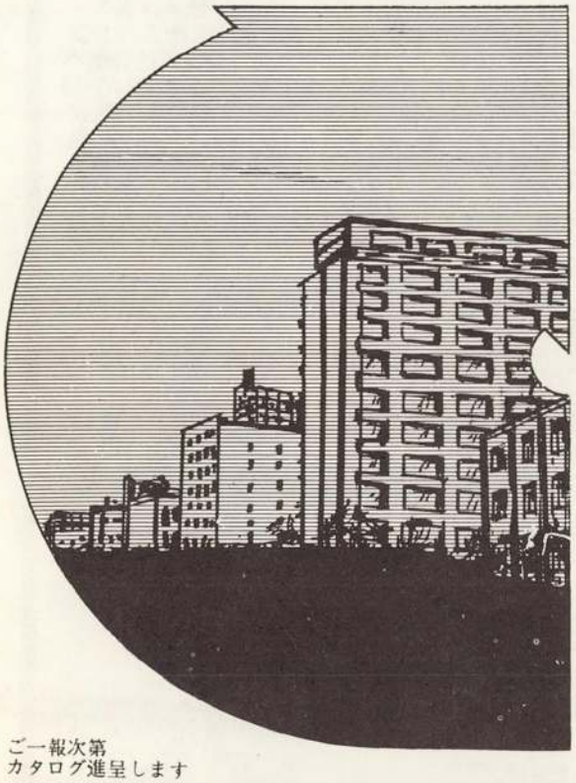
■主な特長

1.ネジ込力を杭押込力に変えるので完全無振動無騒音です。
2.根入長さが長く安定した支持杭が施工出来ます。
3.スライムの沈積はありません。
4.完全に支持層に岩着させるので大きな支持力が期待出来ます。
5.何米でもヤトイ杭で納められ地下室のある建築に最適です。

TAKECHI 株式会社 武智工務所

■本　　社　大阪市東区高麗橋2の20(高麗新ビル) TEL大阪(202)3233(代)
■名古屋支店　名古屋市中区錦1－3－2(殖産ビル)
■福岡支店　福岡市赤坂1－15－33(第二菊陽ビル)
■営業所　東京・静岡・富山・広島・熊本・鹿児島　■工場　大阪・名古屋・鹿児島

モルタル・コンクリート用
マノール 防水剤



ご一報次第
カタログ進呈します

＊マノール防水剤はセメントの加水分解生成物である水酸化石灰と化学的に結合し、硬化機構を妨げることなくセメント粒子に撥水性を与えて毛細管の表面張力を低下させ、吸水性を減少させます。
＊AE効果により適量の空気を連行し、気孔を閉塞することなくセメント・プラスター及び砂の粒子に対し分散性を与えワーカビリティーを向上させます。また特有な粘着性によって材料分離、レイタンスの発生を防止します。
＊セメントと結合した生成物は永久不変質の物質で、水や空気中の塩類、酸類も作用せず、セメントの中性化を防ぎ、鋼材、木材等の腐蝕・腐朽を防止して構造物の耐久性を高め、その防水・防湿効力は恒久的です。

その他マノール製品
急結剤・接着剤・剥離剤・早強剤・防凍剤
エスコート(セメント起泡剤)・**エアコール**(場所打ち杭工法添加剤)

セメント混和剤・助材綜合メーカー
株式会社 油脂化工社
東京都品川区大井1－15－1　☎ 東京 (774)4111代表

関東営業所　茨城県土浦市大町1213　☎ 土浦 (21)5189
東北営業所　福島県福島市下野寺字遠原　☎ 福島 (34)7111
盛岡営業所　岩手県盛岡市南大通3－12－50　☎ 盛岡 (24)0213
大阪営業所　大阪市東成区東中本2－17－26　☎ 大阪 (971)4765



全く新しい床タイルです

三星ピサロンは、従来のビニールタイルとは製法原料配合が全く違います。塩ビの他に最近開発された新しい共重合体の特殊樹脂を用いた画期的な新製品です。軟質プレスタイプの床タイルに比べ仕上り安定性がよく、カレンダー方式の流れ模様とは対照的な静止した現代模様。ピサロンの持つエラスチックで高級な質感、すぐれた歩行感は、床タイルの新しい世界を開きました。

協同組合員が責任をもって施工いたします

三星ピサロンは、材料だけの販売はいたしません。責任施工の出来る協組員が入念な仕上げをします。

これからはピサロンの時代です

三星ピサロンの新しい色調、パターンは、現代のインテリアデザインに要求される個性的な床造りには欠かせません。東京浜松町の超高層世界貿易センタービルの4F以上の各階通路、エレベーターホールにも、使用されております。〝三星ピサロン〟はその模様がフランスの画家ピサロのタッチに似ていることから、名付けられたものです。

東日本床工事事業協同組合
西日本床工事事業協同組合
〈専用品〉

三星タイル
ピサロン

★規格＝333.3 ×333.3 ×2㎜ 9枚／m²
333.3 ×333.3 ×3㎜ 9枚／m²
★色数＝18色
★価格＝2㎜厚品 1,200円／m²（300m²以上）
3㎜厚品 1,800円／m²（300m²以上）
小部屋割増・階段40％高

製造元＝田島応用化工株式会社
東京／東京都千代田区岩本町3の11
電話 (866) 6101
大阪／大阪市西区京町堀1の74
電話 (441) 5951

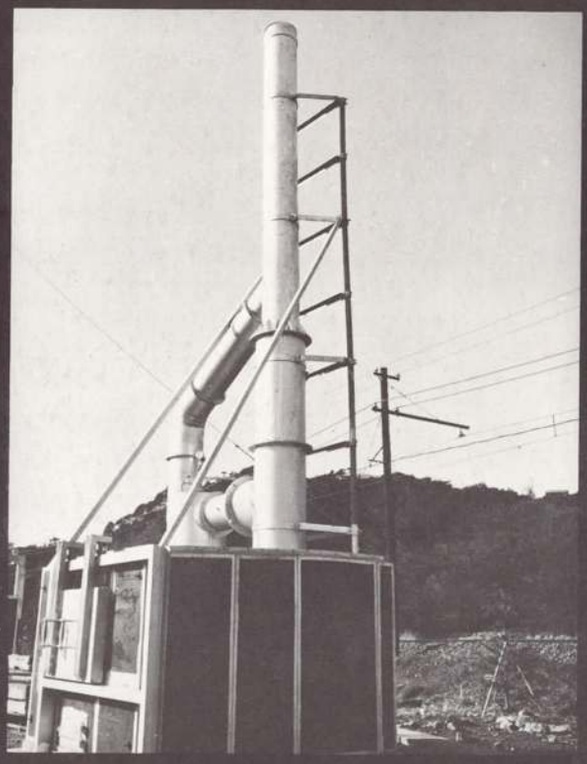
建築と社会 “ARCHITECTURE AND SOCIETY” 第52輯第7号
■昭和46年7月25日発行(毎月1回25日発行)・昭和24年3月19日第3種郵便物認可

SMOKELESS

公害に対処する

インシナーの

焼却炉



PAT. NO.
248182・583503
486791・486824
517838・655818

インシナー は……

煤煙除去器をセットすることにより
煙りと臭いの心配を完全に解決しました。

インシナー工業
インシナー商事

本　　社 東京都品川区東五反田2-8-7 ☎441-2291(大代表)
大阪支店 大阪市北区牛丸町55〈東洋ビル〉☎372-0481(代　表)
名古屋営業所 名古屋市昭和区恵方町2－8 ☎841-5874(代　表)
福岡営業所 福岡市春吉3〈春野ビル〉☎76-1880(代　表)

■ご入会のお申込は・社団法人　日本建築協会　〒541　大阪市東区北浜3－37　電話大阪(06)231-9648・9649・9640　振替口座大阪39975番

定価 300円(送料共)